

令和2年度

福井市民意識調査報告書

～ あなたの声を福井の未来に ～



福 井 市

報告書の見方

- 1 グラフ中の「SA」は単一回答、「MA」は複数回答を示す。
- 2 グラフ中の「N」は、その設問における回答者数を表す。
- 3 単一回答では、構成比の数値を少数第2位で四捨五入したため、合計が 100.0%に過不足することがある。
- 4 複数回答では、回答の割合の合計は 100.0%を超える。

目 次

I 調査の概要	1
1 調査の目的	1
2 調査の設計	1
3 調査の項目	1
4 回収結果	2
II 調査対象者の属性	3
III 調査結果	6
◆市のまちづくりについて	6
施策の満足度・重要度	9
満足度・重要度の評価点	64
◆福井市について	72
◆お住まいの耐震について	76
◆骨髓バンクについて	80
◆自転車の利用について	83
◆健康とスポーツについて	86
◆福井市の広報について	89
◆自殺対策について	97
◆環境対策について	101
◆地域の公共交通機関について	104
◆健康づくりについて	107
◆男女共同参画について	109
◆犬や猫の飼い方について	113
◆食育について	116
◆市民憲章について	122
◆福井市の都市づくりについて	124
IV 自由意見	127
V 調査票	130

I 調査の概要

1 調査の目的

この調査は、第七次福井市総合計画に係る各施策等について、今後の市政運営の方向性を探り、事業の効果及び進捗状況並びに市民ニーズを把握することを目的に実施する。

2 調査の設計

- (1) 調査地域 福井市全域
- (2) 調査対象 市内に居住する18歳以上の男女2,500人
- (3) 抽出方法 令和2年5月1日現在の住民基本台帳から無作為抽出
(地区人口比率、男女、年齢等の属性を考慮)
- (4) 調査方法 郵便またはインターネットによる
- (5) 調査期間 令和2年6月1日(月)～令和2年6月26日(金)

3 調査の項目

- (1) 回答者自身の属性(性別、年齢、職業、居住年数、家族構成、居住ブロック)
- (2) 市のまちづくりについて 施策の満足度・重要度(39問)
- (3) 福井市について(4問)
- (4) お住まいの耐震について(4問)
- (5) 骨髄バンクについて(4問)
- (6) 自転車の利用について(3問)
- (7) 健康とスポーツについて(4問)
- (8) 福井市の広報について(8問)
- (9) 自殺対策について(4問)
- (10) 環境対策について(3問)
- (11) 地域の公共交通機関について(3問)
- (12) 健康づくりについて(2問)
- (13) 男女共同参画について(3問)
- (14) 犬や猫の飼い方について(4問)
- (15) 食育について(6問)
- (16) 市民憲章について(2問)
- (17) 福井市の都市づくりについて(3問)

4 回収結果

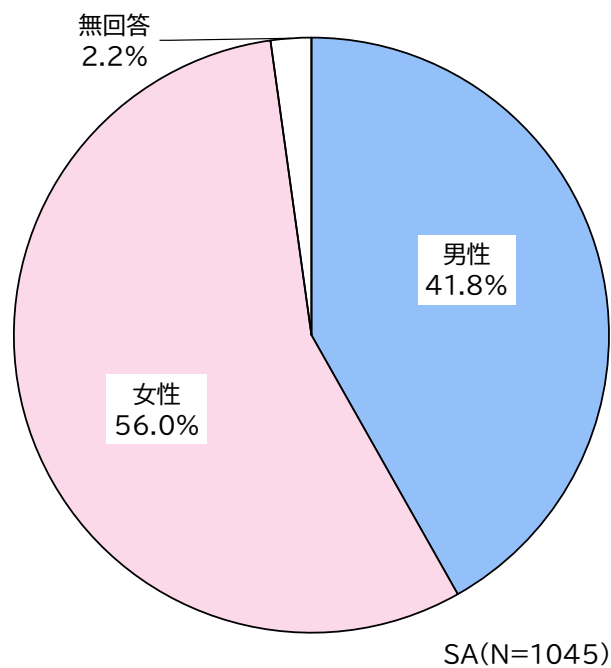
回収数（率） 1, 0 4 5 票（4 1. 8 %）

		標本数	回収数			回収率
			全 体	郵便（割合）	インターネット（割合）	
全 体		2, 500	1, 045	818 （ 78.3%）	227 （ 21.7%）	41.8%
性別	男 性	1, 250	437	323 （ 73.9%）	114 （ 26.1%）	35.0%
	女 性	1, 250	585	474 （ 81.0%）	111 （ 19.0%）	46.8%
	無回答	—	23	21 （ 91.3%）	2 （ 8.7%）	—
年齢別	18～29 歳	337	78	42 （ 53.8%）	36 （ 46.2%）	23.1%
	30～39 歳	391	134	91 （ 67.9%）	43 （ 32.1%）	34.3%
	40～49 歳	470	176	114 （ 64.8%）	62 （ 35.2%）	37.4%
	50～59 歳	425	192	142 （ 74.0%）	50 （ 26.0%）	45.2%
	60～69 歳	428	236	211 （ 89.4%）	25 （ 10.6%）	55.1%
	70 歳以上	449	207	198 （ 95.7%）	9 （ 4.3%）	46.1%
	無回答	—	22	20 （ 90.9%）	2 （ 9.1%）	—
地区別	あたごブロック	361	134	101 （ 75.4%）	33 （ 24.6%）	37.1%
	不死鳥ブロック	439	196	155 （ 79.1%）	41 （ 20.9%）	44.6%
	みなみブロック	456	164	125 （ 76.2%）	39 （ 23.8%）	36.0%
	あずまブロック	311	133	93 （ 69.9%）	40 （ 30.1%）	42.8%
	九頭竜ブロック	506	204	160 （ 78.4%）	44 （ 21.6%）	40.3%
	光ブロック	140	56	46 （ 82.1%）	10 （ 17.9%）	40.0%
	川西ブロック	114	48	43 （ 89.6%）	5 （ 10.4%）	42.1%
	足羽ブロック	173	77	63 （ 81.8%）	14 （ 18.2%）	44.5%
	無回答	—	33	32 （ 97.0%）	1 （ 3.0%）	—

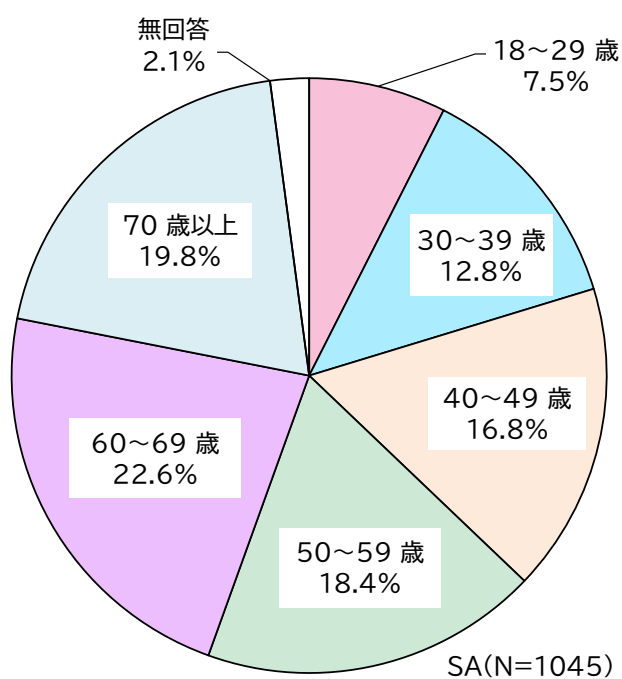
※（ ）内は構成比を表しています。

Ⅱ 調査対象者の属性

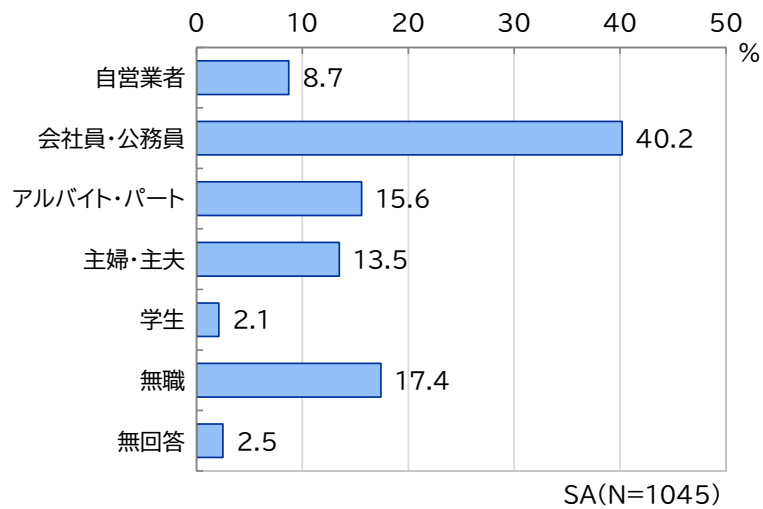
F 1 あなたの性別をお答えください。(1つ)



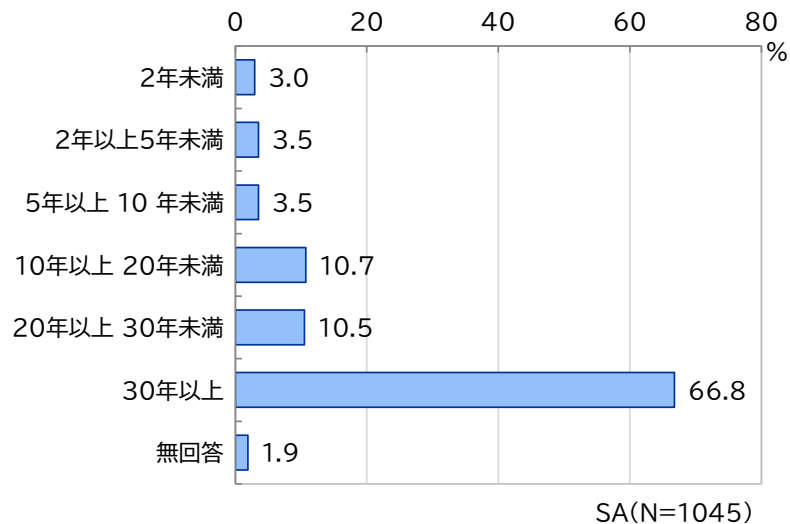
F 2 あなたの年齢をお答えください。(1つ)



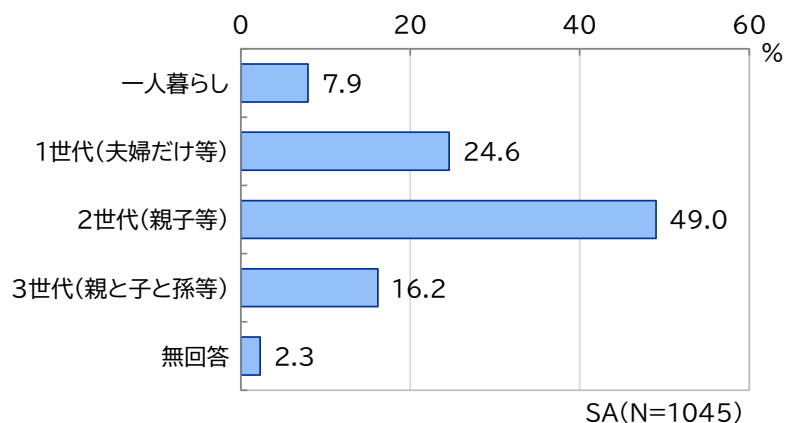
F 3 あなたのお仕事をお答えください。(1つ)



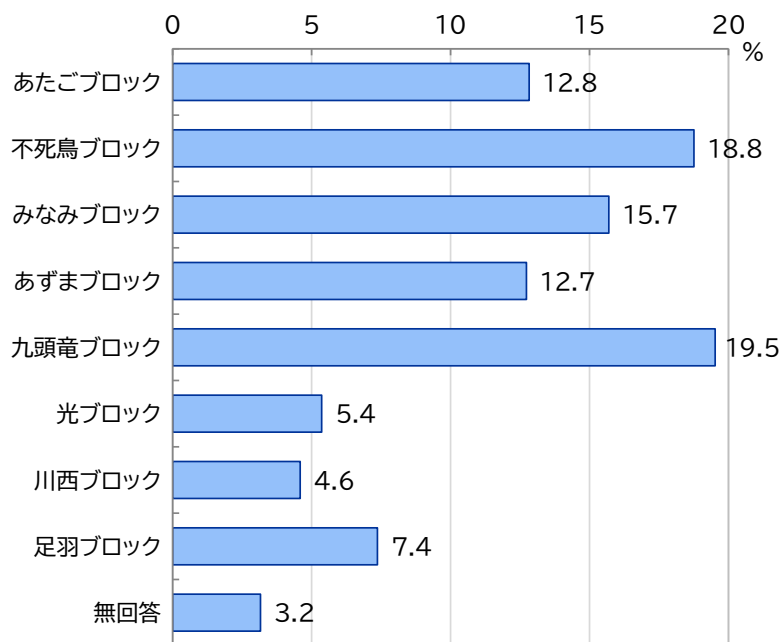
F 4 あなたは、福井市にお住まいになって何年になりますか。(1つ)



F 5 同居している家族構成はどれにあたりますか。(1つ)

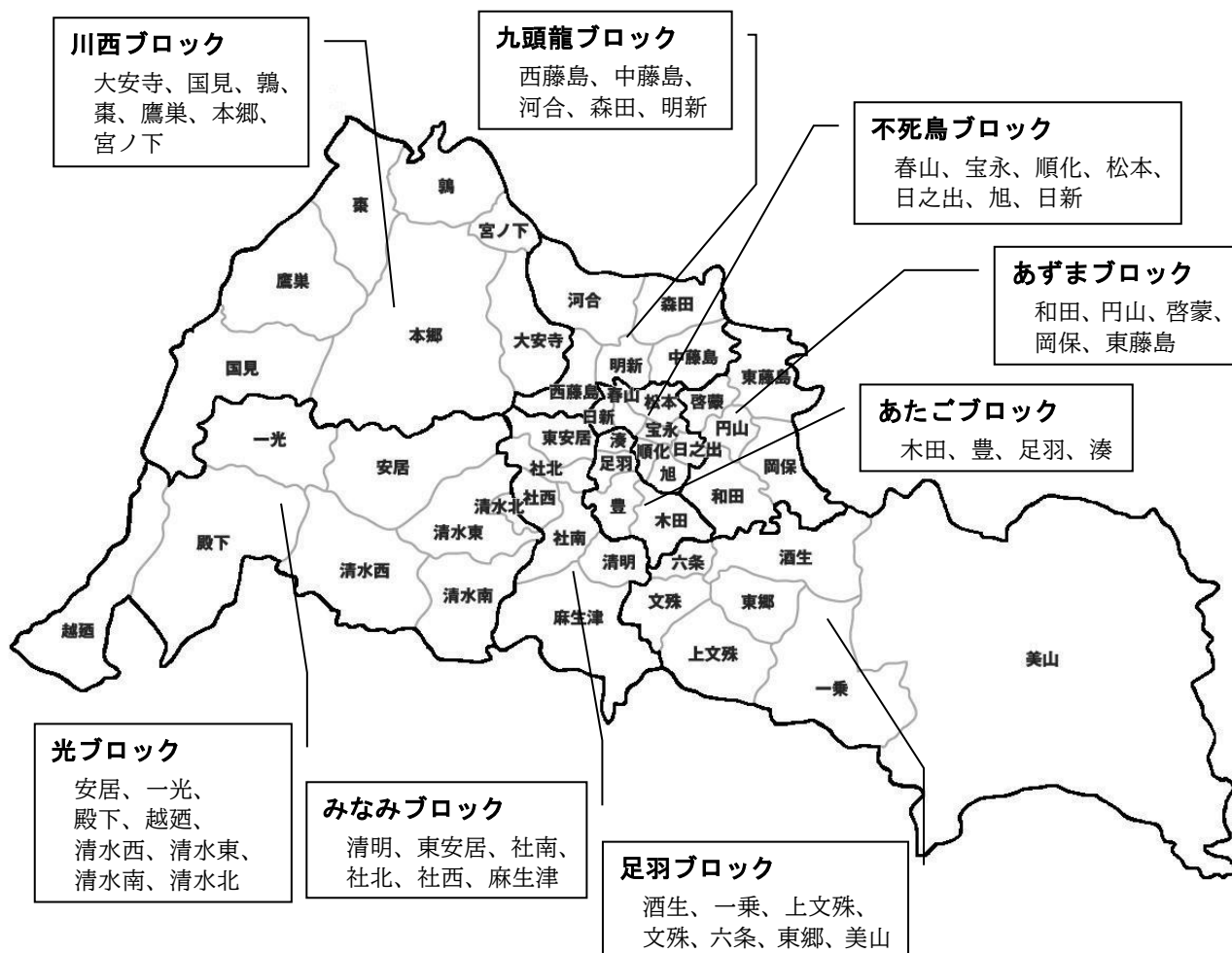


6 居住ブロック



SA(N=1045)

※各ブロックに含まれる地区名は、次のとおり



Ⅲ 調査結果

◆市のまちづくりについて

問1 福井市が取り組んでいる施策について、あなたの満足度と重要度をお聞きます。表中の「施策のポイント」を参考にいただき、施策全体としての満足度と重要度について、あなたのお考えに最も近い番号に○を付けてください。
(それぞれ1つ)

No	施策	施策のポイント
I 快適に暮らすまち		
1	県都の顔にふさわしい都市空間形成（県都）	・足羽山公園遊園地のリニューアル、園路やサイン、眺望スポットの整備 ・中央公園と周辺の再整備による、福井城址との一体性の向上 ・えちぜん鉄道の高架化にあわせた福井駅周辺の道路整備
2	中心市街地の活性化（中心市街地）	・ハビリンを拠点とした賑わい創出や、まちなかのイベント実施 ・まちなかのリノベーションと、出店や開業、創業支援 ・電動アシスト自転車「ふくチャリ」のレンタルなど、回遊性の向上
3	北陸新幹線の福井開業準備（北陸新幹線）	・北陸新幹線福井開業に向けた整備 ・並行在来線の開業準備
4	移住定住の促進（移住定住）	・本市の魅力をもっとPRすることによる、都市圏からのUIターン促進 ・空き家の購入や、住宅リフォームへの補助 ・多世帯同居や近居、若年夫婦世帯への住宅支援
5	公共交通機関の利便性向上（公共交通）	・公共交通空白地域におけるバス運行支援 ・新たなバス利用者の掘り起こし ・えちぜん鉄道、福井鉄道の運営支援
6	公園の整備・維持管理（公園）	・市内公園の広場や遊具、トイレ等のリニューアル ・団体が行う草花や樹木の育成活動への支援
7	市道の整備・維持管理（市道）	・市道の整備と維持管理 ・橋りょうの補修や耐震補強
8	建築物の安全性向上と住環境の整備（住環境）	・木造住宅の耐震診断及び工事に要する費用の支援 ・森田北東部における土地区画整理事業 ・市営住宅東安居団地の建替え
9	治水環境の整備（治水）	・河川や水路の整備と維持管理
10	生活排水の適切な処理（生活排水）	・公共下水道の普及 ・浄化槽維持管理への補助 ・下水管路施設の点検及び改築、汚水処理場設備の更新
11	おいしい水の安定供給（おいしい水）	・安全でおいしい水の安定供給 ・水道事業の健全経営

Ⅱ 住みよいまち

12	女性が活躍できる環境づくり（女性）	・幅広い年代の市民や企業への意識啓発による、女性が輝く環境整備 ・地域における男女共同参画意識の啓発
13	多文化共生と国際交流の推進（多文化共生）	・在住外国人への分かりやすい行政サービスの提供 ・姉妹友好都市との相互交流
14	協働のまちづくり（協働）	・市民のボランティアへの関心や意欲を高める啓発や情報提供 ・市民と行政の協働に向けた取組の推進
15	地域コミュニティの活性化（地域コミュニティ）	・自治会及び地区自治会連合会等が行う地域活動への支援 ・中山間地域の活性化を図る地域おこし協力隊の活動への支援 ・地域が取り組む地域課題の解決や魅力発信事業への支援
16	健康づくり支援（健康づくり）	・認知症初期段階での支援チーム（医療や福祉の専門職）による集中支援 ・健康診査の実施 ・運動や食を通じた健康づくりの普及啓発
17	子育て環境の充実（子育て環境）	・子どもの医療費助成や、一時保育及び家事代行などの生活支援 ・老朽化した保育園の改修、認定こども園への移行のための増改築 ・放課後児童会及び放課後児童クラブの運営
18	高齢者の活躍支援（高齢者）	・ひとり暮らし高齢者への必要なサービスの提供や見守り支援 ・地域包括支援センターの運営 ・地区が実施する敬老会や生きがい事業への支援
19	障がい者の活躍支援（障がい者）	・障がい福祉サービスの実施 ・障がい者への就労支援
20	環境保全の推進（環境保全）	・地域住民や市民団体等が行う自然保護及び再生事業への支援 ・環境汚染や水質汚濁等に係る環境監視や調査指導 ・環境問題に関心と理解を深めるための講座やイベントによる啓発
21	ごみの適正な処理（ごみ）	・市民団体が実施する雑がみの分別、古紙回収への支援 ・ごみ収集、資源ごみの有効利用の推進
22	地域の防災力・防犯力を高める（防災防犯）	・備蓄倉庫の非常食の入れ替えや災害時マンホールトイレの整備 ・自主防災組織の活動支援や災害時に支援が必要な人への支援体制づくり
23	消防・救急体制の強化（消防救急）	・女性消防団員の養成 ・防火水槽の整備 ・自治会等を対象とした防火教室の実施
24	消費者保護の推進（消費者保護）	・消費者相談や消費生活に関する情報提供
25	交通安全の推進（交通安全）	・交通安全の指導及び啓発、運転免許証の自主返納の推進

Ⅲ 生き活きと働くまち

26	農林水産業の推進（農林水産業）	・農地集積、集落営農の組織化や法人化の促進 ・農業生産基盤の整備や人材確保、大都市圏への販路開拓 ・Uターン者の農林水産業への就業支援と定住の促進
27	農産物の需要拡大（農産物）	・金福すいか、きょうふく(サラダ人参)に続く農産物のブランド化 ・農林漁業者による加工及び販売の取組への支援 ・地産地消の拡大による食育の推進
28	農山漁村の生活環境を守る（農山漁村）	・地域が行う農地の維持活動や土地改良事業への支援 ・集落排水施設の整備 ・イノシシやシカ等の有害鳥獣による農作物被害の防止
29	商工業の振興（商工業）	・企業の新技术や新製品開発等への支援と繊維産業の活性化 ・企業立地や雇用に対する支援 ・起業家の育成や事業承継の支援
30	福井で働くことを応援する（労働）	・学生や社会人へのUターン就職や正規雇用促進への支援 ・ワークライフバランスの推進に取り組む企業への支援
31	観光の振興とおもてなしの充実（観光）	・一乗谷朝倉氏遺跡、まちなか、越前海岸への誘客 ・ふくい春まつりや福井フェニックス祭りの開催 ・市民総ぐるみの「観光おもてなし市民運動」の推進

Ⅳ 学び成長するまち

32	文化芸術の振興（文化芸術）	・市美展や魅力ある企画展の開催
33	歴史・文化遺産の保存・活用（歴史文化）	・一乗谷朝倉氏遺跡や養浩館庭園など、郷土の文化財の保存と活用 ・郷土歴史博物館の企画展の開催
34	自然科学教育の充実（自然科学）	・自然史博物館の企画展の開催 ・自然史博物館分館(セーレンプラネット)の管理運営
35	学校教育の充実（学校教育）	・ALT等を活用した小学校の英語活動の推進 ・学校と地域や企業をつなぐキャリアコーディネーターの配置
36	子どもの健全育成（子ども）	・指導者の部活動への派遣やトップアスリートの実技講習会の実施 ・国内の姉妹友好都市との交流体験の実施 ・少年自然の家での様々な体験活動の実施
37	学校環境の整備（学校環境）	・小学校体育館の窓ガラス飛散防止対策や学校トイレの洋式化 ・通学路の点検や安全対策の実施
38	生涯学習の支援（生涯学習）	・公民館の建設及び改修と活動支援 ・市立図書館の大規模改修
39	生涯スポーツの支援（生涯スポーツ）	・各種スポーツ事業への助成

※この報告書では、施策名をカッコ内の略称で表記する場合があります。

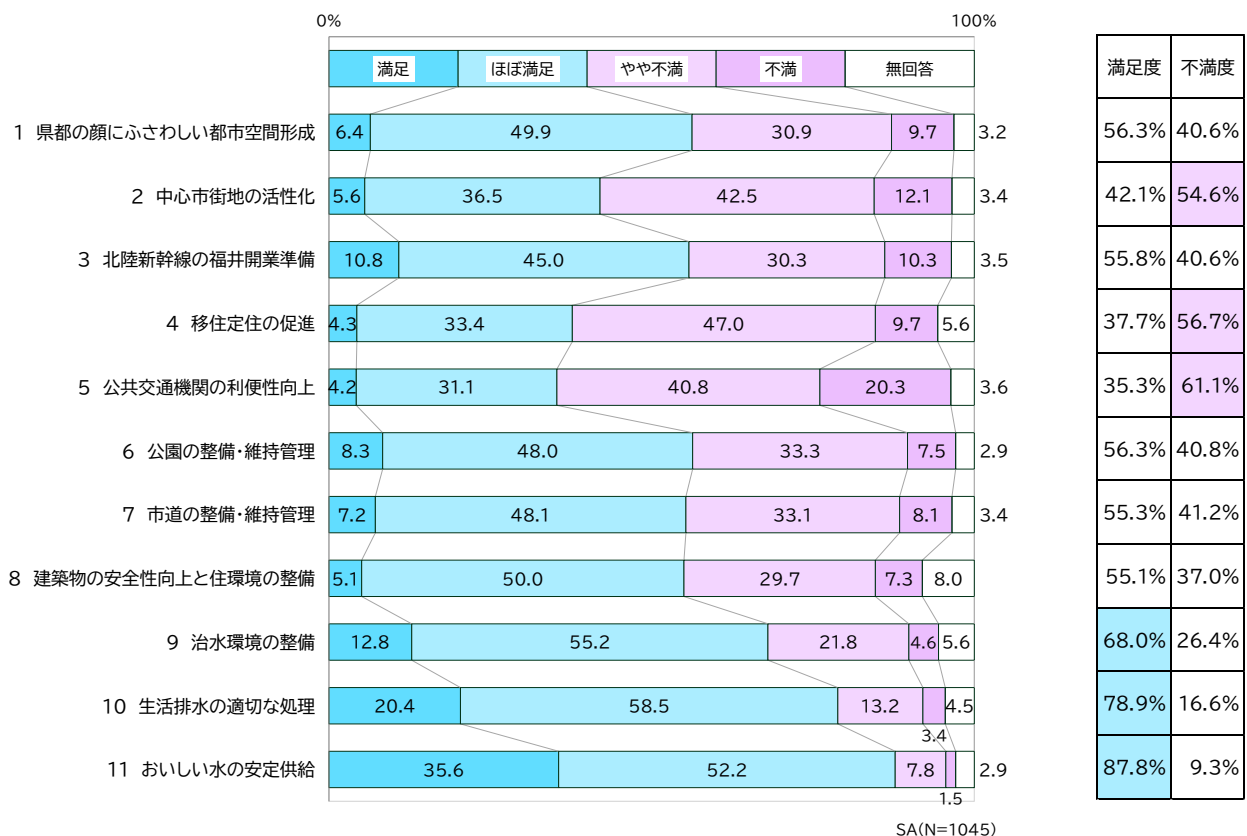
施策の満足度・重要度

施策の満足度

I 快適に暮らすまち

満足度（「満足」と「ほぼ満足」の合計）の上位3位は、高い順に「11 おいしい水の安定供給」（87.8%）、「10 生活排水の適切な処理」（78.9%）、「9 治水環境の整備」（68.0%）となっている。

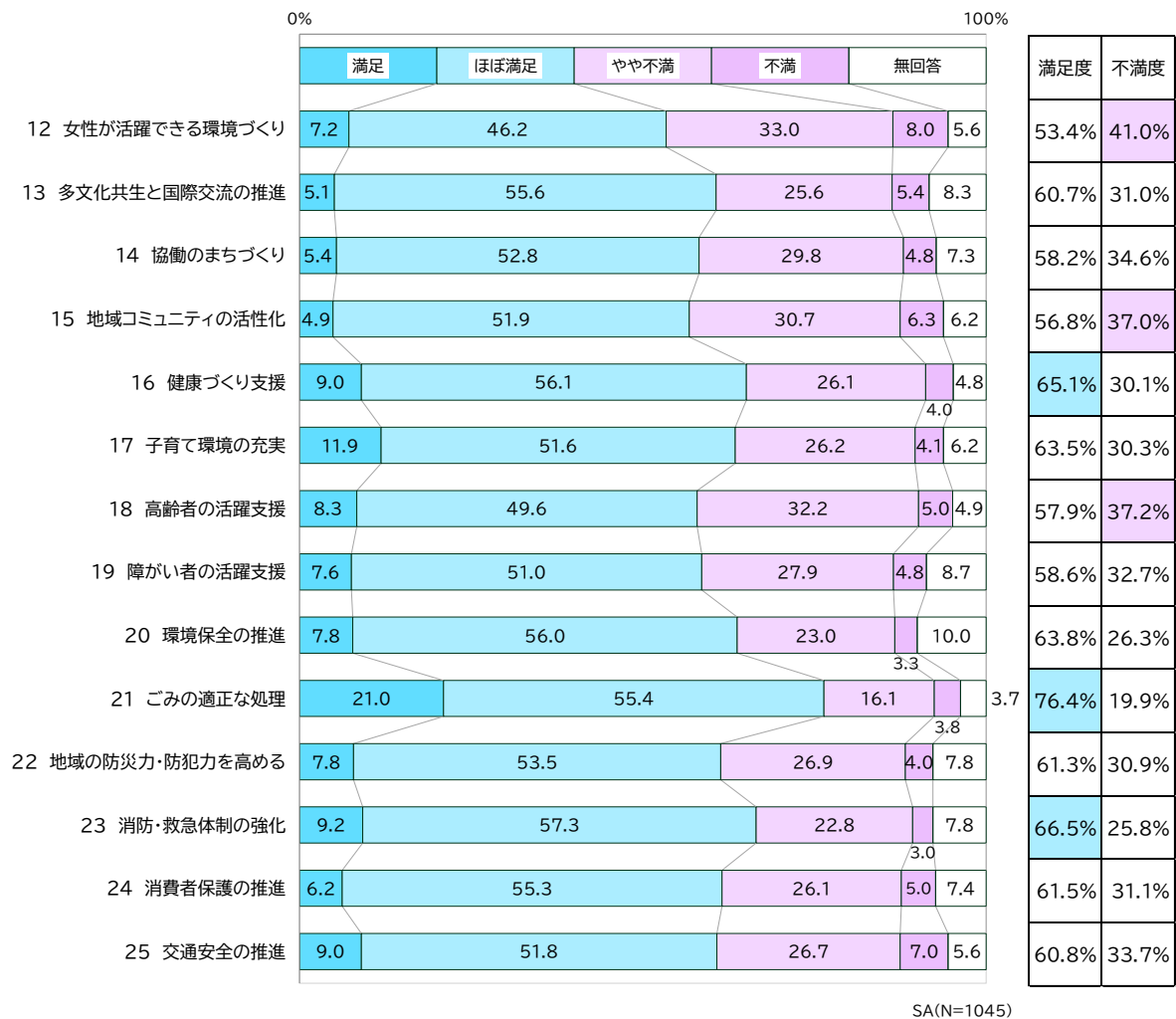
また、不満度（「不満」と「やや不満」の合計）の上位3位は、高い順に「5 公共交通機関の利便性の向上」（61.1%）、「4 移住定住の促進」（56.7%）、「2 中心市街地の活性化」（54.6%）となっている。



Ⅱ 住みよいまち

満足度の上位3位は、高い順に「21 ごみの適正な処理」(76.4%)、「23 消防・救急体制の強化」(66.5%)、「16 健康づくり支援」(65.1%)となっている。

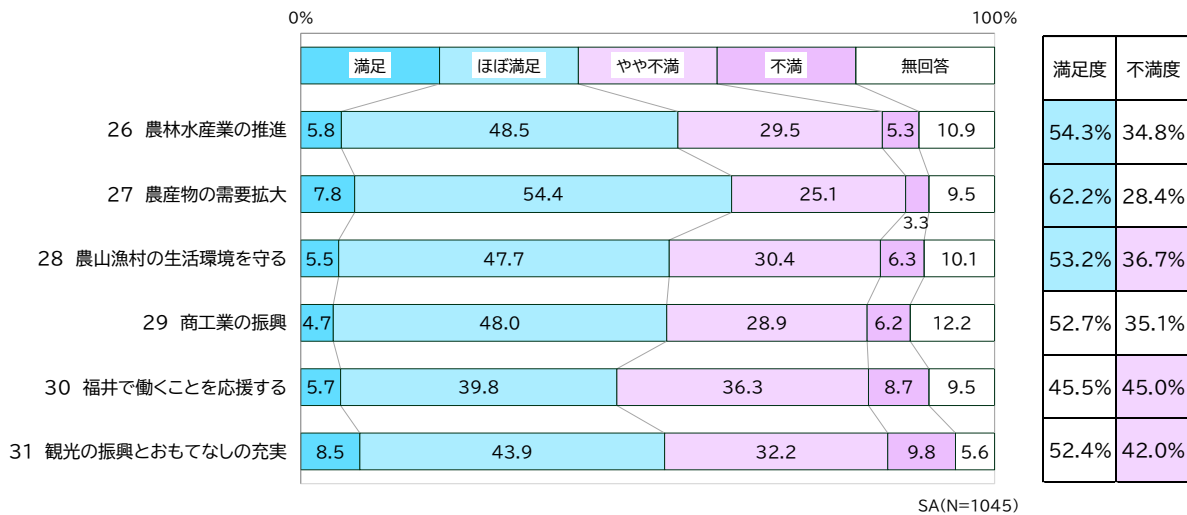
また、不満度の上位3位は、高い順に「12 女性が活躍できる環境づくり」(41.0%)、「18 高齢者の活躍支援」(37.2%)、「15 地域コミュニティの活性化」(37.0%)となっている。



Ⅲ 活き活きと働くまち

満足度の上位3位は、高い順に「27 農産物の需要拡大」(62.2%)、「26 農林水産業の推進」(54.3%)、「28 農山漁村の生活環境を守る」(53.2%)となっている。

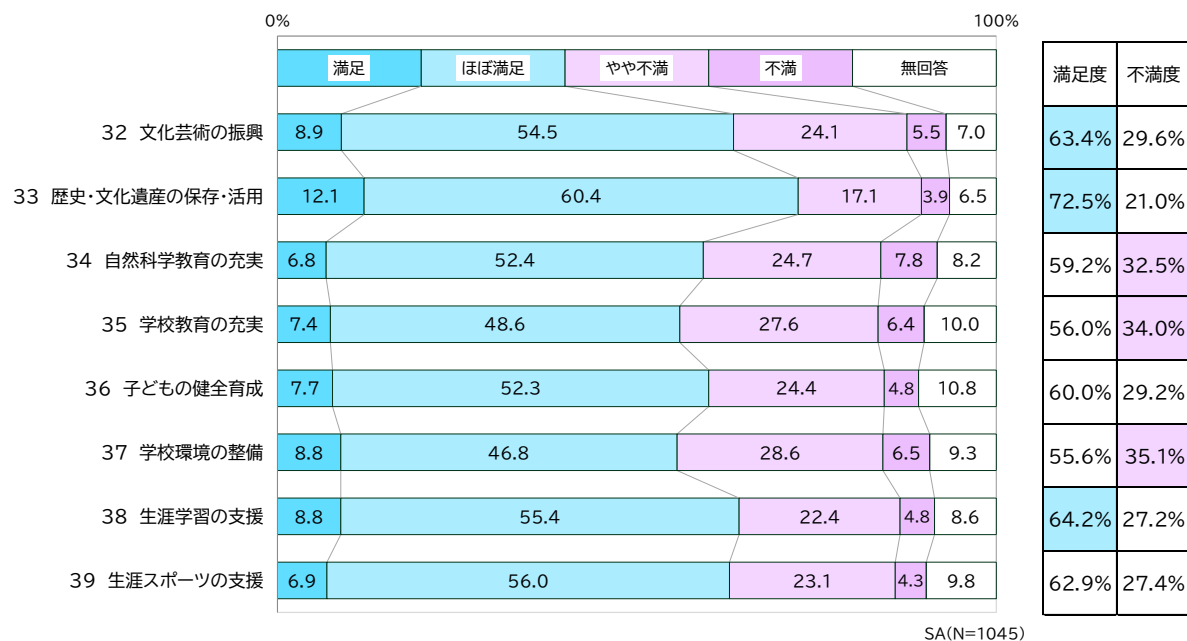
また、不満度の上位3位は、高い順に「30 福井で働くことを応援する」(45.0%)、「31 観光の振興とおもてなしの充実」(42.0%)、「28 農山漁村の生活環境を守る」(36.7%)となっている。



Ⅳ 学び成長するまち

満足度の上位3位は、高い順に「33 歴史・文化遺産の保存・活用」(72.5%)、「38 生涯学習の支援」(64.2%)、「32 文化芸術の振興」(63.4%)となっている。

また、不満度の上位3位は、高い順に「37 学校環境の整備」(35.1%)、「35 学校教育の充実」(34.0%)、「34 自然科学教育の充実」(32.5%)となっている。

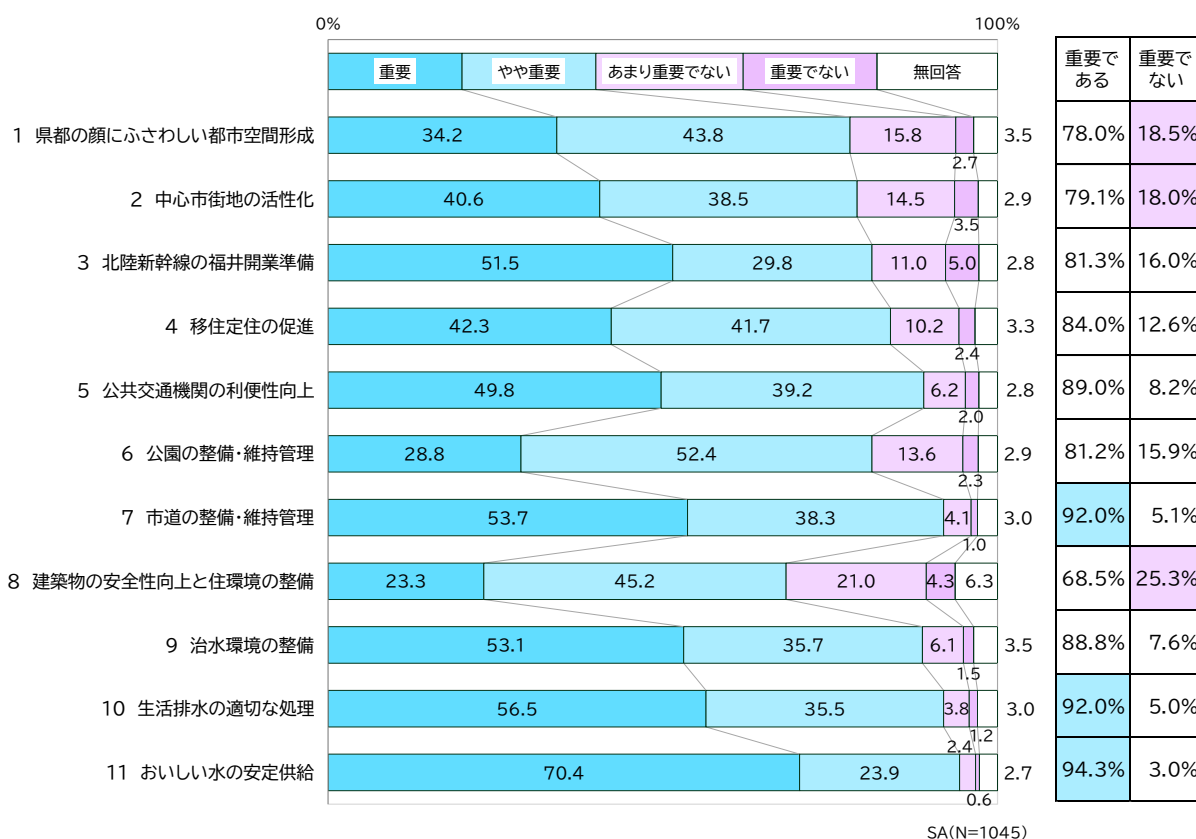


施策の重要度

I 快適に暮らすまち

「重要である」（「重要」と「やや重要」の合計）の上位3位は、高い順に「11 おいしい水の安定供給」（94.3%）、「10 生活排水の適切な処理」（92.0%）、「7 市道の整備・維持管理」（92.0%）となっている。

また「重要でない」（「あまり重要でない」と「重要でない」の合計）の上位3位は、高い順に「8 建築物の安全性向上と住環境の整備」（25.3%）、「1 県都の顔にふさわしい都市空間形成」（18.5%）、「2 中心市街地の活性化」（18.0%）となっている。

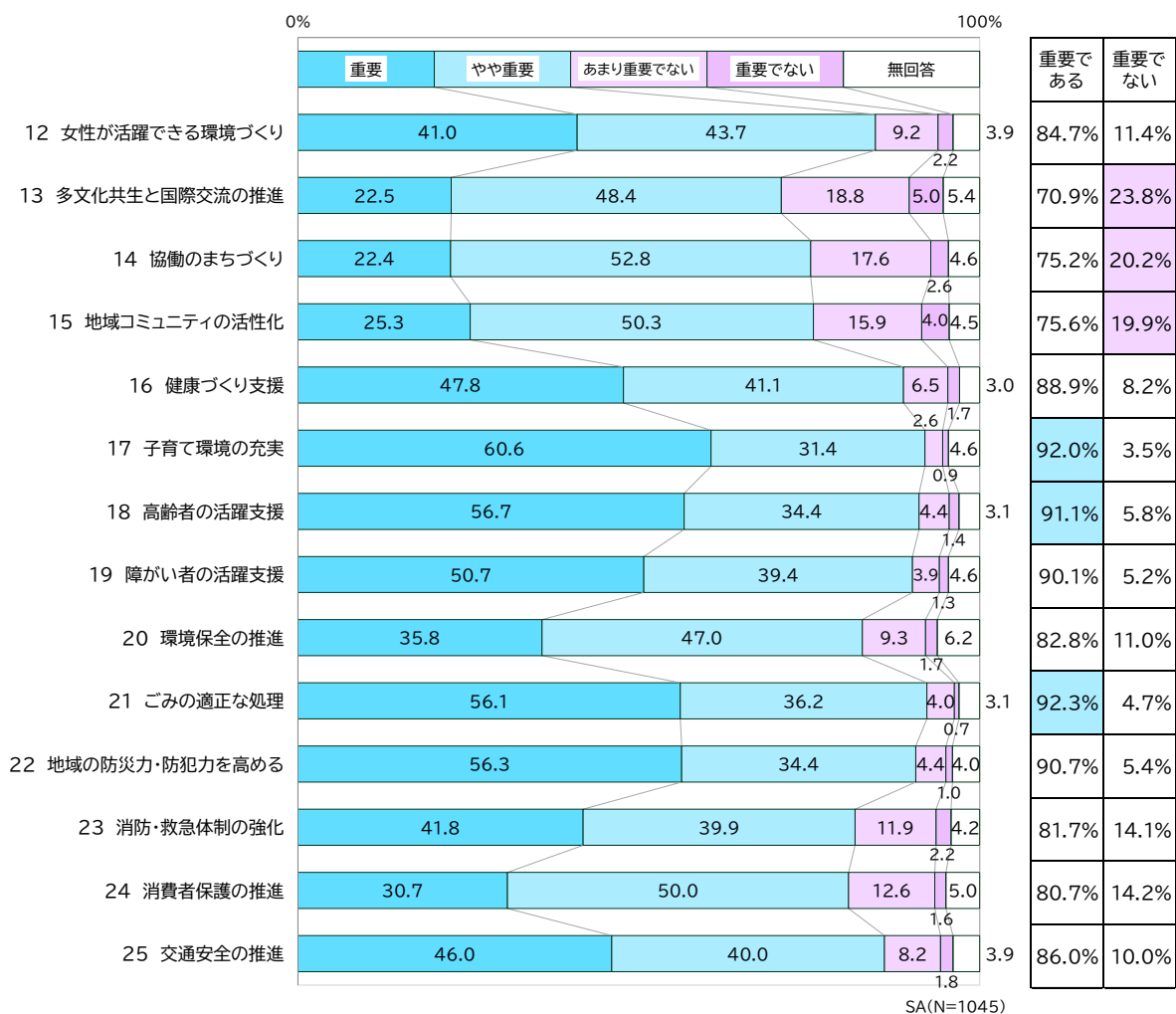


※「10 生活排水の適切な処理」、「7 市道の整備・維持管理」は、「重要」の割合が高い方を「重要である」の上位とした。

Ⅱ 住みよいまち

「重要である」の上位3位は、高い順に「21 ごみの適正な処理」(92.3%)、「17 子育て環境の充実」(92.0%)、「18 高齢者の活躍支援」(91.1%)となっている。

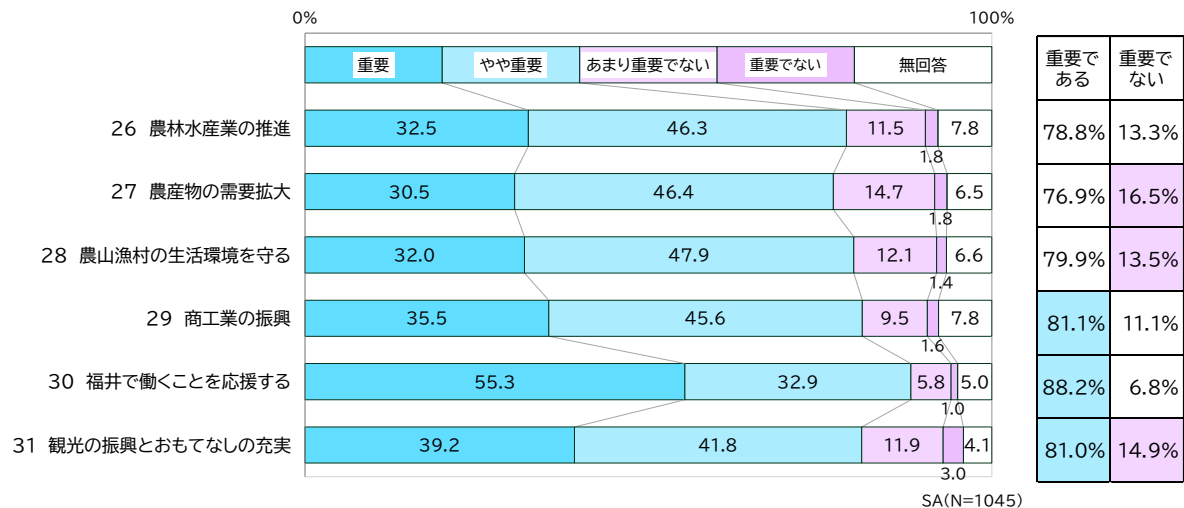
また「重要でない」の上位3位は、高い順に「13 多文化共生と国際交流の推進」(23.8%)、「14 協働のまちづくり」(20.2%)、「15 地域コミュニティの活性化」(19.9%)となっている。



Ⅲ 生き生きと働くまち

「重要である」の上位3位は、高い順に「30 福井で働くことを応援する」(88.2%)、「29 商工業の振興」(81.1%)、「31 観光の振興とおもてなしの充実」(81.0%)となっている。

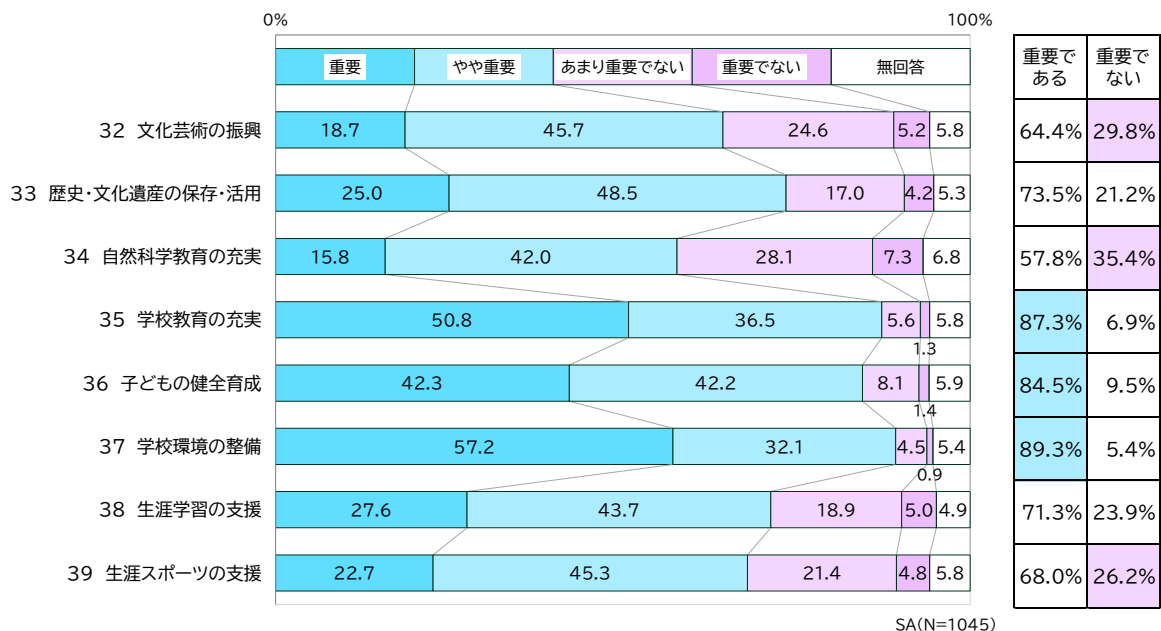
また「重要でない」の上位3位は、高い順に「27 農産物の需要拡大」(16.5%)、「31 観光の振興とおもてなしの充実」(14.9%)、「28 農山漁村の生活環境を守る」(13.5%)となっている。



Ⅳ 学び成長するまち

「重要である」の上位3位は、高い順に「37 学校環境の整備」(89.3%)、「35 学校教育の充実」(87.3%)、「36 子どもの健全育成」(84.5%)となっている。

また「重要でない」の上位3位は、高い順に「34 自然科学教育の充実」(35.4%)、「32 文化芸術の振興」(29.8%)、「39 生涯スポーツの支援」(26.2%)となっている。



満足度、不満度、「重要である」及び「重要でない」それぞれ上位3位までの施策の集計分析結果

以下のカテゴリーごとに、満足度、不満度、「重要である」及び「重要でない」それぞれ上位3位までの施策の集計分析結果を掲載している。

- I 快適に暮らすまち
- II 住みよいまち
- III 生き活きと働くまち
- IV 学び成長するまち

また、平成30年度の調査結果、本調査の性別、年齢別、地区別について、それぞれ統計的に有意差※があるものについてコメントを掲載している。

※本調査では、有意差検定にカイ2乗検定を用い、有意水準を5%としている。有意差があるものについては、その差異が偶然に発生する確率が5%以下であることを表す。

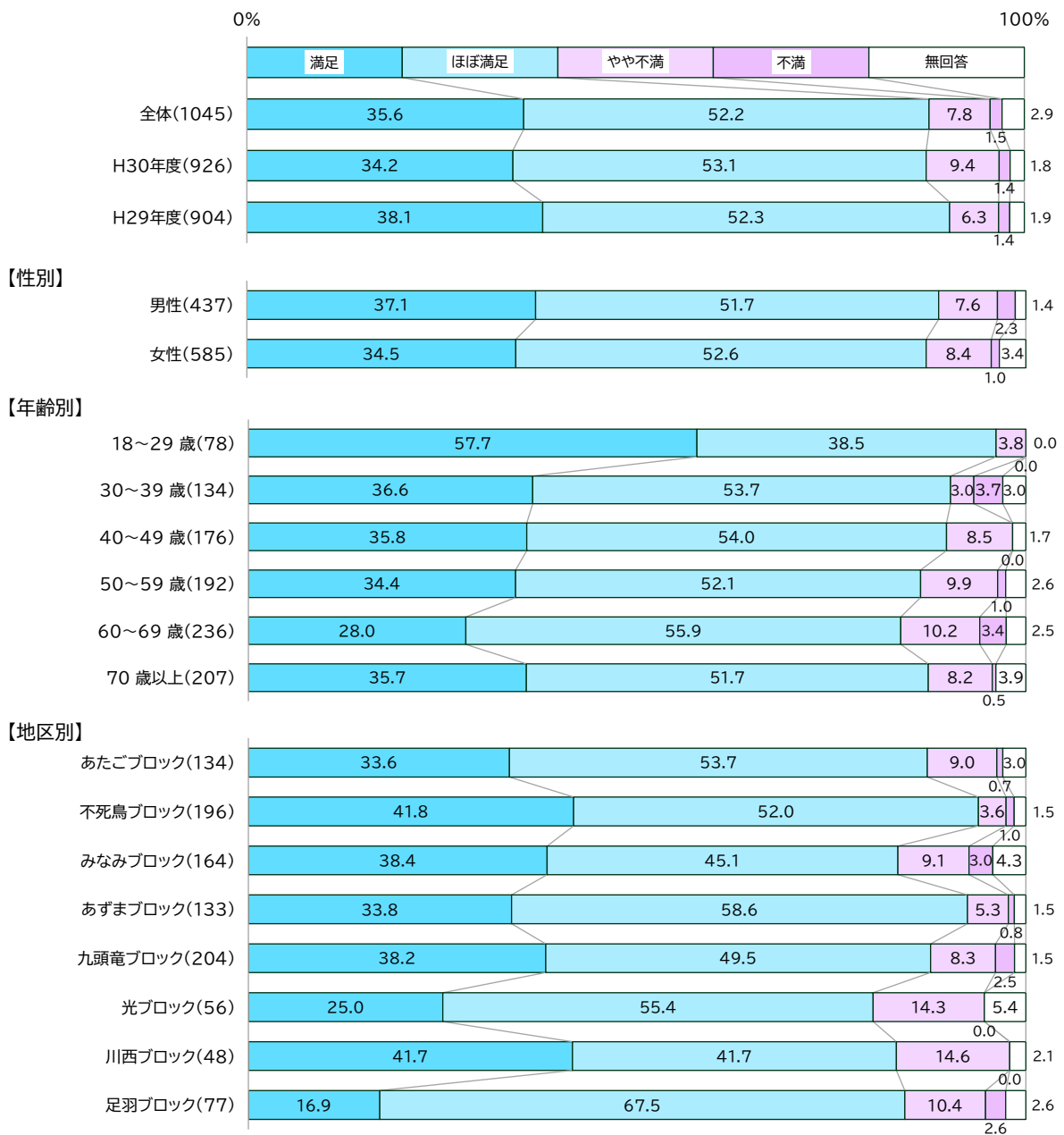
I 快適に暮らすまち 満足度 1 位

1 1 おいしい水の安定供給

「18～29 歳」と「不死鳥ブロック」が高い

満足度は 87.8%、不満度は 9.3%と、満足度が不満度より 78.5 ポイント高くなっている。

年齢別に見ると、満足度は、18～29 歳（96.2%）が最も高く、60～69 歳（83.9%）が最も低くなっている。地区別では、満足度は、不死鳥ブロック（93.8%）が最も高い。

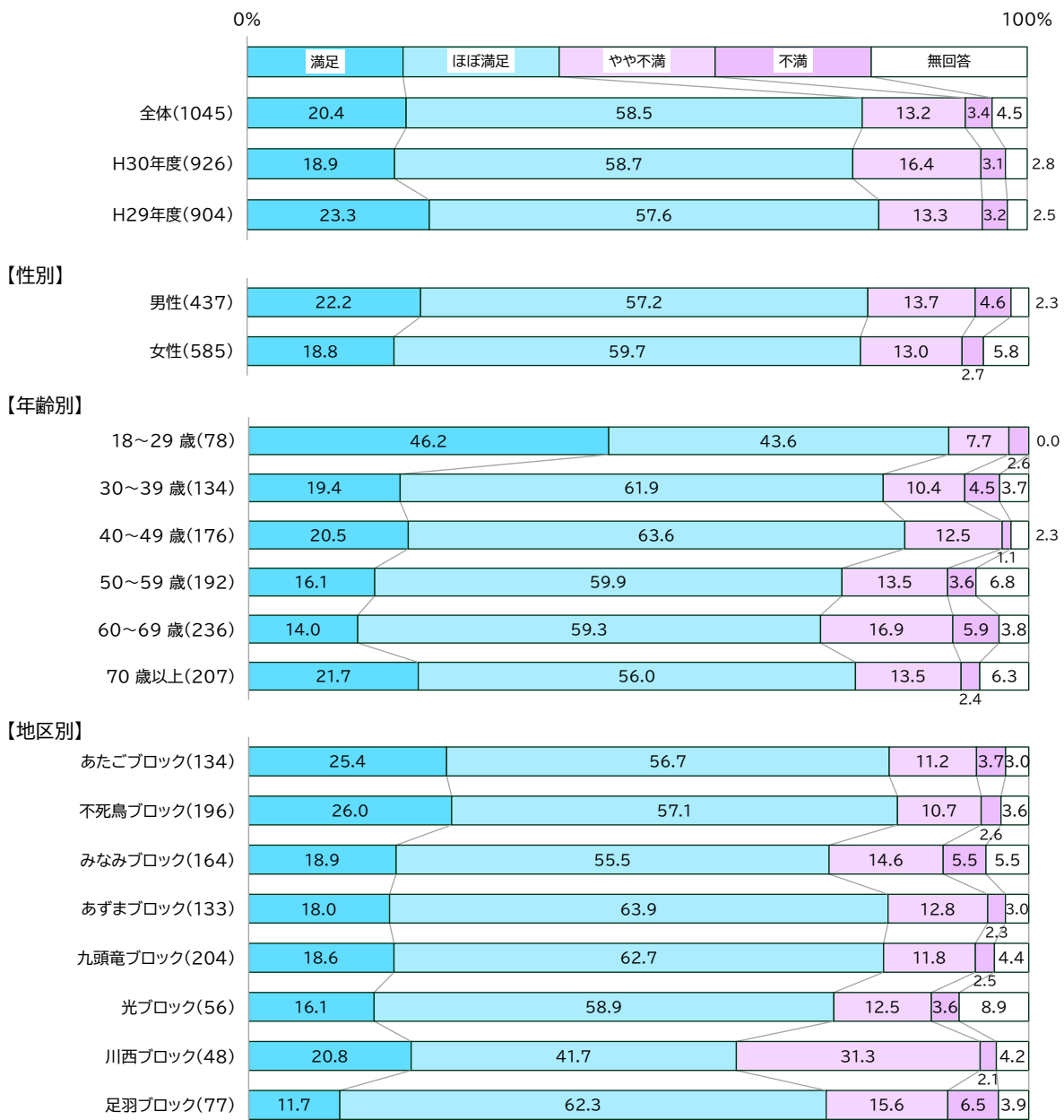


I 快適に暮らすまち 満足度2位

10 生活排水の適切な処理

「18～29 歳」が高い

満足度は 78.9%、不満度は 16.6%と、満足度が不満度より 62.3 ポイント高くなっている。
年齢別に見ると、満足度は、18～29 歳（89.8%）が最も高く、60～69 歳（73.3%）が最も低くなっている。地区別では、満足度は、川西ブロック（62.5%）が最も低い。

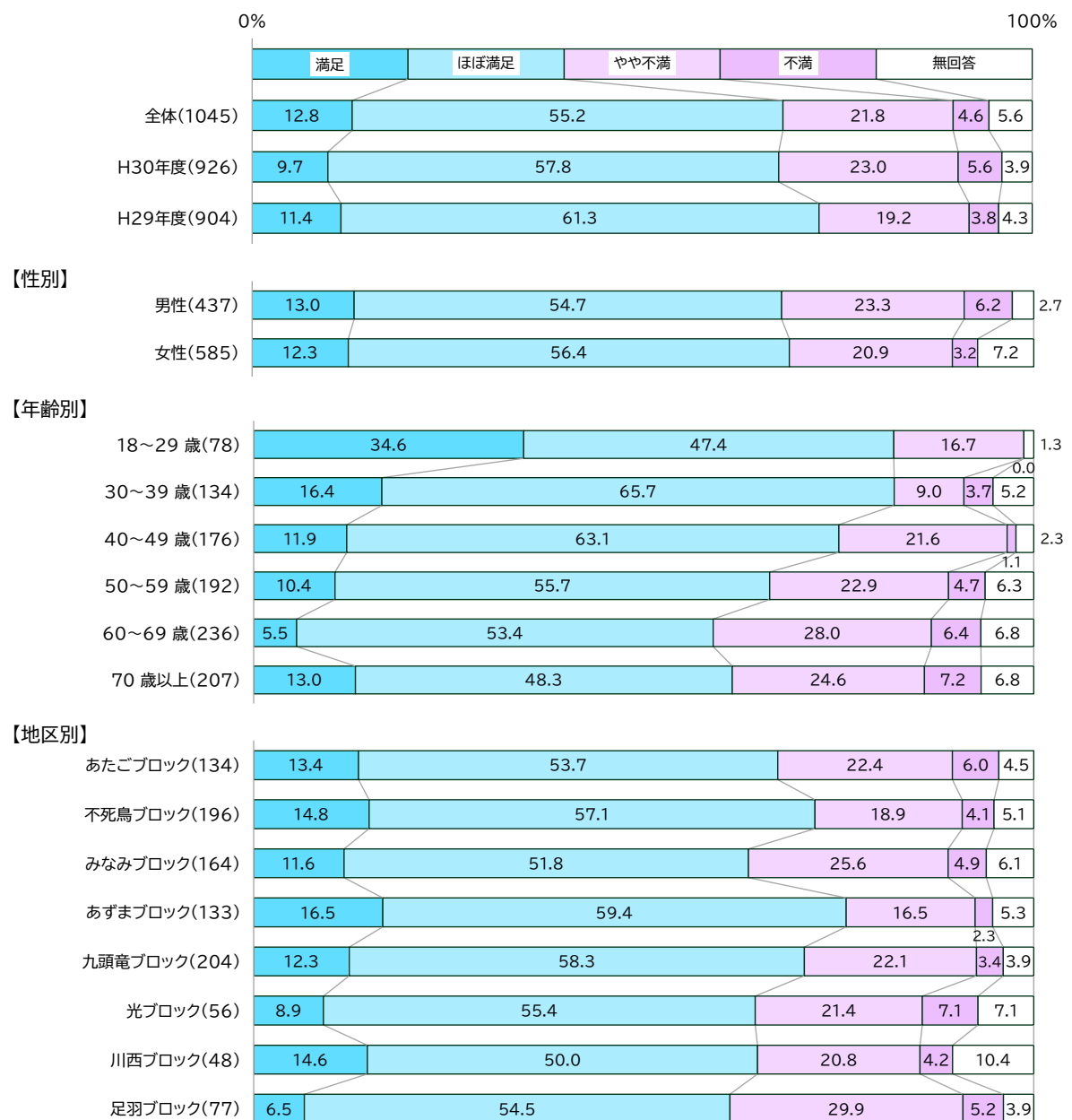


I 快適に暮らすまち 満足度3位

9 治水環境の整備

「30～39 歳」「18～29 歳」と「あずまブロック」の満足度が高い

満足度は 68.0%、不満度は 26.4%と、満足度が不満度より 41.6 ポイント高くなっている。
年齢別に見ると、満足度は、30～39 歳（82.1%）と 18～29 歳（82.0%）の若い世代で高くなっている。地区別では、満足度は、あずまブロック（75.9%）が最も高い。

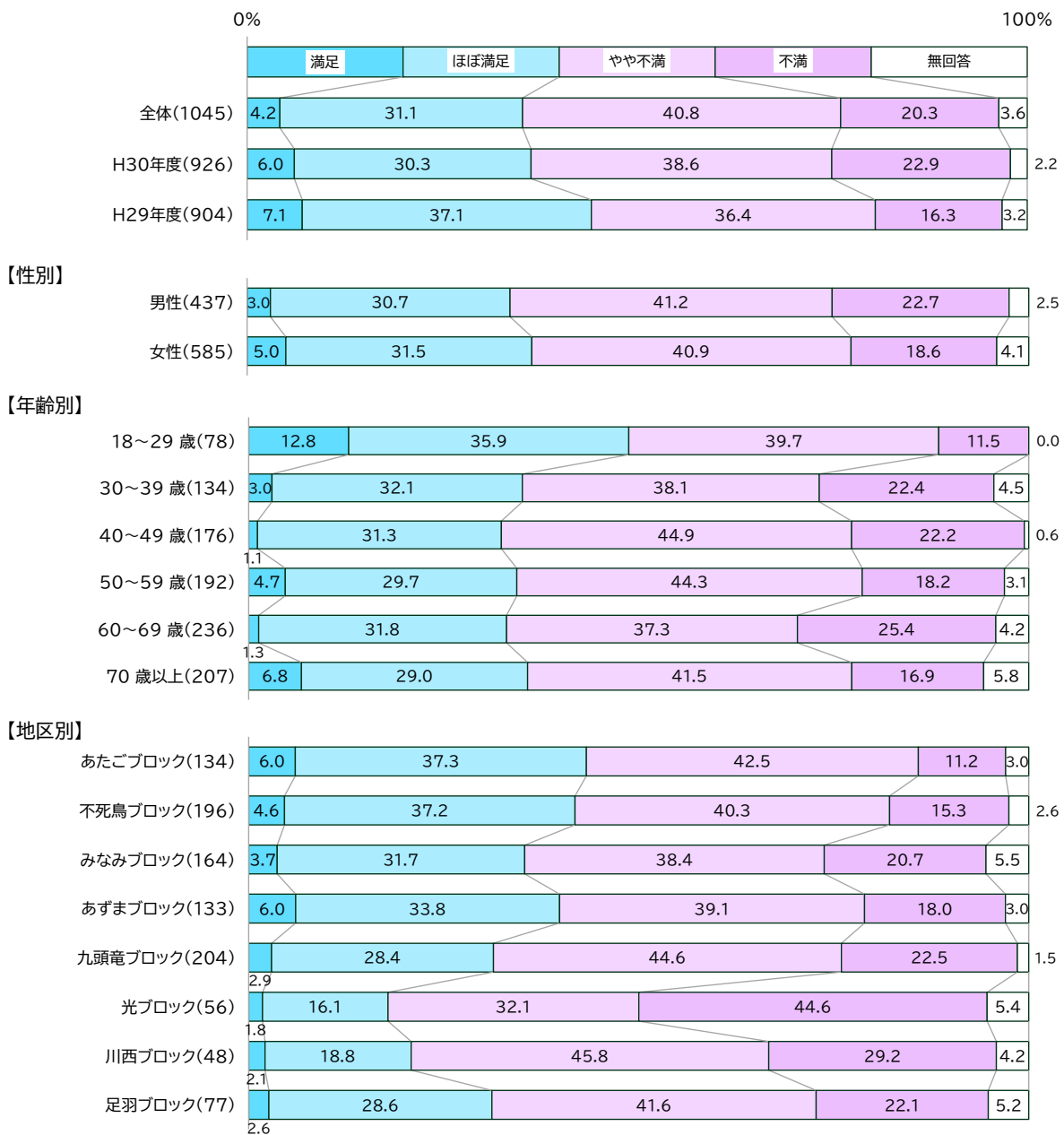


I 快適に暮らすまち 不満度 1 位

5 公共交通機関の利便性向上

「光ブロック」「川西ブロック」「九頭竜ブロック」の不満度が高い

満足度は 35.3%、不満度は 61.1%と、不満度が満足度より 25.8 ポイント高くなっている。
地区別では、不満度は、光ブロック（76.7%）と川西ブロック（75.0%）と九頭竜ブロック（67.1%）が他の地区より高くなっている。

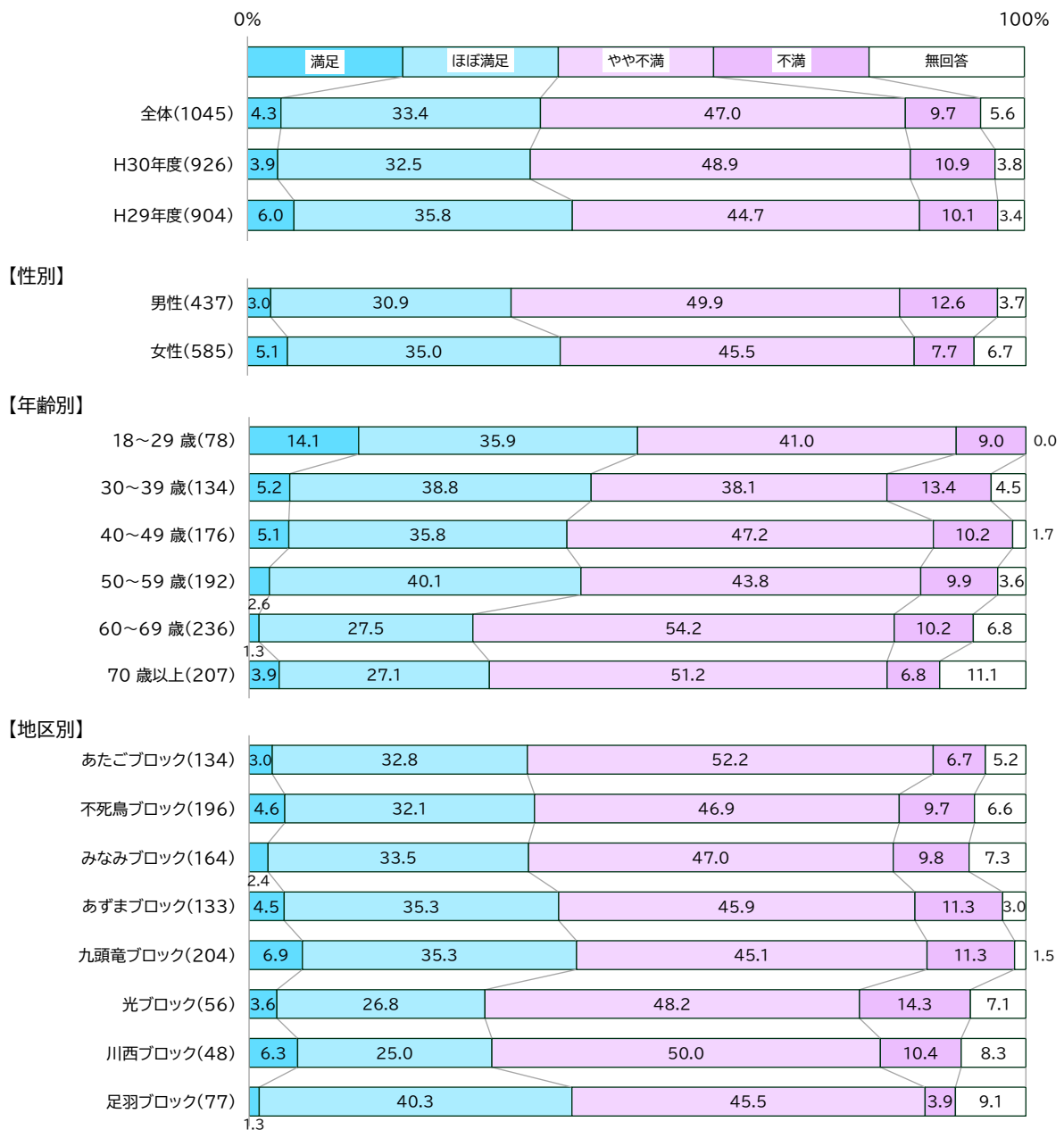


I 快適に暮らすまち 不満度2位

4 移住定住の促進

「男性」と「60～69 歳」の不満度が高い

満足度は 37.7%、不満度は 56.7%と、不満度が満足度より 19.0 ポイント高くなっている。
性別では、不満度は、男性（62.5%）が女性（53.2%）より 9.3 ポイント高い。年齢別に見ると、不満度は、60～69 歳（64.4%）が最も高くなっている。

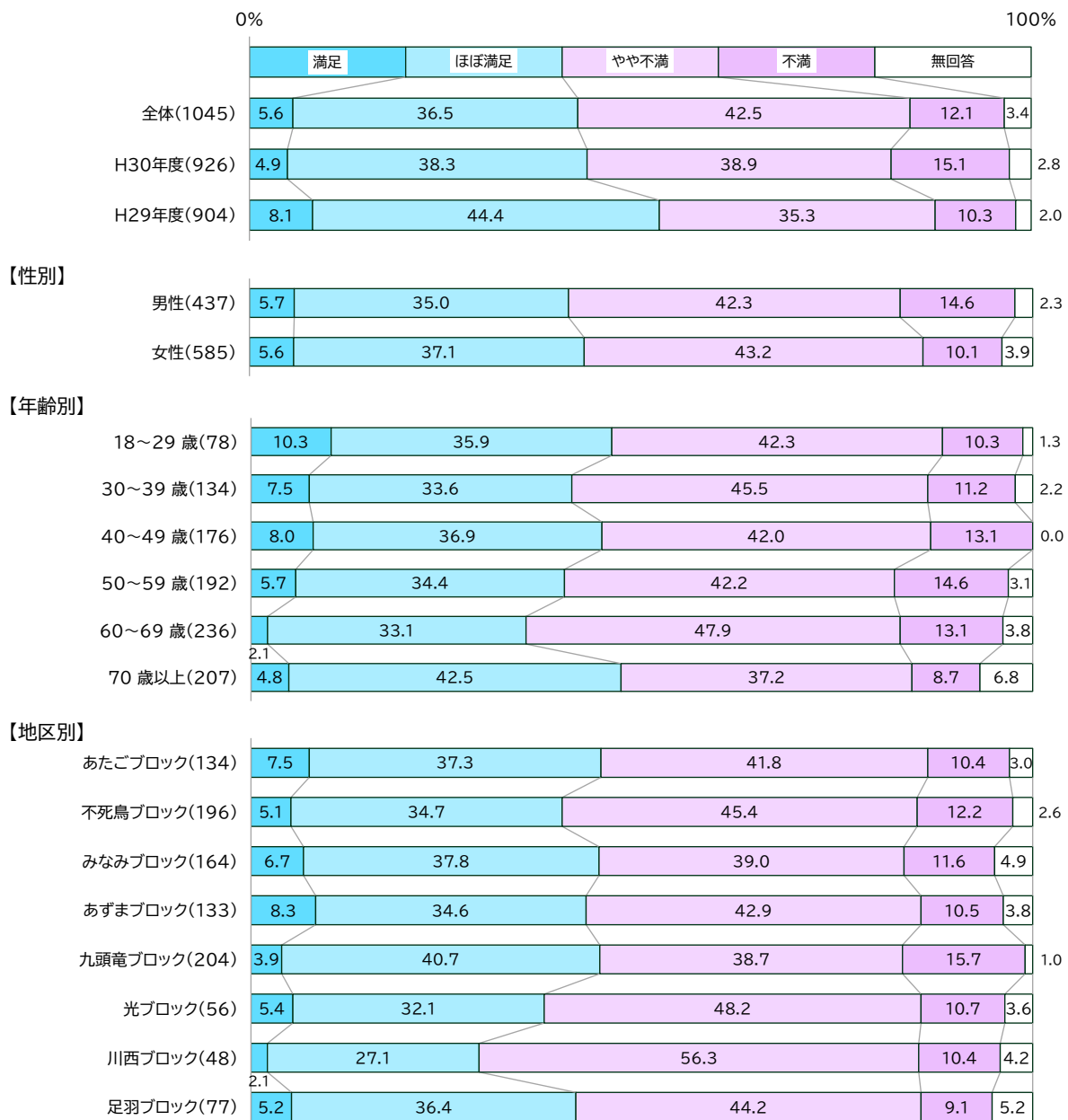


I 快適に暮らすまち 不満度3位

2 中心市街地の活性化

「60～69 歳」の不満度が高い

満足度は 42.1%、不満度は 54.6%と、不満度が満足度より 12.5 ポイント高くなっている。
年齢別に見ると、不満度は、60～69 歳（61.0%）が最も高く、70 歳以上（45.9%）が最も低くなっている。



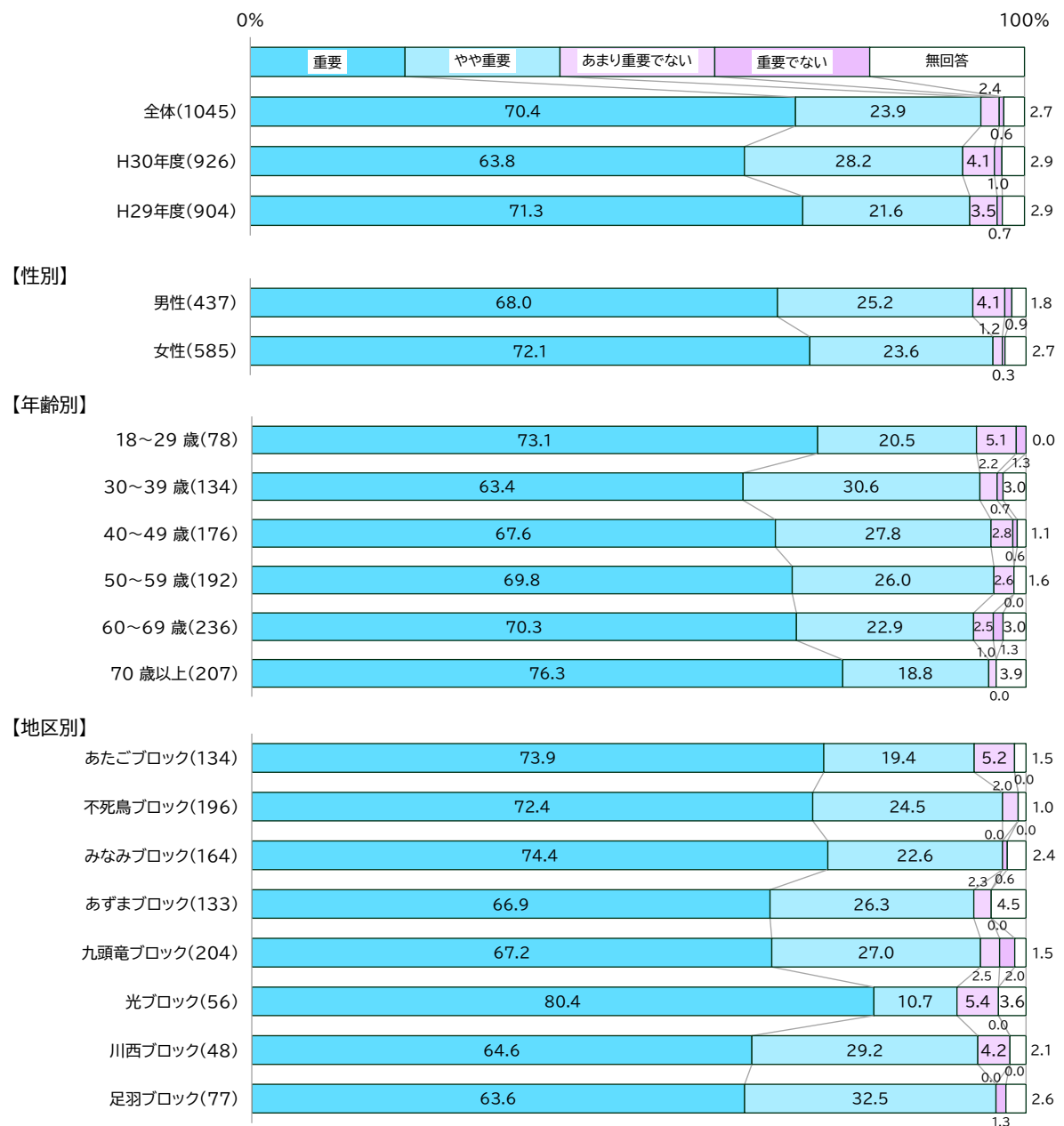
I 快適に暮らすまち 「重要である」 1 位

1 1 おいしい水の安定供給

全体的に「重要である」は高い

「重要である」は 94.3%、「重要でない」は 3.0%と、「重要である」が「重要でない」より 91.3 ポイント高くなっている。「重要である」は、平成 30 年度の調査（92.0%）と比べて、2.3 ポイント高くなっている。

全体的に「重要である」の割合は高い。



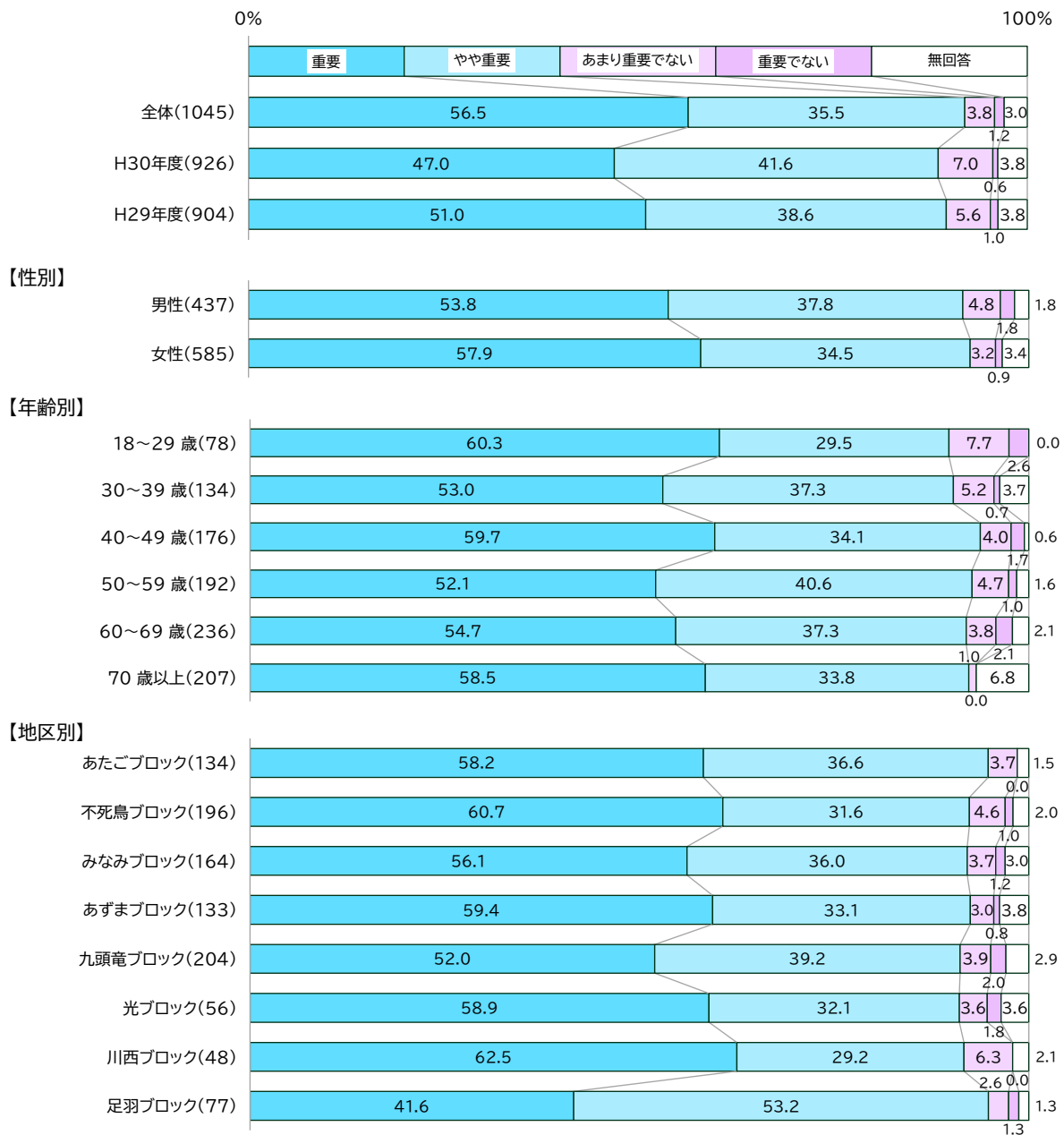
I 快適に暮らすまち 「重要である」 2 位

10 生活排水の適切な処理

全体的に「重要である」は高い

「重要である」は 92.0%、「重要でない」は 5.0%と、「重要である」が「重要でない」より 87.0 ポイント高くなっている。「重要である」は、平成 30 年度の調査（88.6%）と比べて、3.4 ポイント高くなっている。

全体的に「重要である」は高い。



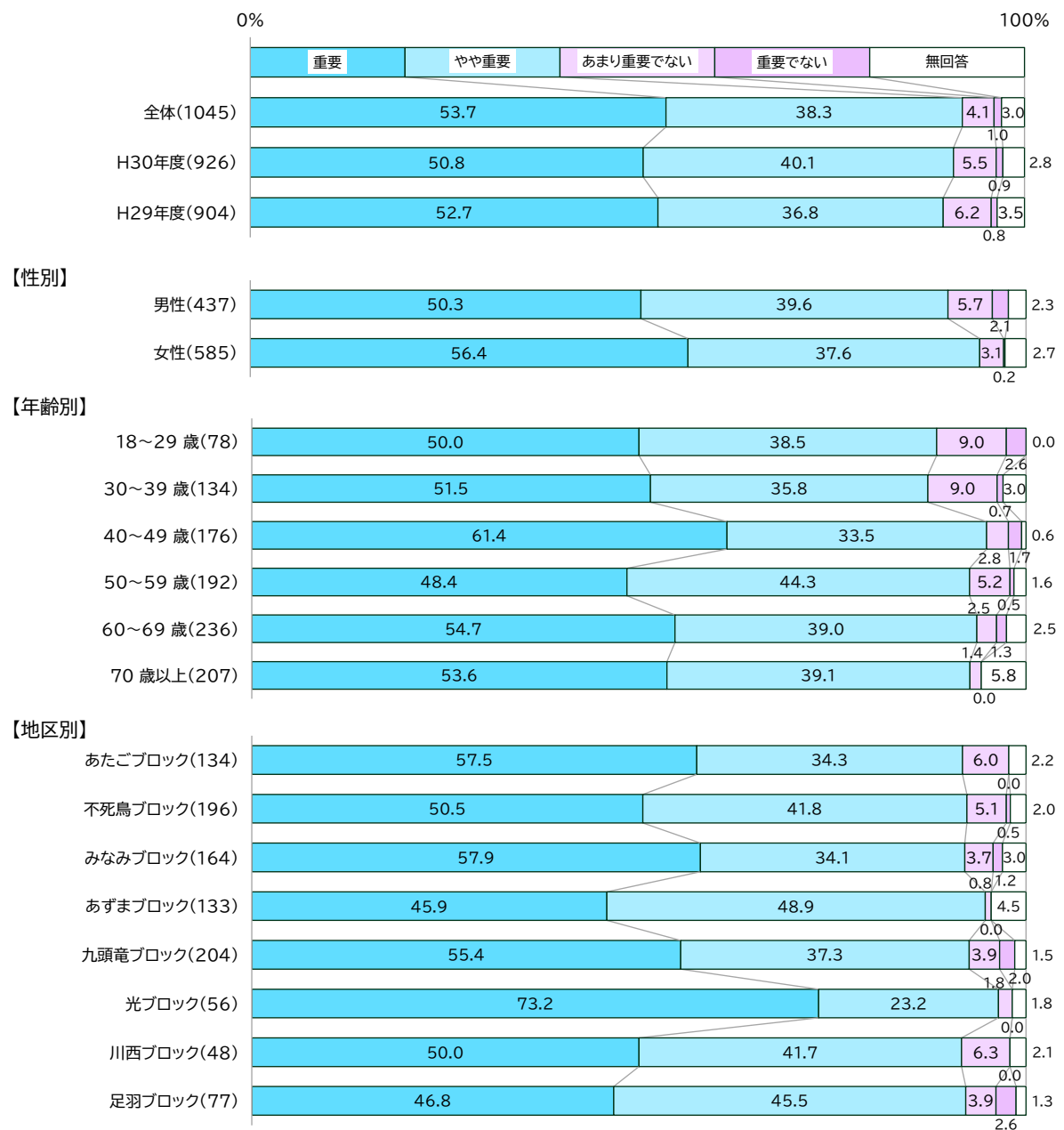
I 快適に暮らすまち 「重要である」 3位

7 市道の整備・維持管理

「女性」の「重要である」が高い

「重要である」は92.0%、「重要でない」は5.1%と、「重要である」が「重要でない」より86.9ポイント高くなっている。

性別では、「重要である」は、女性（94.0%）が男性（89.9%）より4.1ポイント高い。年齢別に見ると、「重要である」は、30～39歳（87.3%）が最も低くなっている。



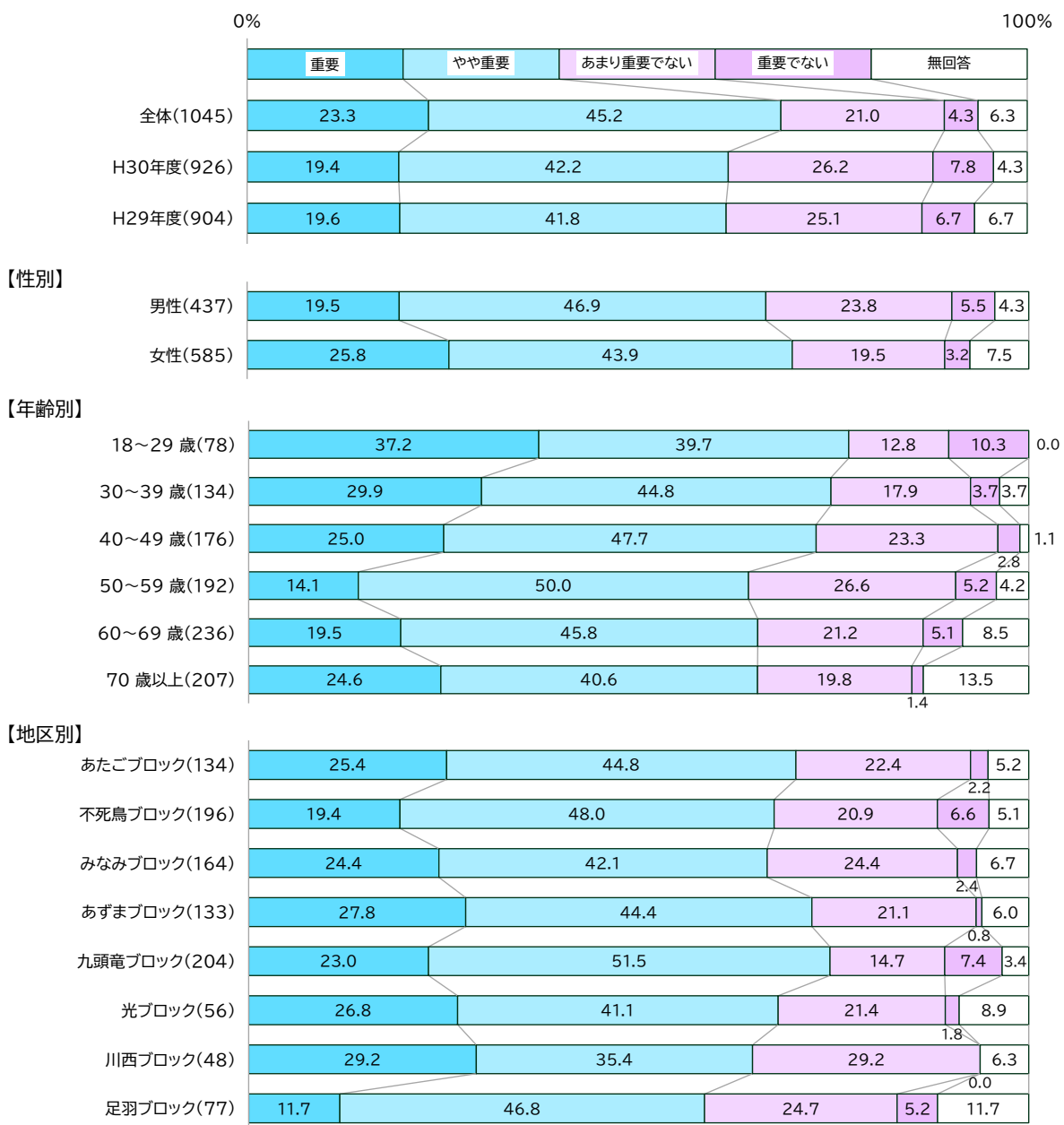
I 快適に暮らすまち 「重要でない」 1 位

8 建築物の安全性向上と住環境の整備

「男性」と「50～59 歳」の「重要でない」が高い

「重要である」は 68.5%、「重要でない」は 25.3%と、「重要である」が「重要でない」より 43.2 ポイント高くなっている。「重要でない」は、平成 30 年度の調査（34.0%）と比べて、8.7 ポイント低くなっている。

性別では、「重要でない」は、男性（29.3%）が女性（22.7%）より 6.6 ポイント高い。年齢別に見ると、「重要でない」は、50～59 歳（31.8%）が最も高くなっている。



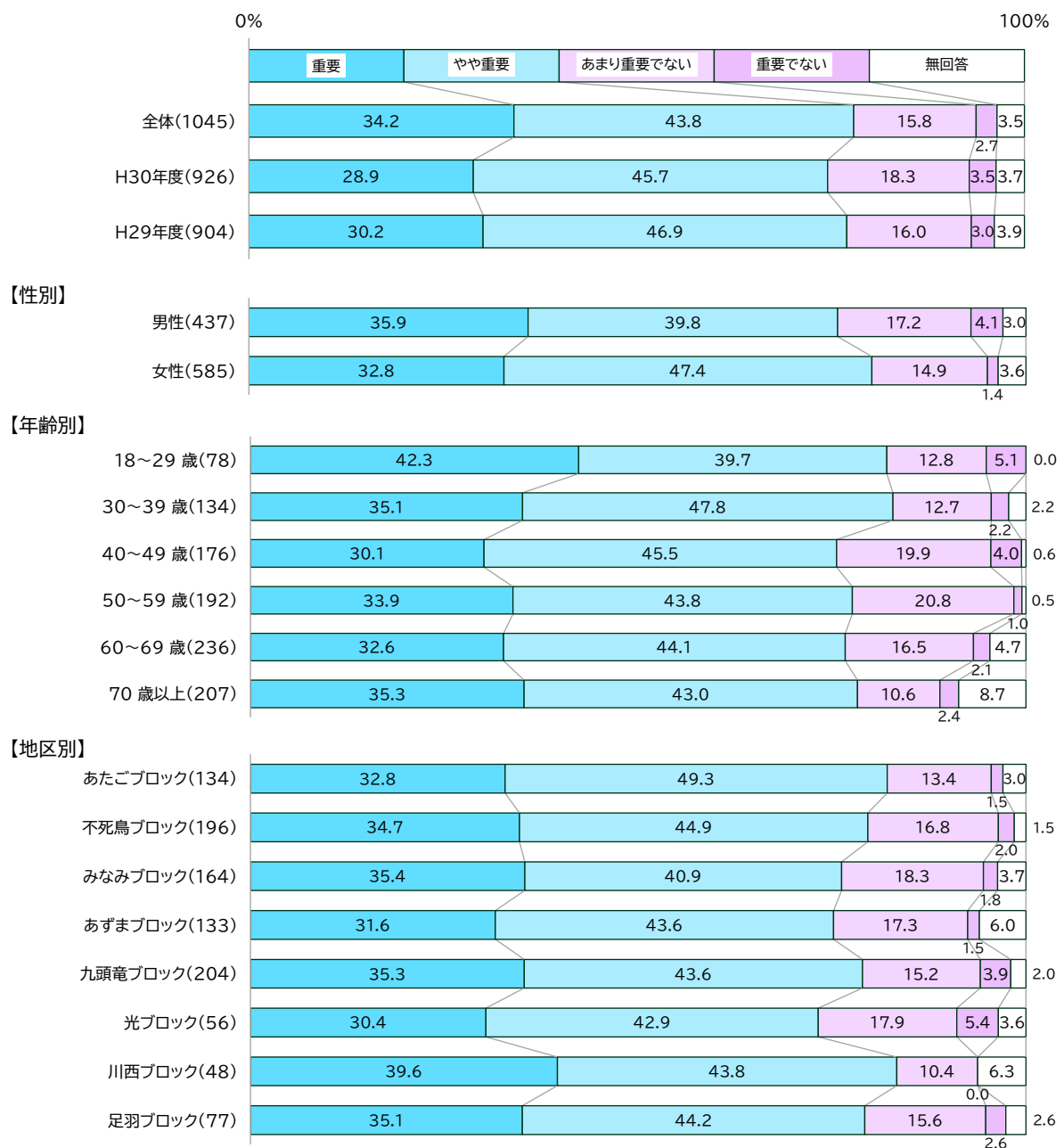
I 快適に暮らすまち 「重要でない」 2位

1 県都の顔にふさわしい都市空間形成

「男性」と「40～49 歳」の「重要でない」が高い

「重要である」は 78.0%、「重要でない」は 18.5%と、「重要である」が「重要でない」より 59.5 ポイント高くなっている。

性別では、「重要でない」は、男性（21.3%）が女性（16.3%）より 5.0 ポイント高い。年齢別に見ると、「重要でない」は、40～49 歳（23.9%）が最も高く、70 歳以上（13.0%）が最も低くなっている。



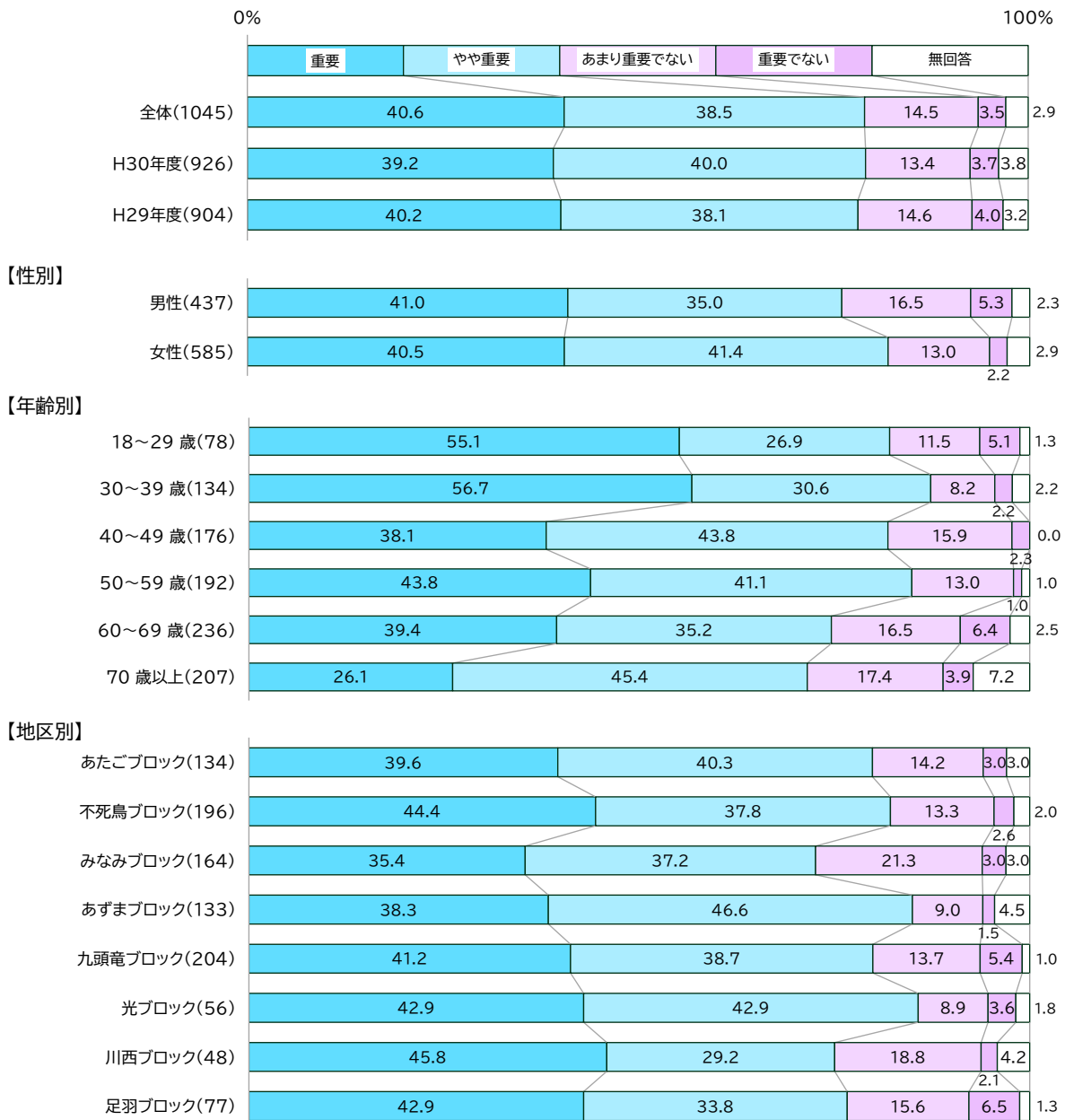
I 快適に暮らすまち 「重要でない」 3位

2 中心市街地の活性化

「男性」と「60～69 歳以上」と「みなみブロック」で「重要でない」が高い

「重要である」は 79.1%、「重要でない」は 18.0%と、「重要である」が「重要でない」より 61.1 ポイント高くなっている。

性別では、「重要でない」は、男性（21.8%）が女性（15.2%）より 6.6 ポイント高い。年齢別に見ると、「重要でない」は、60～69 歳（22.9%）が最も高く、30 歳～39 歳（10.4%）が最も低くなっている。地区別では、「重要でない」は、みなみブロック（24.3%）が最も高く、あずまブロック（10.5%）が最も低い。

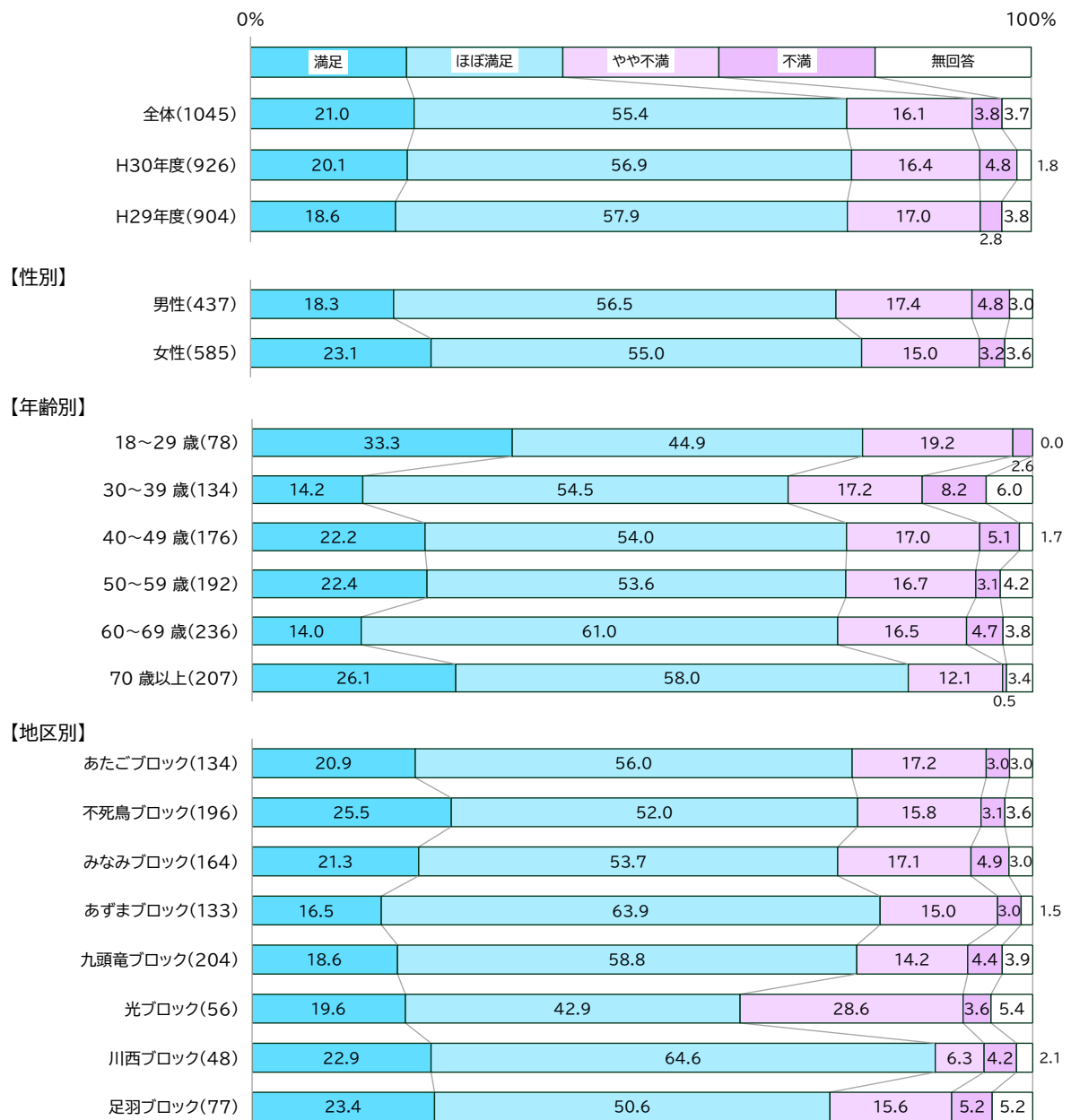


Ⅱ 住みよいまち 満足度1位

2.1 ごみの適正な処理

「70歳以上」の満足度が高い

満足度は76.4%、不満度は19.9%と、満足度が不満度より56.5ポイント高くなっている。
年齢別に見ると、満足度は、70歳以上（84.1%）が最も高く、30～39歳（68.7%）が最も低くなっている。地区別では、満足度は光ブロック（62.5%）が最も低い。

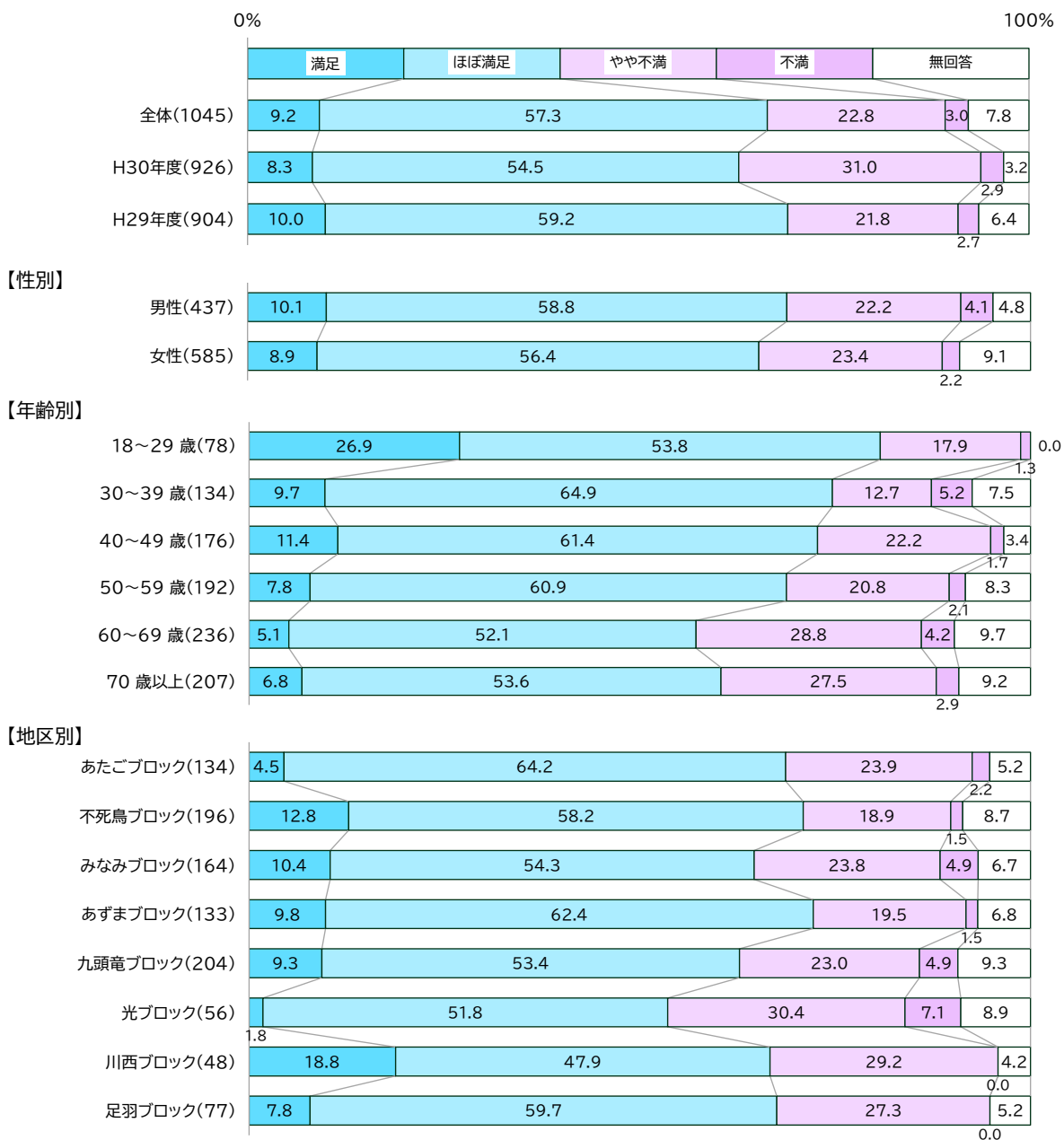


Ⅱ 住みよいまち 満足度2位

23 消防・救急体制の強化

「18～29 歳」「30～39 歳」の満足度が高い

満足度は 66.5%、不満度は 25.8%と、満足度が不満度より 40.7 ポイント高くなっている。
年齢別に見ると、満足度は、18～29 歳（80.7%）と 30～39 歳（74.6%）が高く、60～69 歳（57.2%）と 70 歳以上（60.4%）が低くなっている。地区別では、満足度は、光ブロック（53.6%）が最も低い。

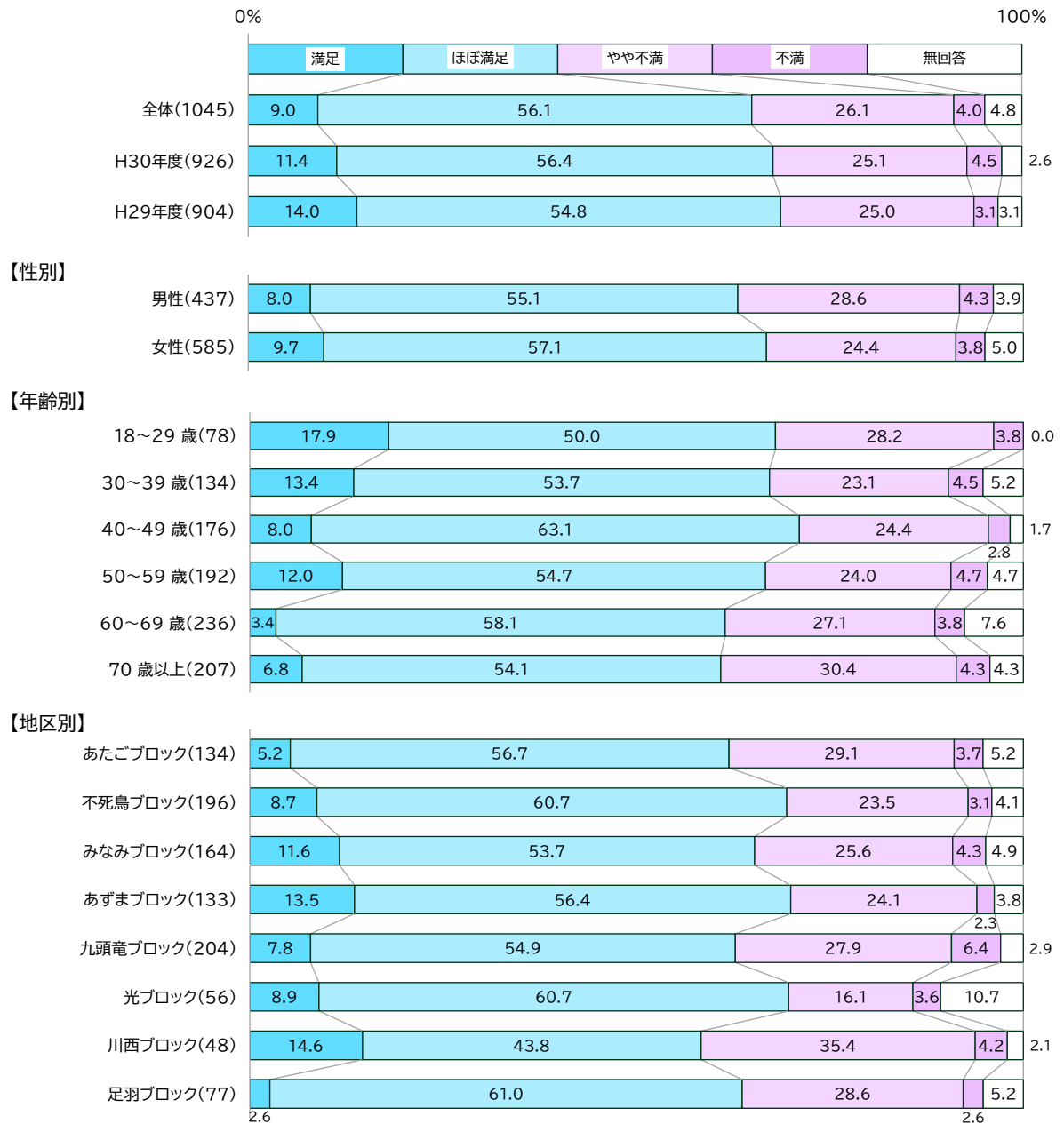


Ⅱ 住みよいまち 満足度3位

16 健康づくり支援

全体的に高い満足度

満足度は65.1%、不満度は30.1%と、満足度が不満度より35.0ポイント高くなっている。
全体的に満足度は高い。



Ⅱ 住みよいまち 不満度 1 位

1 2 女性が活躍できる環境づくり

「60～69 歳」の不満度が高い

満足度は 53.4%、不満度は 41.0%と、満足度が不満度より 12.4 ポイント高くなっている。
年齢別に見ると、不満度は、60～69 歳（50.0%）が他の年代より 10.2～16.7 ポイント高くなっている。地区別では、不満度は、あずまブロック（28.6%）が最も低い。

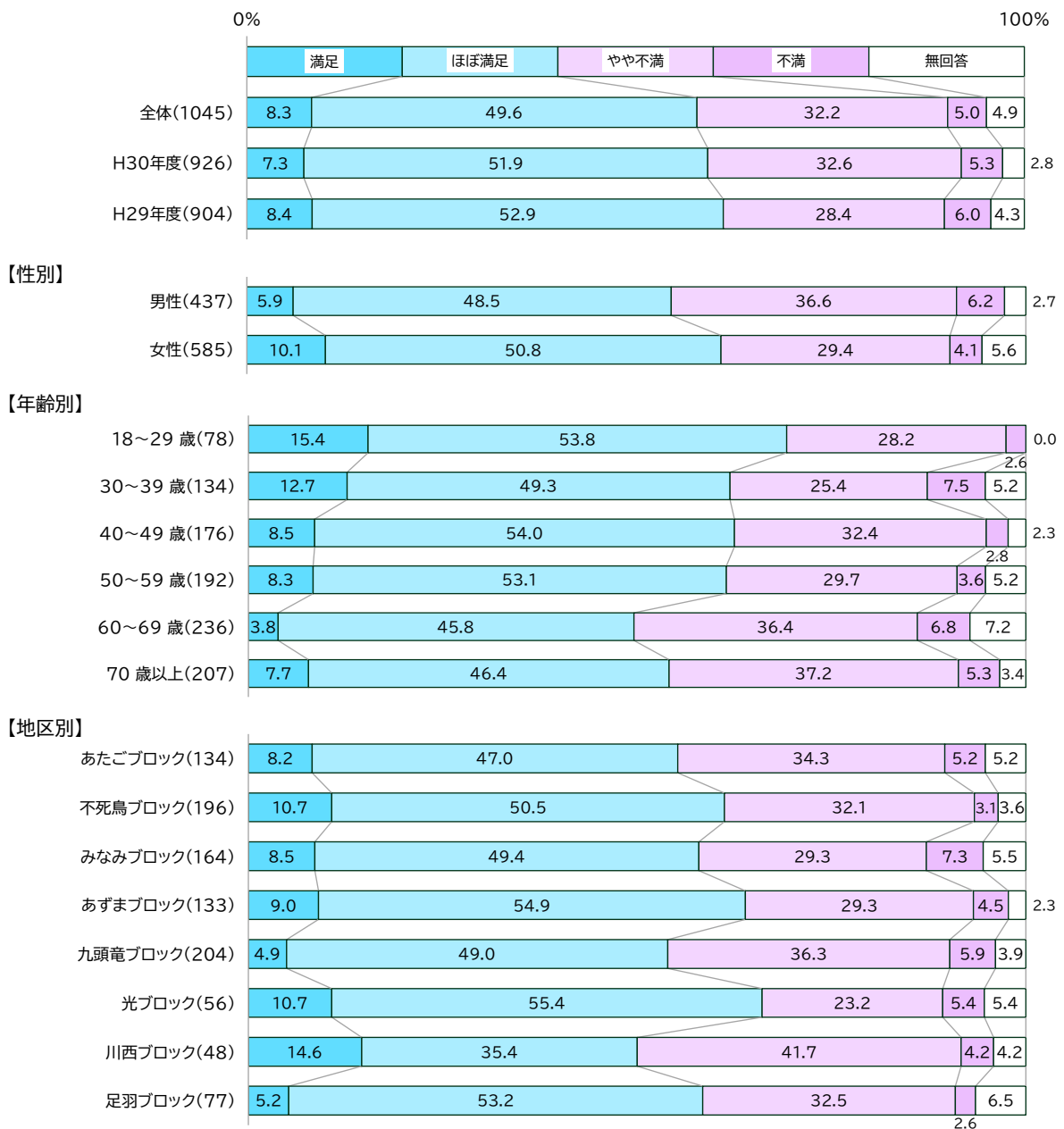


Ⅱ 住みよいまち 不満度2位

18 高齢者の活躍支援

「男性」と「60～69 歳」の不満度が高い

満足度は 57.9%、不満度は 37.2%と、満足度が不満度より 20.7 ポイント高くなっている。
性別では、不満度は、男性（42.8%）が女性（33.5%）より 9.3 ポイント高い。年齢別に見ると、不満度は、60～69 歳（43.2%）が最も高くなっている。

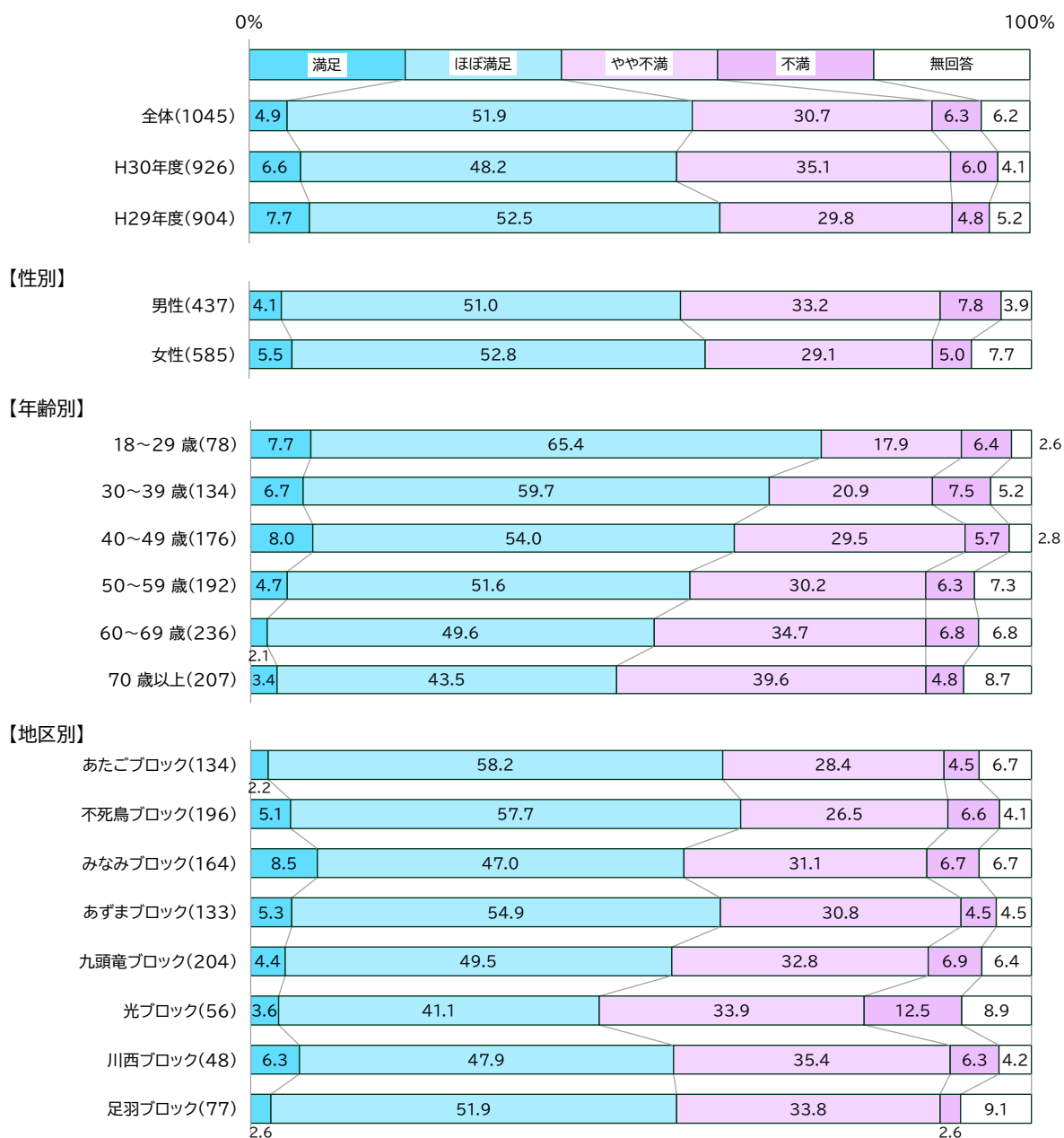


Ⅱ 住みよいまち 不満度3位

15 地域コミュニティの活性化

「男性」と「70歳以上」の不満度が高い

満足度は56.8%、不満度は37.0%と、満足度が不満度より19.8ポイント高くなっている。
性別では、不満度は、男性（41.0%）が女性（34.1%）より6.9ポイント高い。年齢別に見ると、不満度は、70歳以上（44.4%）が最も高く、年齢の高い世代ほど不満度が高い傾向が見られる。地区別では、不満度は、光ブロック（46.4%）が最も高い。



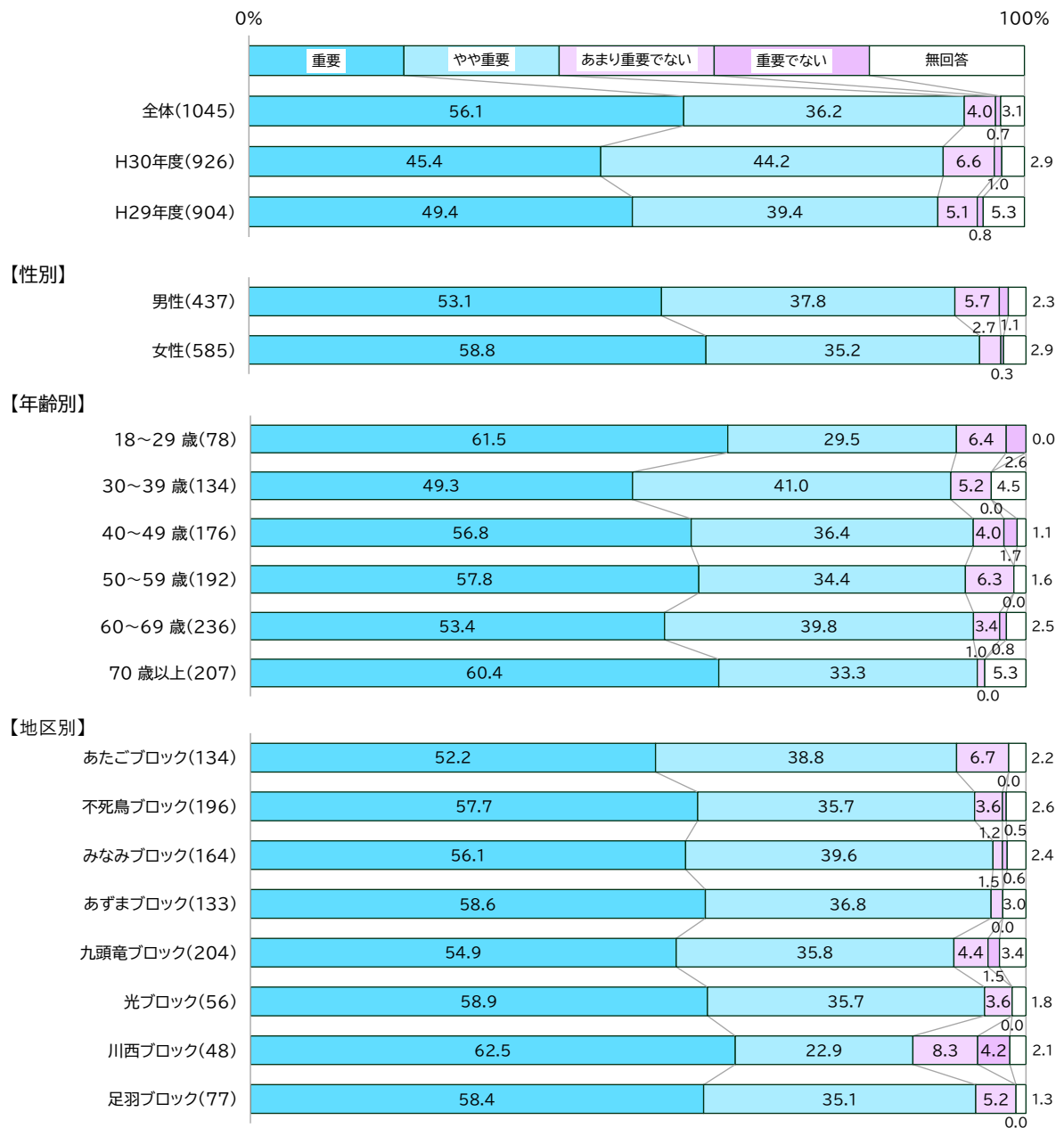
Ⅱ 住みよいまち 「重要である」 1 位

2 1 ごみの適正な処理

全体的に「重要である」は高い

「重要である」は 92.3%、「重要でない」は 4.7%と、「重要である」が「重要でない」より 87.6 ポイント高くなっている。「重要である」は、平成 30 年度の調査（89.6%）と比べて、2.7 ポイント高くなっている。

地区別では、「重要である」は、川西ブロック（85.4%）が最も低い。



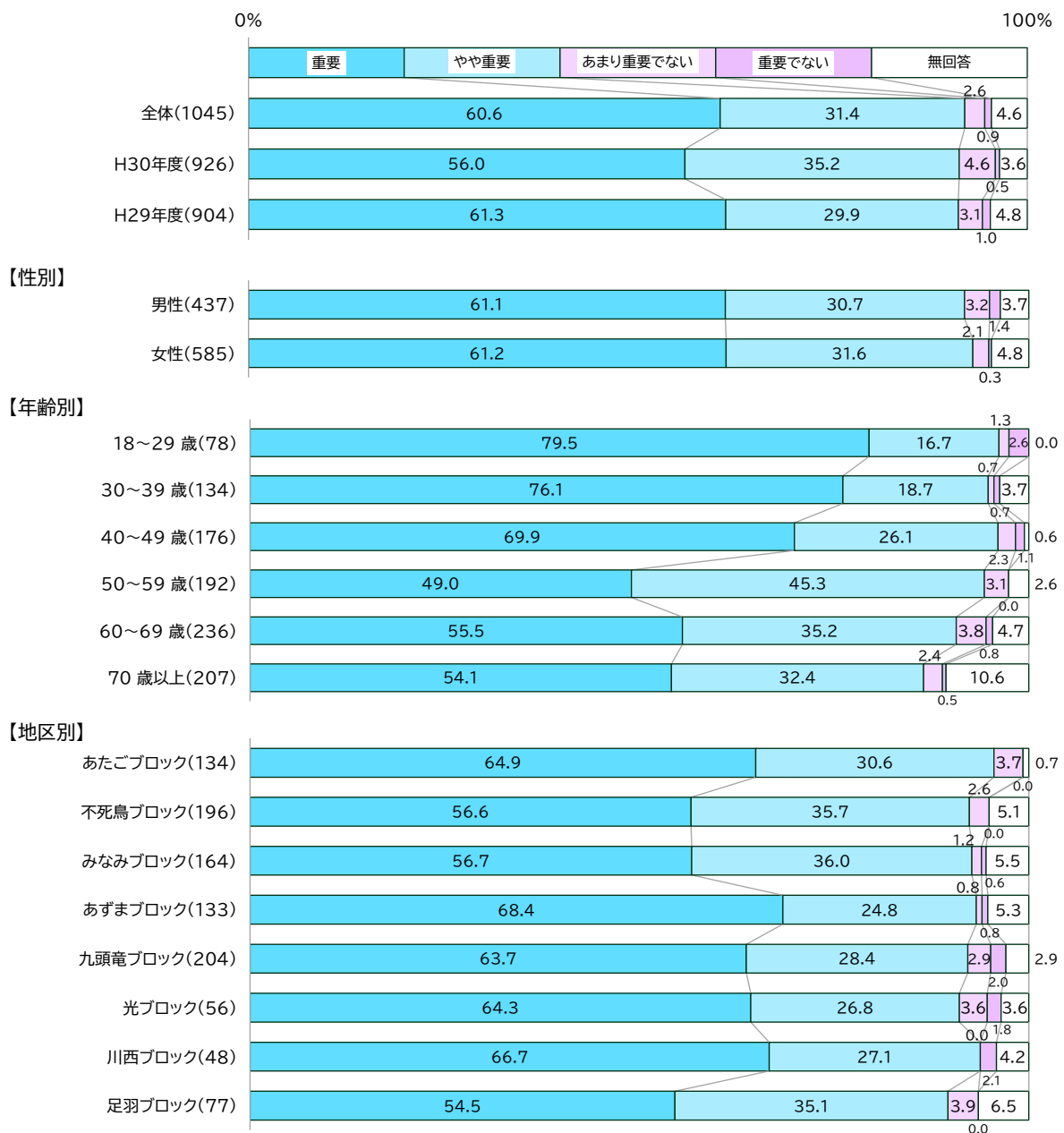
Ⅱ 住みよいまち 「重要である」 2位

17 子育て環境の充実

「18～29 歳」「40～49 歳」の「重要である」が高い

「重要である」は 92.0%、「重要でない」は 3.5%と、「重要である」が「重要でない」より 88.5 ポイント高くなっている。

年齢別に見ると、「重要である」は、18～29 歳（96.2%）、40～49 歳（96.0%）が高く、70 歳以上（86.5%）が最も低くなっている。



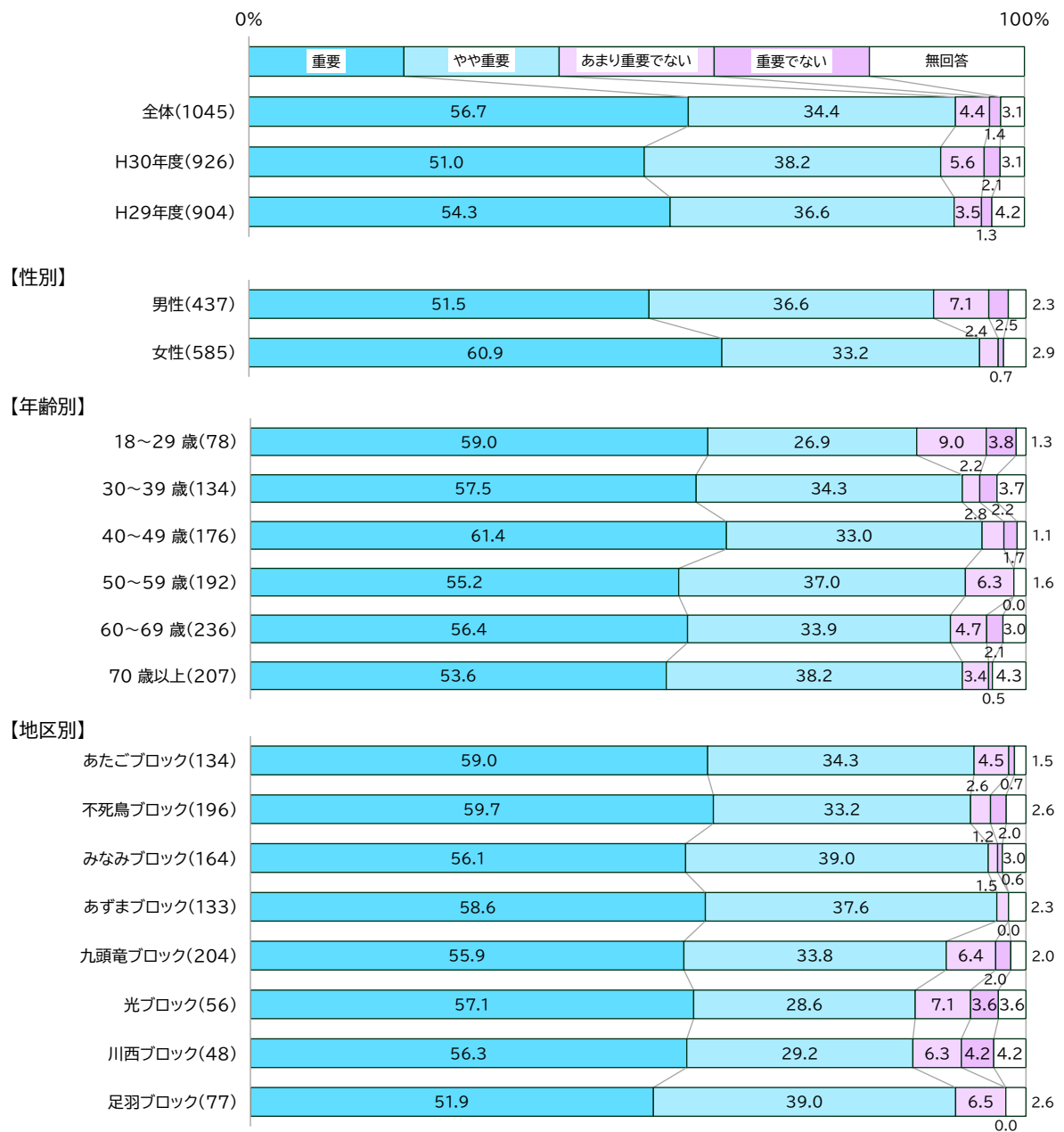
Ⅱ 住みよいまち 「重要である」 3位

1 8 高齢者の活躍支援

「女性」の「重要である」が高い

「重要である」は91.1%、「重要でない」は5.8%と、「重要である」が「重要でない」より85.3ポイント高くなっている。

性別では、「重要である」は、女性（94.1%）が男性（88.1%）より6.0ポイント高い。



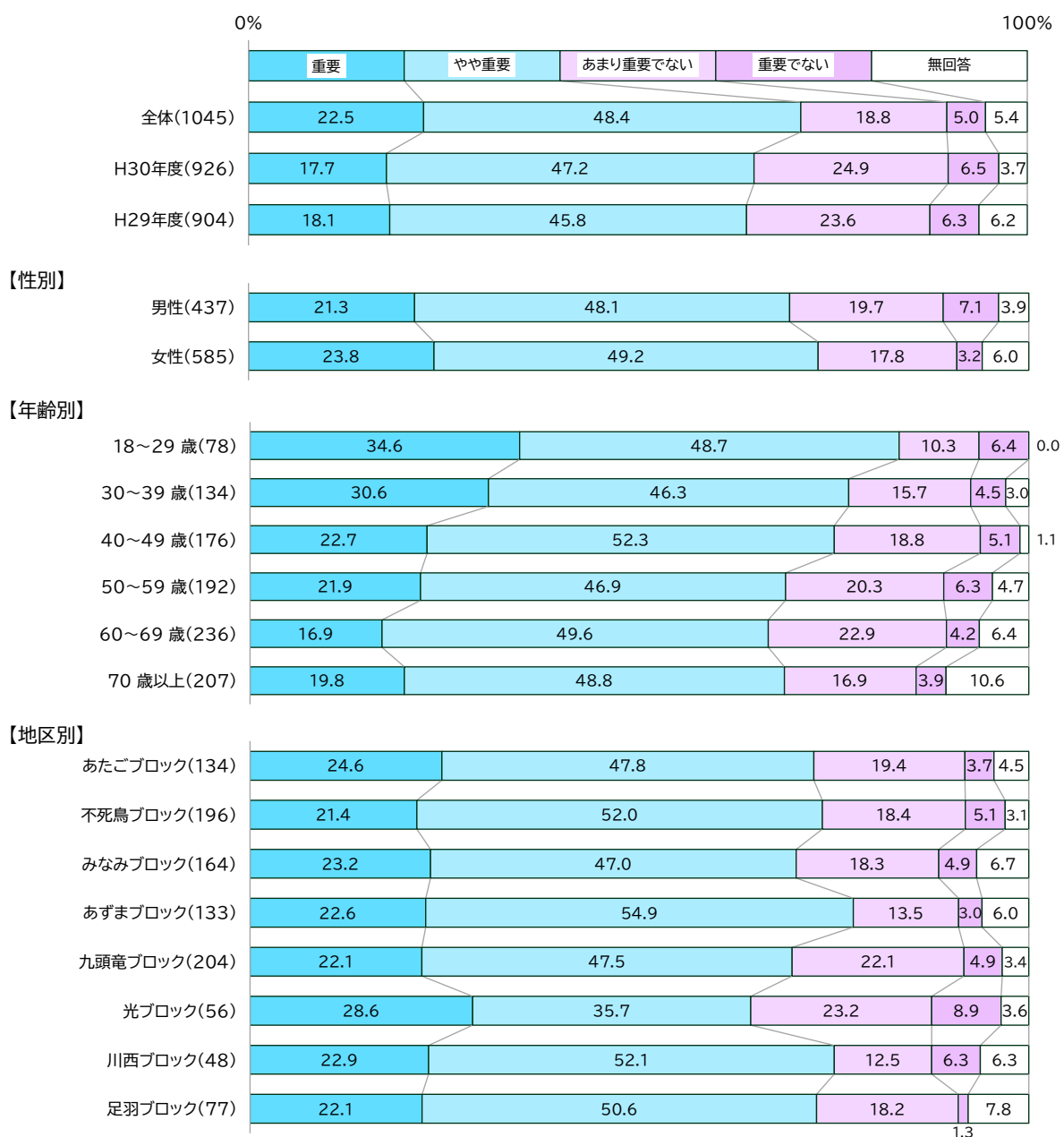
Ⅱ 住みよいまち 「重要でない」 1 位

1 3 多文化共生と国際交流の推進

「男性」の「重要でない」が高い

「重要である」は 70.9%、「重要でない」は 23.8%と、「重要である」が「重要でない」より 47.1 ポイント高くなっている。「重要でない」は、平成 30 年度の調査（31.4%）と比べて、7.6 ポイント低くなっている。

性別では、「重要でない」は、男性（26.8%）が女性（21.0%）より 5.8 ポイント高くなっている。



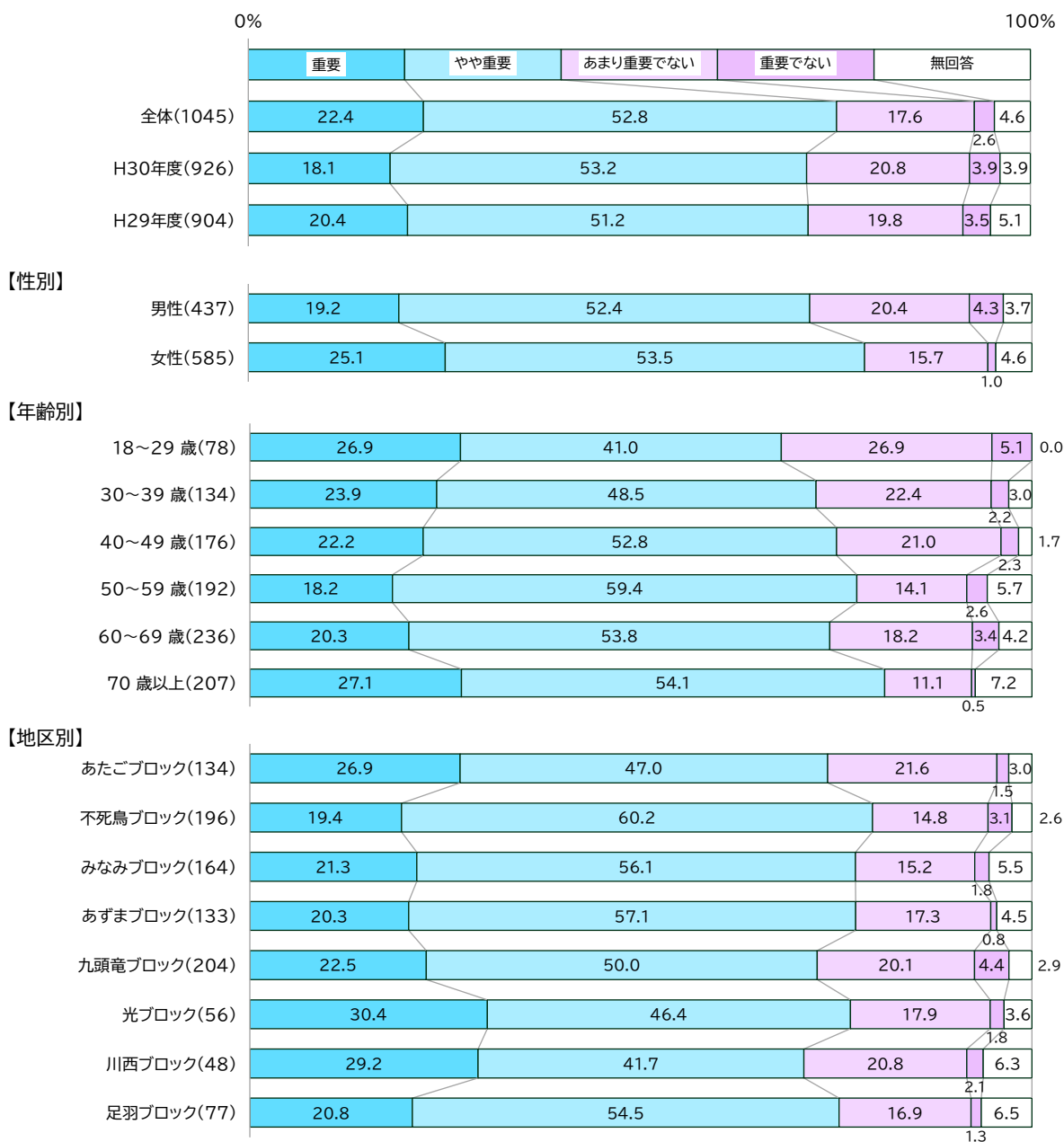
Ⅱ 住みよいまち 「重要でない」 2位

1 4 協働のまちづくり

「男性」と「18～29 歳」の「重要でない」が高い

「重要である」は 75.2%、「重要でない」は 20.2%と、「重要である」が「重要でない」より 55.0 ポイント高くなっている。「重要でない」は、平成 30 年度の調査（24.7%）と比べて、4.5 ポイント低くなっている。

性別では、「重要でない」は、男性（24.7%）が女性（16.7%）より 8.0 ポイント高い。年齢別に見ると、「重要でない」は、18～29 歳（32.0%）が最も高く、70 歳以上（11.6%）が最も低くなっている。



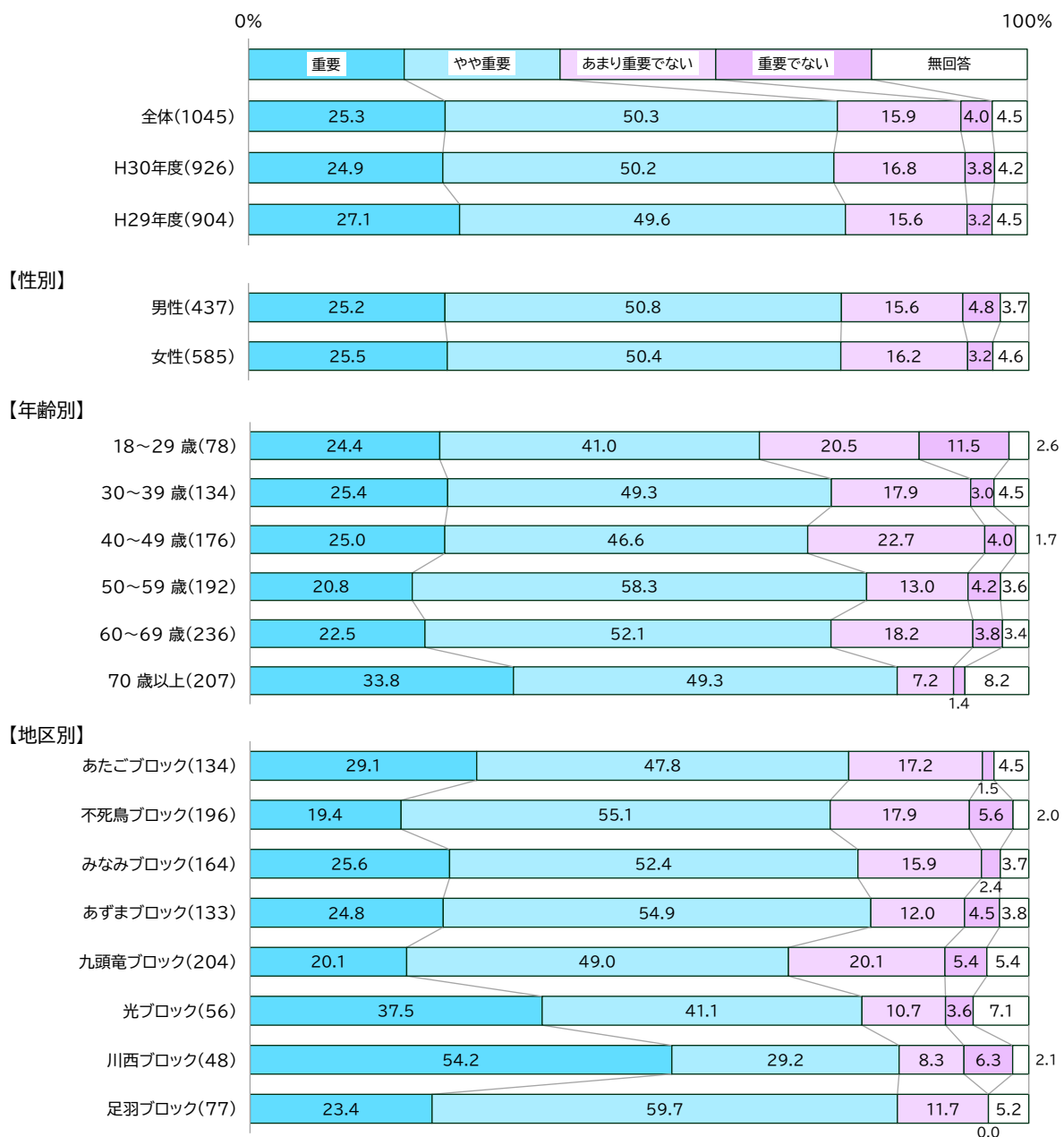
Ⅱ 住みよいまち 「重要でない」 3位

15 地域コミュニティの活性化

「18～29 歳」「40～49 歳」と「九頭竜ブロック」の「重要でない」が高い

「重要である」は 75.6%、「重要でない」は 19.9%と、「重要である」が「重要でない」より 55.7 ポイント高くなっている。

年齢別に見ると、「重要でない」は、18～29 歳（32.0%）と 40～49 歳（26.7%）が高く、70 歳以上（8.6%）が最も低くなっている。地区別では、「重要でない」は、九頭竜ブロック（25.5%）が最も高い。

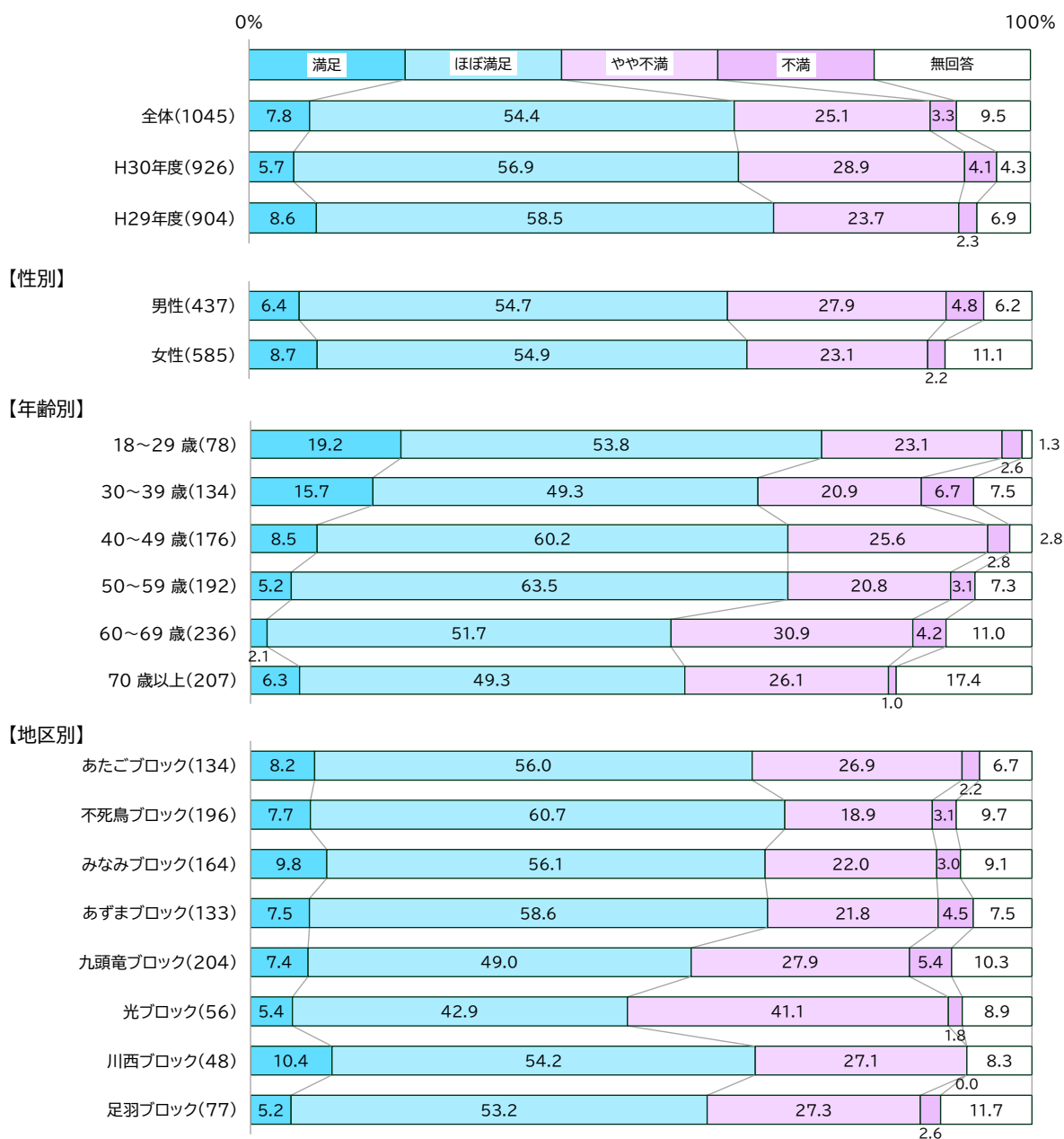


Ⅲ 生き活きと働くまち 満足度 1 位

2 7 農産物の需要拡大

「18～29 歳」の満足度が高い

満足度は 62.2%、不満度は 28.4%と、満足度が不満度より 33.8 ポイント高くなっている。
年齢別に見ると、満足度は、18～29 歳（73.0%）が高く、60～69 歳（53.8%）と 70 歳以上（55.6%）が低くなっている。地区別では、満足度は、光ブロック（48.3%）と九頭竜ブロック（56.4%）が低い。



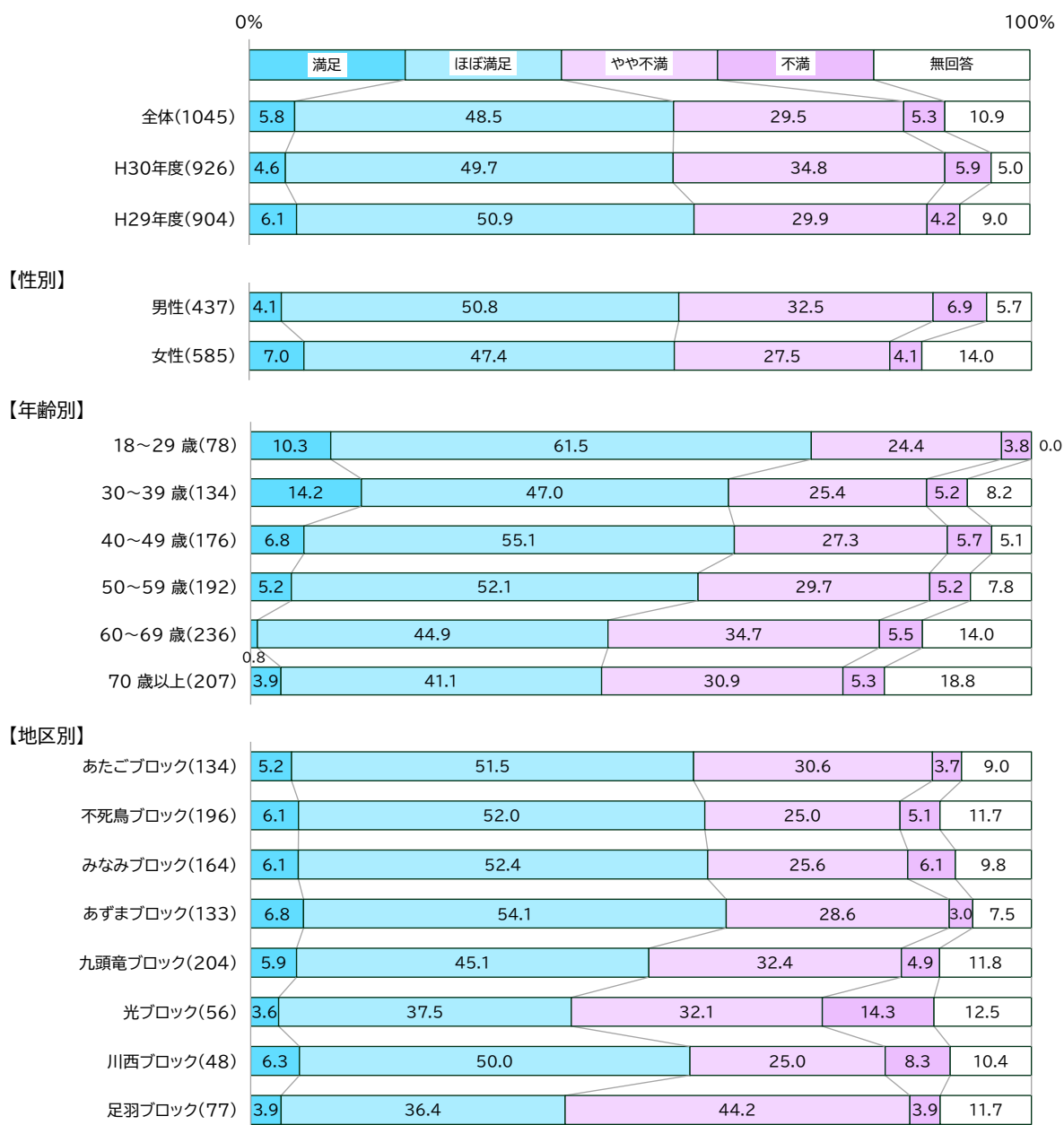
Ⅲ 活き活きと働くまち 満足度2位

26 農林水産業の推進

「18～29 歳」の満足度が高い

満足度は 54.3%、不満度は 34.8%と、満足度が不満度より 19.5 ポイント高くなっている。

年齢別に見ると、満足度は、18～29 歳（71.8%）が最も高く、70 歳以上（45.0%）と 60～69 歳（45.7%）が低くなっている。地区別では、満足度は、足羽ブロック（40.3%）と光ブロック（41.1%）が低い。

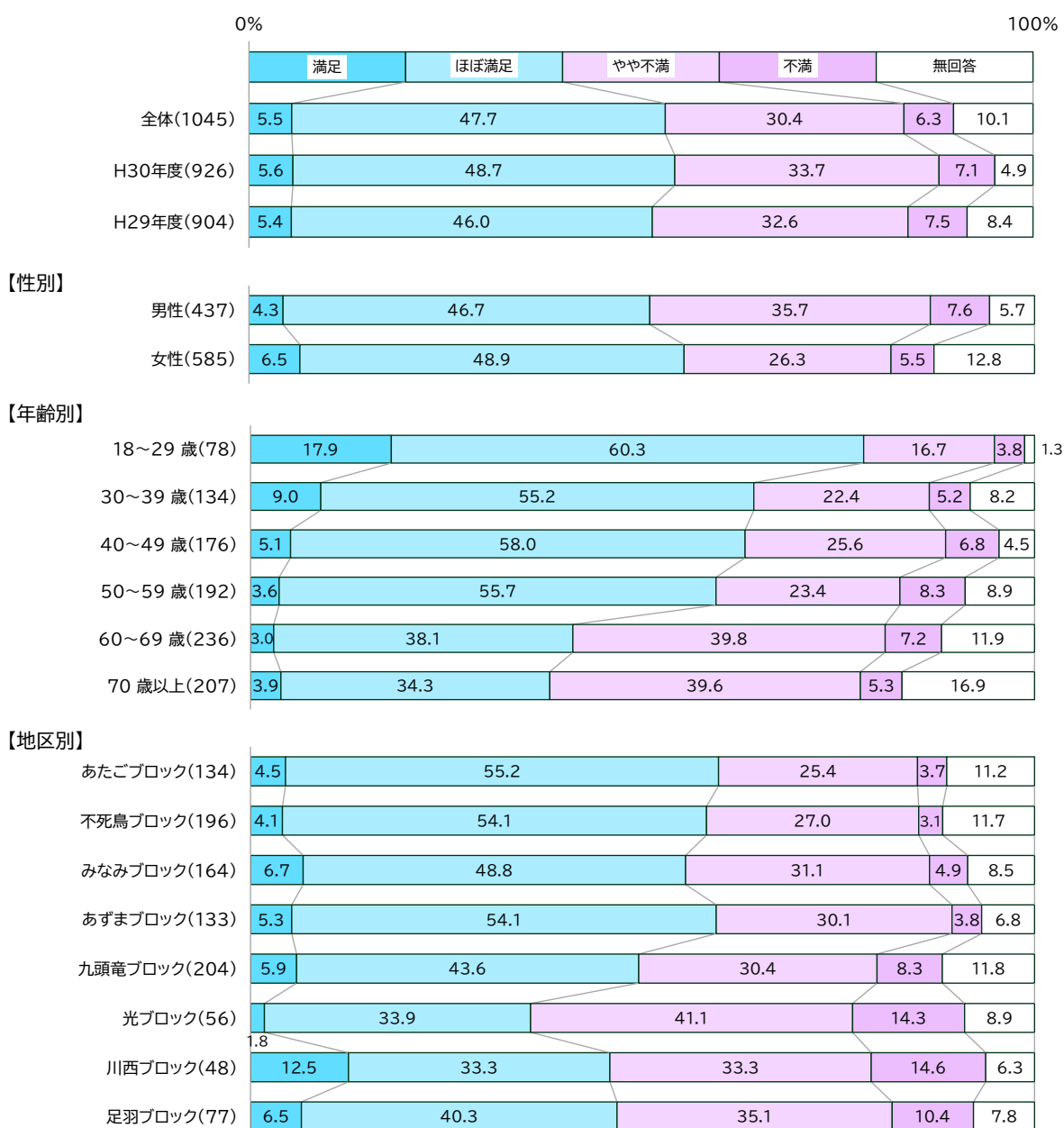


Ⅲ 生き活きと働くまち 満足度3位

28 農山漁村の生活環境を守る

「若い世代」ほど満足度が高い

満足度は53.2%、不満度は36.7%と、満足度が不満度より16.5ポイント高くなっている。
年齢別に見ると、満足度は、18～29歳（78.2%）が最も高く、若い世代ほどその割合が高い傾向が見られる。地区別では、満足度は、光ブロック（35.7%）が最も低い。

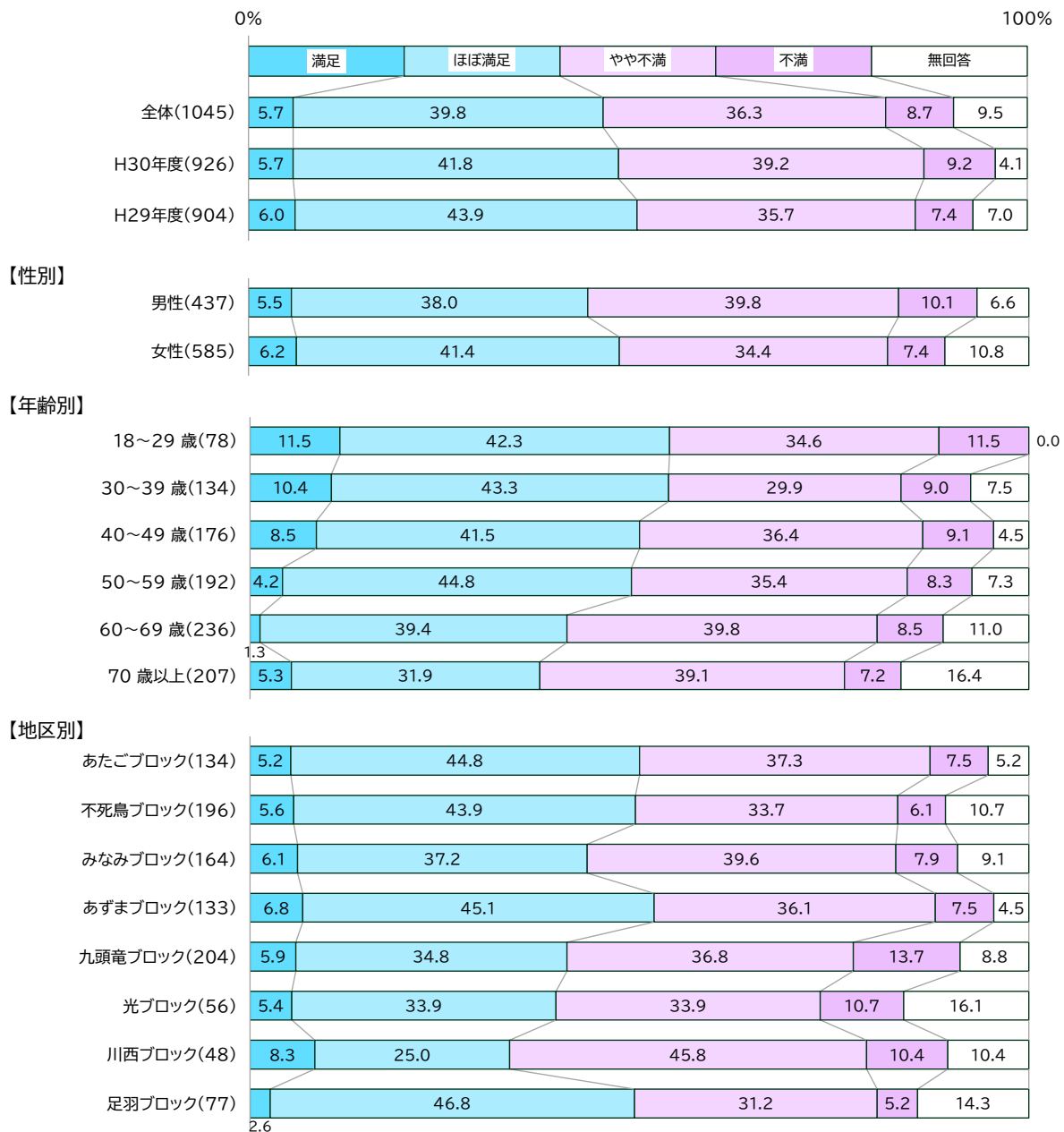


Ⅲ 活き活きと働くまち 不満度1位

30 福井で働くことを応援する

「男性」の不満足度が高い

満足度は45.5%、不満度は45.0%と、満足度が不満度より0.5ポイント高くなっている。
性別では、不満度は、男性（49.9%）が女性（41.8%）より8.1ポイント高い。

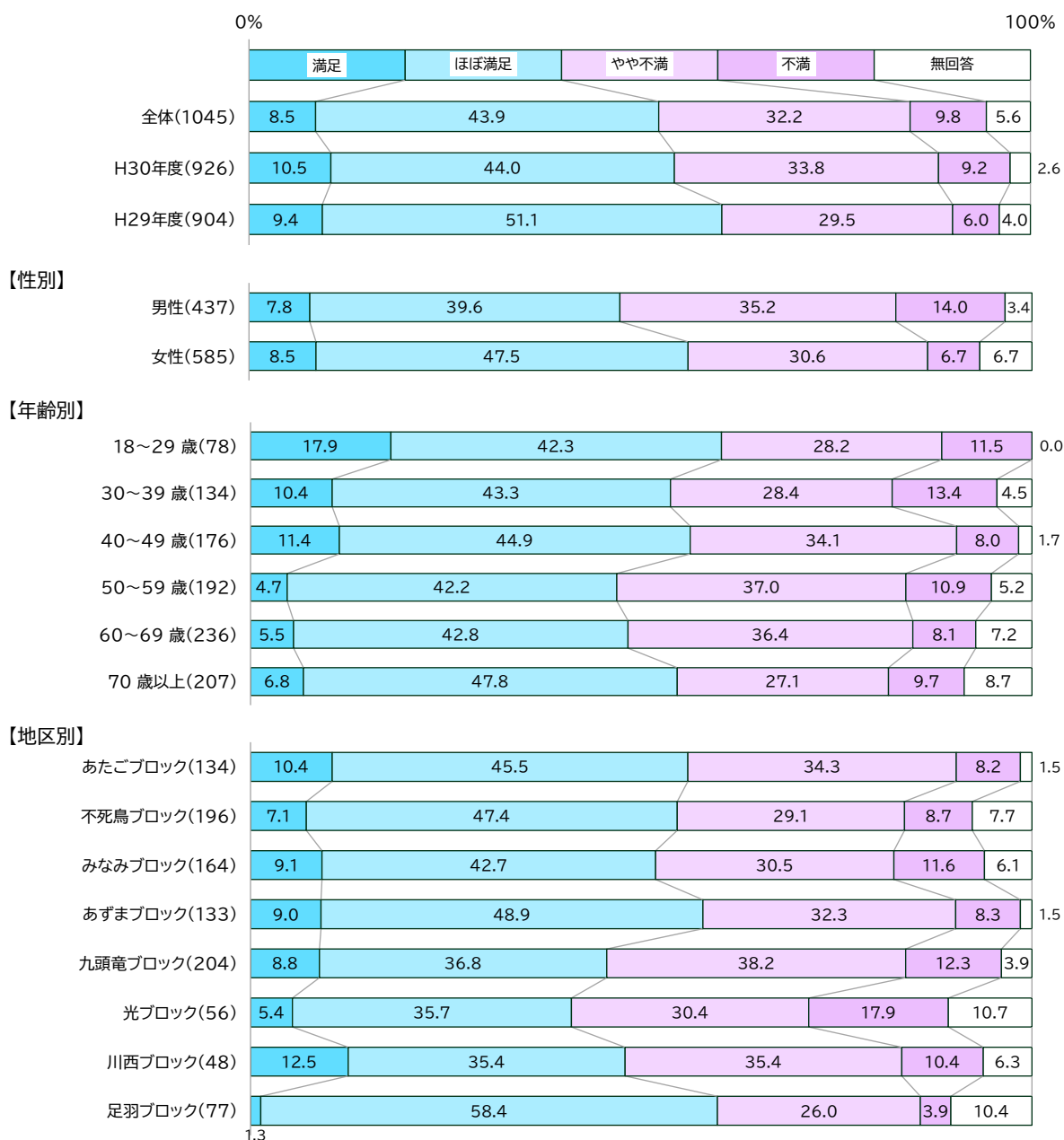


Ⅲ 生き活きと働くまち 不満度2位

3.1 観光の振興とおもてなしの充実

「男性」と「九頭竜ブロック」の不満度が高い

満足度は52.4%、不満度は42.0%と、満足度が不満度より10.4ポイント高くなっている。性別では、不満度は、男性（49.2%）が女性（37.3%）より11.9ポイント高い。地区別に見ると、不満度は、九頭竜ブロック（50.5%）が最も高く、足羽ブロック（29.9%）が最も低くなっている。



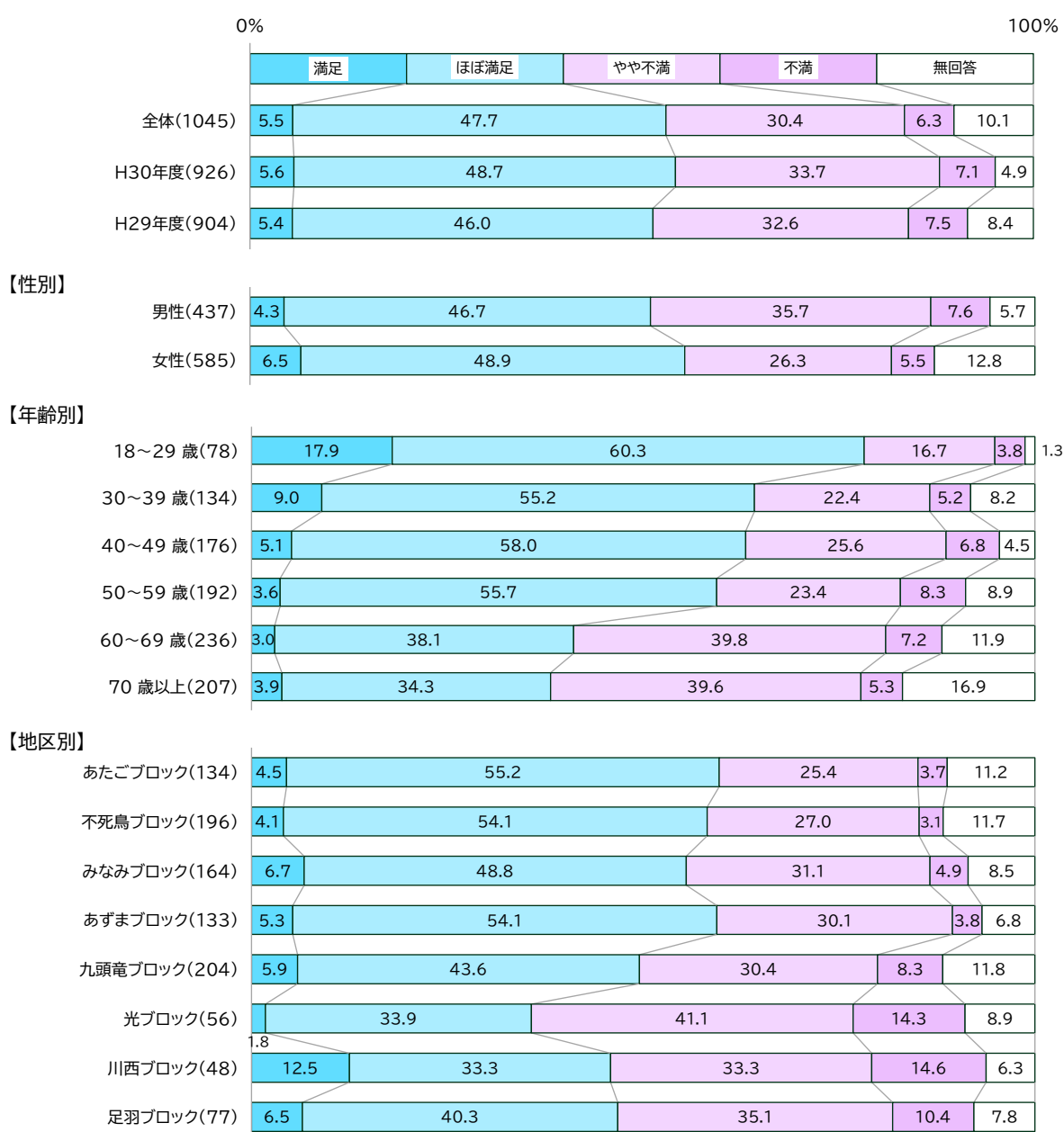
Ⅲ 活き活きと働くまち 不満度3位

28 農山漁村の生活環境を守る

「男性」と「60～69 歳」「70 歳以上」と「光ブロック」の不満度が高い

満足度は 53.2%、不満度は 36.7%と、満足度が不満度より 16.5 ポイント高くなっている。

性別では、不満度は、男性（43.3%）が女性（31.8%）より 11.5 ポイント高い。年齢別に見ると、不満度は、60～69 歳（47.0%）と 70 歳以上（44.9%）が高く、18～29 歳（20.5%）と 30～39 歳（27.6%）が低くなっている。地区別では、不満度は、光ブロック（55.4%）が最も高い。



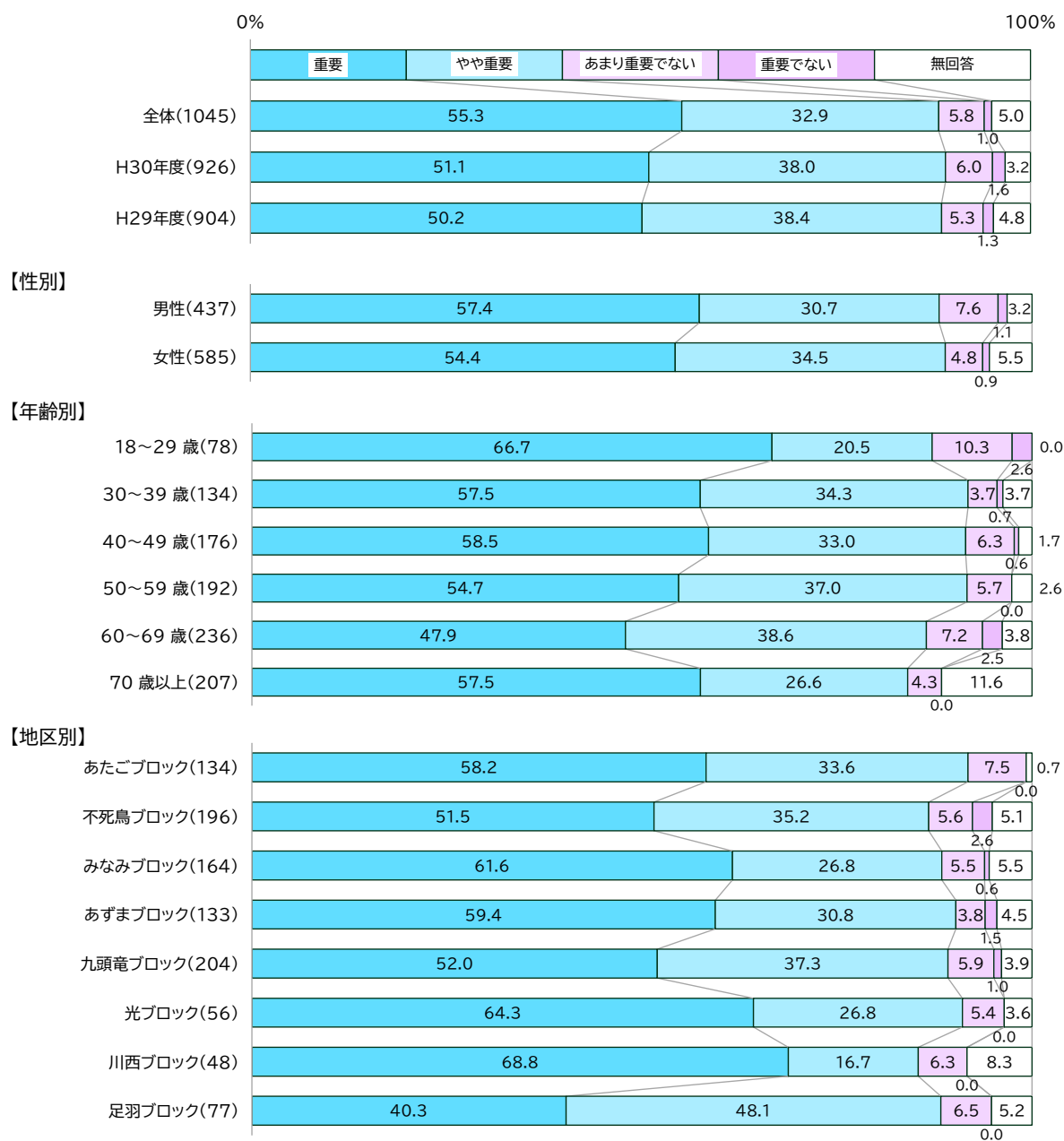
Ⅲ 生き活きと働くまち 「重要である」 1 位

3 0 福井で働くことを応援する

全体的に「重要である」は高い

「重要である」は 88.2%、「重要でない」は 6.8%と、「重要である」が「重要でない」より 81.4 ポイント高くなっている。

年齢別に見ると、「重要である」は、70 歳以上（84.1%）が最も低くなっている。



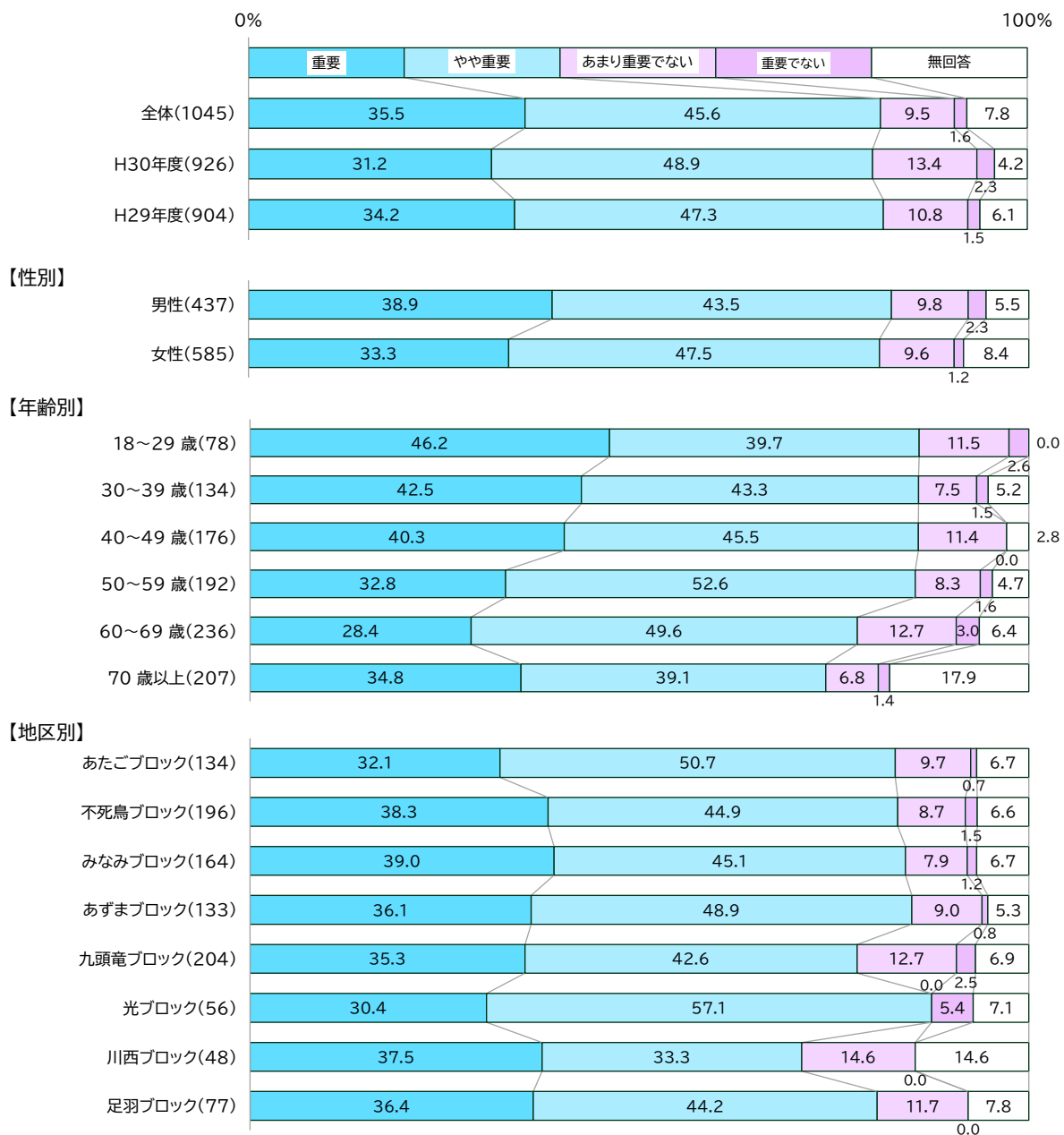
Ⅲ 活き活きと働くまち 「重要である」 2 位

29 商工業の振興

全体的に「重要である」は高い

「重要である」は 81.1%、「重要でない」は 11.1%と、「重要である」が「重要でない」より 70.0 ポイント高くなっている。

年齢別に見ると、「重要である」は、70 歳以上（73.9%）が最も低くなっている。地区別では、「重要である」は、川西ブロック（70.8%）が最も低い。



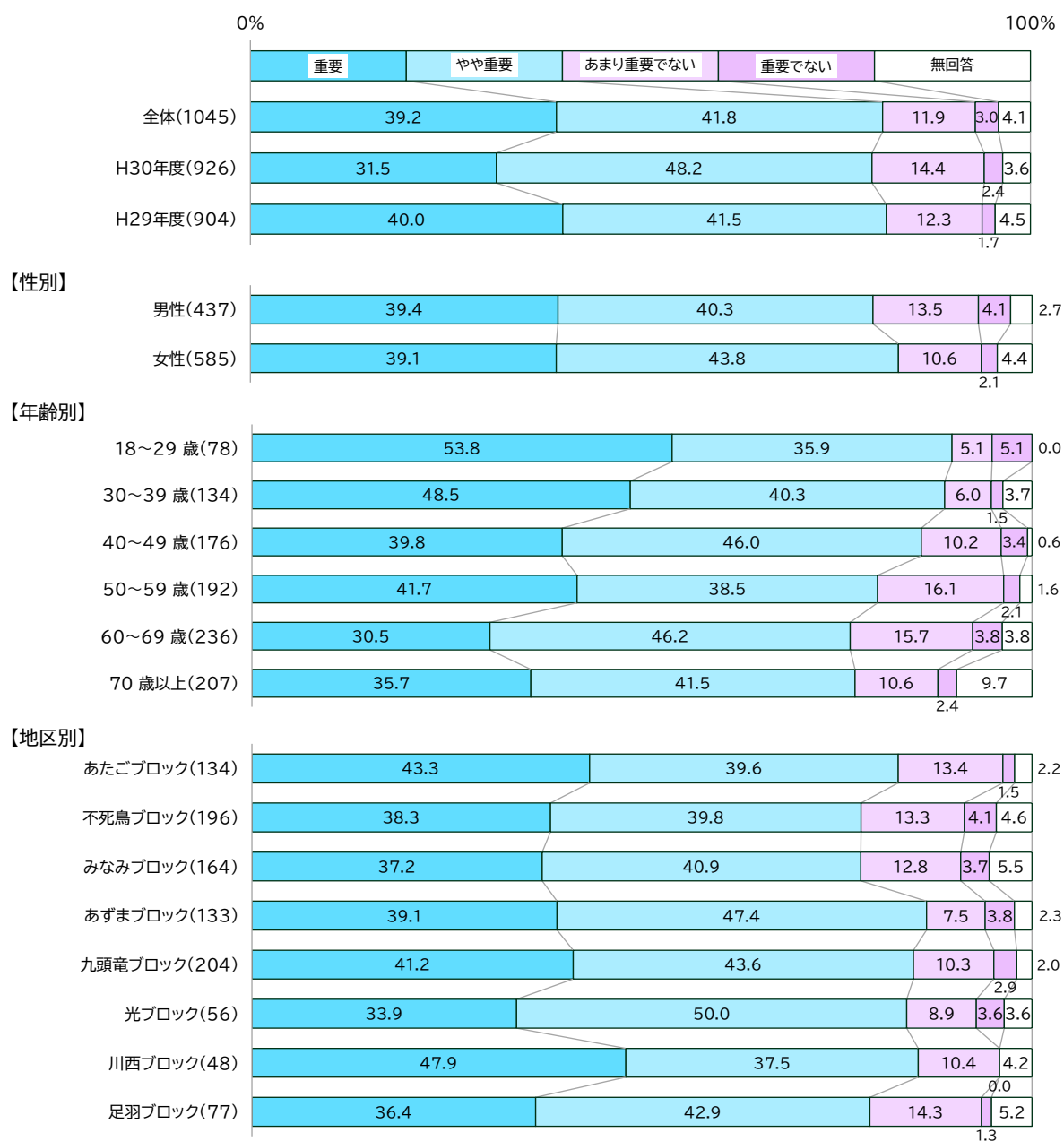
Ⅲ 生き活きと働くまち 「重要である」 3位

3.1 観光の振興とおもてなしの充実

「18～29 歳」「30～39 歳」の「重要である」が高い

「重要である」は 81.0%、「重要でない」は 14.9%と、「重要である」が「重要でない」より 66.1 ポイント高くなっている。

年齢別に見ると、「重要である」は、18～29 歳（89.7%）と 30～39 歳（88.8%）が高く、60～69 歳（76.7%）が最も低くなっている。



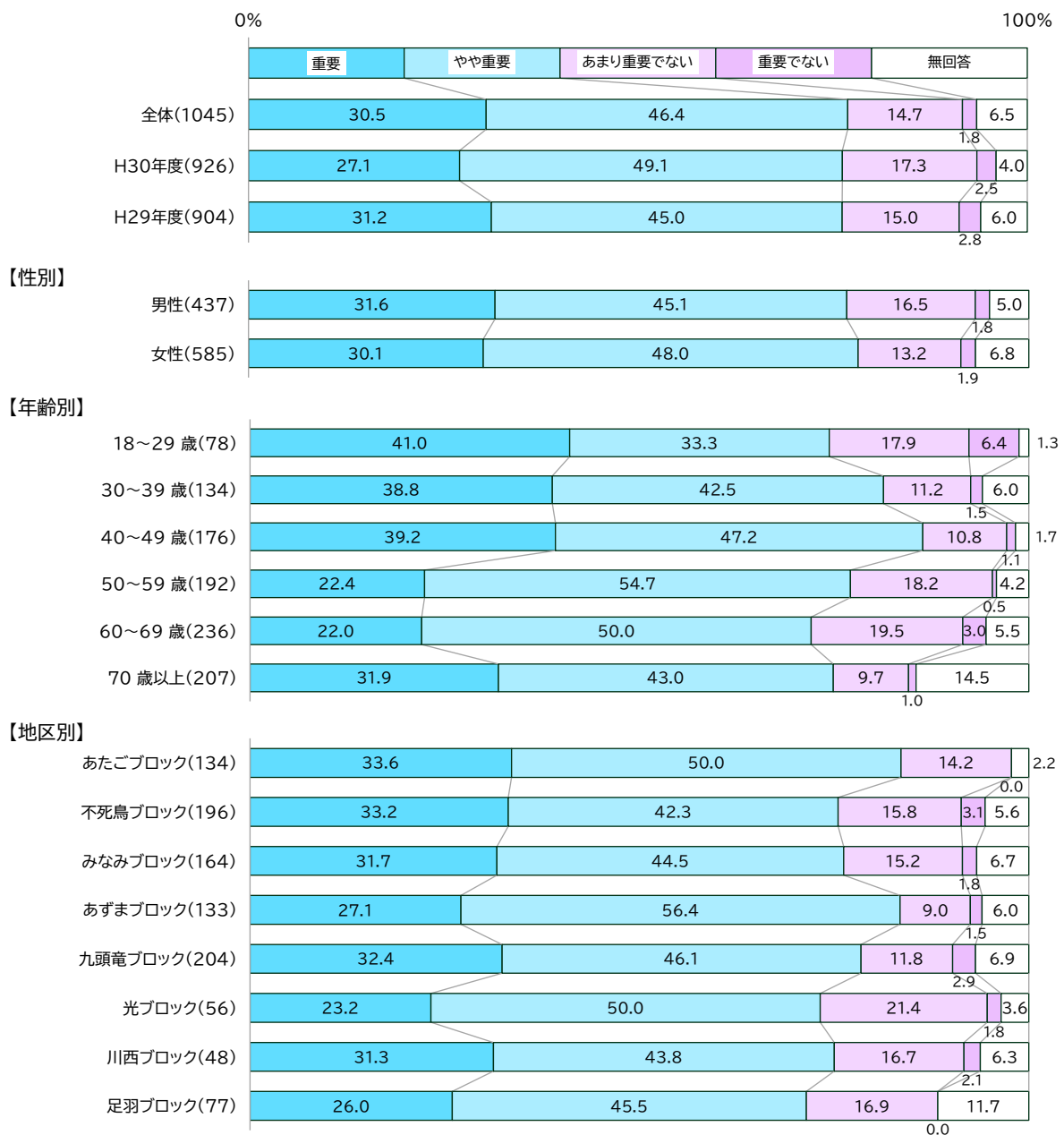
Ⅲ 活き活きと働くまち 「重要でない」 1 位

27 農産物の需要拡大

「18～29 歳」「60～69 歳」の「重要でない」が高い

「重要である」は 76.9%、「重要でない」は 16.5%と、「重要である」が「重要でない」より 60.4 ポイント高くなっている。

年齢別に見ると、「重要でない」は、18～29 歳（24.3%）と 60～69 歳（22.5%）が高く、70 歳以上（10.7%）が最も低くなっている。



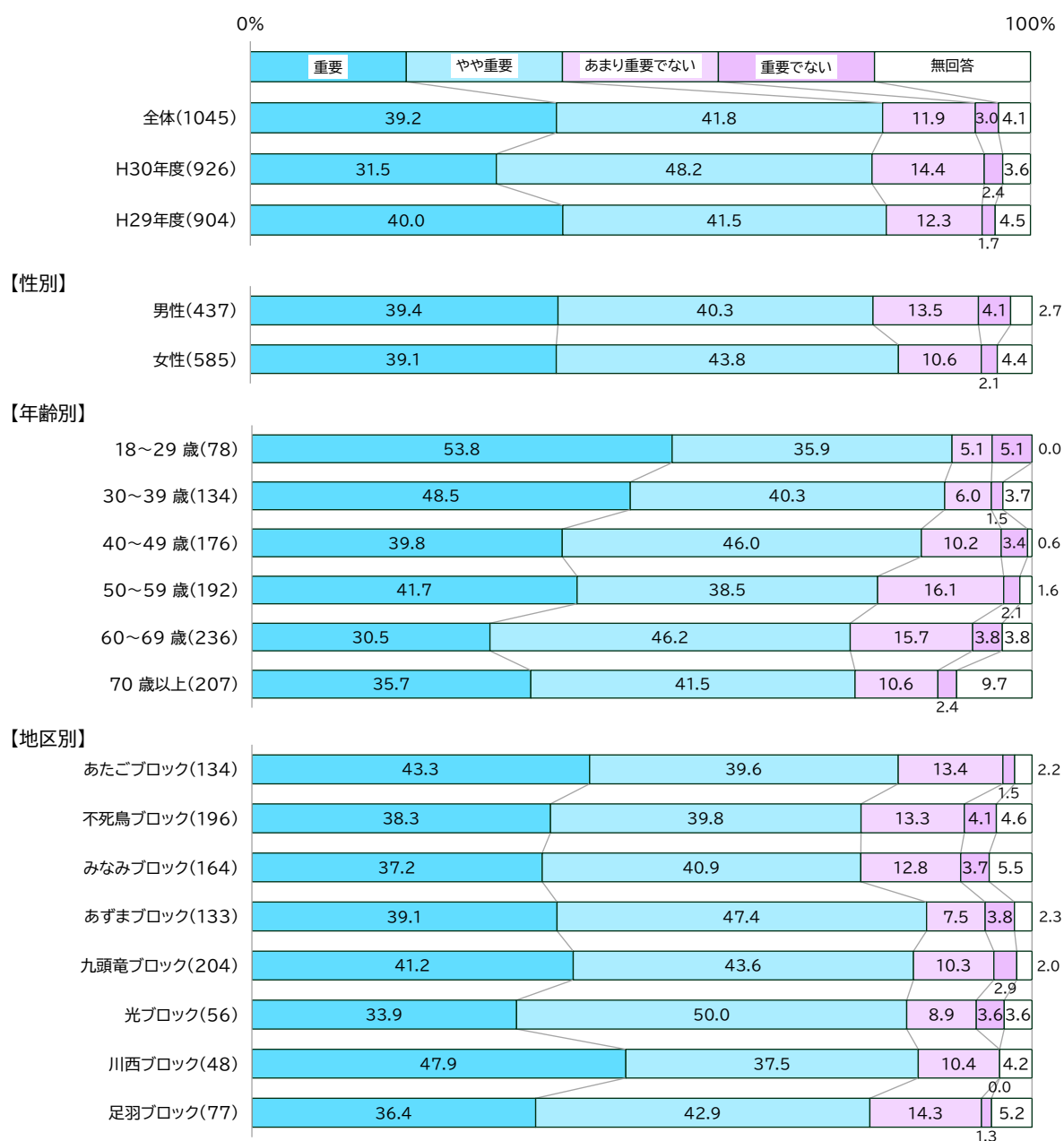
Ⅲ 生き活きと働くまち 「重要でない」 2位

3.1 観光の振興とおもてなしの充実

「男性」と「60～69 歳」の「重要でない」が高い

「重要である」は 81.0%、「重要でない」は 14.9%と、「重要である」が「重要でない」より 66.1 ポイント高くなっている。

性別では、「重要でない」は、男性（17.6%）が女性（12.7%）より 4.9 ポイント高い。年齢別に見ると、「重要でない」は、60～69 歳（19.5%）が最も高く、30～39 歳（7.5%）が最も低くなっている。



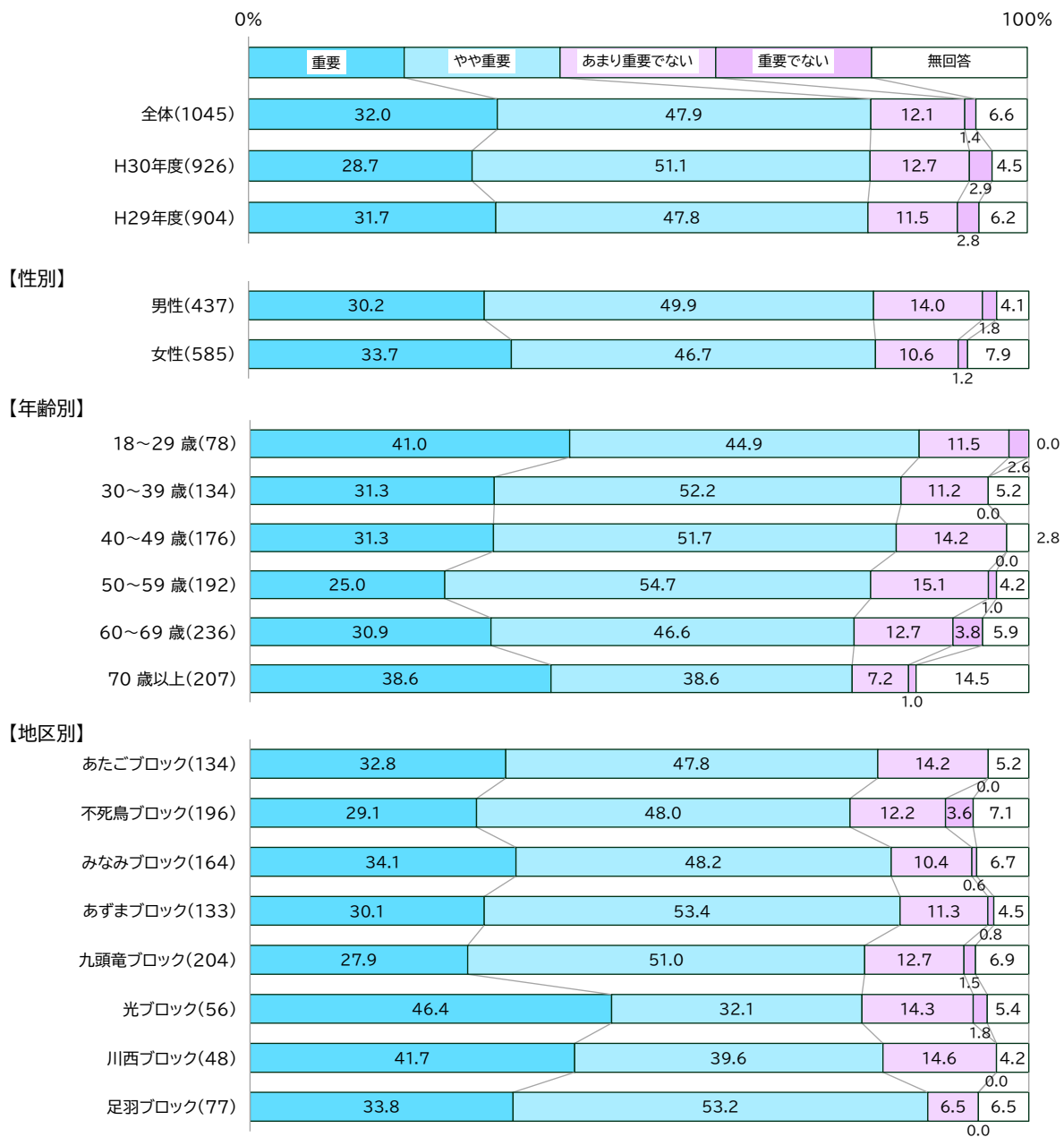
Ⅲ 活き活きと働くまち 「重要でない」 3位

28 農山漁村の生活環境を守る

全体的に「重要でない」は高い

「重要である」は79.9%、「重要でない」は13.5%と、「重要である」が「重要でない」より66.4ポイント高くなっている。

年齢別に見ると、「重要でない」は、70歳以上（8.2%）が最も低くなっている。



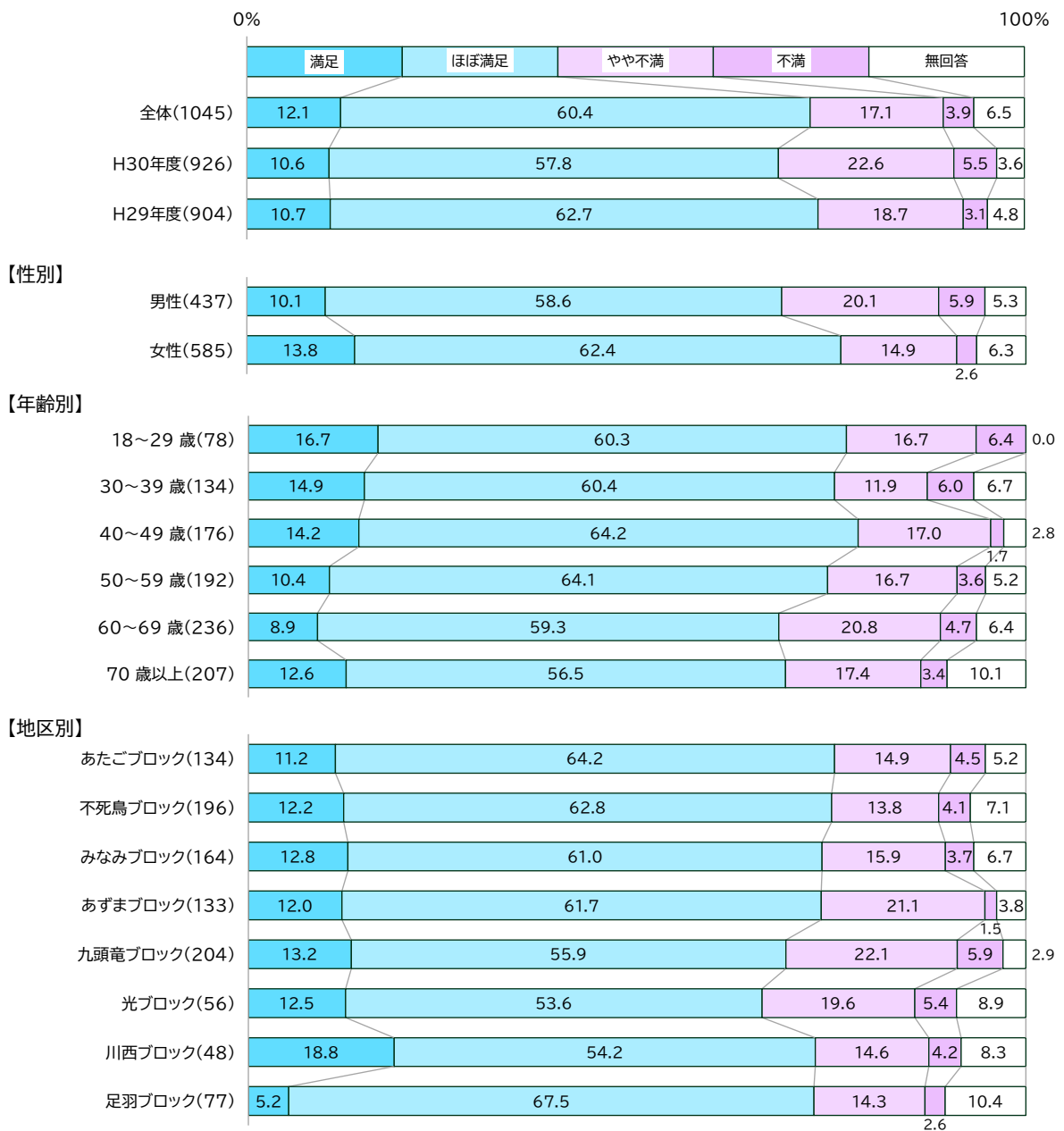
IV 学び成長するまち 満足度1位

3.3 歴史・文化遺産の保存・活用

「女性」の満足度が高い

満足度は72.5%、不満度は21.0%と、満足度が不満度より51.5ポイント高くなっている。満足度は、平成30年度の調査(68.4%)と比べて、4.1ポイント高くなっている。

性別では、満足度は、女性(76.2%)が男性(68.7%)より7.5ポイント高くなっている。

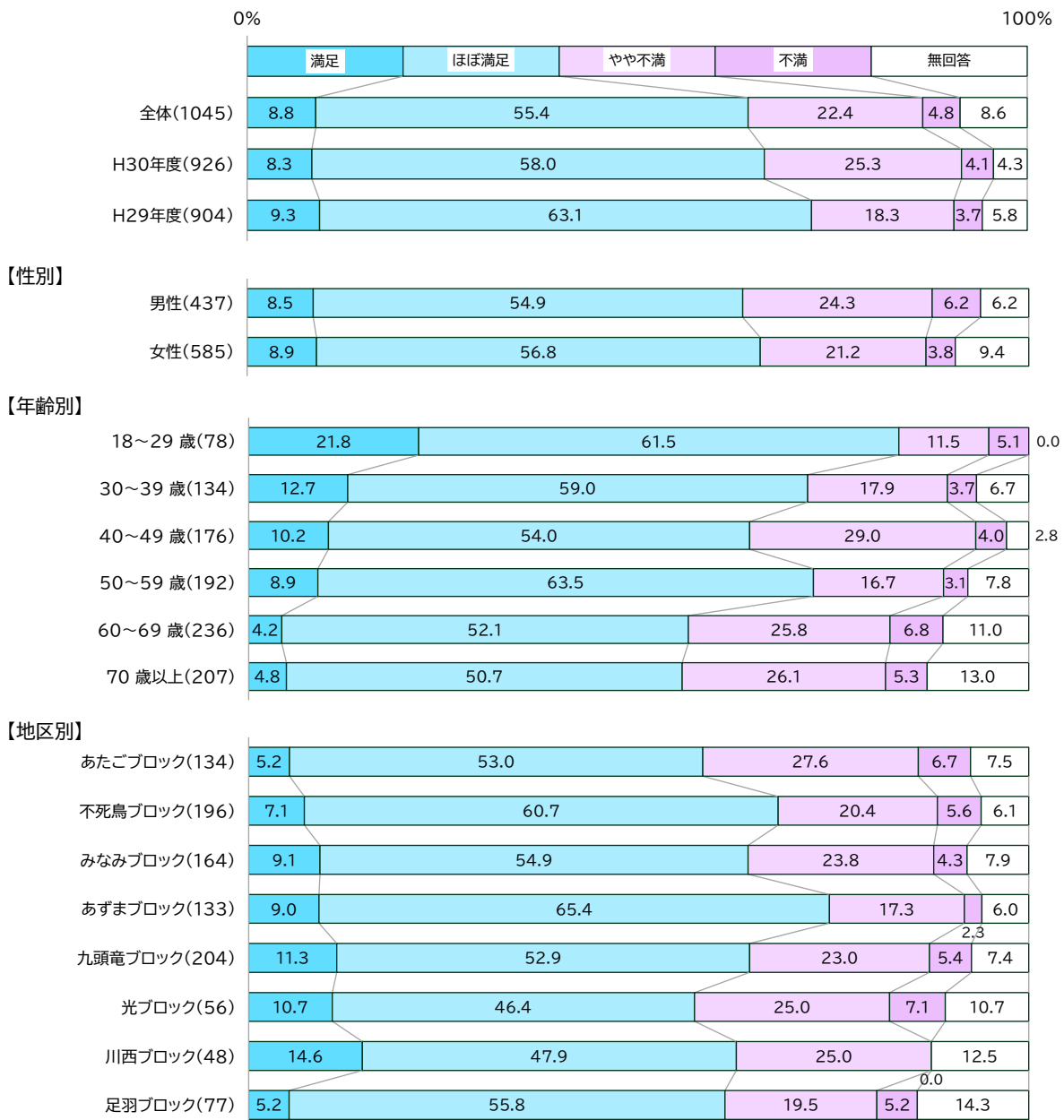


Ⅳ 学び成長するまち 満足度2位

38 生涯学習の支援

「18～29 歳」「50～59 歳」と「あずまブロック」の満足度が高い

満足度は 64.2%、不満度は 27.2%と、満足度が不満度より 37.0 ポイント高くなっている。年齢別に見ると、満足度は、18～29 歳（83.3%）と 50～59 歳（72.4%）が高く、70 歳以上（55.5%）と 60～69 歳（56.3%）が低くなっている。地区別では、満足度は、あずまブロック（74.4%）が最も高い。



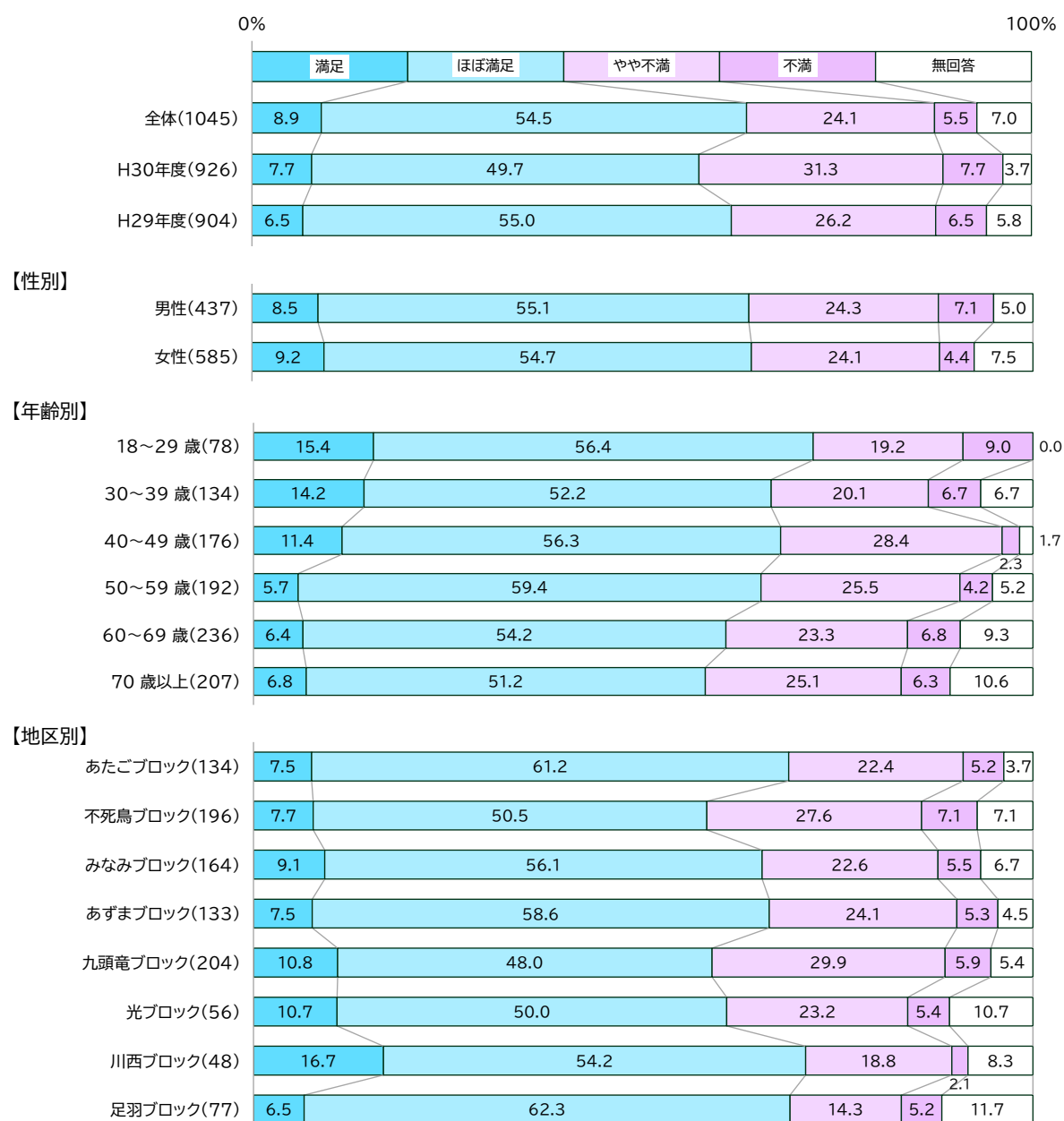
IV 学び成長するまち 満足度3位

3.2 文化芸術の振興

全体的に高い満足度

満足度は63.4%、不満度は29.6%と、満足度が不満度より33.8ポイント高くなっている。満足度は、平成30年度の調査（57.4%）と比べて、6.0ポイント高くなっている。

全体的に満足度は高い。



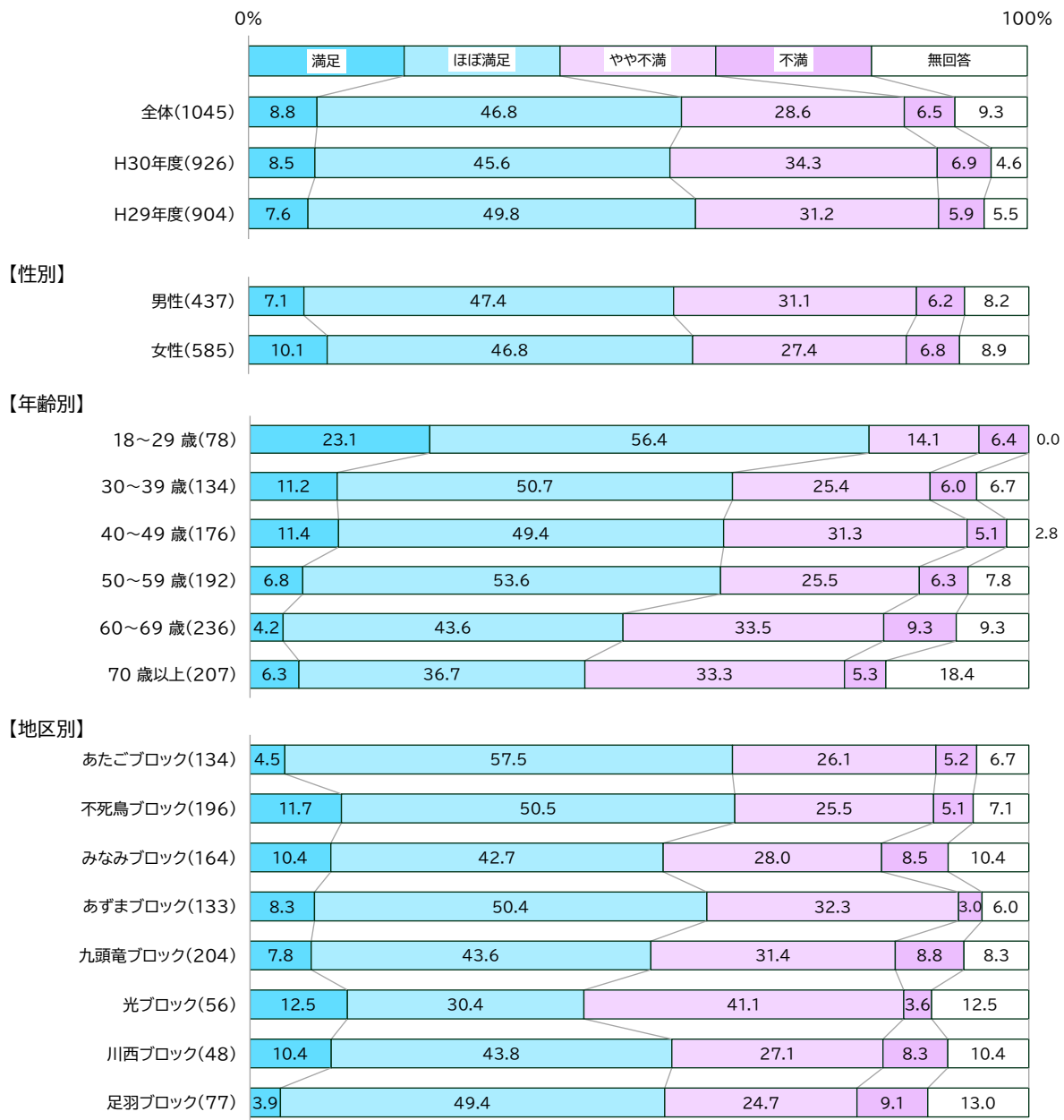
Ⅳ 学び成長するまち 不満度1位

37 学校環境の整備

「60～69 歳」の不満度が高い

満足度は 55.6%、不満度は 35.1%と、満足度が不満度より 20.5 ポイント高くなっている。不満度は、平成 30 年度の調査（41.2%）と比べて、6.1 ポイント低くなっている。

年齢別に見ると、不満度は、60～69 歳（42.8%）が最も高く、18 歳～29 歳（20.5%）が最も低くなっている。

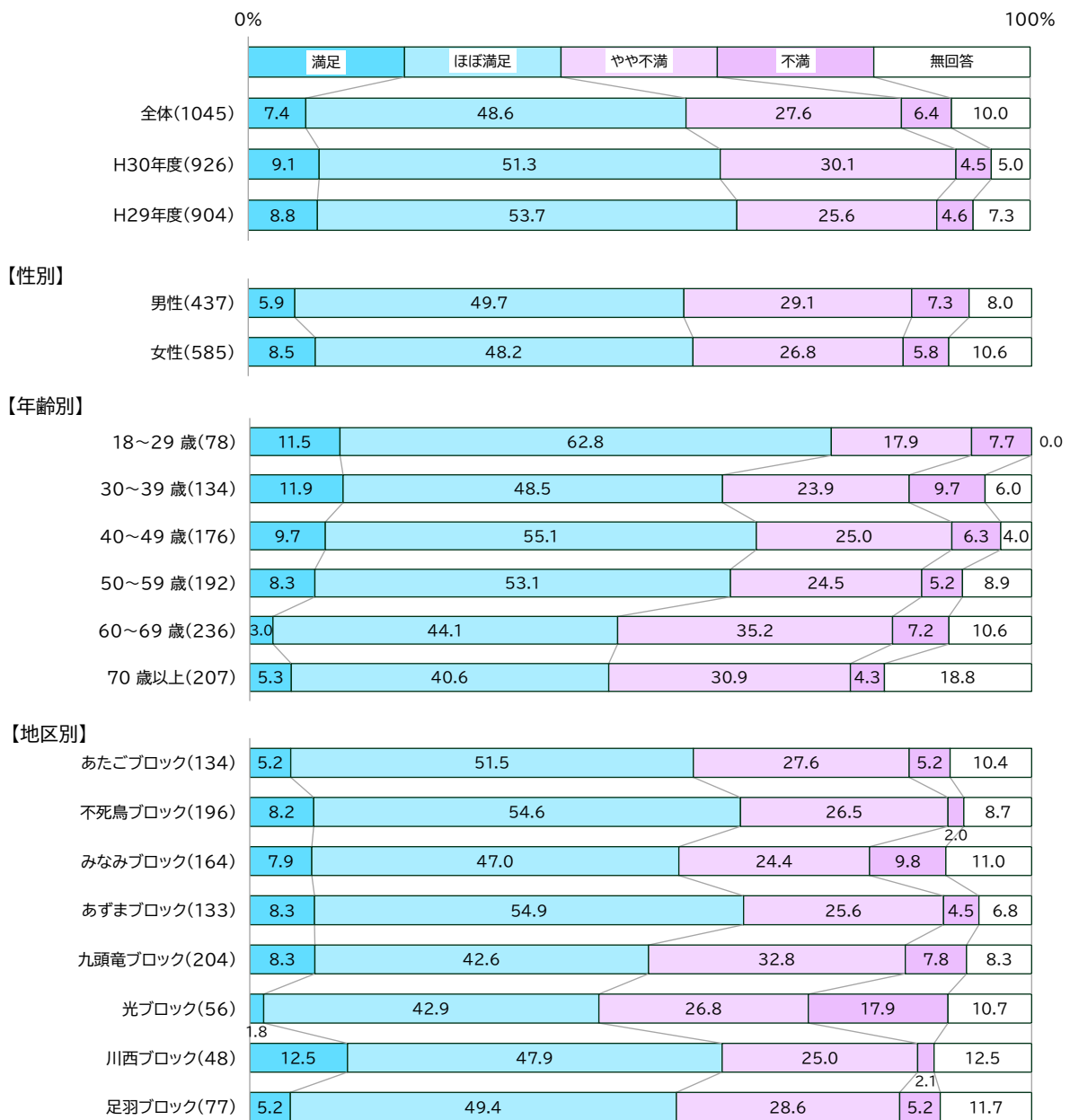


IV 学び成長するまち 不満度2位

3.5 学校教育の充実

「60～69 歳」と「光ブロック」「九頭竜ブロック」の不満度が高い

満足度は 56.0%、不満度は 34.0%と、満足度が不満度より 22.0 ポイント高くなっている。
年齢別に見ると、不満度は、60～69 歳（42.4%）が最も高くなっている。地区別では、不満度は、光ブロック（44.7%）と九頭竜ブロック（40.6%）が高い。

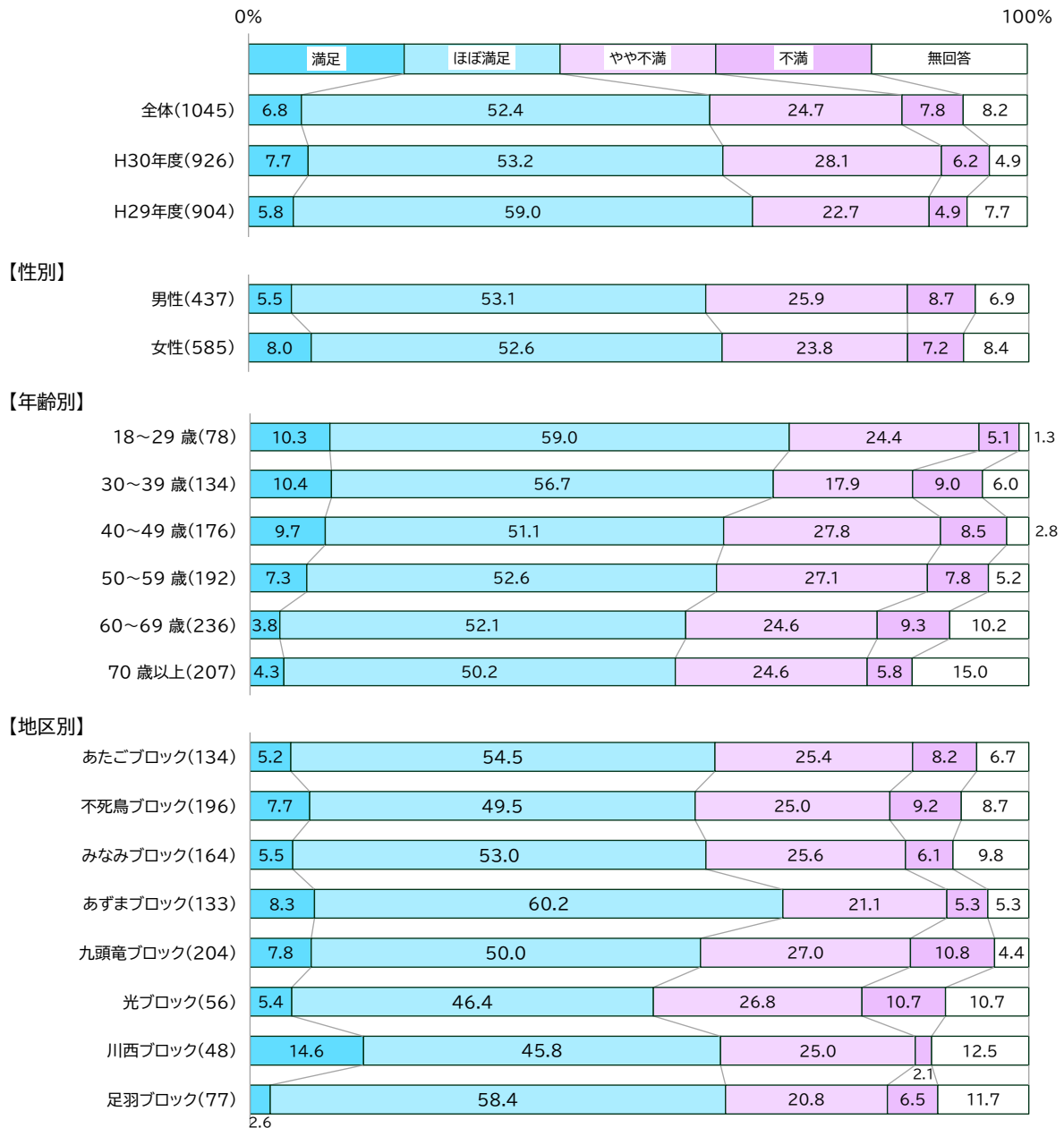


Ⅳ 学び成長するまち 不満度3位

3.4 自然科学教育の充実

全体的に高い不満度

満足度は 59.2%、不満度は 32.5%と、満足度が不満度より 26.7 ポイント高くなっている。
全体的に不満度は高い。



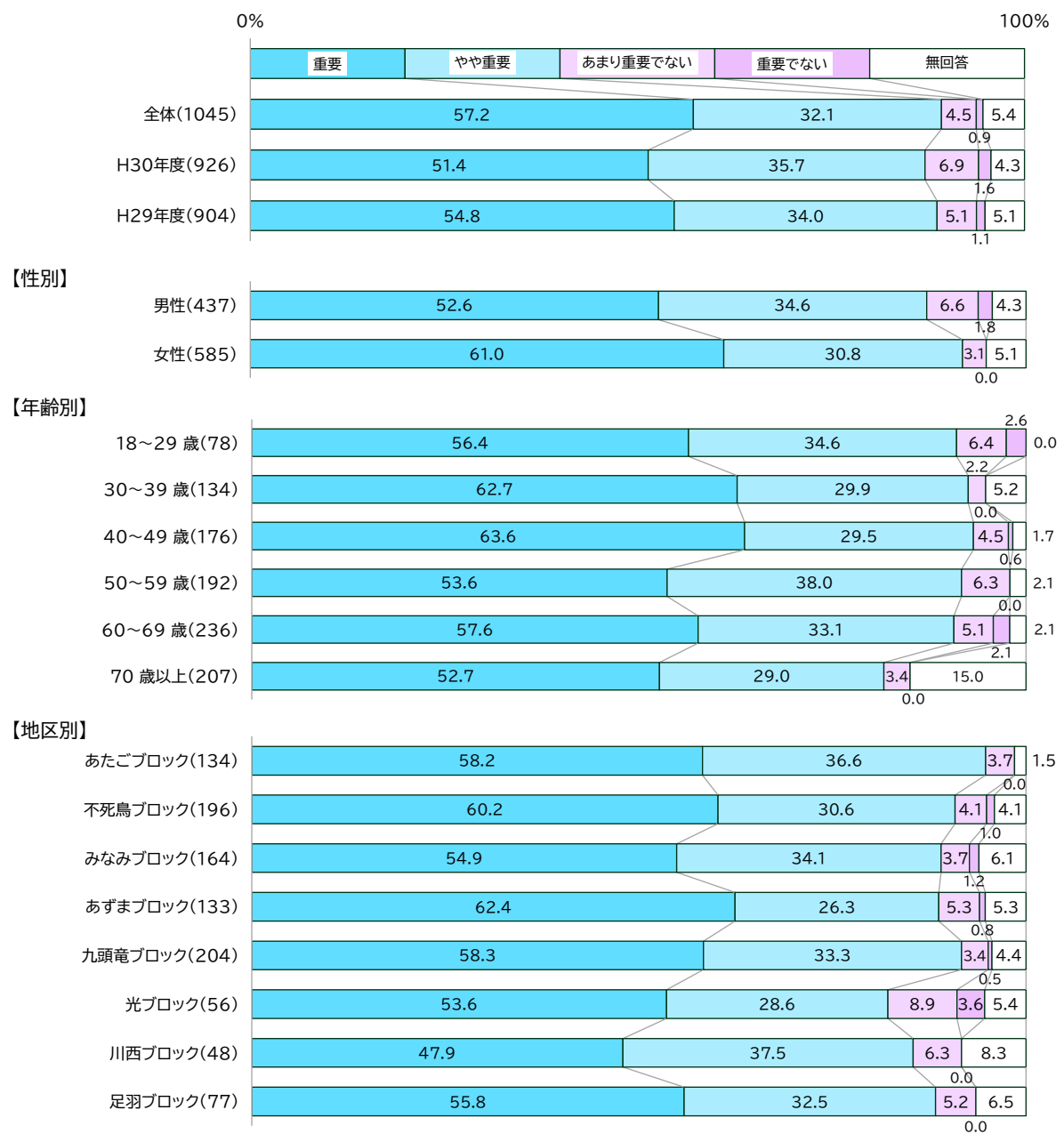
IV 学び成長するまち 「重要である」 1 位

3 7 学校環境の整備

「女性」と「あたごブロック」の「重要である」が高い

「重要である」は 89.3%、「重要でない」は 5.4%と、「重要である」が「重要でない」より 83.9 ポイント高くなっている。

性別では、「重要である」は、女性（91.8%）が男性（87.2%）より 4.6 ポイント高い。年齢別に見ると、「重要である」は、70 歳以上（81.7%）が最も低くなっている。地区別では、「重要である」は、あたごブロック（94.8%）が最も高く、光ブロック（82.2%）が最も低い。



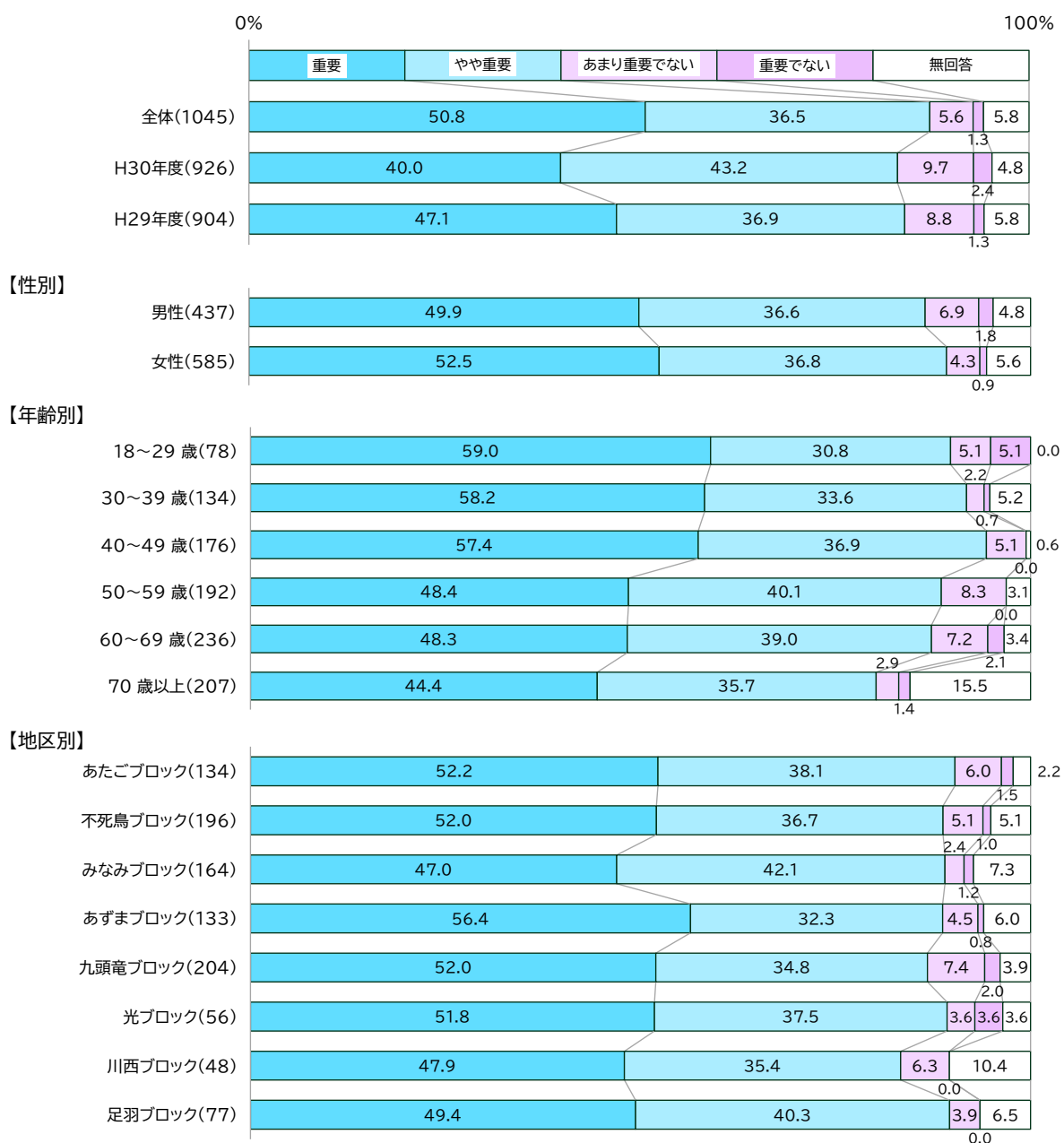
IV 学び成長するまち 「重要である」 2 位

3 5 学校教育の充実

「40～49 歳」の「重要である」が高い

「重要である」は 87.3%、「重要でない」は 6.9%と、「重要である」が「重要でない」より 80.4 ポイント高くなっている。「重要である」は、平成 30 年度の調査（83.2%）と比べて、4.1 ポイント高くなっている。

年齢別に見ると、「重要である」は、40～49 歳（94.3%）が最も高く、70 歳以上（80.1%）が最も低くなっている。



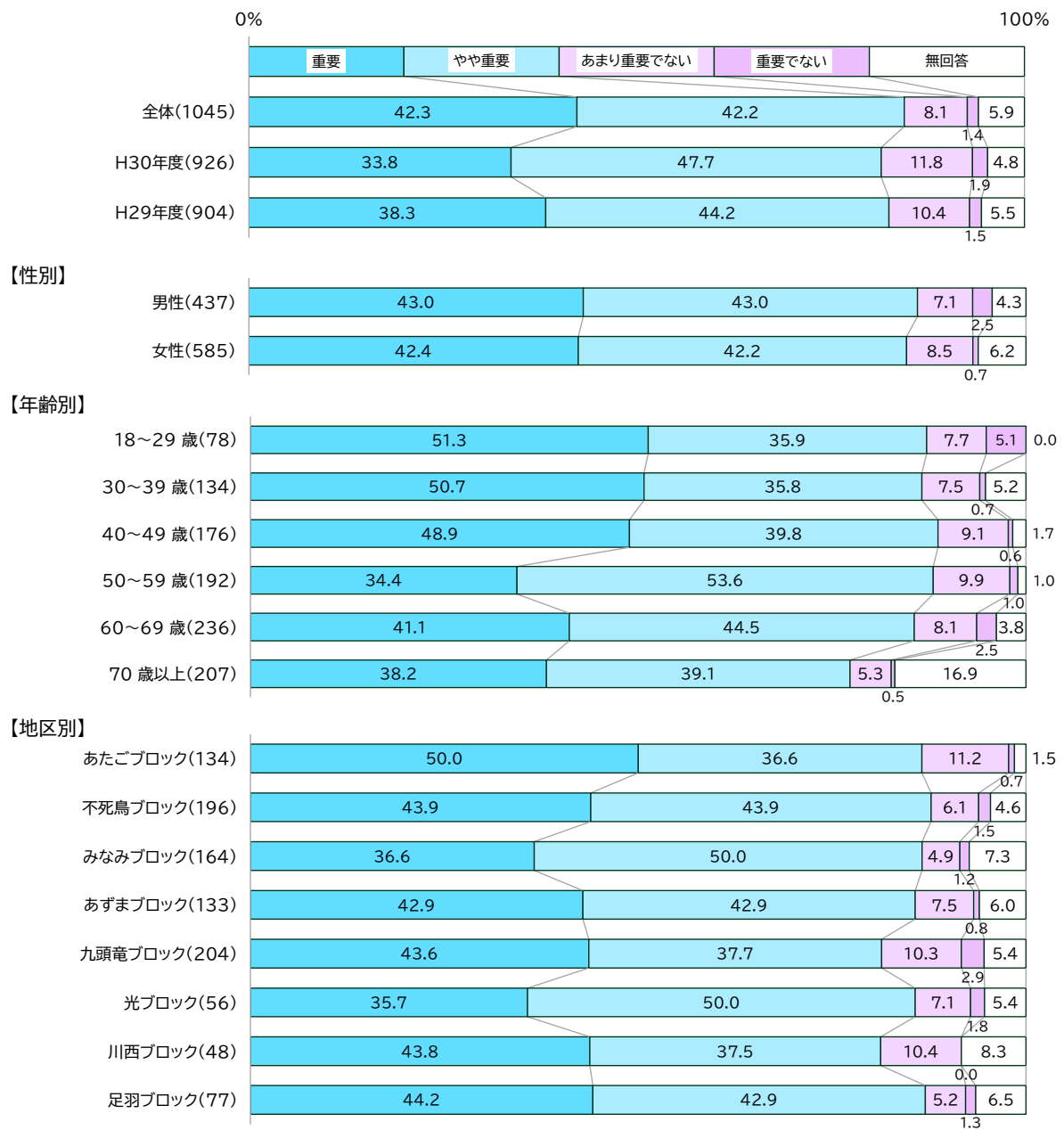
IV 学び成長するまち 「重要である」 3位

3.6 子どもの健全育成

全体的に「重要である」は高い

「重要である」は84.5%、「重要でない」は9.5%と、「重要である」が「重要でない」より75.0ポイント高くなっている。

年齢別に見ると、「重要である」は、70歳以上（77.3%）が最も低くなっている。



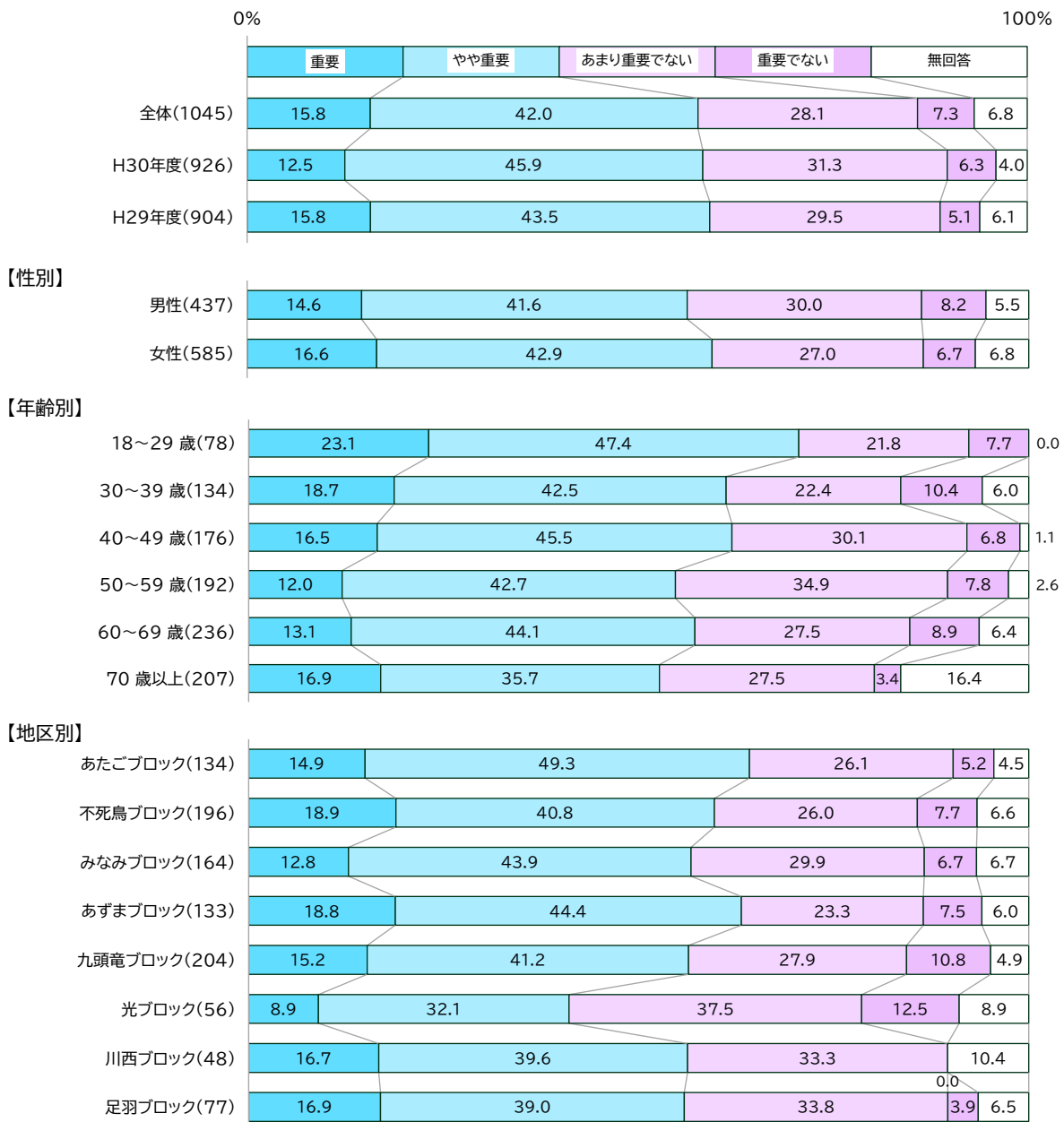
IV 学び成長するまち 「重要でない」 1 位

3 4 自然科学教育の充実

「50～59 歳」と「光ブロック」の「重要でない」が高い

「重要である」は 57.8%、「重要でない」は 35.4%と、「重要である」が「重要でない」より 22.4 ポイント高くなっている。

年齢別に見ると、「重要でない」は、50～59 歳（42.7%）が最も高くなっている。地区別では、「重要でない」は、光ブロック（50.0%）が最も高い。



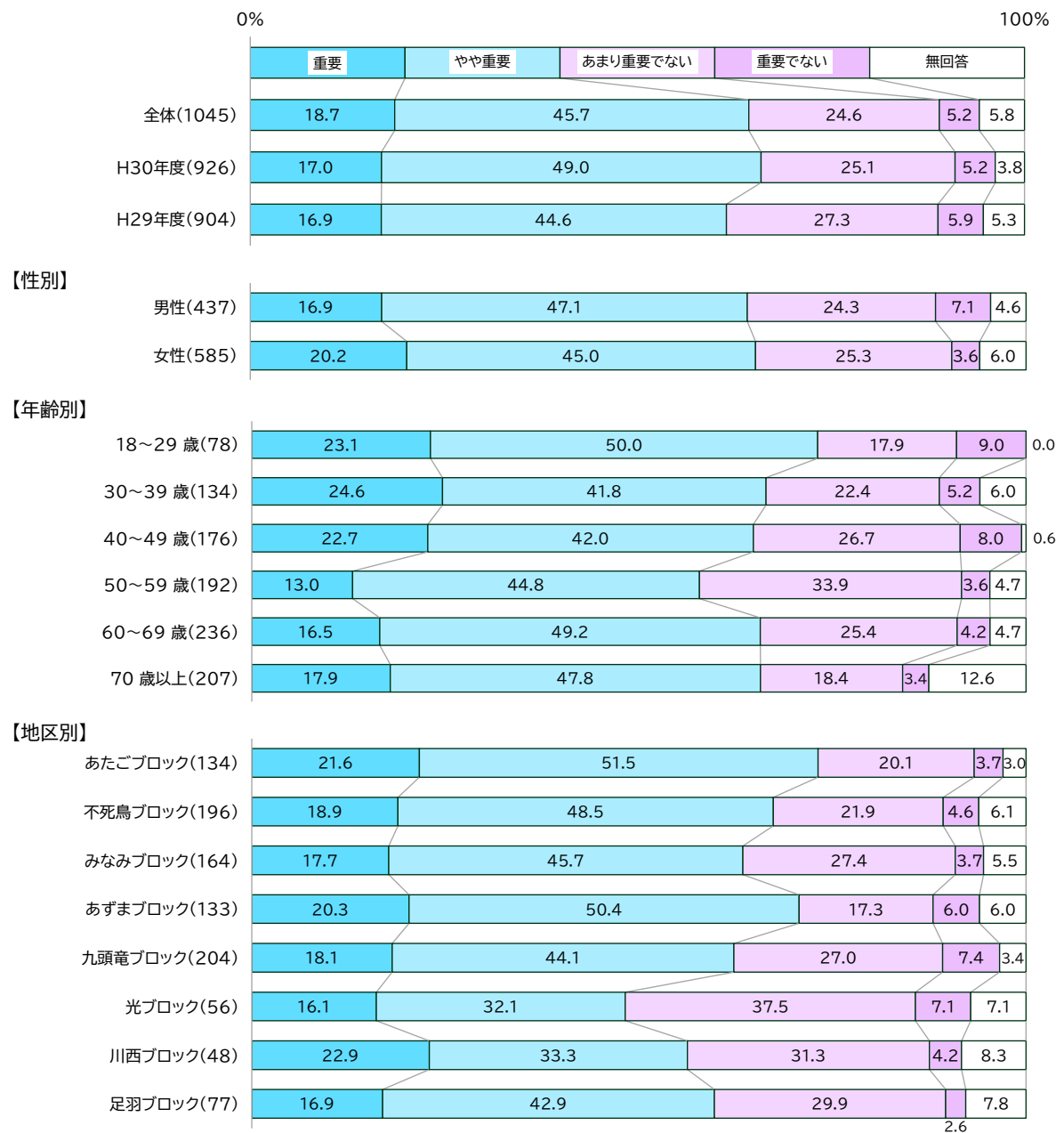
IV 学び成長するまち 「重要でない」 2位

3.2 文化芸術の振興

「50～59 歳」と「光ブロック」の「重要でない」が高い

「重要である」は 64.4%、「重要でない」は 29.8%と、「重要である」が「重要でない」より 34.6 ポイント高くなっている。

年齢別に見ると、「重要でない」は、50～59 歳（37.5%）が最も高く、70 歳以上（21.8%）は最も低くなっている。地区別では、「重要でない」は、光ブロック（44.6%）が最も高い。



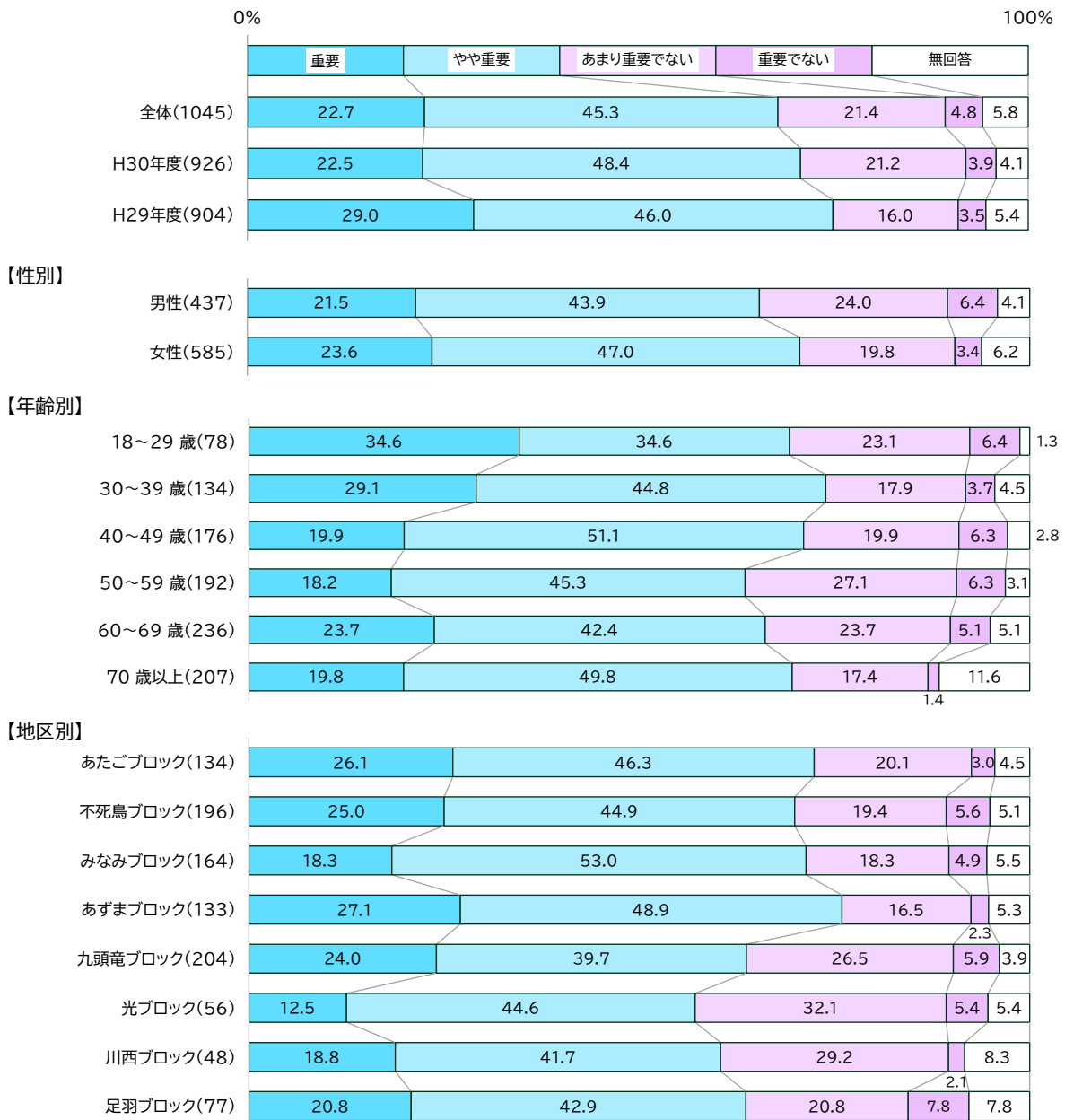
IV 学び成長するまち 「重要でない」 3 位

39 生涯スポーツの支援

「男性」と「50～59 歳」と「光ブロック」「九頭竜ブロック」の「重要でない」が高い

「重要である」は 68.0%、「重要でない」は 26.2%と、「重要である」が「重要でない」より 41.8 ポイント高くなっている。

性別では、「重要でない」は、男性（30.4%）が女性（23.2%）より 7.2 ポイント高い。年齢別に見ると、「重要でない」は、50～59 歳（33.4%）が最も高く、70 歳以上（18.8%）は最も低くなっている。地区別では、「重要でない」は、光ブロック（37.5%）と九頭竜ブロック（32.4%）が高く、あずまブロック（18.8%）が最も低い。



満足度・重要度の評価点

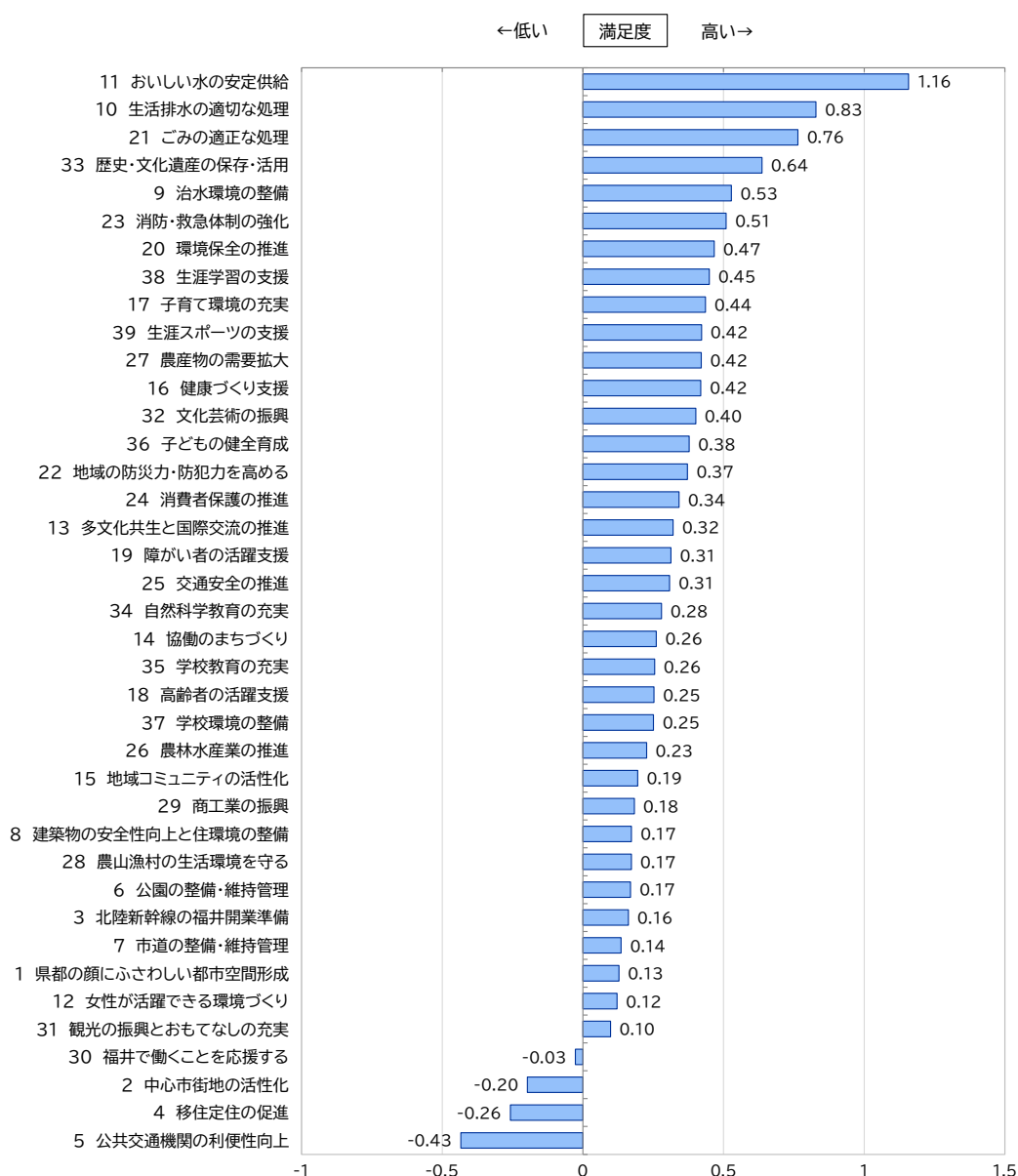
満足度の評価点

満足度を総合的に評価するため、以下のように満足度に点数をつけ、項目ごとに平均値を算出した結果が次のグラフである。

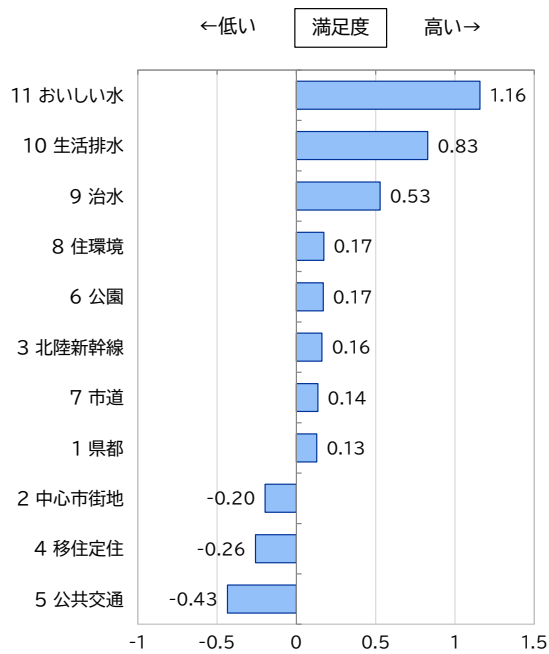
満足：2点、ほぼ満足：1点、やや不満：-1点、不満：-2点

評価点の上位をみると、高い順に「11 おいしい水の安定供給」(1.16)、「10 生活排水の適切な処理」(0.83)、「21 ごみの適正な処理」(0.76)となっている。

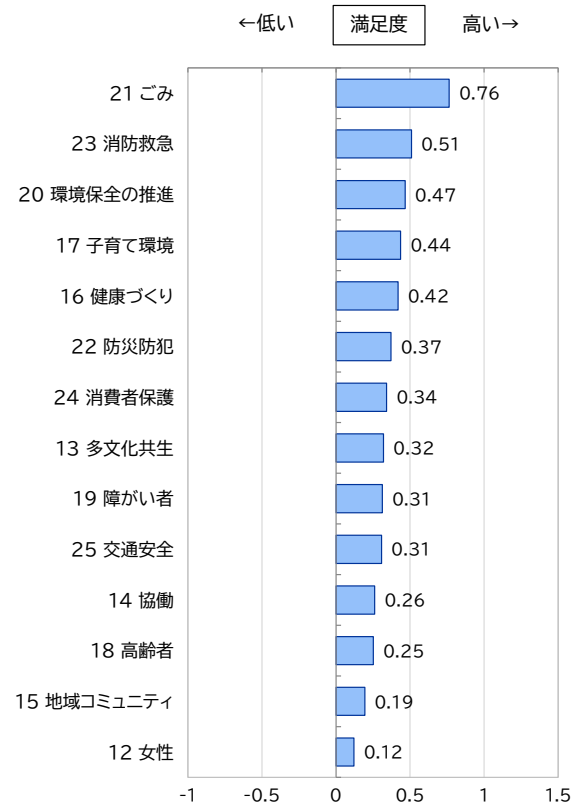
また下位は、低い順に「5 公共交通機関の利便性向上」(-0.43)、「4 移住定住の促進」(-0.26)、「2 中心市街地の活性化」(-0.20)となっている(カッコ内は評価点)。ただし、評価点による順位は、「満足度」の順位とは必ずしも一致しない。



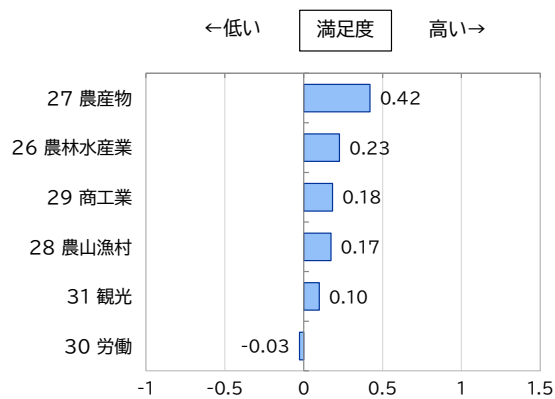
I 快適に暮らすまち



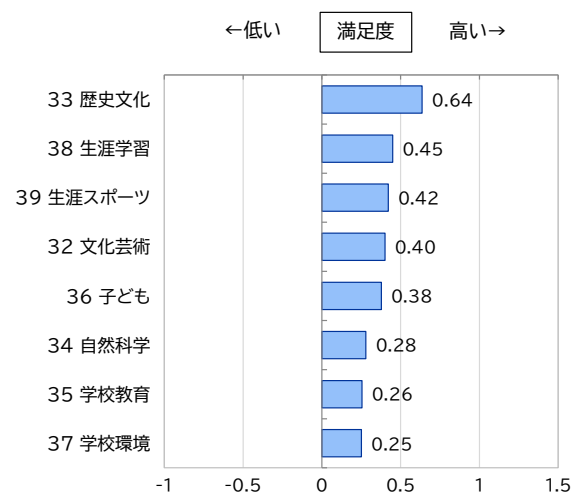
II 住みよいまち



III 生き活きと働くまち



IV 学び成長するまち



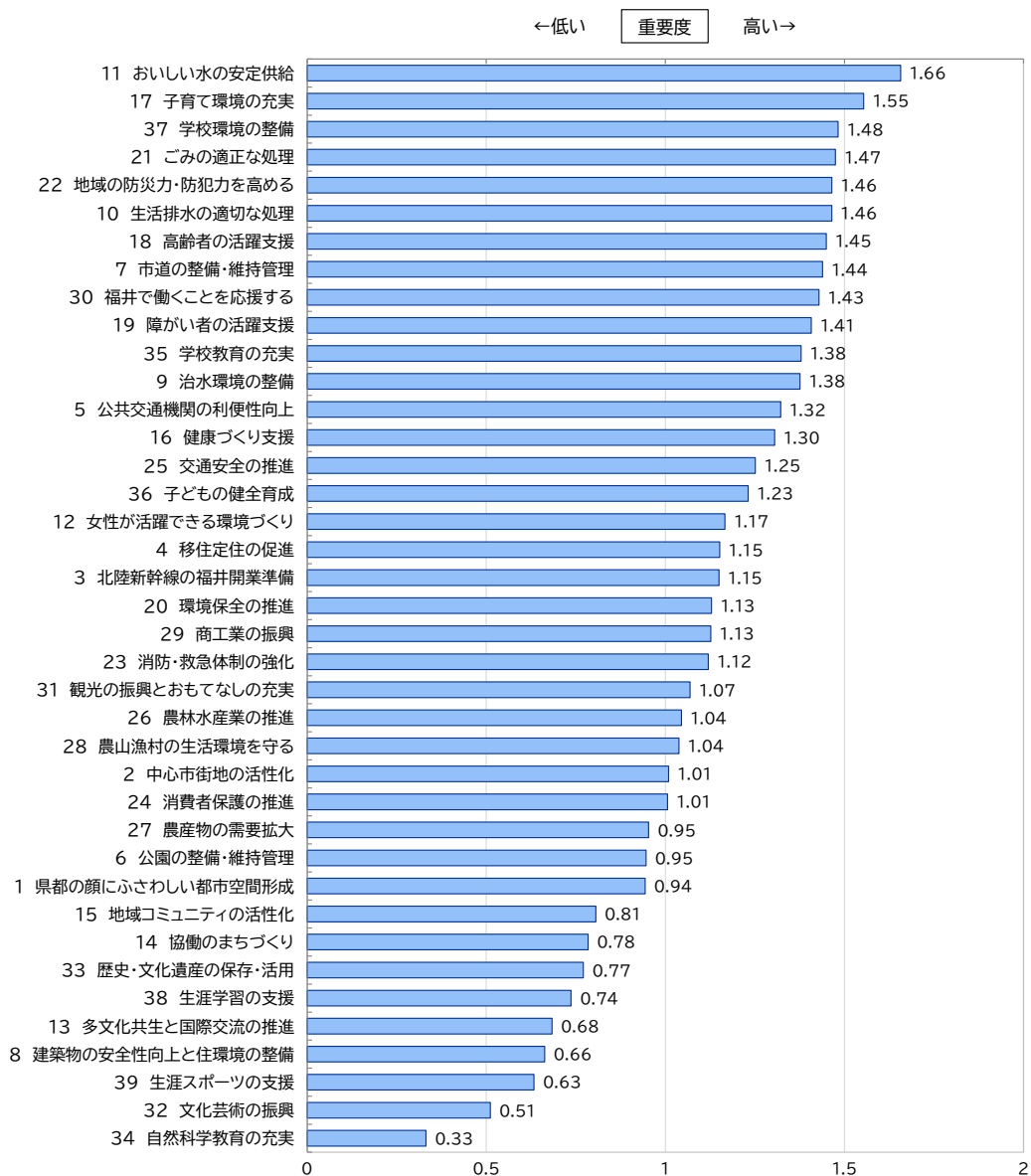
重要度の評価点

重要度を総合的に評価するため、以下のように重要度に点数をつけ、項目ごとに平均値を算出した結果が次のグラフである。

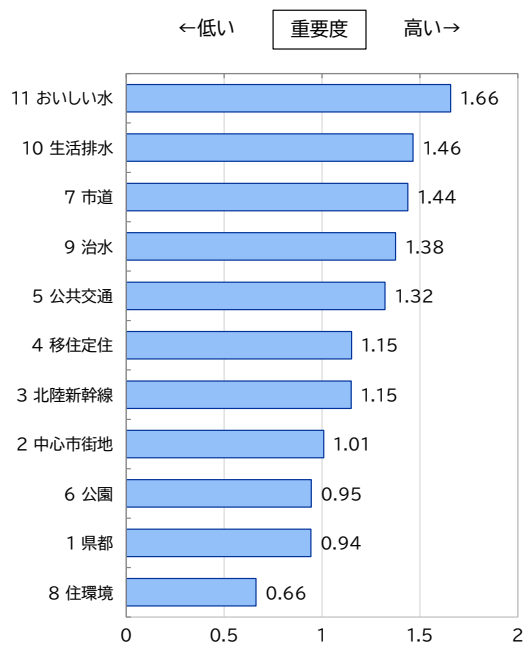
重要：2点、やや重要：1点、あまり重要でない：－1点、重要でない：－2点

評価点の上位をみると、高い順に「11 おいしい水の安定供給」(1.66)、「17 子育て環境の充実」(1.55)、「37 学校環境の整備」(1.48)となっている。

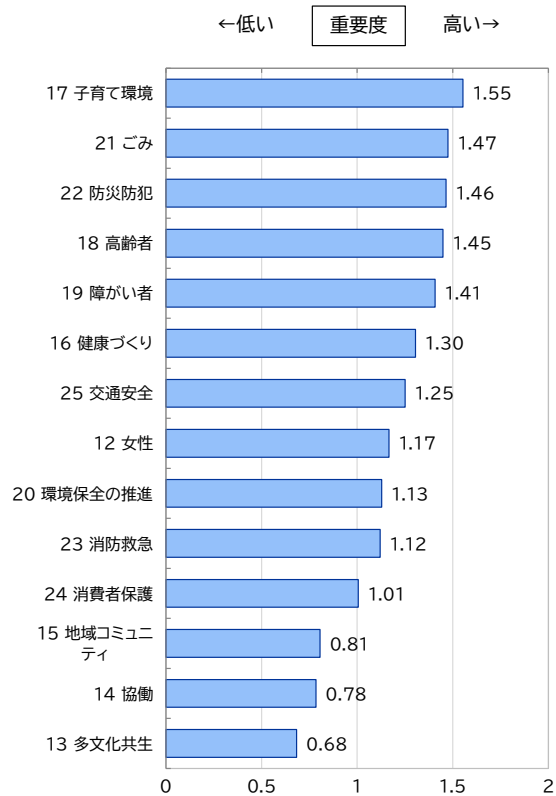
また下位は、低い順に「34 自然科学教育の充実」(0.33)、「32 文化芸術の振興」(0.51)、「39 生涯スポーツの支援」(0.63)となっている（カッコ内は評価点）。ただし、評価点による順位は、「重要度」の順位とは必ずしも一致しない。



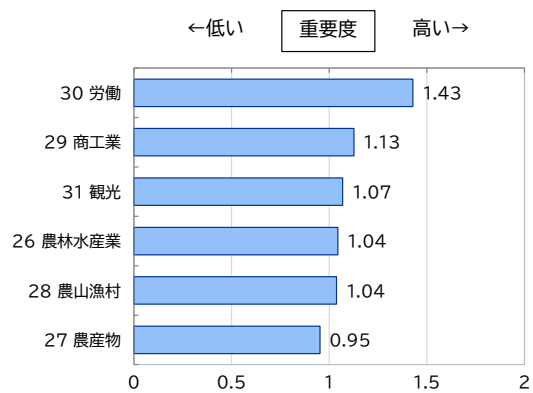
I 快適に暮らすまち



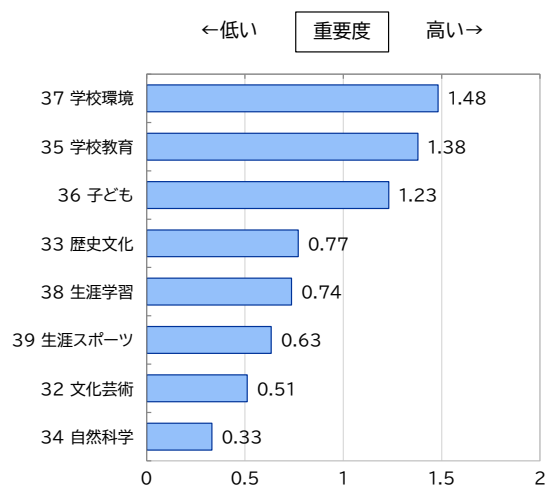
II 住みよいまち



III 活き活きと働くまち



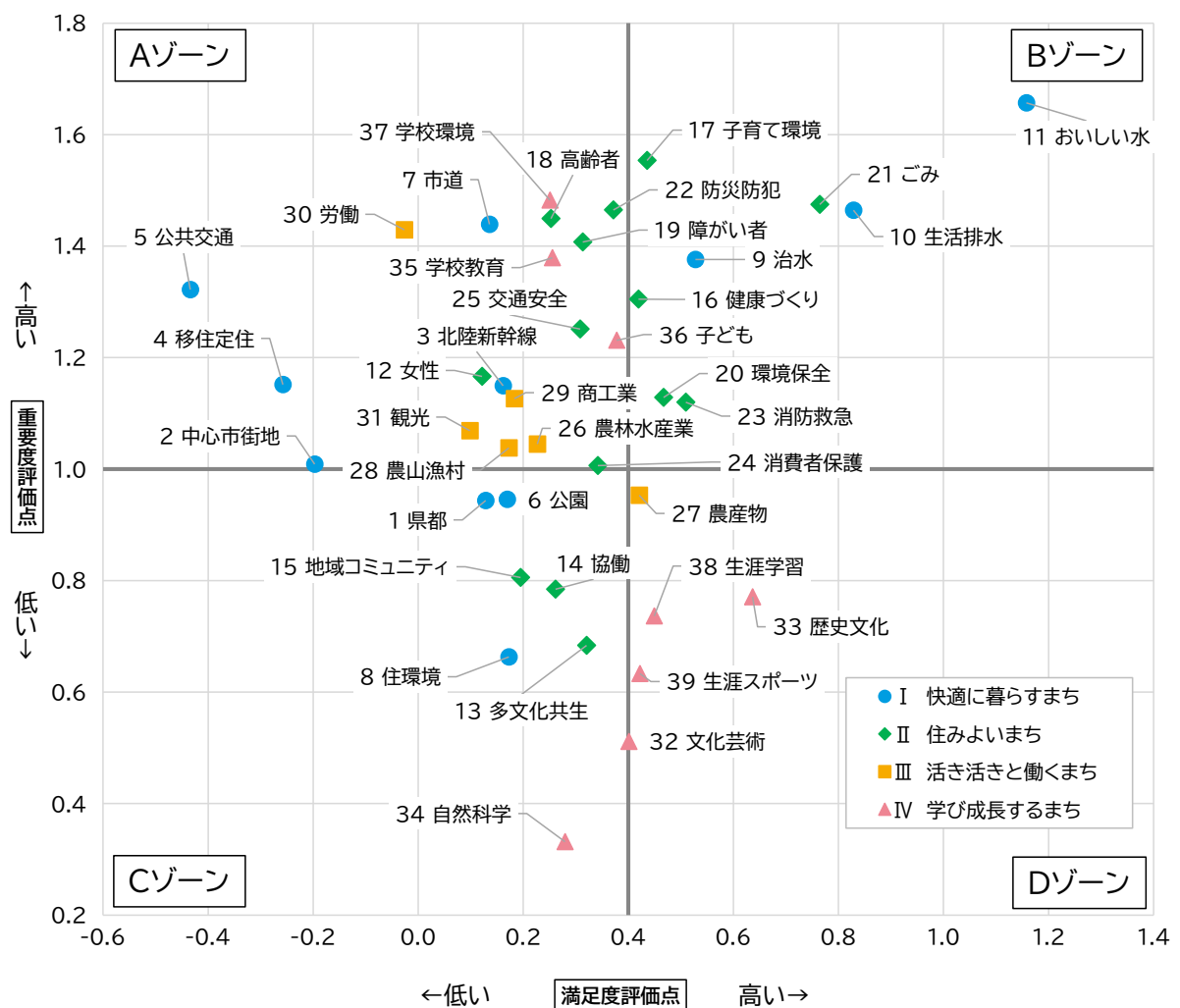
IV 学び成長するまち



満足度評価点と重要度評価点の関係

満足度評価点を横軸に、重要度評価点を縦軸にとり、各施策の位置を表したのが次のグラフである。2つの評価点の関係によって各施策を相対的に表すために、横軸の満足度評価点と縦軸の重要度評価点のそれぞれの平均値を太線で区切り、AからDの4つのゾーンに分けて各施策を分類した。しかしながら、中心線に近くなるほど隣接するゾーンの要素も含まれてくることになるため、これをもって今後の施策の方向性を明確に分類するものではない。

満足度評価点と重要度評価点の相関図



全体では、満足度評価点は39施策のうち35施策がプラスとなっており、今回の調査においては、市の施策についておおむね満足の評価が得られたといえる。

また、重要度評価点は、全ての施策がプラスとなっている。

各ゾーンに分布する施策を見ると、Aゾーンに位置する施策は、重要度は高いが、満足度は低いとされた施策である。

「中心市街地」「移住定住」「公共交通」「市道」「観光」といった、市民の注目度の高い19施策がこのゾーンに位置している。

市民の関心が高いことから、今後、満足度を高めていく必要がある。

Bゾーンに位置する施策は、満足度と重要度がともに高い施策である。

「生活排水」「おいしい水」「子育て環境」「ごみ」といった、生活に密着した8施策がこのゾーンに位置している。

今後も現在の状態を維持できるよう継続して各施策に取り組んでいく必要がある。

Cゾーンに位置する施策は、満足度と重要度がともに低い施策である。

「県都」「公園」「多文化共生」「自然科学」といった、7施策がこのゾーンに位置している。

認知度の低さが重要度に表れている可能性があるため、まずは市民の関心を高め、施策の重要性を理解していただいた上で満足度も高めていく必要がある。

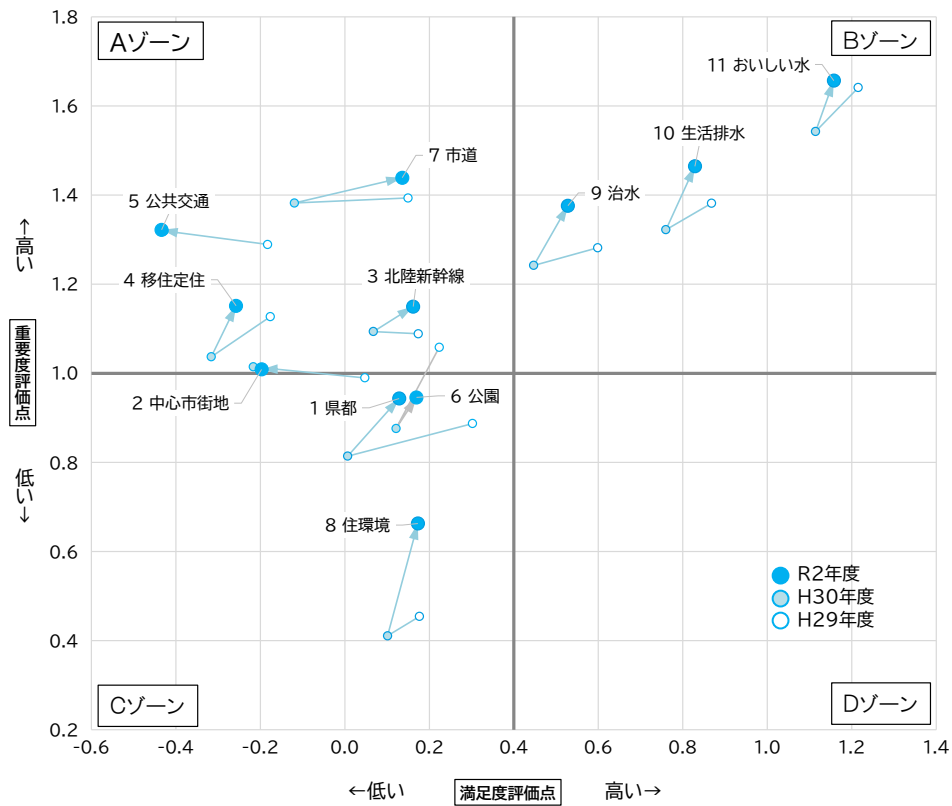
Dゾーンに位置する施策は、重要度は低いが、満足度は高いとされた施策である。

「農産物」「歴史文化」「生涯学習」といった、5施策がこのゾーンに位置している。

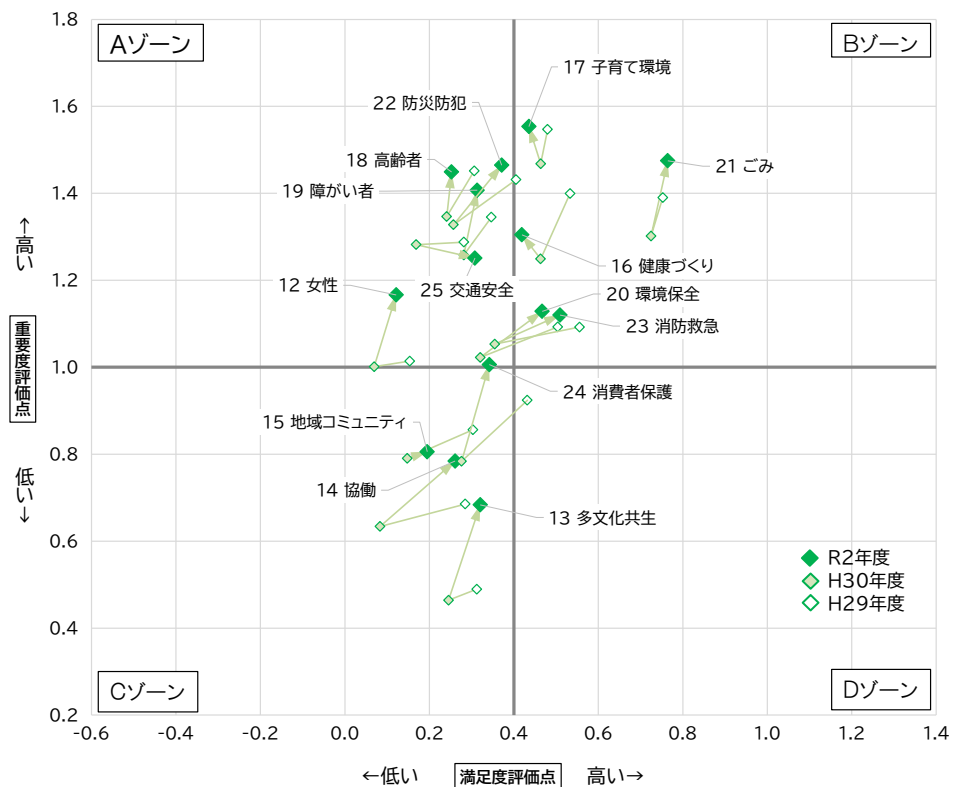
一定の満足度は得られているが、認知度の低さが重要度に表れている可能性があるため、着実に施策を推進する中で、市民の関心も高めていく必要がある。

体系ごとの満足度評価点と重要度評価点の推移

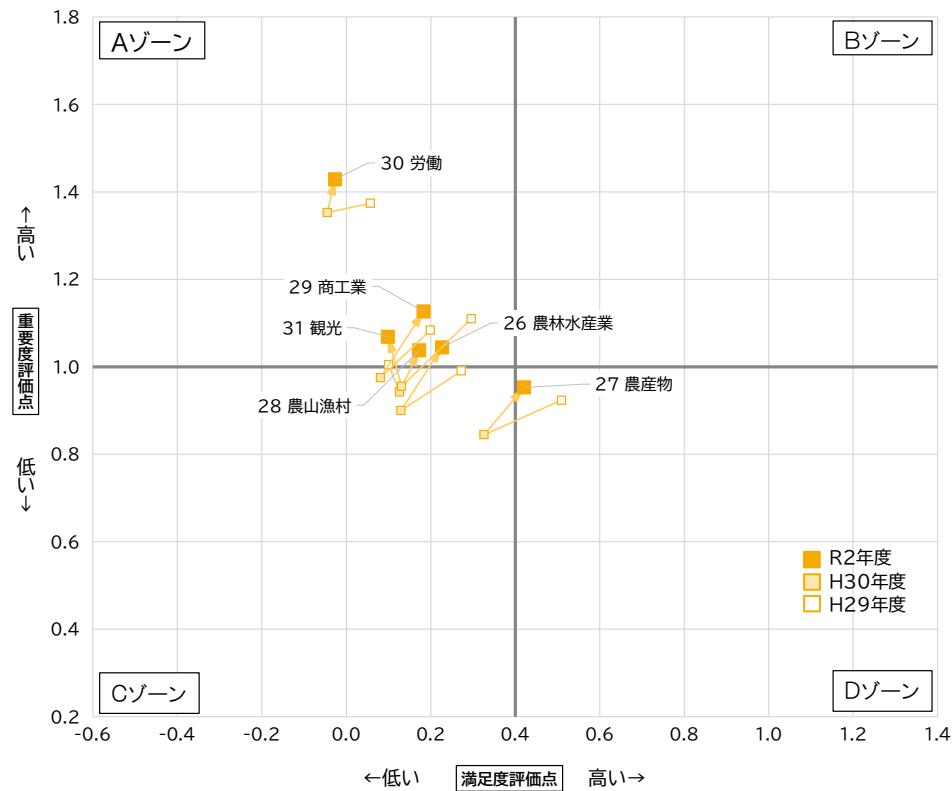
I 快適に暮らすまち



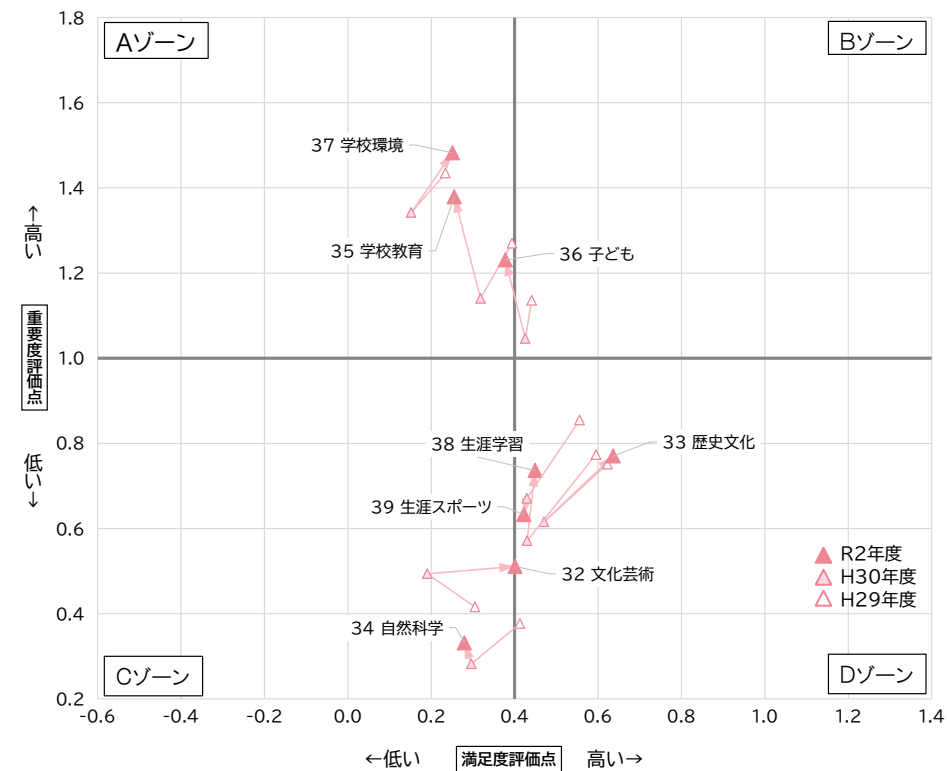
II 住みよいまち



Ⅲ 活き活きと働くまち



Ⅳ 学び成長するまち



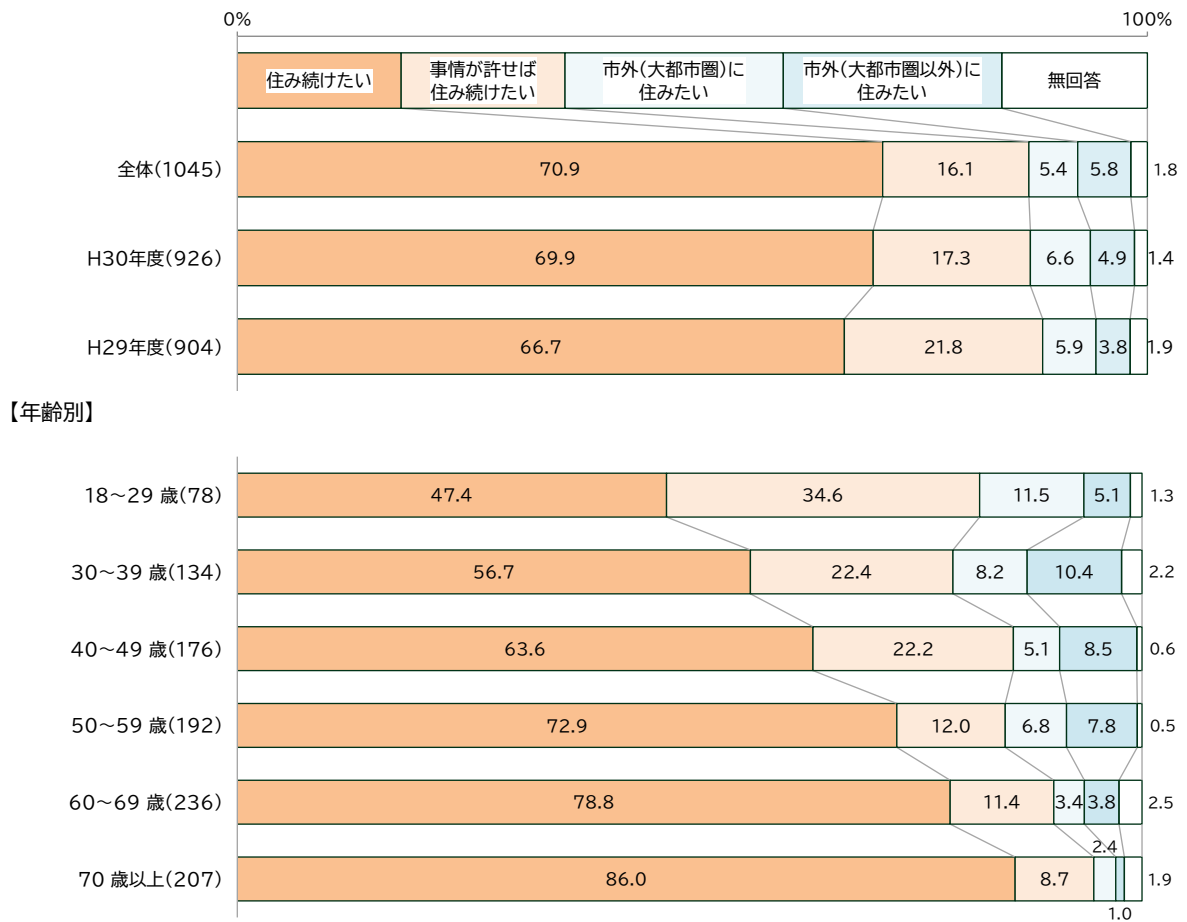
◆福井市について

問1 あなたは、福井市にこれからも住み続けたいと思いますか。(1つ)

「福井市に住み続けたい」が約9割

「福井市に住み続けたい」「住み続けたい」(70.9%)及び「事情が許せば住み続けたい」(16.1%)の合計)が87.0%となっている。

年齢別に見ると、「福井市に住み続けたい」は、70歳以上(94.7%)が最も高く、年齢の高い世代ほどその割合が高くなる傾向が見られる。

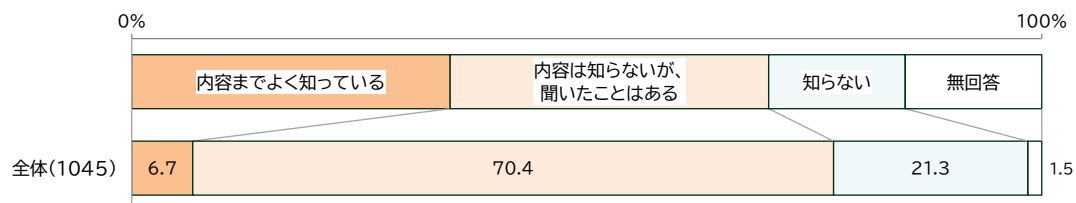


問2 あなたは、都市部からの移住（UI ターン）を促進する福井市の施策を知っていますか。（1つ）

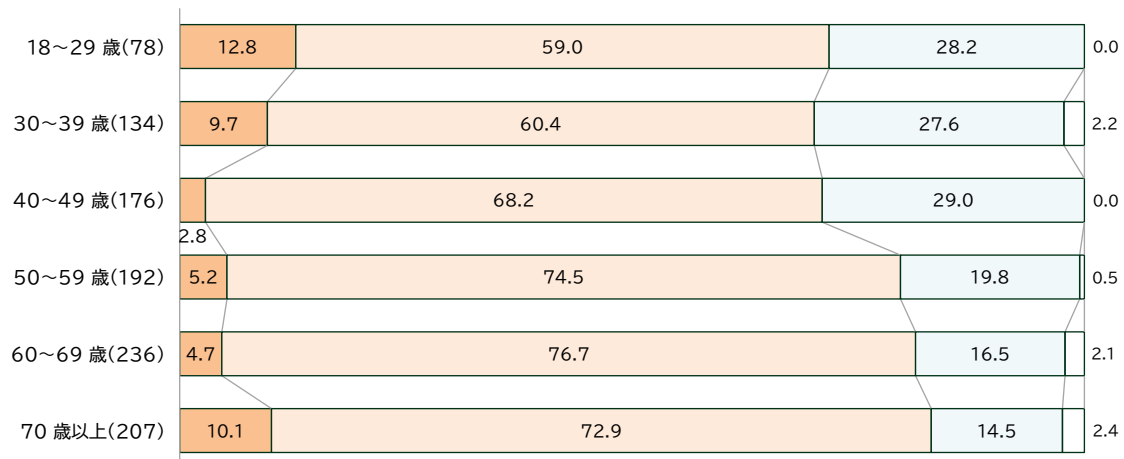
「知っている」が約8割

「知っている」（「内容までよく知っている」（6.7%）及び「内容は知らないが、聞いたことはある」（70.4%）の合計）が77.1%、「知らない」が21.3%となっている。

年齢別に見ると、「知っている」は、70歳以上（83.0%）が最も高く、50歳以上の割合が高くなっている。



【年齢別】

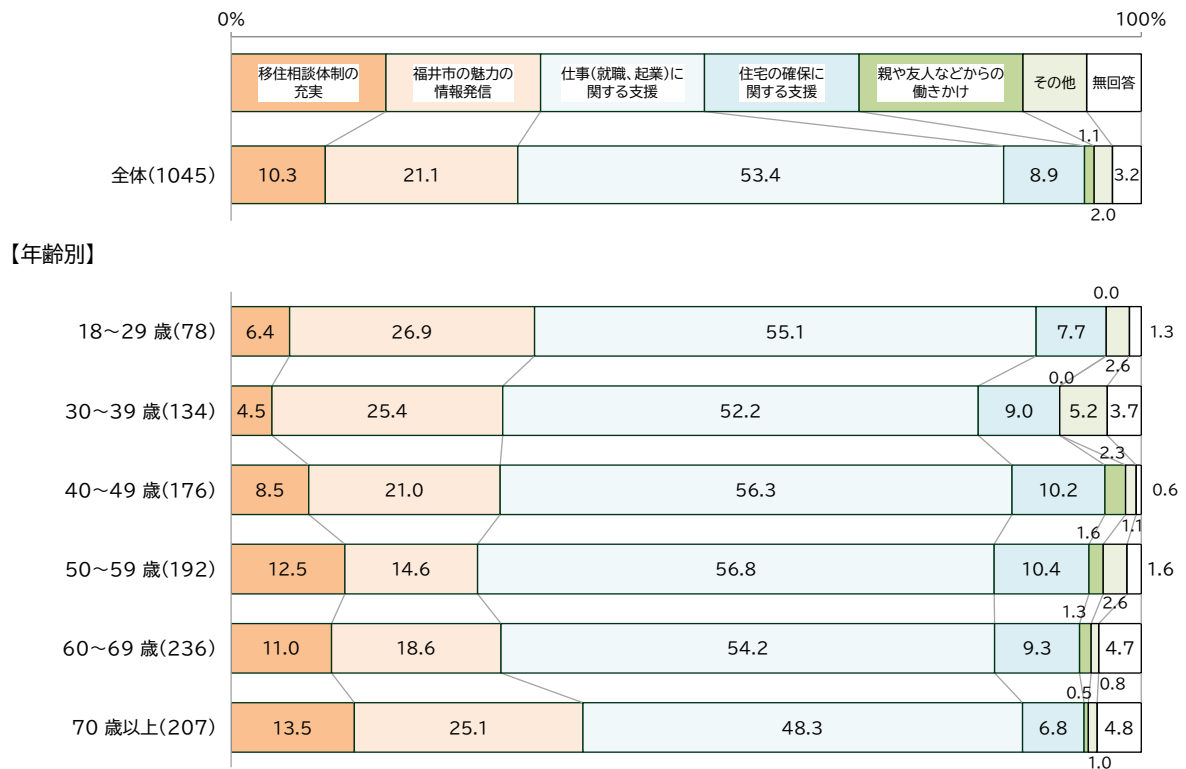


問3 都市部からの移住促進に重要だと思うものは何ですか。(1つ)

「仕事に関する支援」が5割以上

「仕事に関する支援」(53.4%)が最も高く、次いで「福井市の魅力の情報発信」(21.1%)が高くなっている。

年齢別に見ると、「仕事に関する支援」は、70歳以上(48.3%)を除いてその割合が5割を超える。

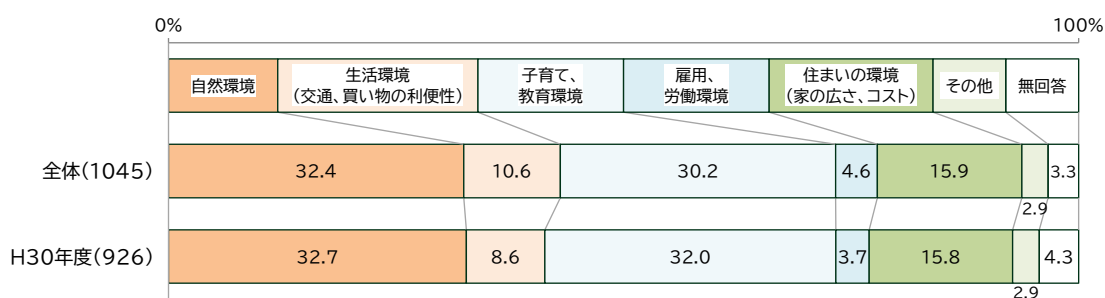


問4 都市部からの移住促進にあたり、福井市の強みは何だと思いますか。(1つ)

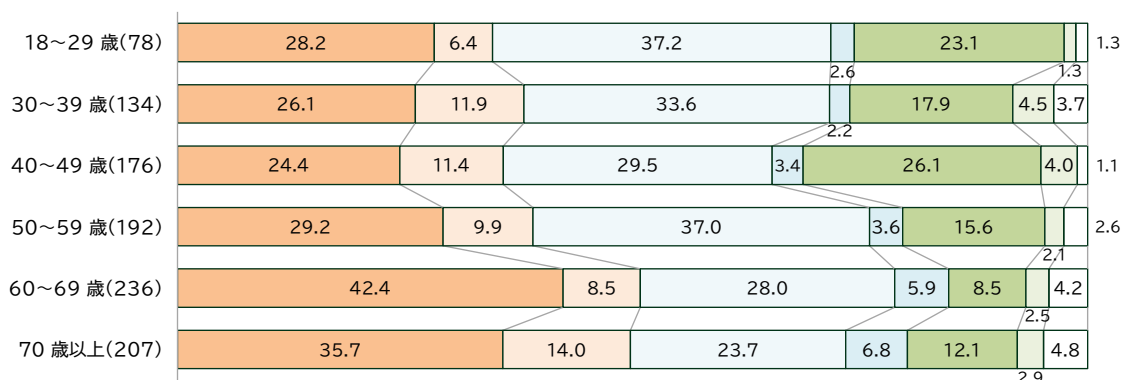
「自然環境」「子育て、教育環境」がそれぞれ約3割

「自然環境」(32.4%)が最も高く、次いで「子育て、教育環境」(30.2%)が高くなっている。

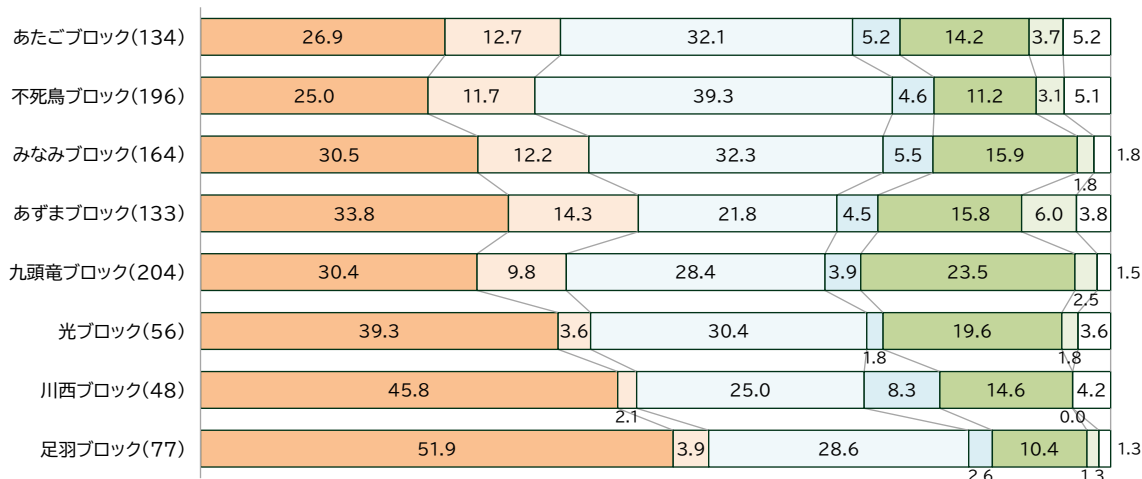
年齢別に見ると、「自然環境」は、60～69歳(42.4%)が最も高く、「子育て、教育環境」は、18～29歳(37.2%)と50～59歳(37.0%)が高い。地区別では、「自然環境」は、足羽ブロック(51.9%)と川西ブロック(45.8%)が高く、「子育て、教育環境」は、不死鳥ブロック(39.3%)が最も高くなっている。



【年齢別】



【地区別】



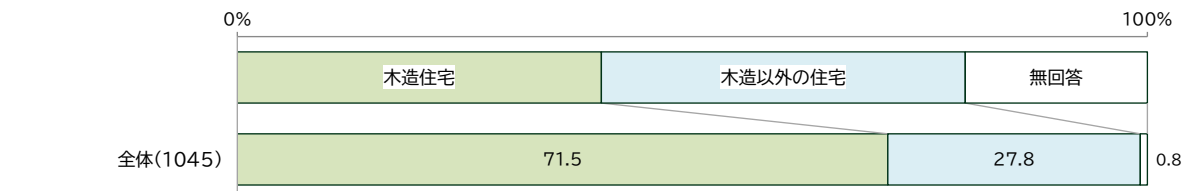
◆お住まいの耐震について

問1 あなたのお住まいは、どのような建築構造の住宅ですか。(1つ)

「木造住宅」が約7割

「木造住宅」が71.5%、「木造以外の住宅」が27.8%となっている。

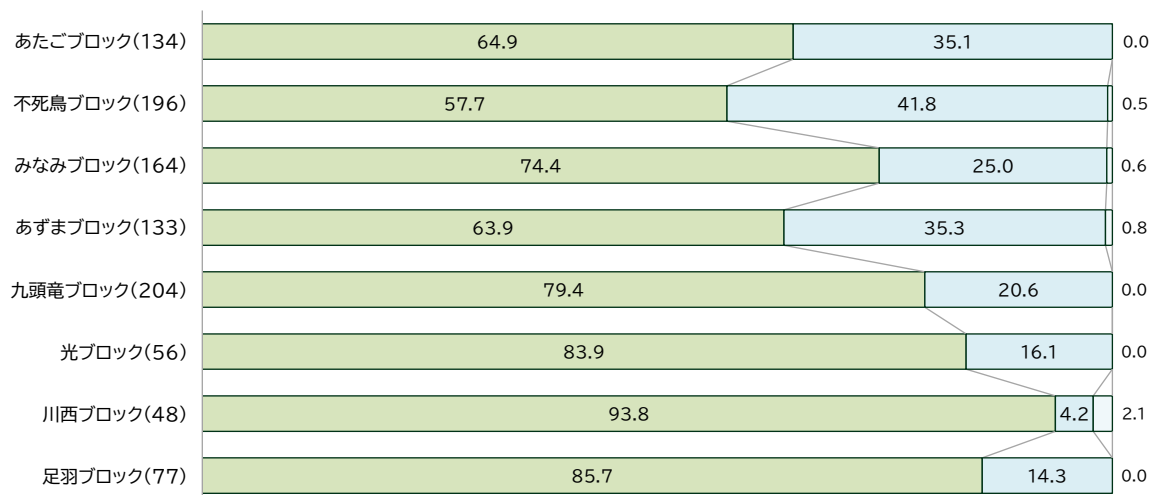
年齢別に見ると、年齢の高い世代ほど「木造住宅」の割合が高くなる傾向が見られる。地区別では、「木造住宅」は、川西ブロック(93.8%)、足羽ブロック(85.7%)、光ブロック(83.9%)及び九頭竜ブロック(79.4%)が他の地区より割合が高い。



【年齢別】



【地区別】

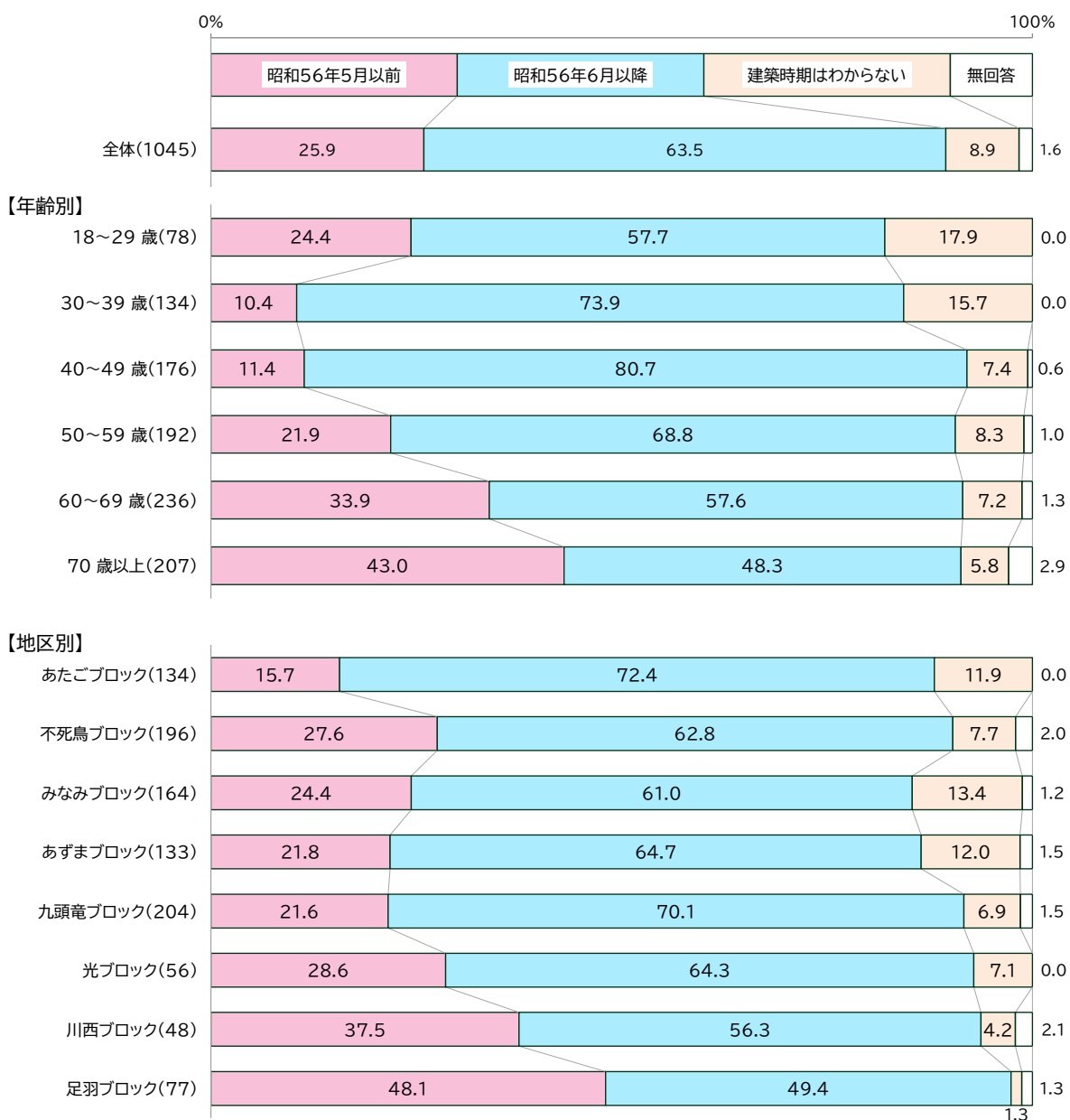


問2 あなたのお住まいは、いつごろ建てられた住宅ですか。(1つ)

「昭和 56 年 5 月以前」が2割以上

「昭和 56 年 5 月以前」が 25.9%、「昭和 56 年 6 月以降」が 63.5%となっている。

年齢別に見ると、年齢の高い世代ほど建てられた住宅が「昭和 56 年 5 月以前」である割合が高くなる傾向が見られ、18～29 歳 (24.4%) も割合は高い。地区別では、「昭和 56 年 5 月以前」は、足羽ブロック (48.1%)、川西ブロック (37.5%)、光ブロック (28.6%) 及び不死鳥ブロック (27.6%) が他の地区より割合が高い。

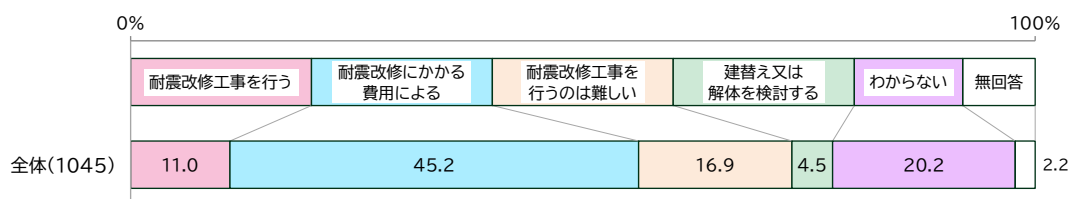


問3 あなたのお住まいの耐震性が低いと判断されたら、耐震改修工事を行いますか。
(1つ)

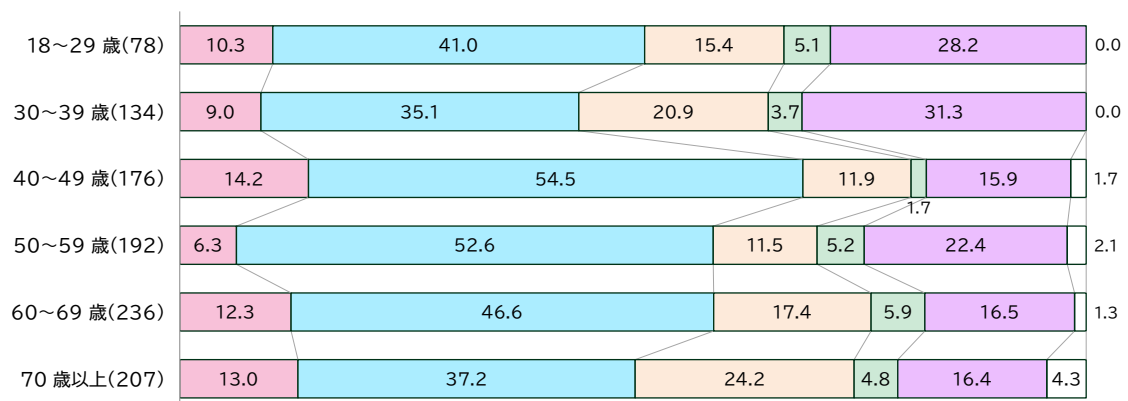
「工事を行う（検討する）」は約6割

「工事を行う（検討する）」（「耐震改修にかかる費用による」（45.2%）、「耐震改修工事を行う」（11.0%）及び「建替え又は解体を検討する」（4.5%）の合計）は、60.7%となっている。

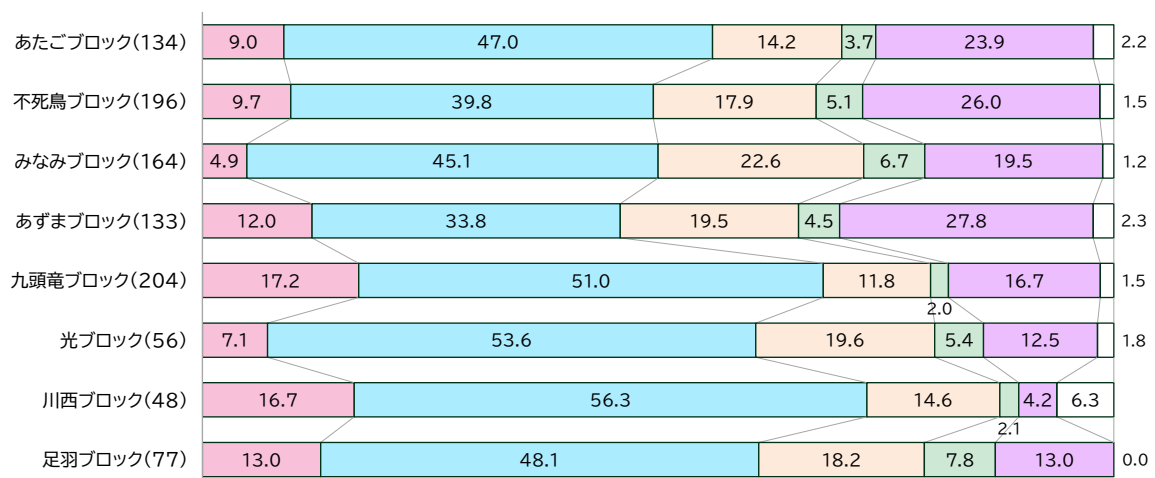
年齢別に見ると、「工事を行う（検討する）」は、40～49歳（70.4%）が最も高い。地区別では、「工事を行う（検討する）」は、川西ブロック（75.1%）、九頭竜ブロック（70.2%）、足羽ブロック（68.9%）及び光ブロック（66.1%）が他の地区より割合が高くなっている。



【年齢別】



【地区別】

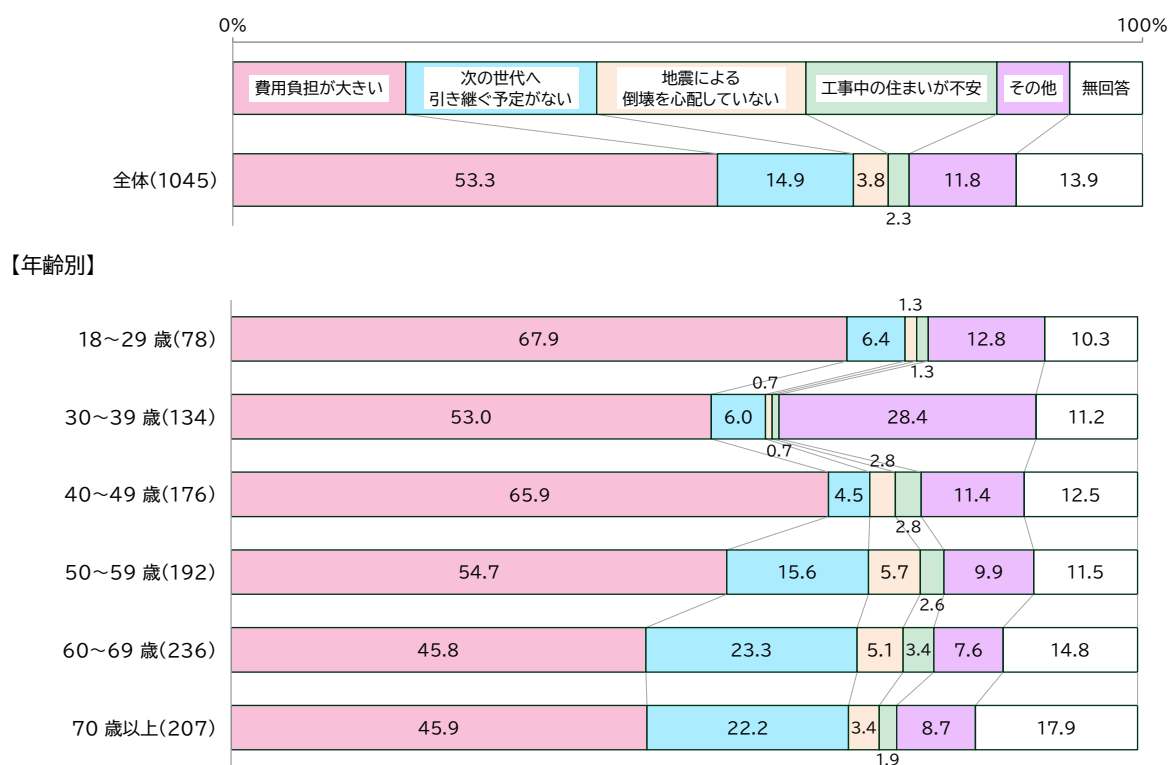


問4 あなたが耐震改修工事を行うのは難しい理由をお答えください。(1つ)

「費用負担が大きい」が5割以上

「費用負担が大きい」(53.3%)が最も高く、次いで「次の世代へ引き継ぐ予定がない」(14.9%)が高くなっている。

年齢別に見ると、「費用負担が大きい」は、18～29歳(67.9%)と40～49歳(65.9%)が高く、60～69歳(45.8%)と70歳以上(45.9%)が低い。



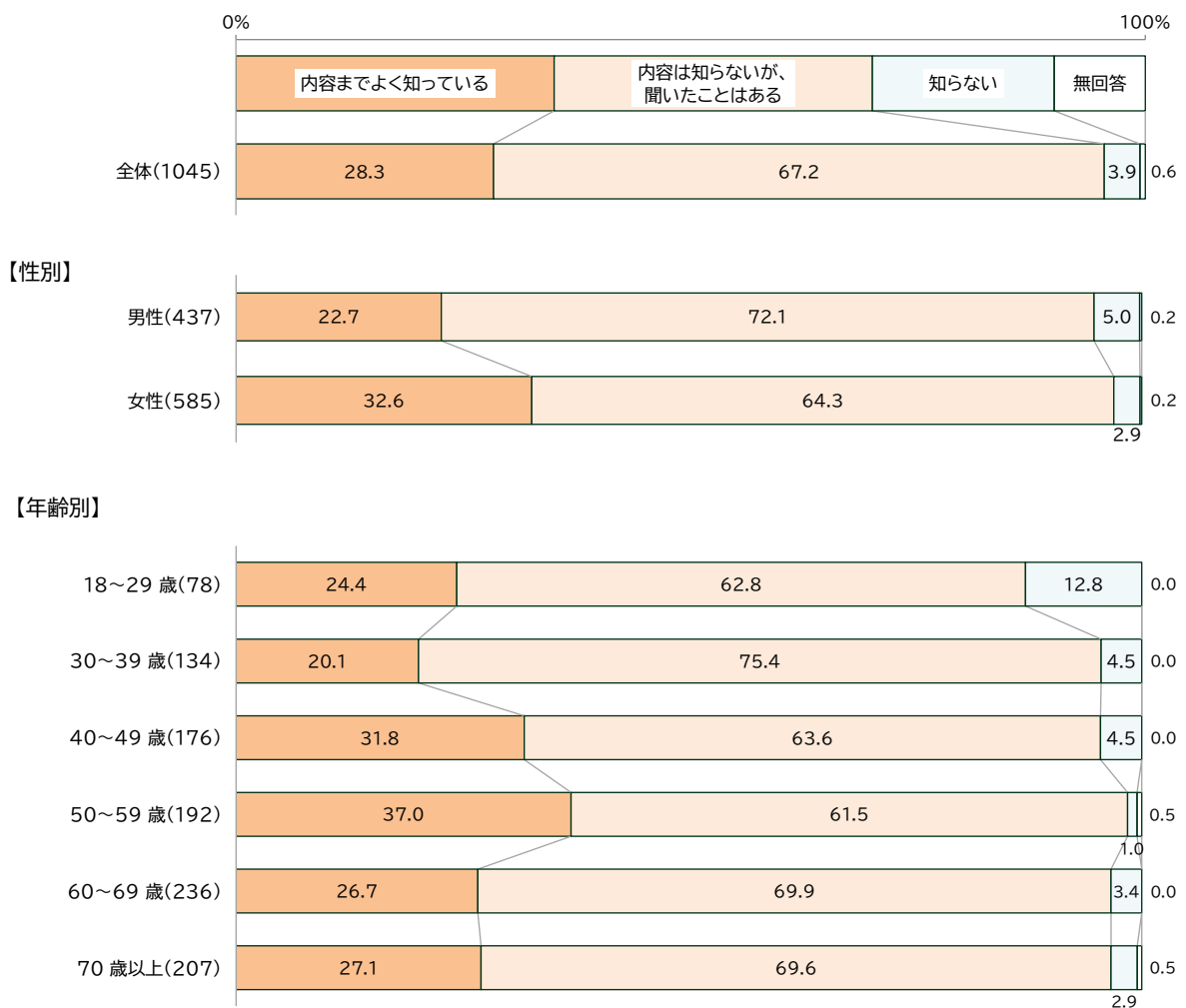
◆骨髄バンクについて

問1 あなたは骨髄バンク事業についてご存じですか。(1つ)

「知っている」が9割以上

「知っている」(「内容までよく知っている」(28.3%) 及び「内容は知らないが、聞いたことはある」(67.2%) の合計) が95.5%、「知らない」が3.9%となっている。

性別では、「内容までよく知っている」は、女性(32.6%)が男性(22.7%)より9.9ポイント高い。年齢別に見ると、「内容までよく知っている」は、50～59歳(37.0%)が最も高くなっている。

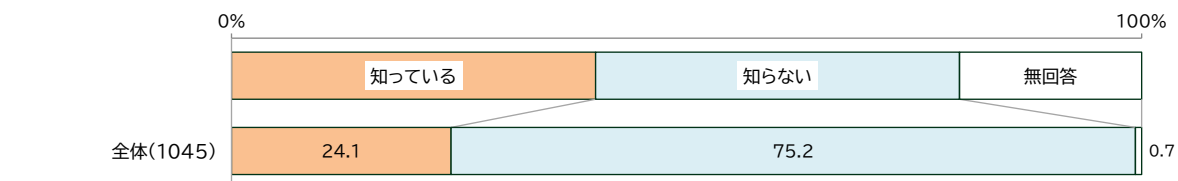


問2 あなたは、福井市内にある常設のドナー登録窓口をご存じですか。(1つ)

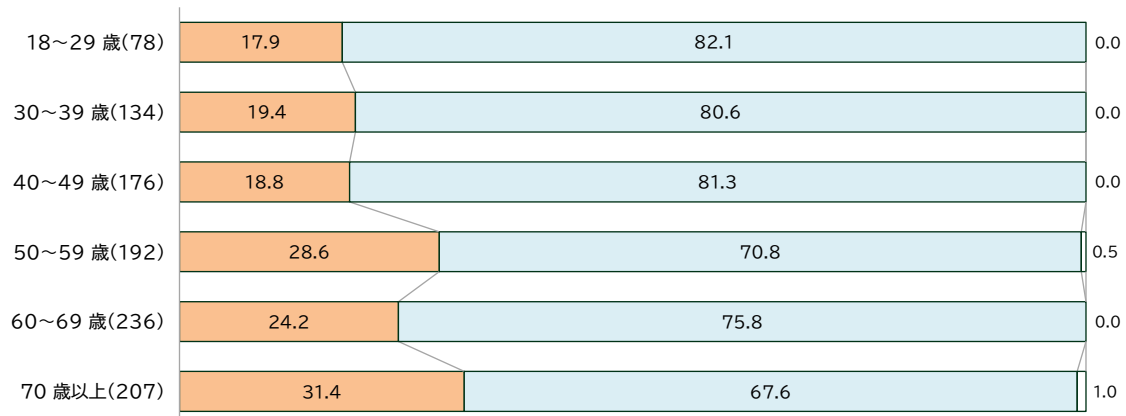
「知らない」が7割以上

「知らない」が75.2%、「知っている」が24.1%となっている。

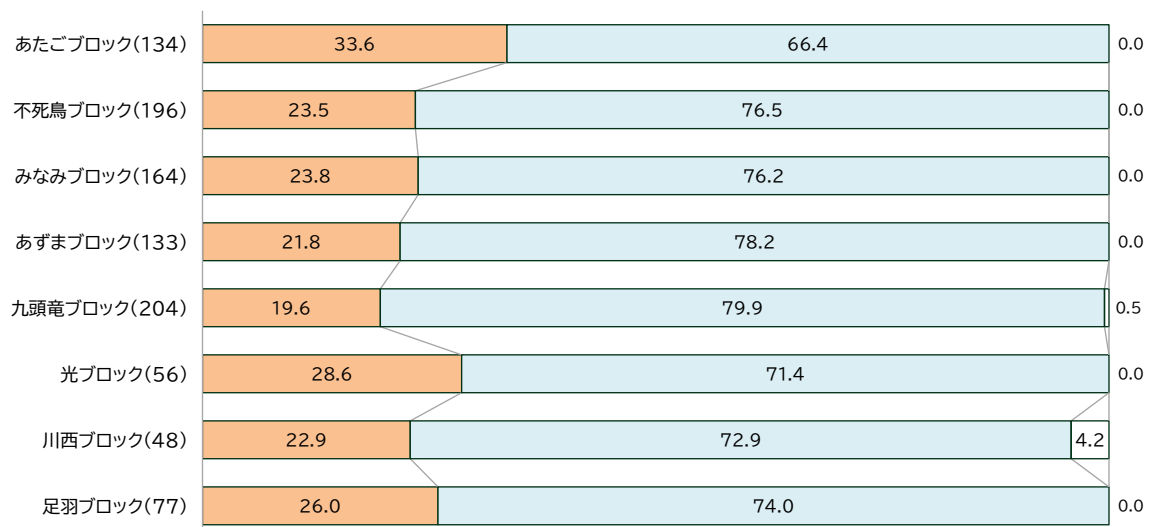
年齢別に見ると、「知らない」は、18～29歳以下(82.1%)、40～49歳(81.3%)、30～39歳(80.6%)が高い。地区別では、登録窓口(献血ホールいぶき 福井市月見3丁目3-23)が所在するあたごブロック(33.6%)が他の地区より「知っている」割合が高くなっている。



【年齢別】



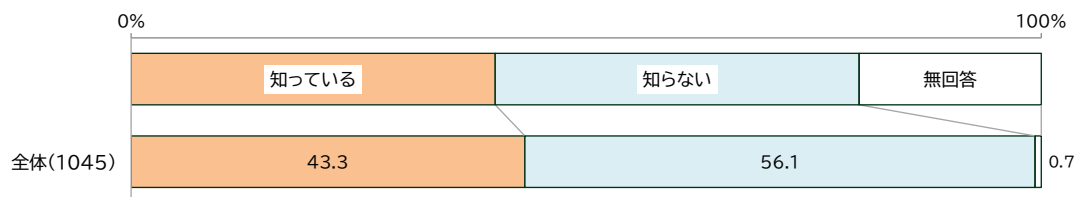
【地区別】



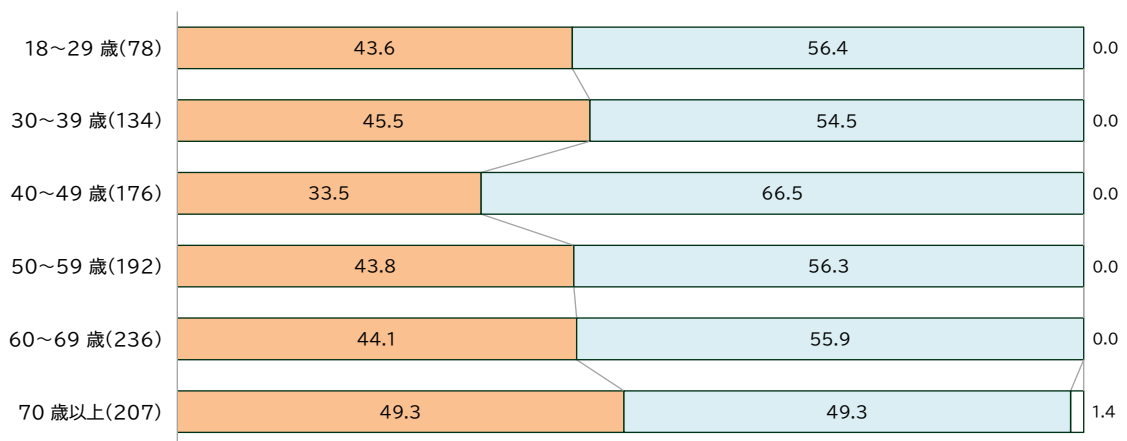
問3 あなたは、献血の際に希望すればドナー登録ができることをご存じですか。(1つ)

「知っている」が4割以上

「知っている」が43.3%、「知らない」が56.1%となっている。
年齢別に見ると、「知っている」は、70歳以上(49.3%)が最も高い。



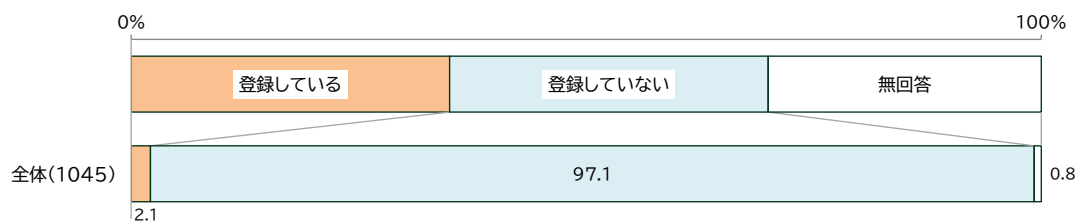
【年齢別】



問4 あなたはドナー登録をしていますか。(1つ)

「登録していない」が9割以上

「登録していない」が97.1%、「登録している」が2.1%となっている。



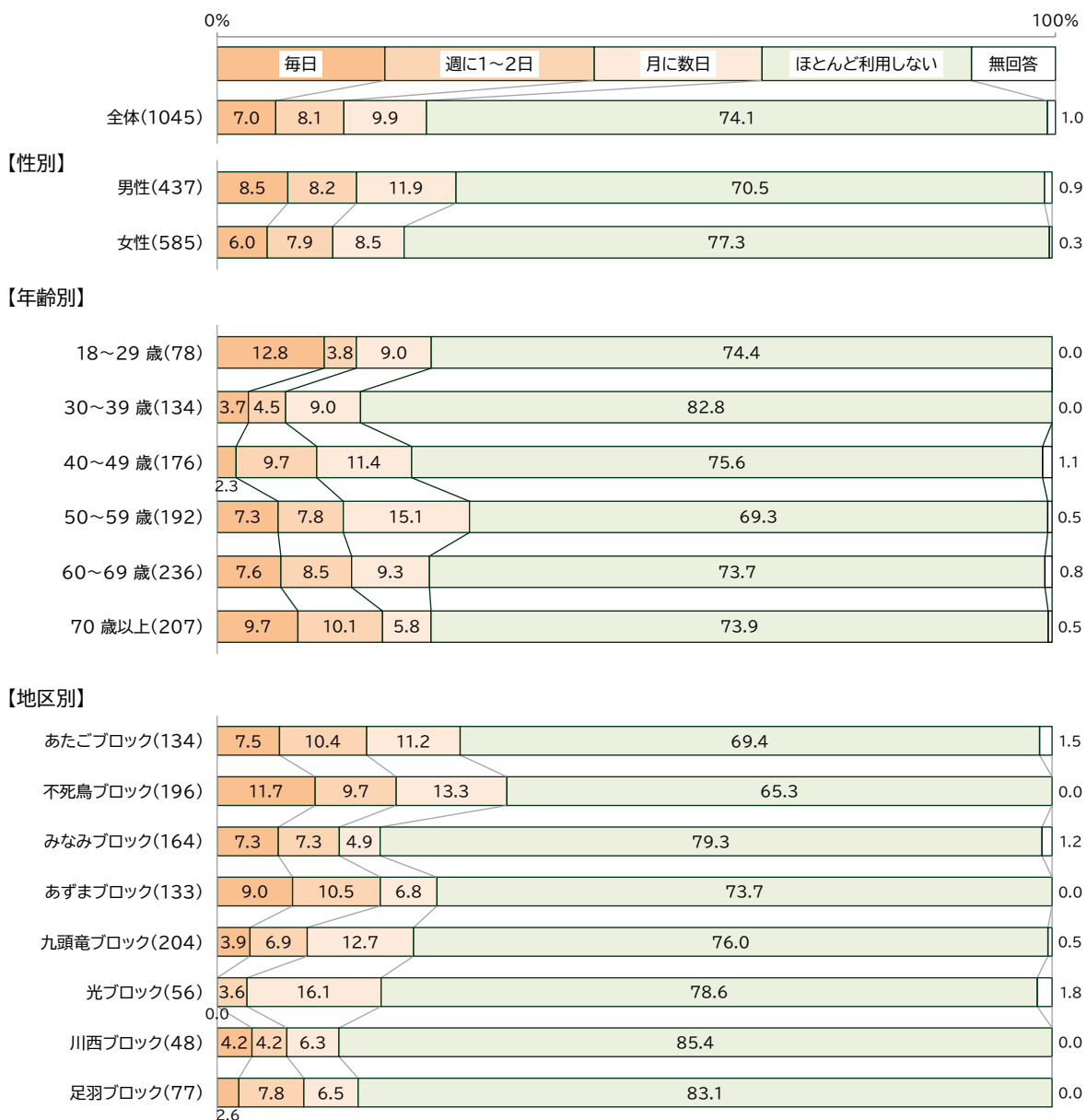
◆自転車の利用について

問1 あなたは、自転車を日常（通勤、通学、買い物など）どの程度利用しますか。（1つ）

「ほとんど利用しない」が7割以上

「ほとんど利用しない」が74.1%となっている。

性別では、「ほとんど利用しない」は、女性（77.3%）が男性（70.5%）より6.8ポイント高い。年齢別に見ると、「ほとんど利用しない」は、30～39歳以上（82.8%）が最も高くなっている。地区別では、「利用している」（「毎日」、「週に1～2日」及び「月に数日」の合計）は、不死鳥ブロック（34.7%）が最も高い。

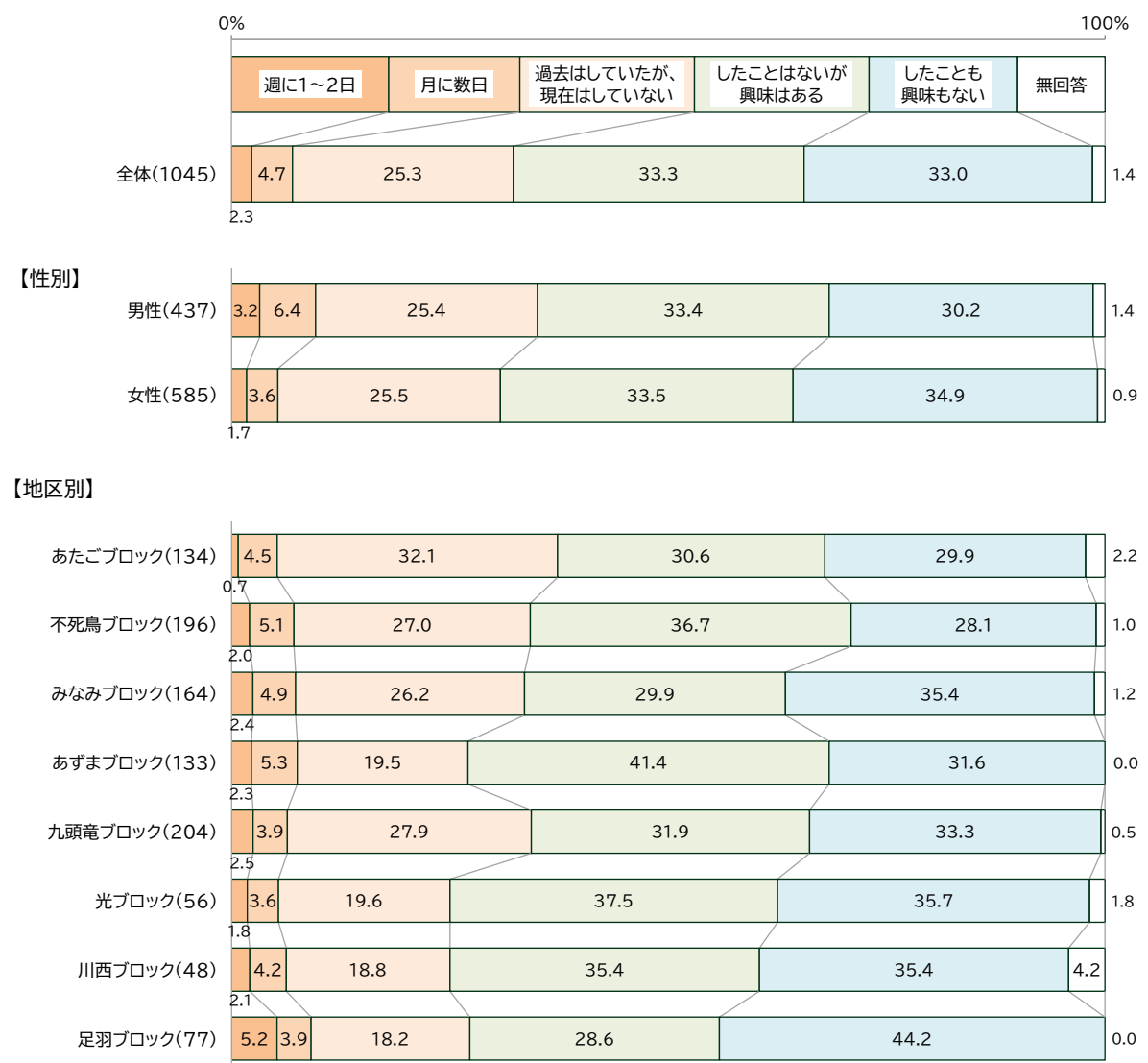


問2 あなたは、サイクリング（趣味、レジャーなど）をしますか。（1つ）

「したことはない」が6割以上

「したことはない」（「したことはないが興味はある」（33.3%）及び「したことも興味もない」（33.0%）の合計）は66.3%、「している」（「週に1～2日」（2.3%）及び「月に数日」（4.7%）の合計）は7.0%となっている。

性別では、「したことはない」は、女性（68.4%）が男性（63.6%）より4.8ポイント高い。地区別では、「したことはない」は、光ブロック（73.2%）、あずまブロック（73.0%）、足羽ブロック（72.8%）、川西ブロック（70.8%）が高い。

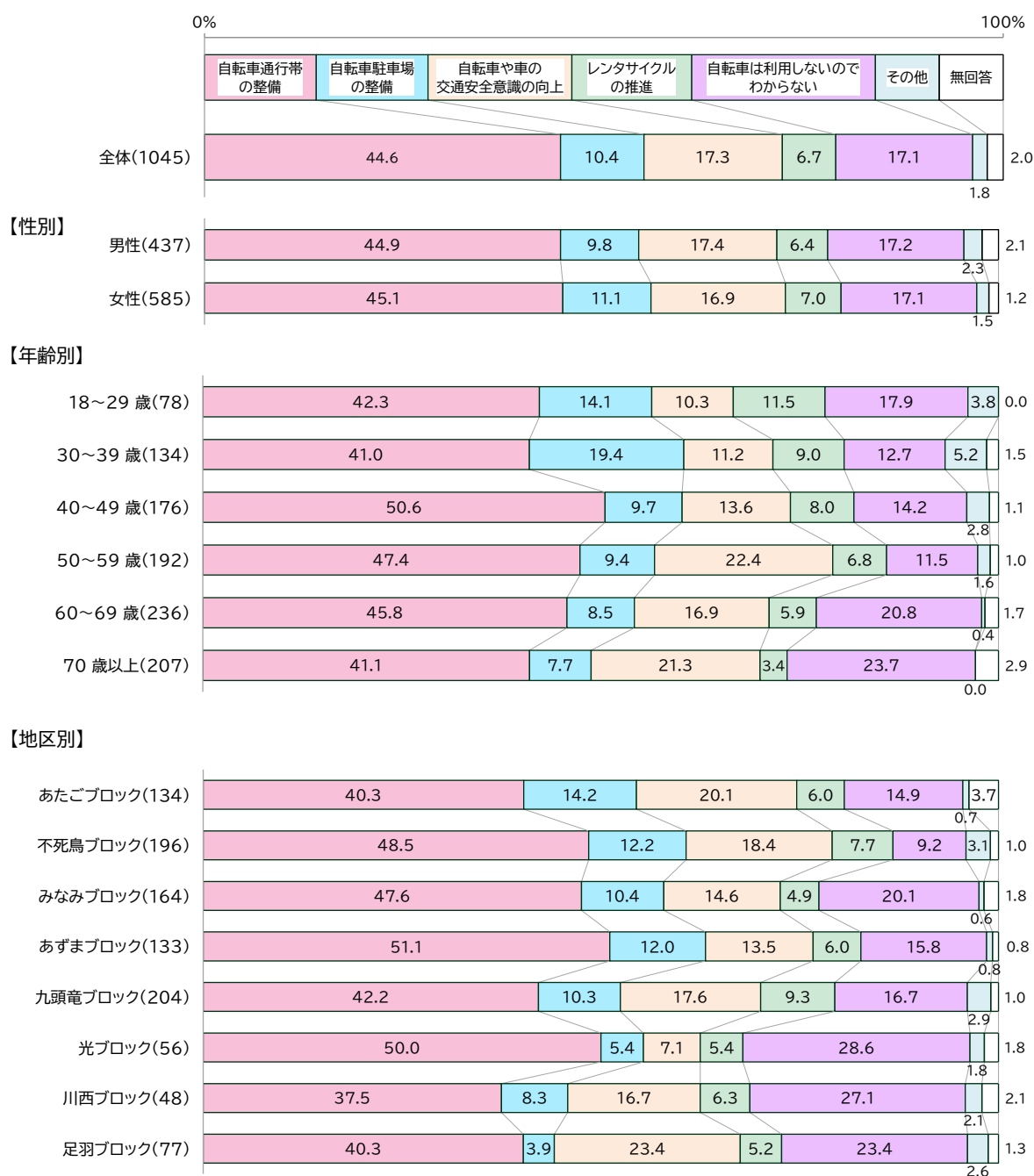


問3 あなたは、自転車利用を促進するためにどのような取り組みが重要だと思いますか。
(1つ)

「自転車通行帯の整備」が4割以上

「自転車通行帯の整備」(44.6%)が最も高く、次いで「自転車や車の交通安全意識の向上」(17.3%)が高くなっている。

年齢別に見ると、「自転車通行帯の整備」は、40～49歳(50.6%)が最も高い。地区別では、「自転車通行帯の整備」は、あずまブロック(51.1%)が最も高くなっている。



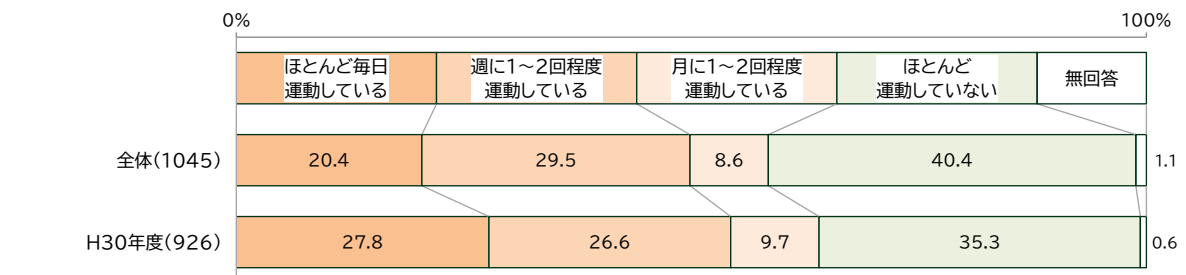
◆健康とスポーツについて

問1 あなたは、日常生活で運動（徒歩、自転車移動を含む）をしていますか。（1つ）

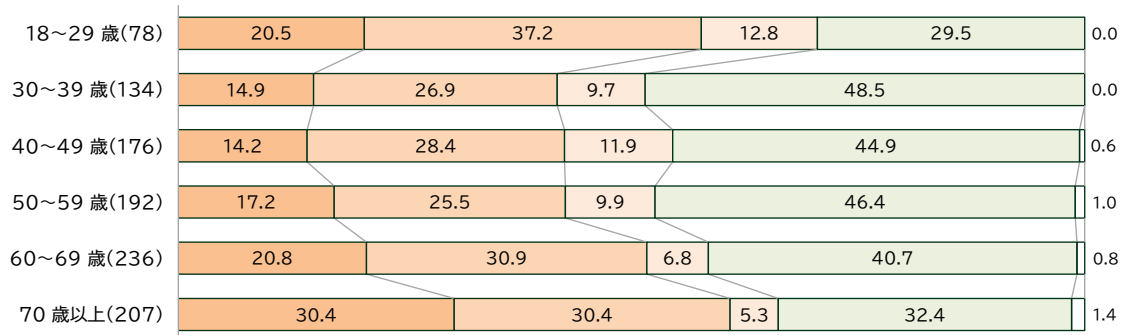
「運動している」が約6割

「運動している」（「ほとんど毎日運動している」（20.4%）、「週に1～2回程度運動している」（29.5%）及び「月に1～2回程度運動している」（8.6%）の合計）が58.5%、「ほとんど運動していない」が40.4%となっている。「運動している」は、平成30年度の調査（64.1%）と比べて、5.6ポイント低くなっている。

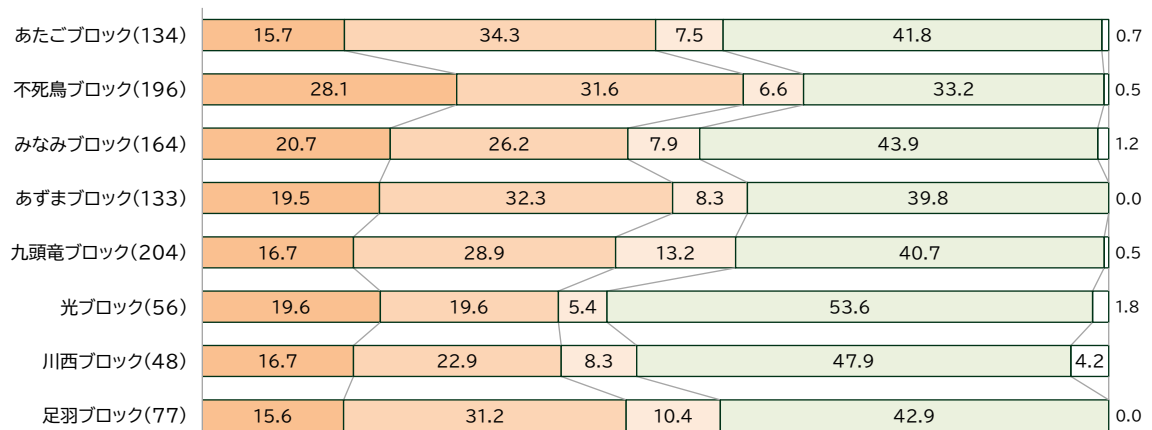
年齢別に見ると、「運動している」は、18～29歳（70.5%）と70歳以上（66.1%）が高い。地区別では、「運動している」は、不死鳥ブロック（66.3%）が高くなっている。



【年齢別】



【地区別】

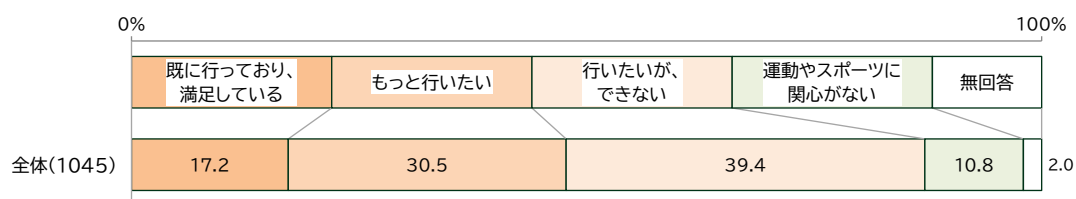


問2 あなたは、運動やスポーツを行いたいと思いますか。(1つ)

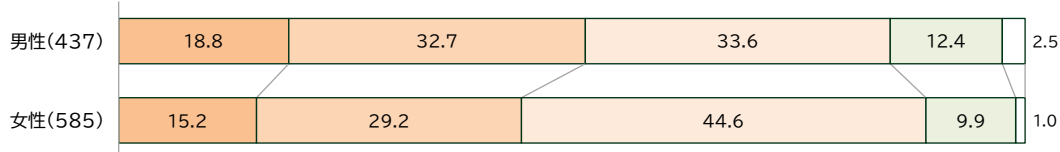
「行いたい、できない」が約4割

「行いたい、できない」(39.4%)が最も高く、次いで「もっと行いたい」(30.5%)、「既に行っており、満足している」(17.2%)が高くなっている。

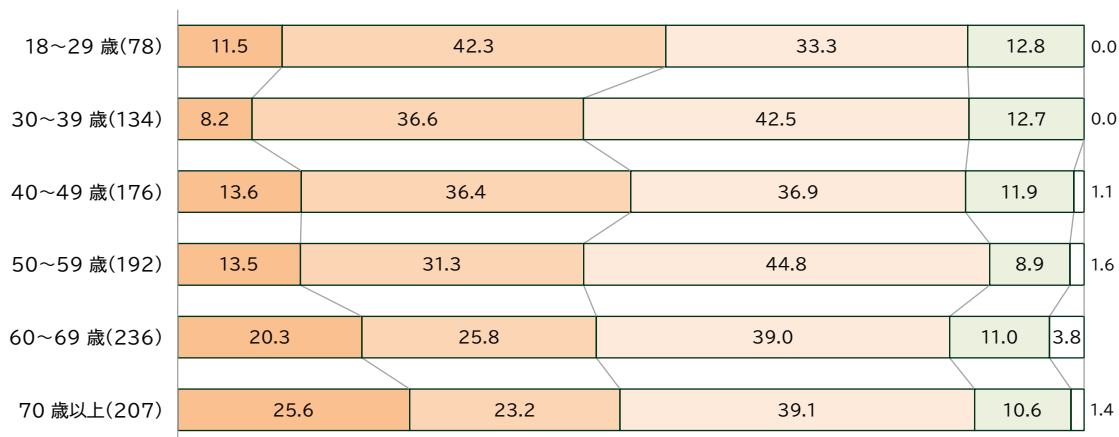
性別では、「行いたい、できない」は、女性(44.6%)が男性(33.6%)より11.0ポイント高い。年齢別に見ると、「もっと行いたい」は、18～29歳(42.3%)が最も高く、「既に行っており、満足している」は、70歳以上(25.6%)が最も高くなっている。



【性別】



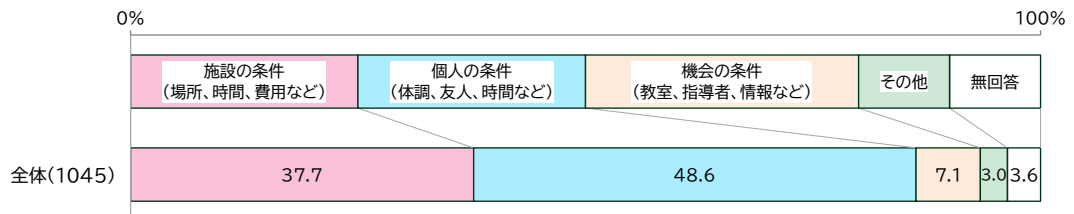
【年齢別】



問3 あなたは、どのような条件が整えば運動やスポーツを行うことができますか。(1つ)

「個人の条件」が約5割

「個人の条件」(48.6%)が最も高く、次いで「施設の条件」(37.7%)が高くなっている。

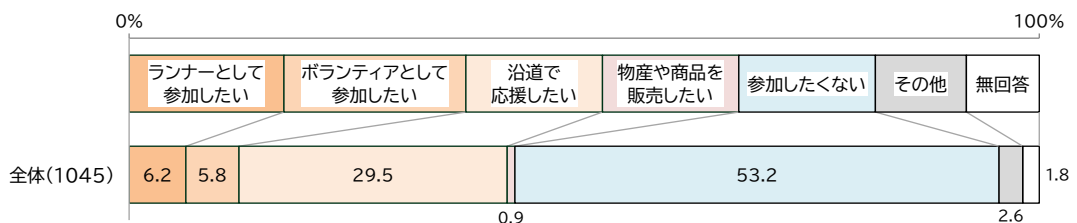


問4 福井でフルマラソンの開催が検討されていますが、あなたは参加したいですか。(1つ)

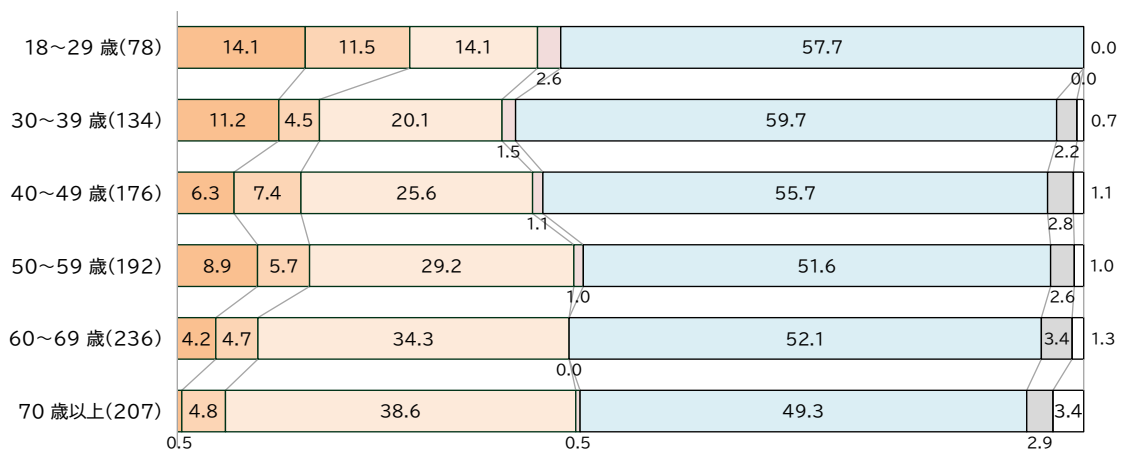
「参加したくない」が5割以上

「参加したくない」(53.2%)が最も高く、次いで「沿道で応援したい」(29.5%)が高くなっている。

年齢別に見ると、「沿道で応援したい」は、年齢が高い世代ほどその割合が高い傾向が見られる。



【年齢別】



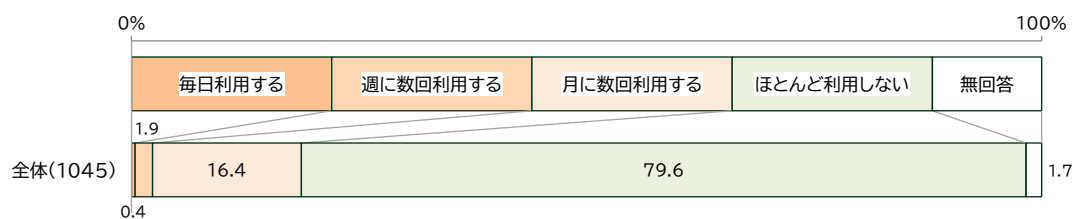
◆福井市の広報について

問1 あなたは、福井市のホームページをどのくらいご利用になりますか。(1つ)

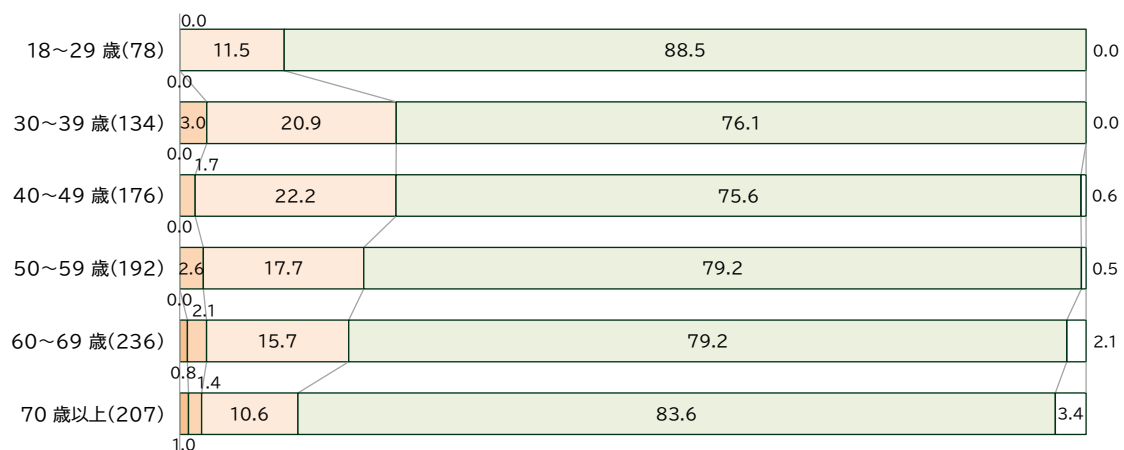
「ほとんど利用しない」が約8割

「ほとんど利用しない」が79.6%、「利用する」(「毎日利用する」(0.4%)、「週に数回利用する」(1.9%)及び「月に数回利用する」(16.4%)の合計)が18.7%となっている。

年齢別に見ると、「ほとんど利用しない」は、18～29歳(88.5%)が最も高い。



【年齢別】

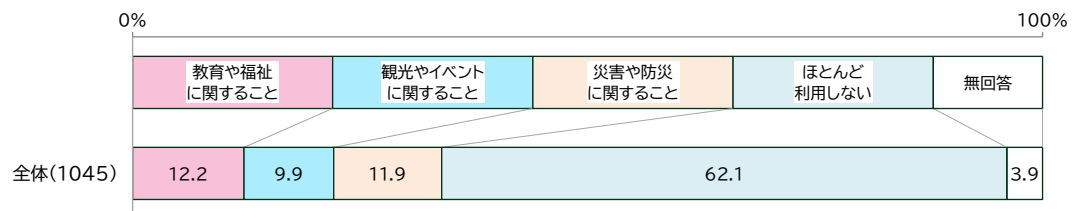


問2 あなたは、福井市のホームページから主にどのような情報を得ていますか。(1つ)

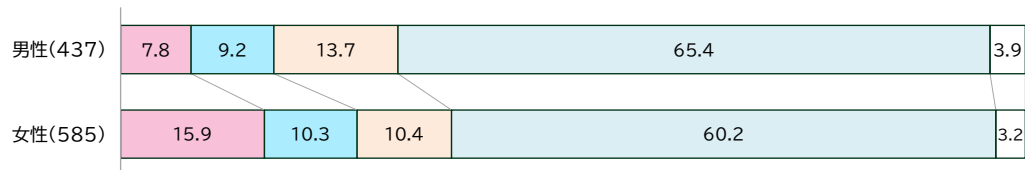
「教育や福祉」「災害や防災」「観光やイベント」がそれぞれ約1割

「ほとんど利用しない」(62.1%)を除いた項目で、「教育や福祉に関すること」(12.2%)が最も高く、次いで「災害や防災に関すること」(11.9%)、「観光やイベントに関すること」(9.9%)の順となっている。

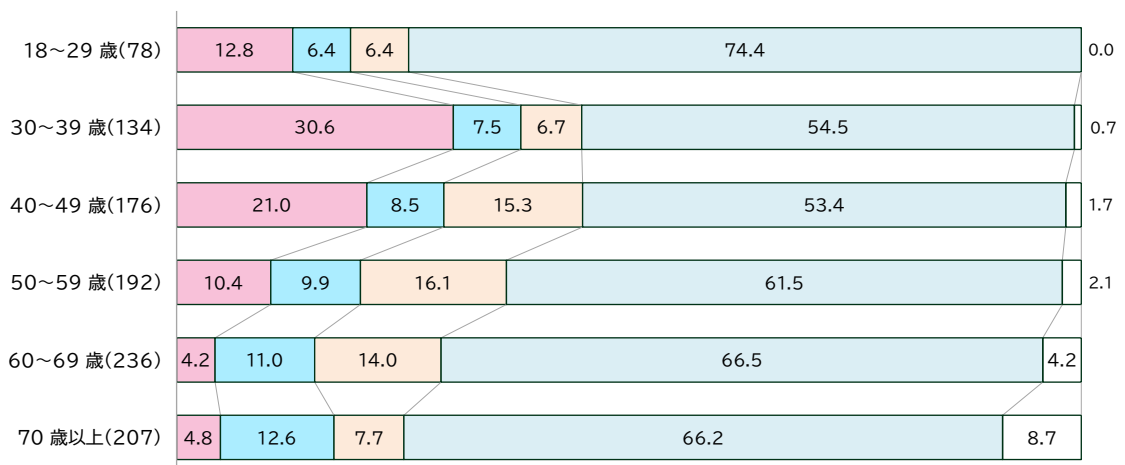
性別では、「教育や福祉に関すること」は、女性(15.9%)が男性(7.8%)より8.1ポイント高い。年齢別に見ると、「教育や福祉に関すること」は、30～39歳(30.6%)と40～49歳(21.0%)が高く、「災害や防災に関すること」は、50～59歳(16.1%)が最も高くなっている。



【性別】



【年齢別】

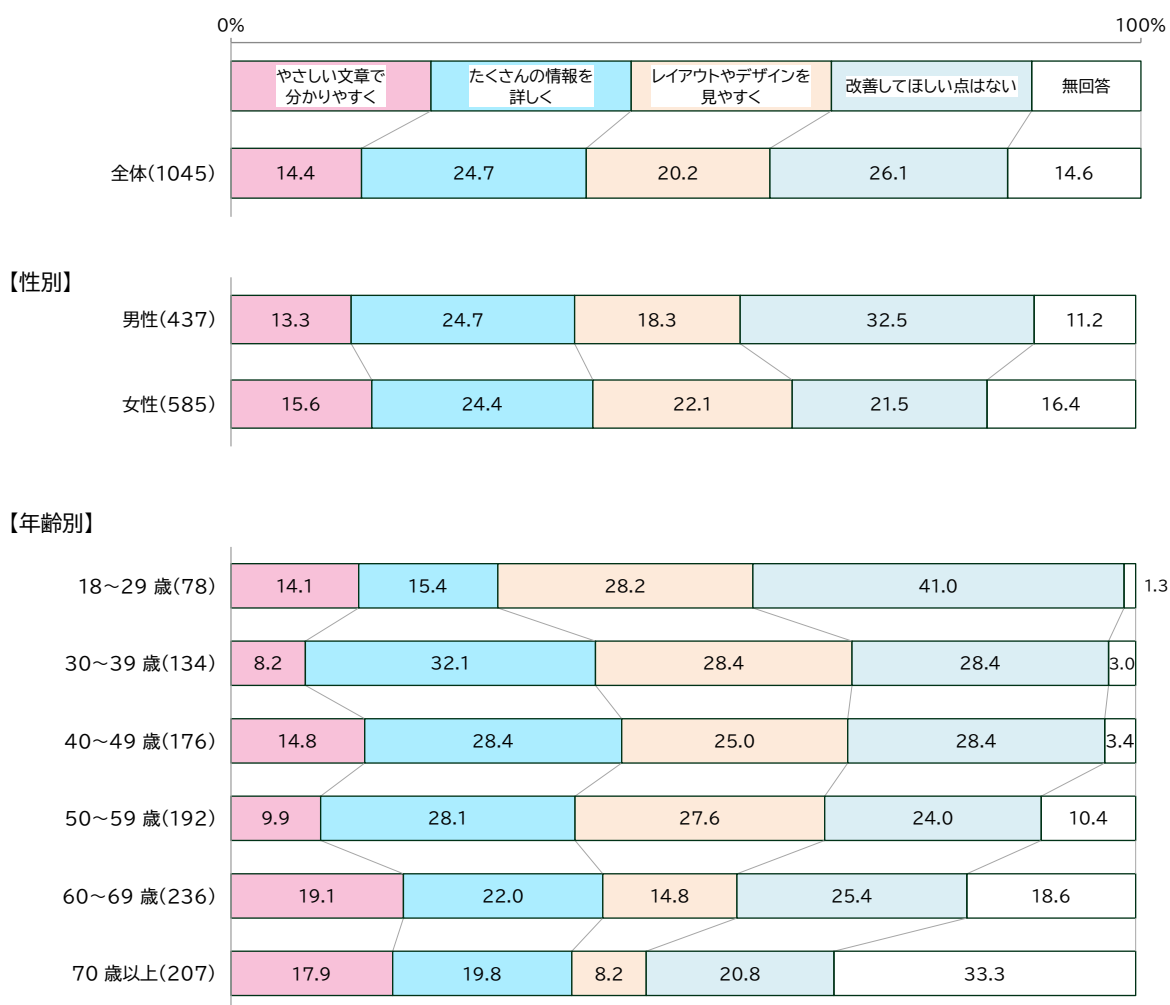


問3 あなたは、福井市のホームページで改善してほしい点がありますか。(1つ)

「改善してほしい点はない」が2割以上

「改善してほしい点はない」(26.1%)が最も高く、次いで「たくさんの情報を詳しく」(24.7%)、「レイアウトやデザインを見やすく」(20.2%)が高くなっている。

性別では、「改善してほしい点はない」は、男性(32.5%)が女性(21.5%)より11.0ポイント高い。年齢別に見ると、「改善してほしい点はない」は、18～29歳(41.0%)が最も高くなっている。

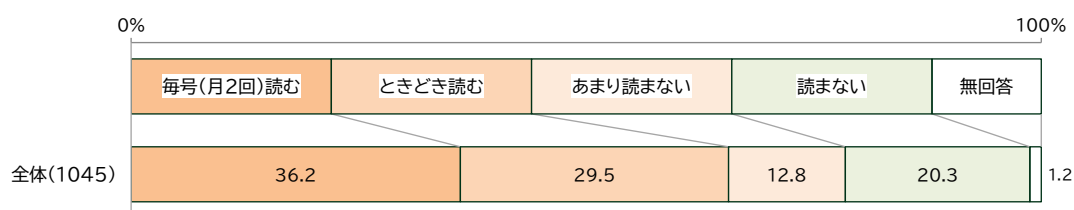


問4 あなたは、「広報ふくい」をどれくらいの頻度で読みますか。(1つ)

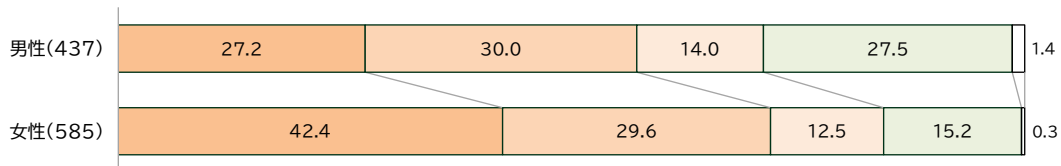
「広報ふくいを読む」が6割以上

「広報ふくいを読む」(「毎号読む」(36.2%) 及び「ときどき読む」(29.5%) の合計) が、65.7%となっている。

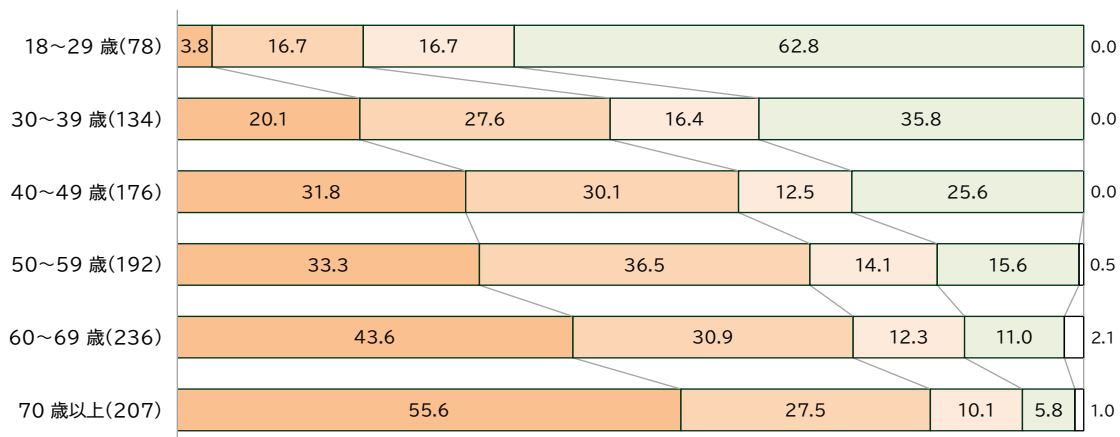
性別では、「広報ふくいを読む」は、女性(72.0%)が男性(57.2%)より14.8ポイント高い。年齢別に見ると、「広報ふくいを読む」は、年齢の高い世代ほどその割合が高くなる傾向が見られる。



【性別】



【年齢別】

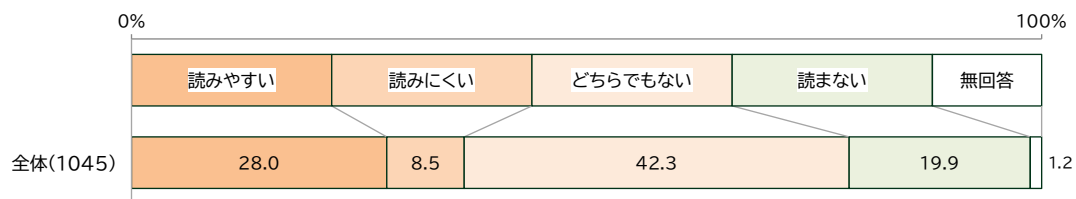


問5 あなたは、「広報ふくい」を読みやすいと思いますか。(1つ)

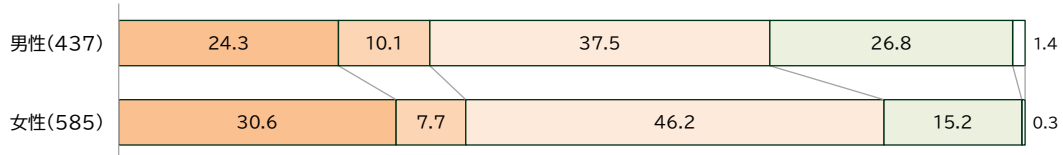
「読みやすい」が約3割

「読みやすい」が28.0%、「読みにくい」が8.5%と、「読みやすい」が「読みにくい」より19.5ポイント高く、「どちらでもない」は42.3%となっている。

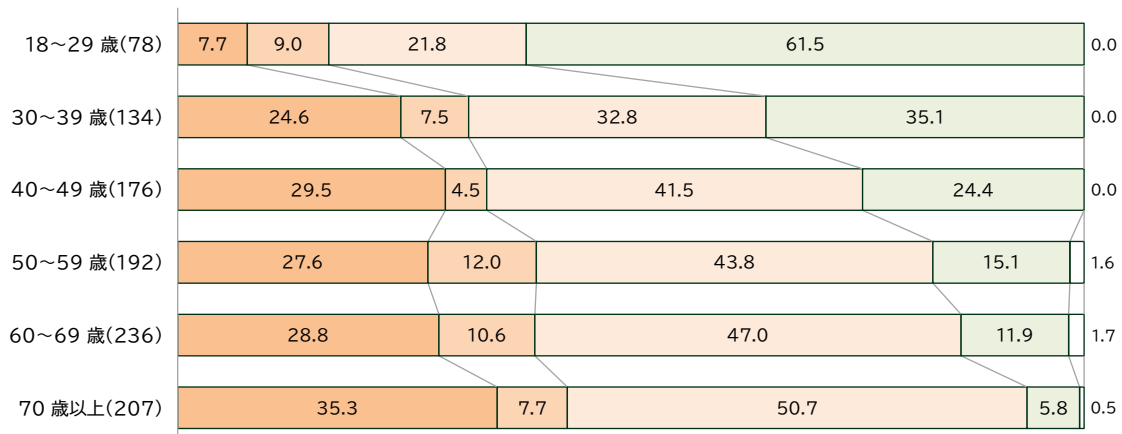
性別では、「読みやすい」は、女性（30.6%）が男性（24.3%）より6.3ポイント高い。



【性別】



【年齢別】

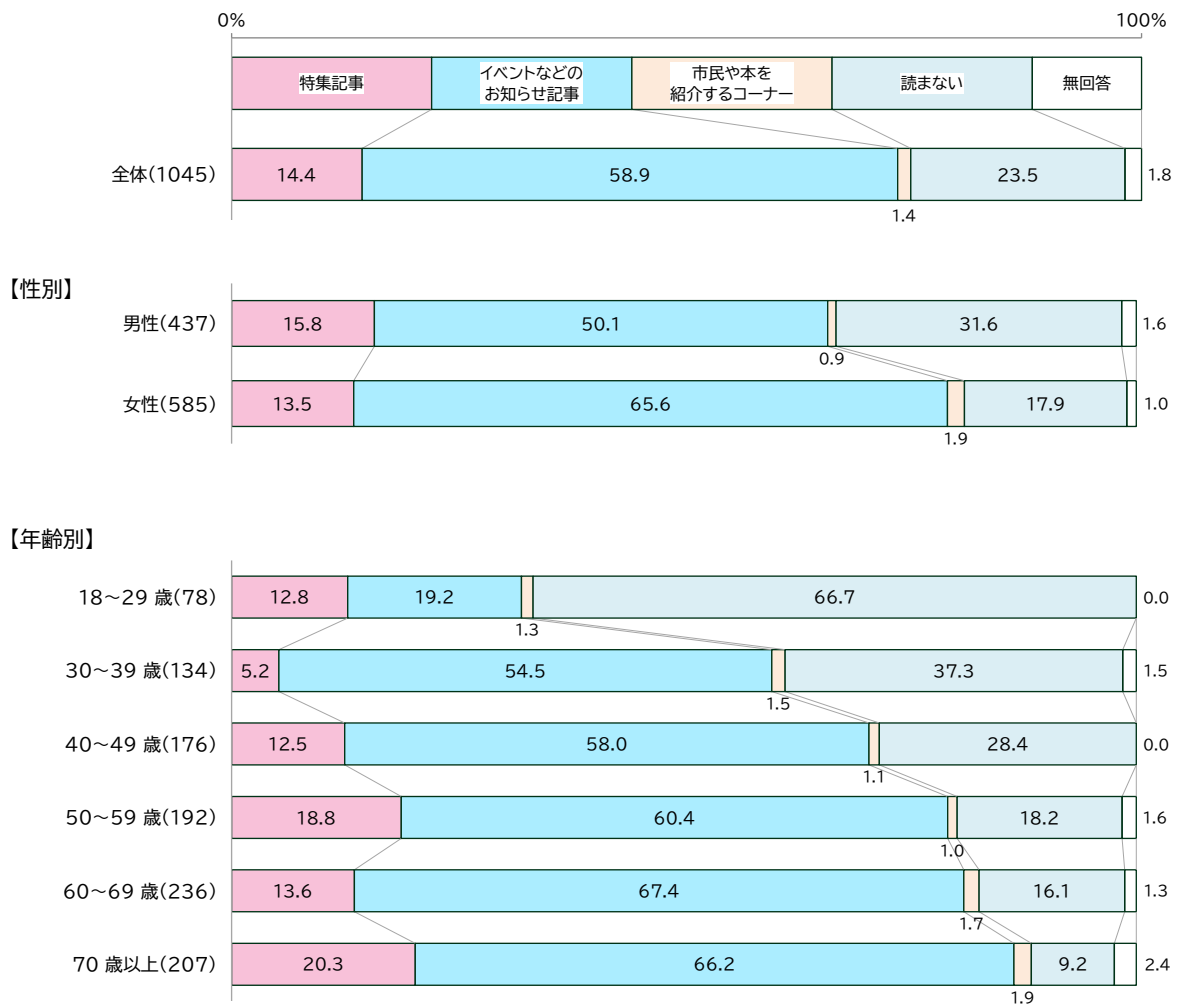


問6 あなたが「広報ふくい」でよく見るページはどれですか。(1つ)

「イベントなどのお知らせ記事」が約6割

「読まない」(23.5%)を除く項目のうち、「イベントなどの記事」(58.9%)が最も高く、次いで「特集記事」(14.4%)が高くなっている。

性別では、「イベントなどの記事」は、女性(65.6%)が男性(50.1%)より15.5ポイント高い。年齢別に見ると、「イベントなどの記事」は、年齢の高い世代ほどその割合が高くなる傾向が見られる。

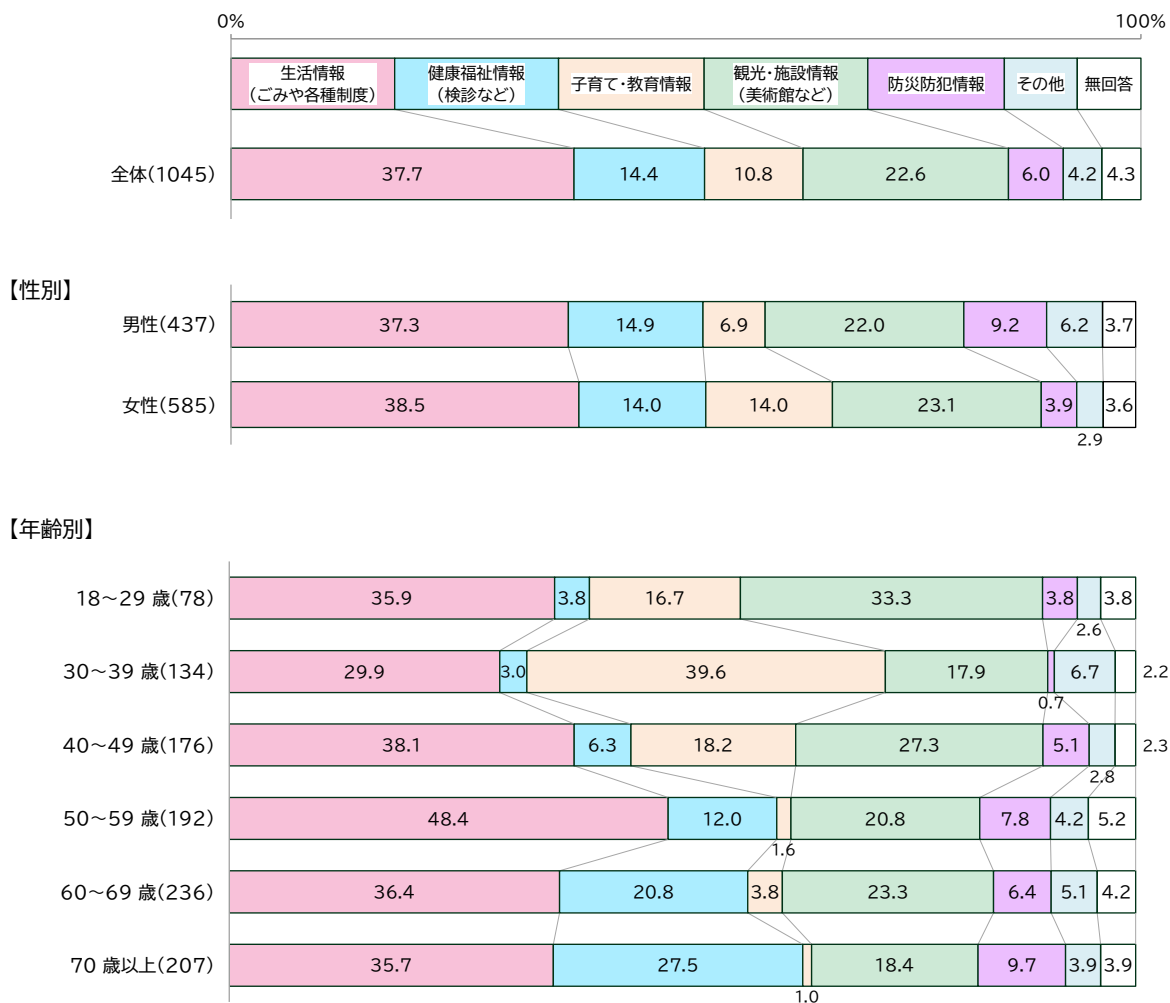


問7 あなたは、「広報ふくい」にどのような情報を求めますか。(1つ)

「生活情報」が約4割

「生活情報」(37.7%)が最も高く、次いで「観光・施設情報」(22.6%)、「健康福祉情報」(14.4%)が高くなっている。

年齢別に見ると、「生活情報」は、50～59歳(48.4%)が最も高く、「観光・施設情報」は、18～29歳(33.3%)が最も高くなっている。

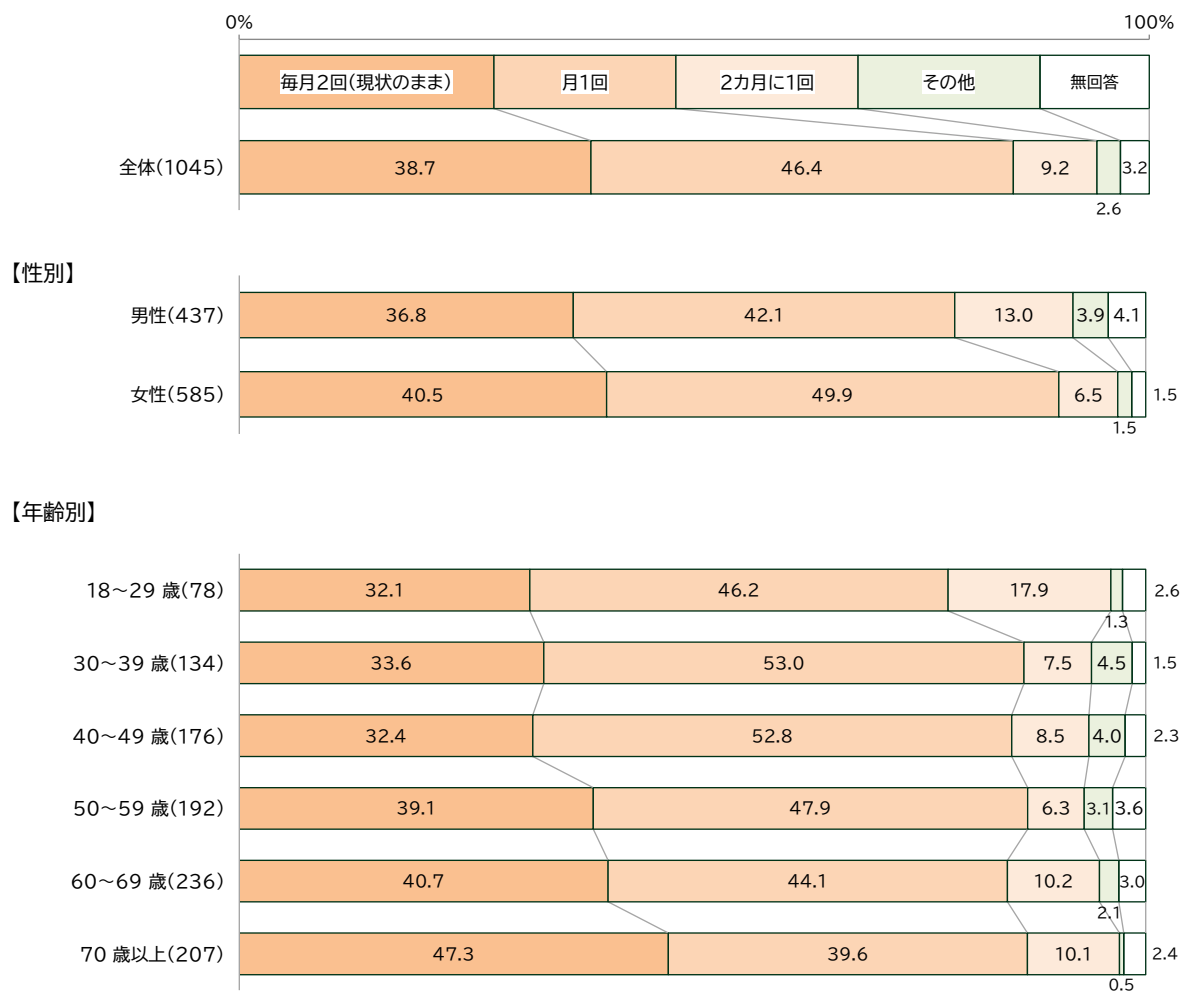


問8 あなたが、「広報ふくい」の発行頻度で適切だと思うのはどれですか。(1つ)

「月1回」が4割以上

「月1回」(46.4%)が最も高く、次いで「毎月2回」(38.7%)が高くなっている。

性別では、「月1回」は、女性(49.9%)が男性(42.1%)より7.8ポイント高い。年齢別に見ると、「毎月2回」は、70歳以上(47.3%)が最も高くなっている。



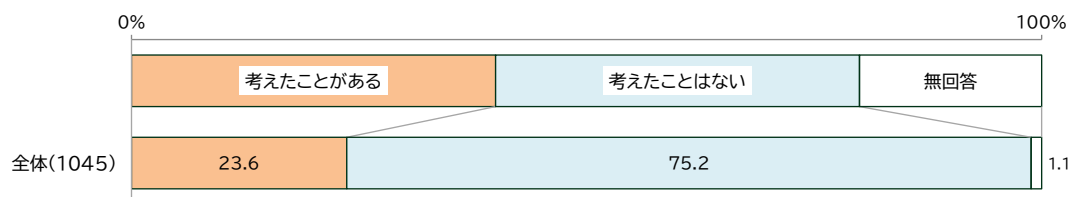
◆自殺対策について

問1 あなたは、これまでに自殺またはそれに近いことを考えたことがありますか。(1つ)

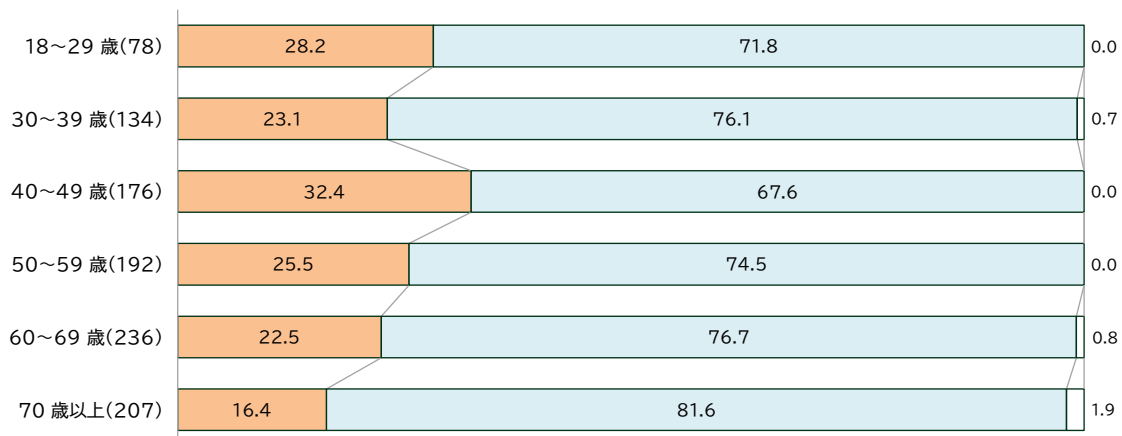
「考えたことがある」が2割以上

「考えたことがある」が23.6%となっている。

年齢別に見ると、「考えたことがある」は、40～49歳(32.4%)が最も高い。



【年齢別】

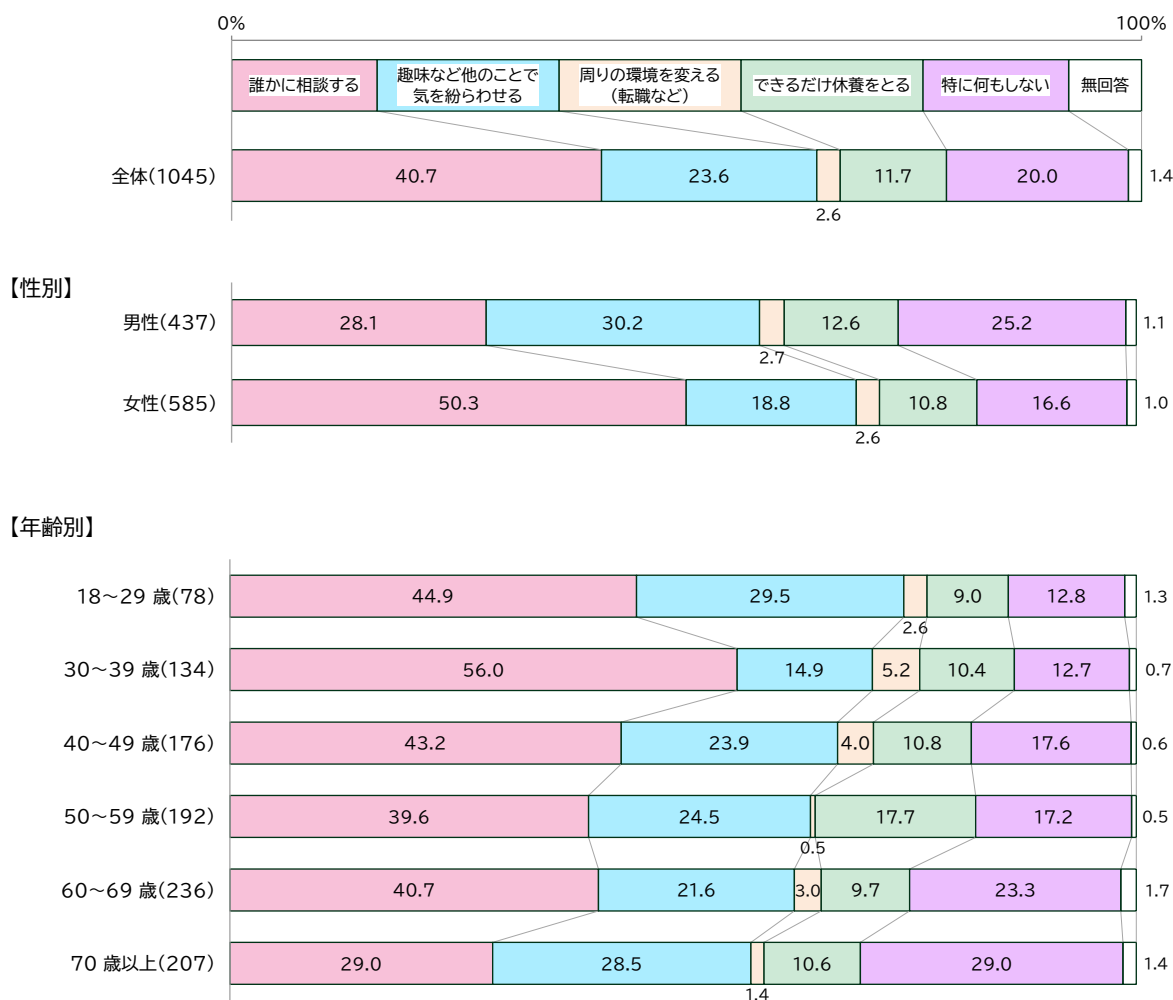


問2 あなたは、悩みごとにどのように対処しますか。（1つ）

「誰かに相談する」が約4割

「誰かに相談する」（40.7%）が最も高く、次いで、「趣味など他のことで気を紛らわせる」（23.6%）、「特に何もしない」（20.0%）が高くなっている。

性別では、「誰かに相談する」は、女性（50.3%）が男性（28.1%）より22.2ポイント高く、「趣味など他のことで気を紛らわせる」は、男性（30.2%）が女性（18.8%）より11.4ポイント高い。また、「特に何もしない」は、男性（25.2%）が女性（16.6%）より8.6ポイント高い。年齢別に見ると、「誰かに相談する」は、30～39歳（56.0%）が最も高く、「特に何もしない」は、70歳以上（29.0%）が最も高くなっている。

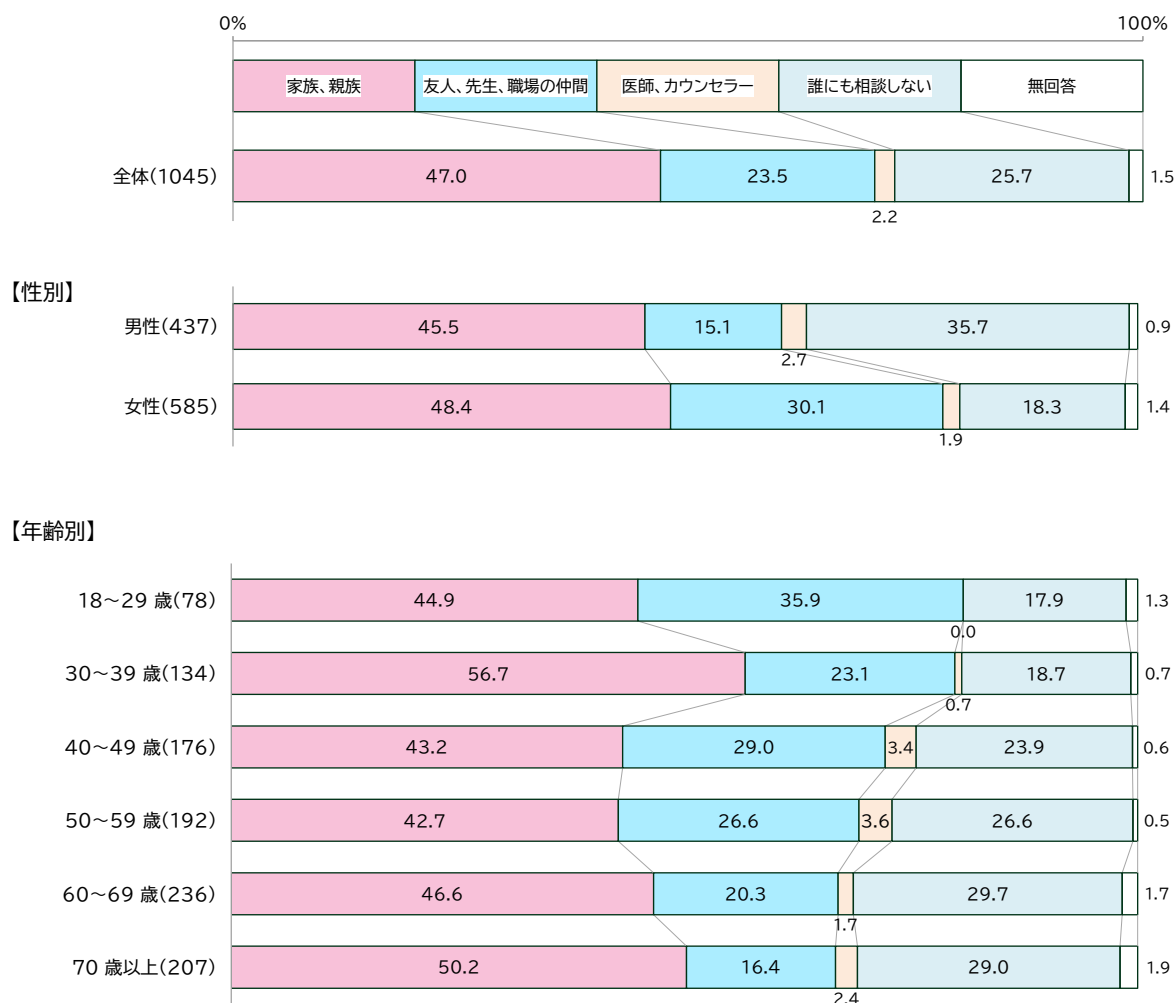


問3 あなたは、悩みごとを誰に相談しますか。(1つ)

「家族、親族」が約5割

「家族、親族」(47.0%)が最も高く、次いで「誰にも相談しない」(25.7%)、「友人、先生、職場の仲間」(23.5%)が高くなっている。

性別では、「誰にも相談しない」は、男性(35.7%)が女性(18.3%)より17.4ポイント高く、「友人、先生、職場の仲間」は、女性(30.1%)が男性(15.1%)より15.0ポイント高い。年齢別に見ると、「家族、親族」は、30～39歳(56.7%)が最も高く、「友人、先生、職場の仲間」は、18～29歳(35.9%)が最も高くなっている。

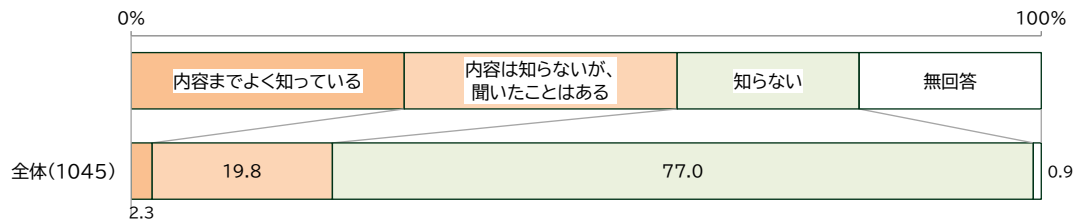


問4 あなたは、ゲートキーパー（悩みを聞き支援につなぐ人）を知っていますか。（1つ）

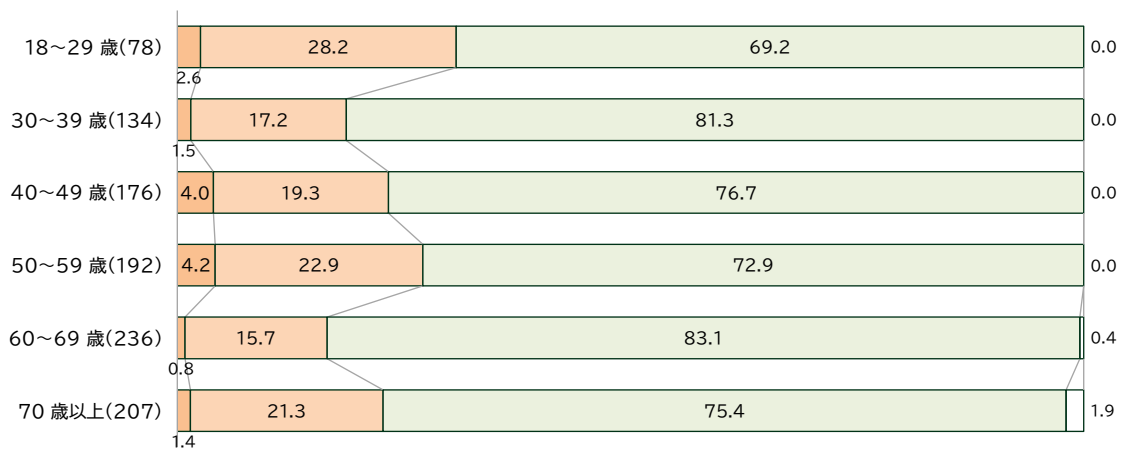
「知らない」が約8割

「知らない」が77.0%、「知っている」（「内容は知らないが、聞いたことはある」（19.8%）及び「内容までよく知っている」（2.3%）の合計）が22.1%となっている。

年齢別に見ると、「知らない」は、60～69歳（83.1%）が最も高くなっている。



【年齢別】



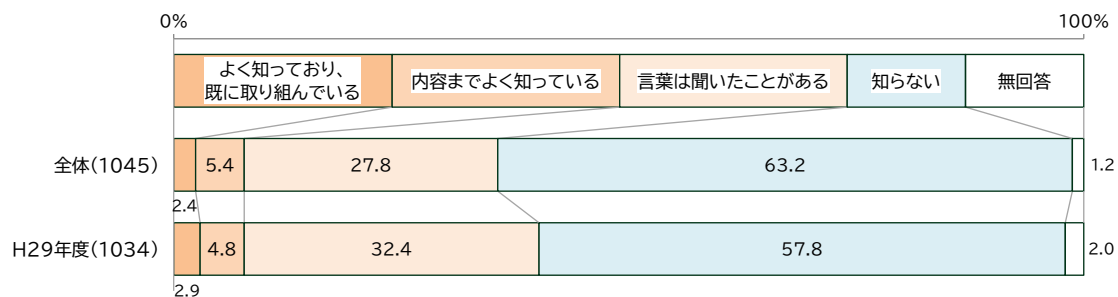
◆環境対策について

問1 あなたは、地球温暖化対策の国民運動「クールチョイス」を知っていますか。(1つ)

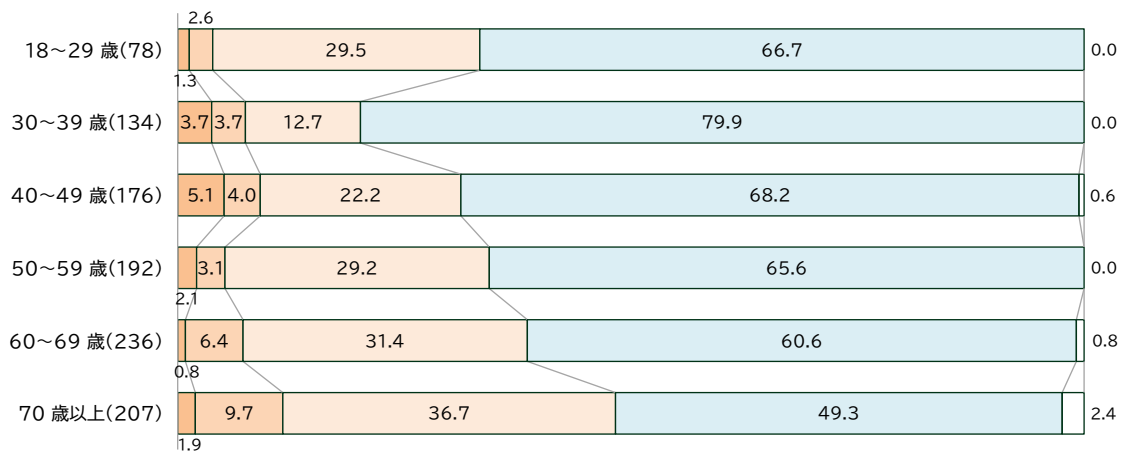
「知らない」が6割以上

「知らない」が63.2%、「知っている」(「よく知っており、既に取り組んでいる」(2.4%)、「内容までよく知っている」(5.4%)及び「言葉は聞いたことがある」(27.8%)の合計)が35.6%となっている。「知らない」は、平成29年度の調査(57.8%)と比べて、5.4ポイント高くなっている。

年齢別に見ると、「知らない」は、30～39歳(79.9%)が最も高い。



【年齢別】

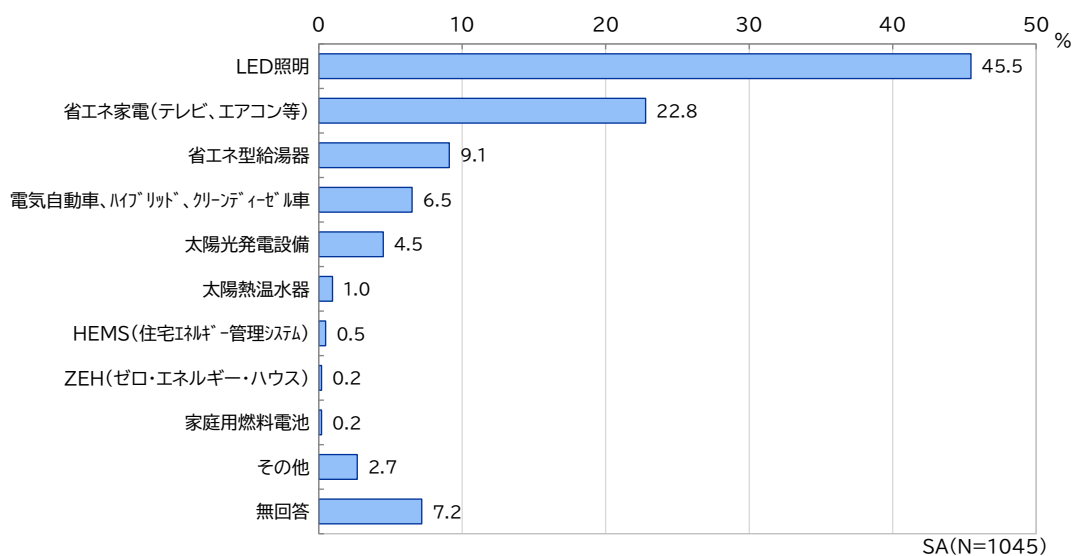


問2 あなたのご家庭にある、環境に配慮した製品は何ですか。(1つ)

「LED照明」が4割以上

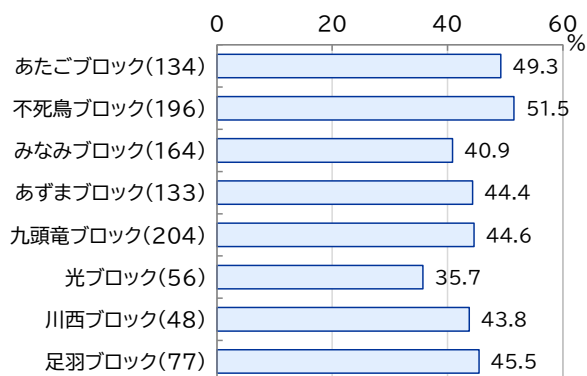
「LED照明」(45.5%)が最も高く、次いで「省エネ家電」(22.8%)、「省エネ型給湯器」(9.1%)が高くなっている。

地区別では、「LED照明」は、不死鳥ブロック(51.5%)、あたごブロック(49.3%)が他の地区より高く、「省エネ家電」は、あずまブロック(29.3%)が最も高い。



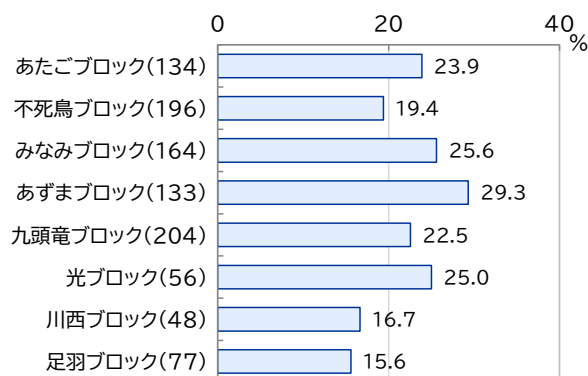
【地区別】

LED照明



【地区別】

省エネ家電(テレビ、エアコン等)

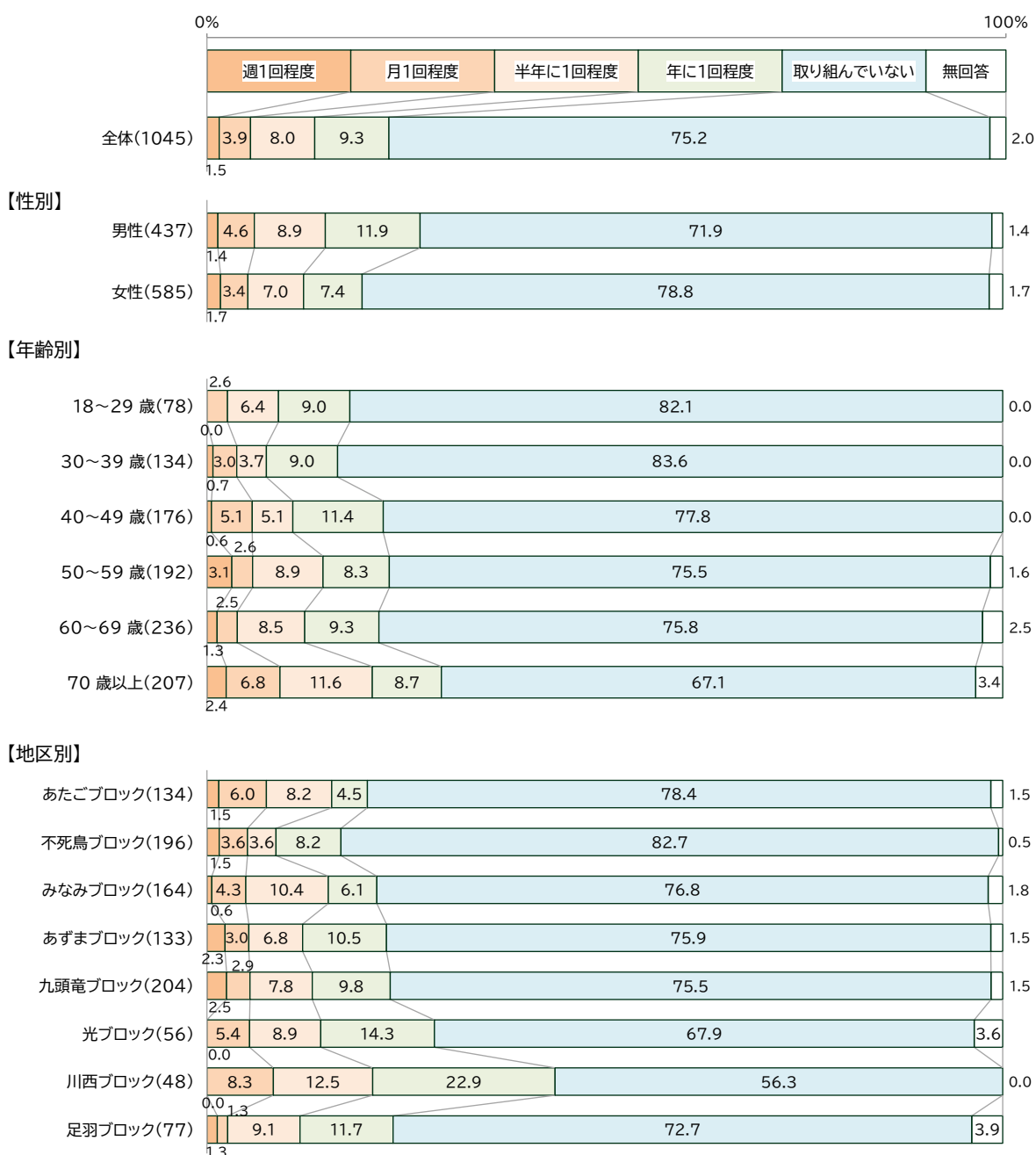


問3 あなたは、自然保護活動（清掃は除く）にどのくらい取り組んでいますか。（1つ）

「取り組んでいない」が7割以上

「取り組んでいない」が75.2%、「取り組んでいる」（「週1回程度」（1.5%）、「月1回程度」（3.9%）、「半年に1回程度」（8.0%）及び「年に1回程度」（9.3%）の合計）が22.7%となっている。

性別では、「取り組んでいない」は、女性（78.8%）が男性（71.9%）より6.9ポイント高い。年齢別に見ると、「取り組んでいる」は、70歳以上（29.5%）が最も高くなっている。地区別では、「取り組んでいる」は、川西ブロック（43.7%）が最も高い。



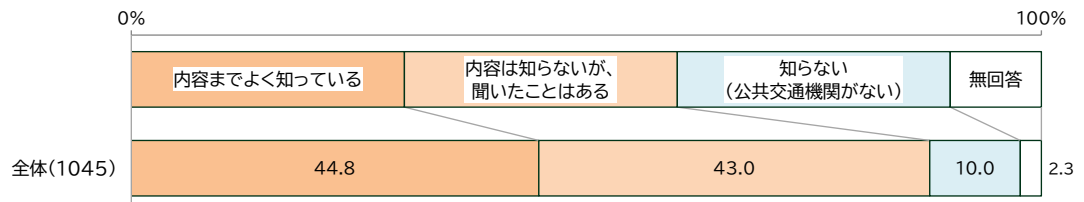
◆地域の公共交通機関について

問1 あなたは、お住まいの地域の公共交通機関を知っていますか。(1つ)

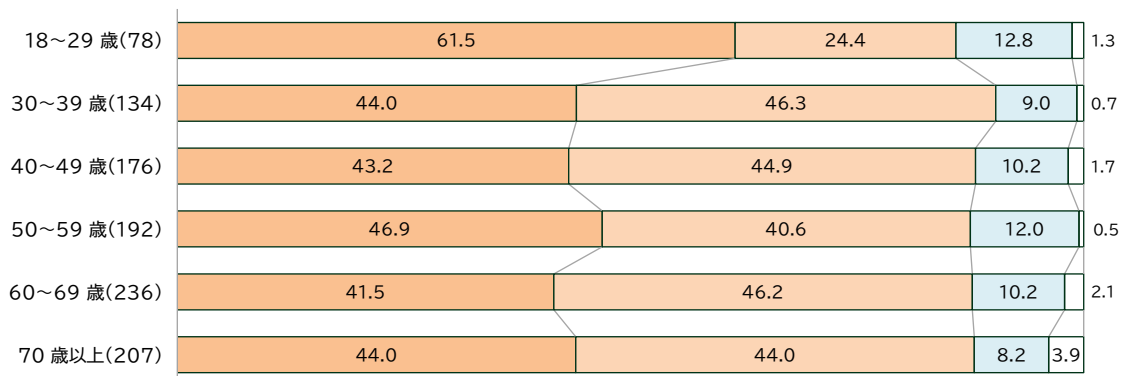
「知っている」が約9割

「知っている」(「内容までよく知っている」(44.8%) 及び「内容は知らないが、聞いたことはある」(43.0%) の合計) が87.8%、「知らない(公共交通機関がない)」が10.0%となっている。

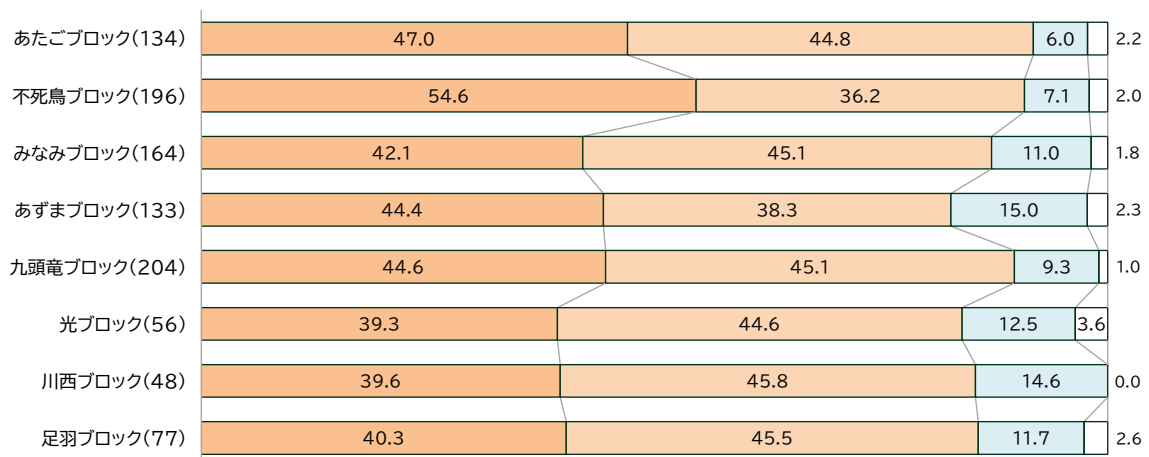
年齢別に見ると、「内容までよく知っている」は、18～29歳(61.5%)が最も高い。地区別では、「内容までよく知っている」は、不死鳥ブロック(54.6%)が最も高くなっている。



【年齢別】



【地区別】

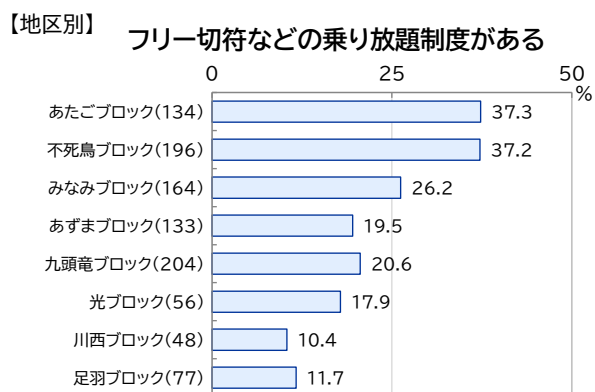
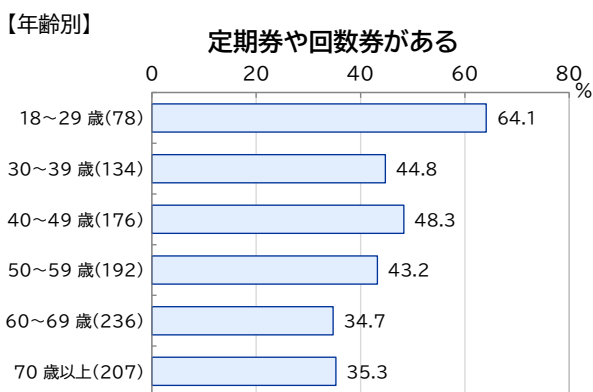
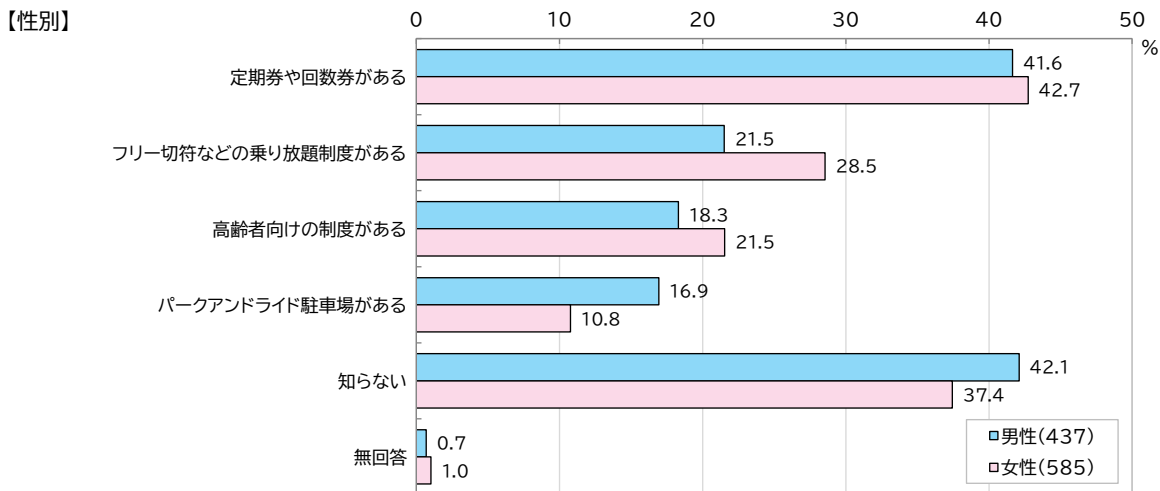
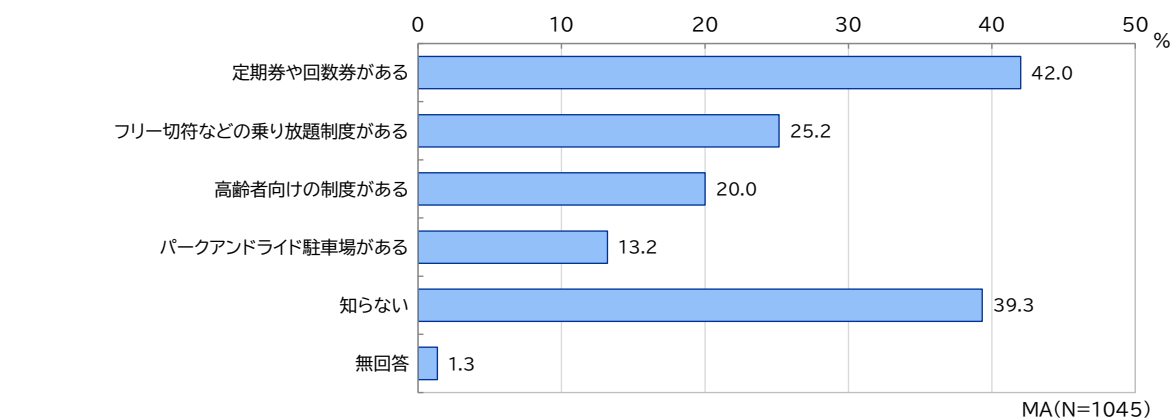


問2 あなたは、お住まいの地域の公共交通機関のお得な制度を知っていますか。(すべて)

「定期券や回数券がある」が約4割

「知らない」(39.3%)を除く項目で、「定期券や回数券がある」(42.0%)が最も高く、次いで「フリー切符などの乗り放題制度がある」(25.2%)が高くなっている。

性別では、「フリー切符などの乗り放題制度がある」は、女性(28.5%)が男性(21.5%)より7.0ポイント高い。年齢別に見ると、「定期券や回数券がある」は、18～29歳(64.1%)が最も高くなっている。地区別では、「フリー切符などの乗り放題制度がある」は、あたごブロック(37.3%)と不死鳥ブロック(37.2%)が高い。

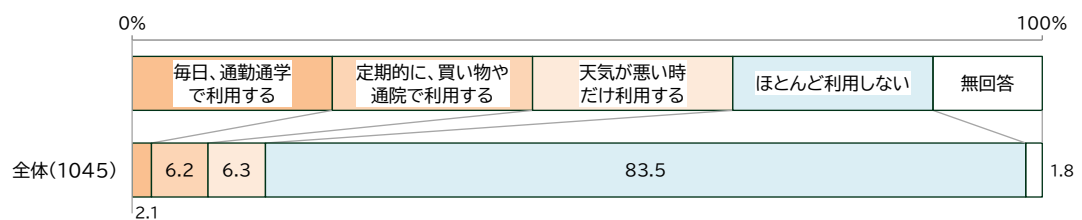


問3 あなたは、お住まいの地域の公共交通機関を利用したことがありますか。(1つ)

「ほとんど利用しない」が8割以上

「ほとんど利用しない」が83.5%、「利用する」(「毎日、通勤通学で利用する」(2.1%)、「天気が悪い時だけ利用する」(6.3%)及び「定期的に、買い物や通院で利用する」(6.2%)の合計)が14.6%となっている。

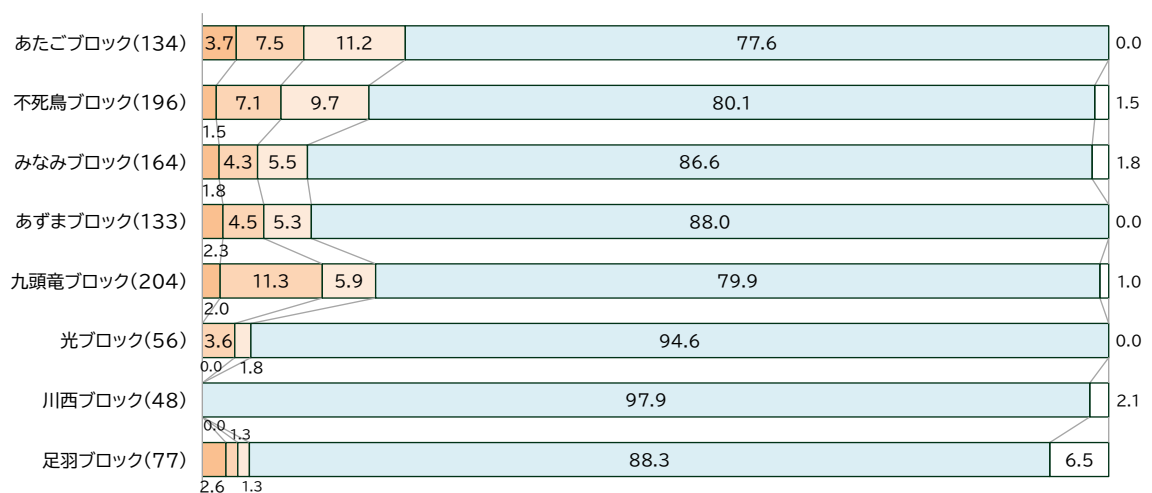
年齢別に見ると、「利用する」は、18～29歳(30.8%)が最も高い。地区別では、「利用しない」は、川西ブロック(97.9%)と光ブロック(94.6%)と足羽ブロック(88.3%)が高くなっている。



【年齢別】



【地区別】



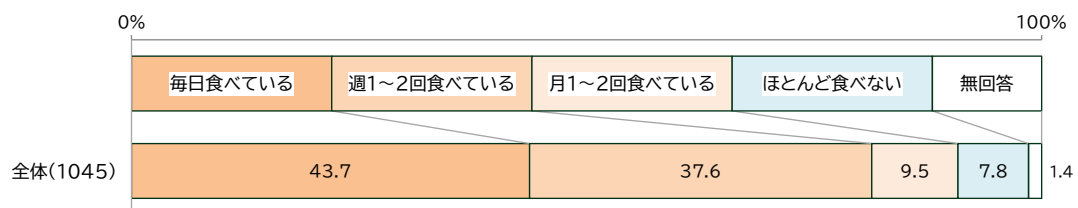
◆健康づくりについて

問1 あなたは、日常生活で積極的に野菜（1日350g）を食べていますか。（1つ）

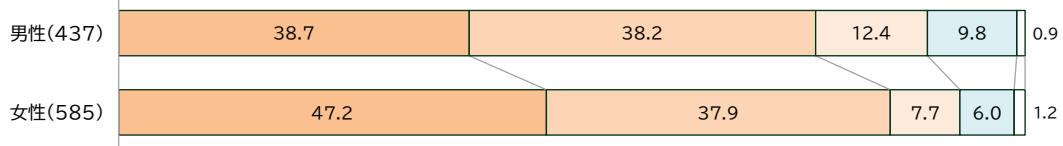
「毎日食べている」が4割以上

「毎日食べている」（43.7%）が最も高く、次いで「週1～2回食べている」（37.6%）が高くなっている。

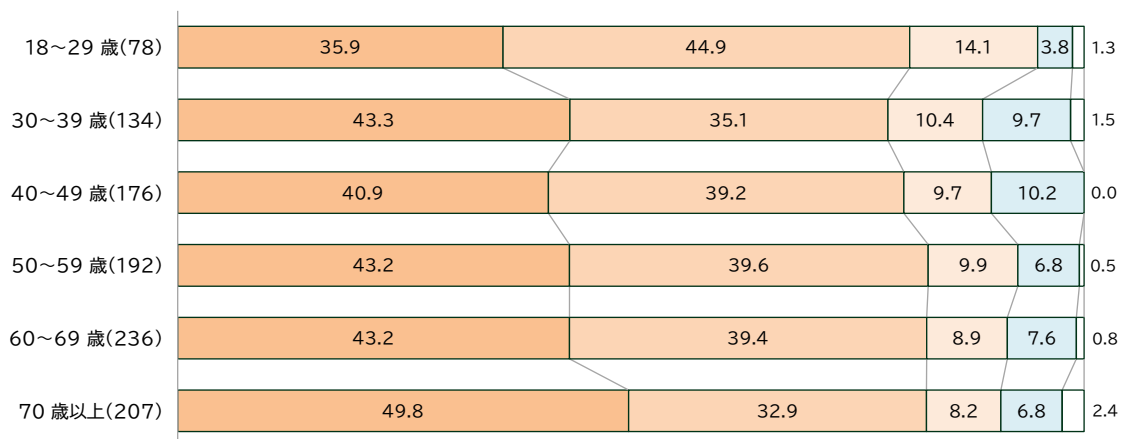
性別では、「毎日食べている」は、女性（47.2%）が男性（38.7%）より8.5ポイント高い。年齢別に見ると、「毎日食べている」は、70歳以上（49.8%）が最も高くなっている。



【性別】



【年齢別】

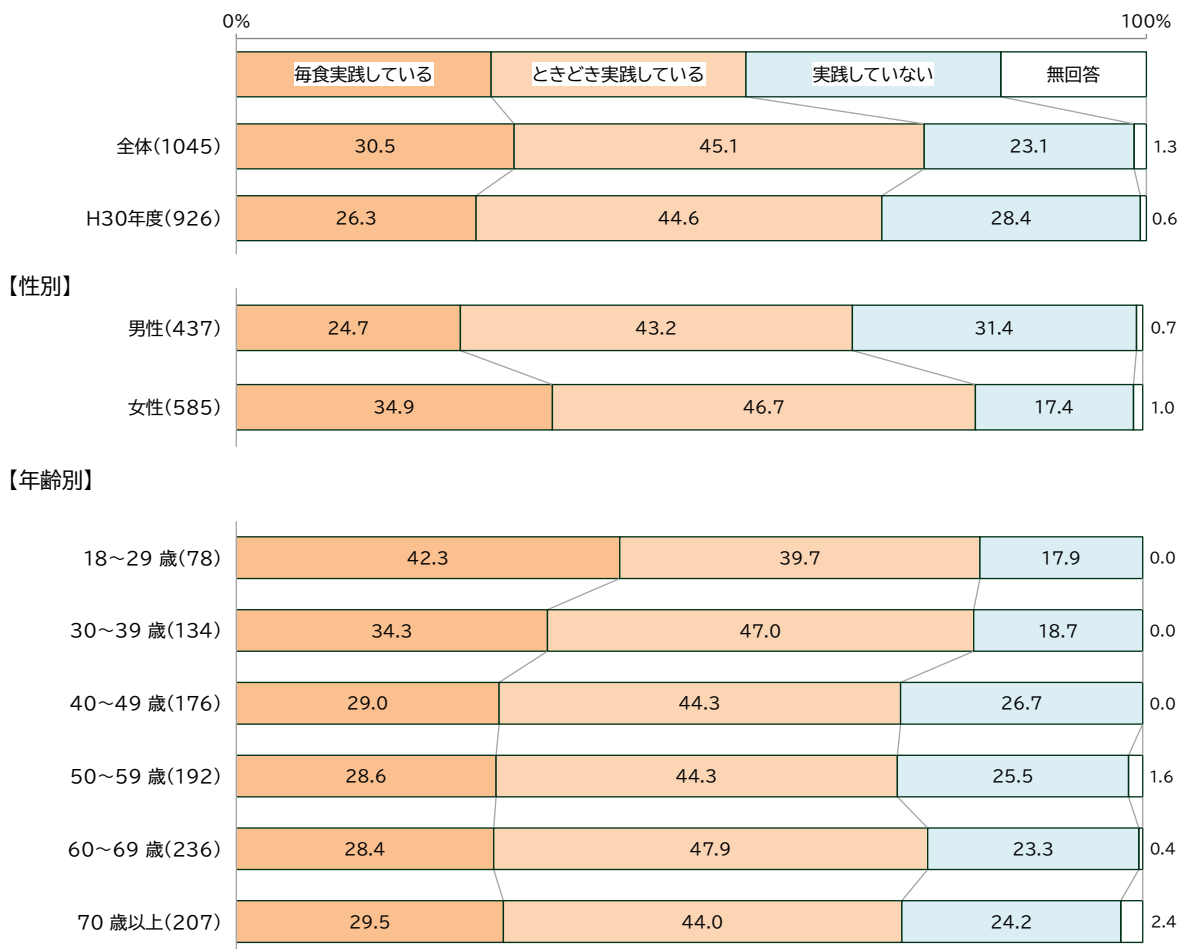


問2 あなたは、ベジ・ファースト（野菜から食べる）を実践していますか。（1つ）

「実践している」が7割以上

「実践している」（「毎食実践している」（30.5%）及び「ときどき実践している」（45.1%）の合計）は、75.6%となっている。「実践している」は、平成30年度の調査（70.9%）と比べて、4.7ポイント高くなっている。

性別では、「実践している」は、女性（81.6%）が男性（67.9%）より13.7ポイント高い。年齢別に見ると、「毎食実践している」は、18～29歳（42.3%）が最も高くなっている。



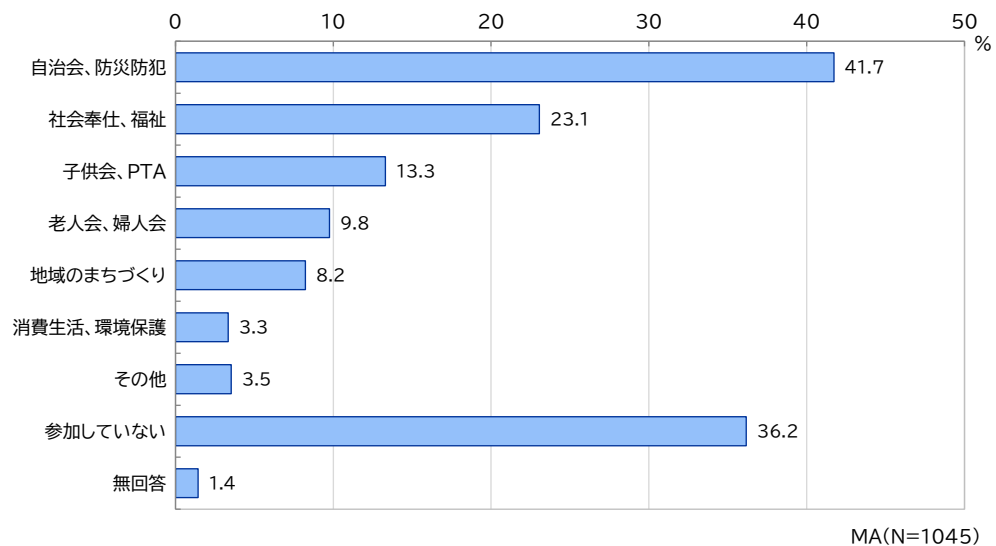
◆男女共同参画について

問1 次の地域活動や社会活動のうち、あなたが参加しているものをお答えください。
(すべて)

「自治会、防災防犯」が約4割

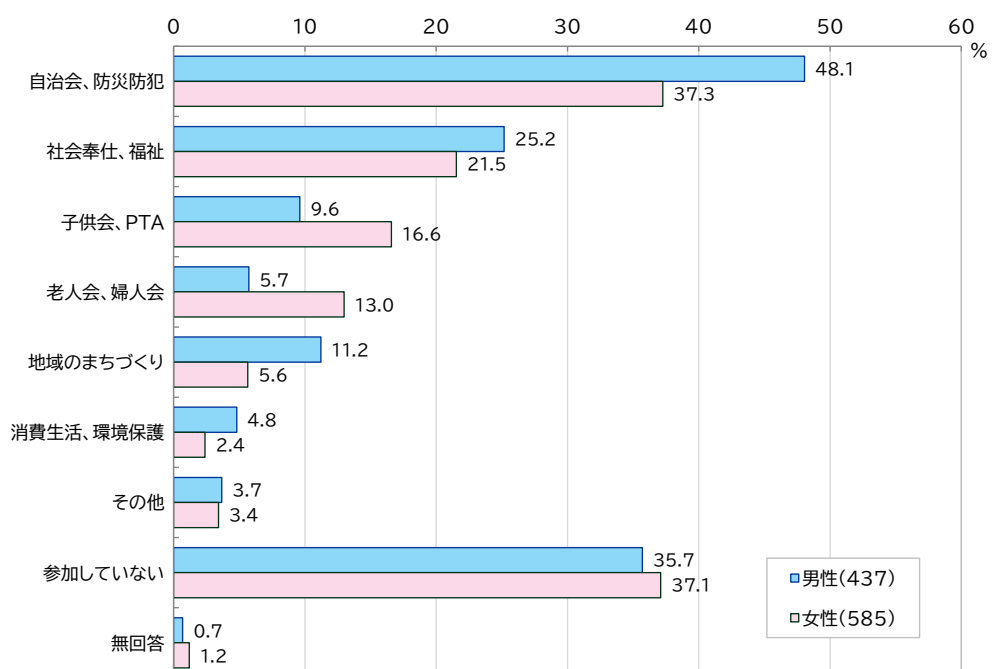
「参加していない」(36.2%)を除く項目で、「自治会、防災防犯」(41.7%)が最も高く、次いで「社会奉仕、福祉」(23.1%)が高くなっている。

性別では、「自治会、防災防犯」は、男性(48.1%)が女性(37.3%)より10.8ポイント高い。



MA(N=1045)

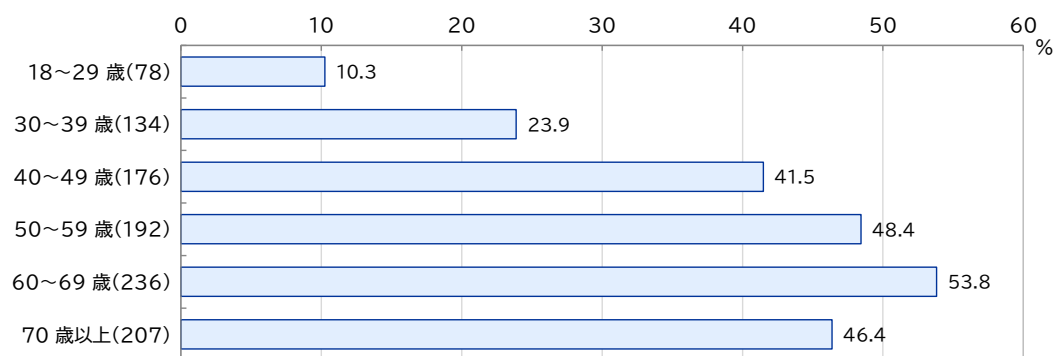
【性別】



年齢別に見ると、「自治会、防災防犯」は、60～69 歳（53.8%）を中心とした年齢の高い世代でその割合が高くなっている。地区別では、「自治会、防災防犯」は、川西ブロック（60.4%）が最も高い。また、「参加していない」は、不死鳥ブロック（43.9%）が最も高くなっている。

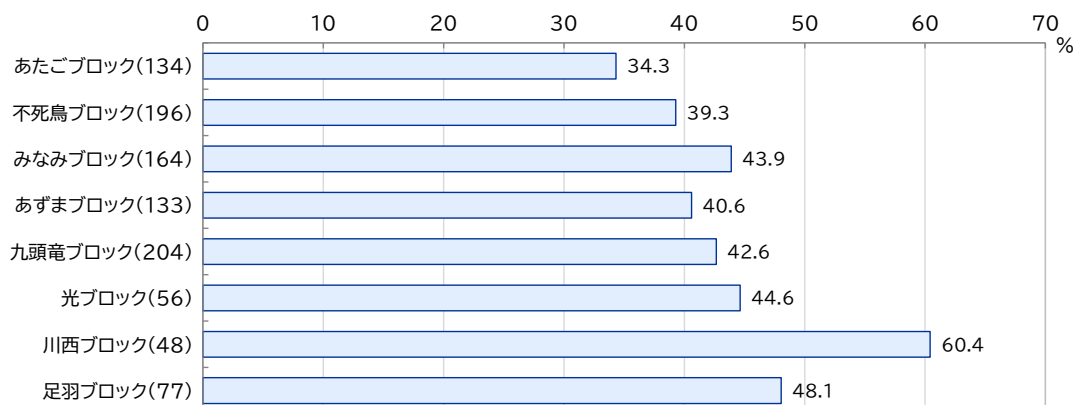
【年齢別】

自治会、防災防犯



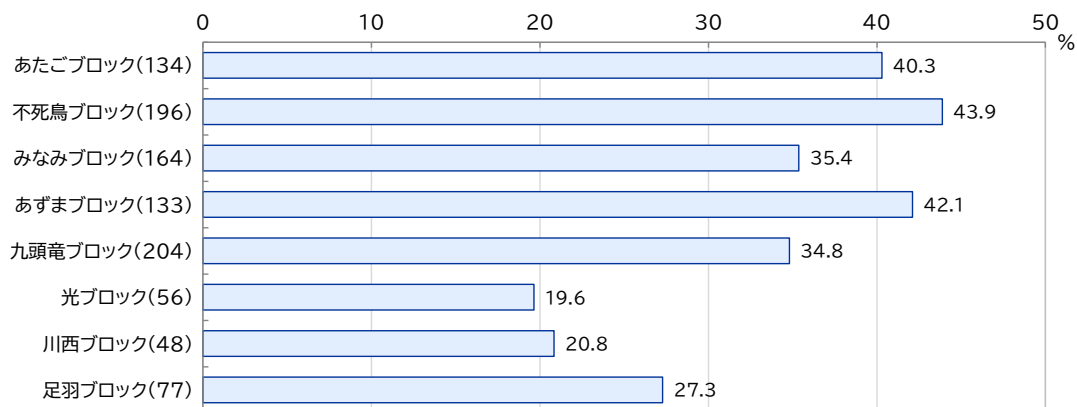
【地区別】

自治会、防災防犯



【地区別】

参加していない

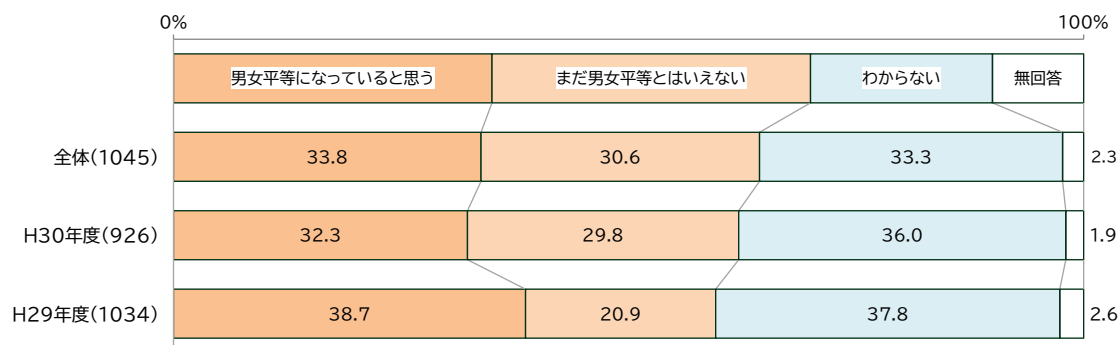


問2 あなたは、現在の学校教育の場において、男女平等になっていると思いますか。
(1つ)

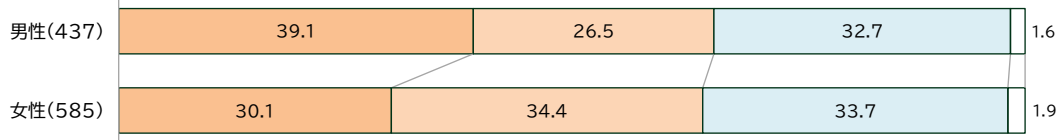
「男女平等になっていると思う」が3割以上

「男女平等になっていると思う」が33.8%、「まだ男女平等とはいえない」が30.6%、「わからない」が33.3%となっている。

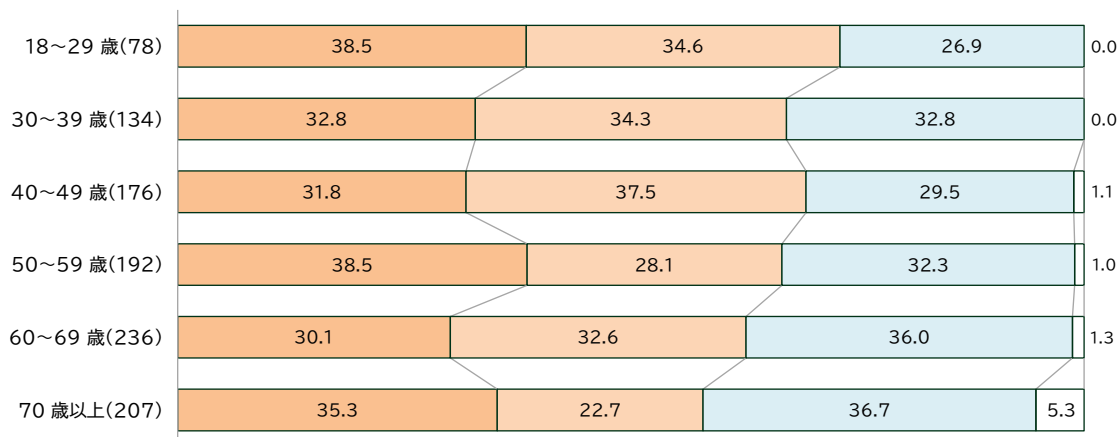
性別では、「男女平等になっていると思う」は、男性(39.1%)が女性(30.1%)より9.0ポイント高く、「まだ男女平等とはいえない」は、女性(34.4%)が男性(26.5%)より7.9ポイント高い。年齢別に見ると、「まだ男女平等とはいえない」は、70歳以上(22.7%)が最も低くなっている。



【性別】



【年齢別】

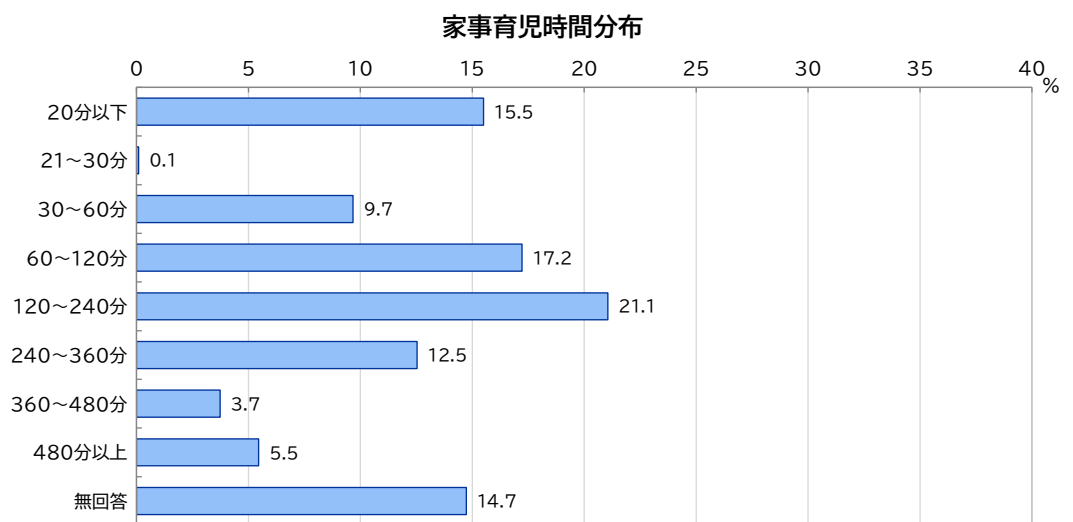


問3 あなたは、平日に1日平均すると、どのくらい家事育児をしていますか。
(分単位で入力)

女性は「120～240分」が約3割、男性は「20分以下」が約3割

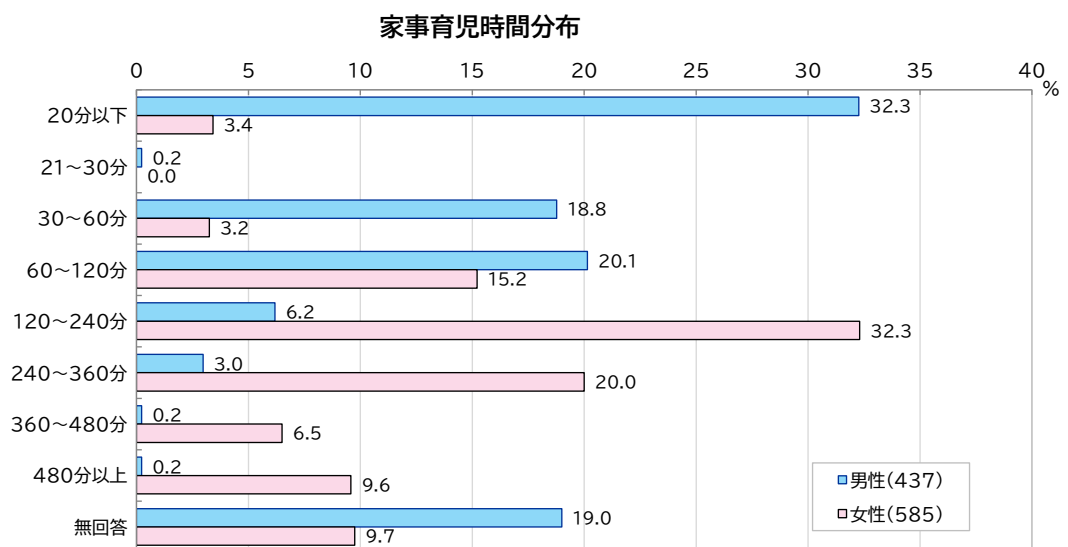
「120～240分」(21.1%)が最も高く、「20分以下」は15.5%となっている。

性別では、女性は「120～240分」(32.3%)が最も高く、男性は「20分以下」(32.3%)が最も高い。



SA(N=1045)

【性別】



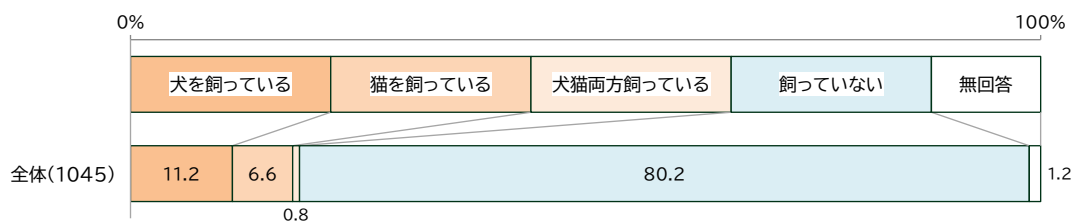
◆犬や猫の飼い方について

問1 あなたは、犬や猫をペットとして飼っていますか。(1つ)

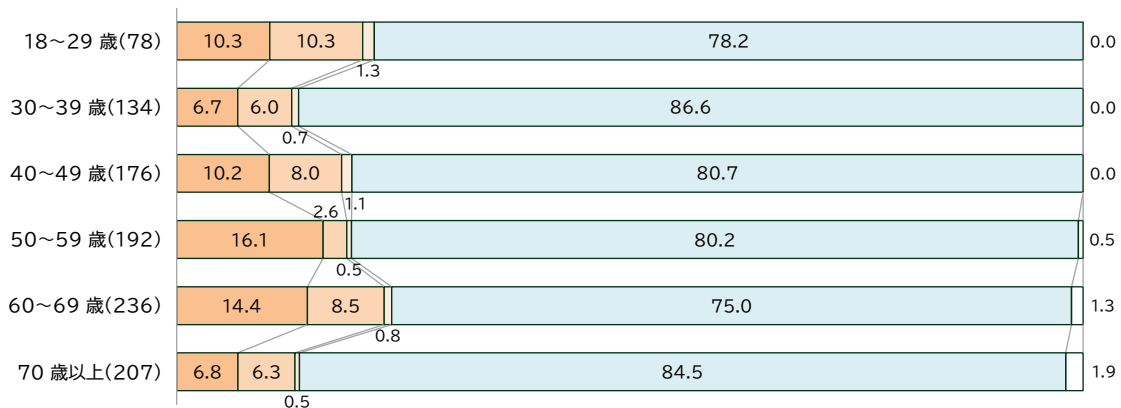
「飼っている」が約2割

「飼っている」(「犬を飼っている」(11.2%)、「猫を飼っている」(6.6%)及び「犬猫両方飼っている」(0.8%)の合計)は、18.6%となっている。

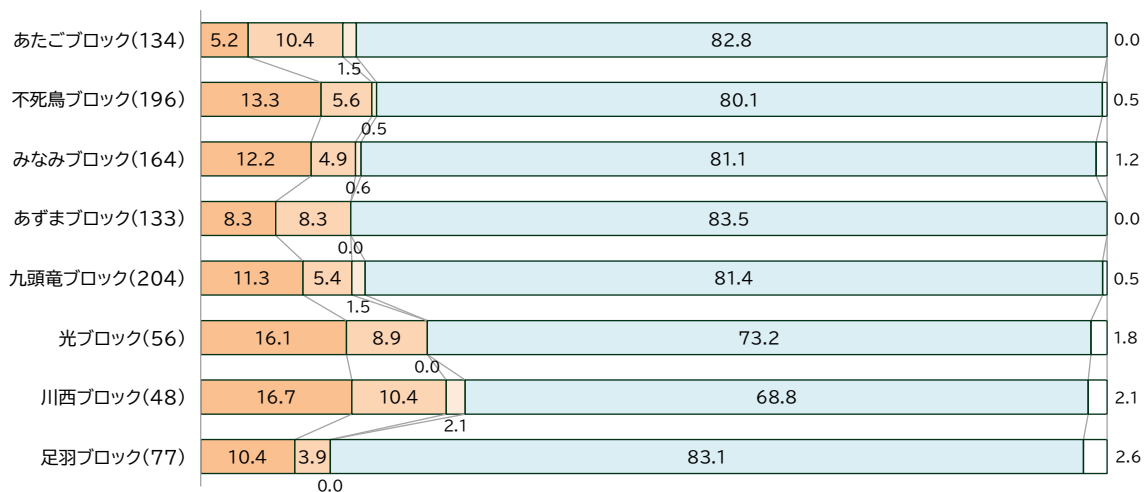
年齢別に見ると、「飼っている」は、60～69歳(23.7%)が最も高い。地区別では、「飼っている」は、川西ブロック(29.2%)が最も高くなっている。



【年齢別】



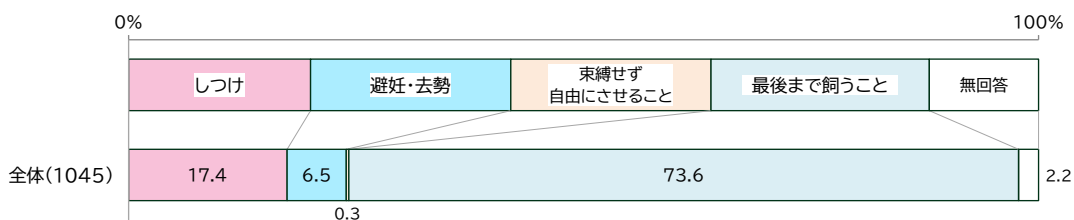
【地区別】



問2 あなたは、犬や猫を飼うためには何が最も大切だと思いますか。(1つ)

「最後まで飼うこと」が7割以上

「最後まで飼うこと」(73.6%)が最も高く、次いで「しつけ」(17.4%)が高くなっている。

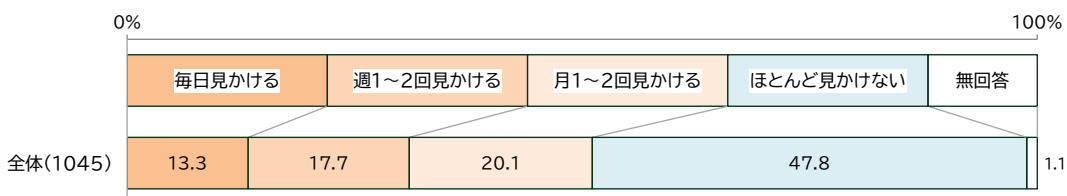


問3 あなたは、近所で野良猫を見かけたことがありますか。(1つ)

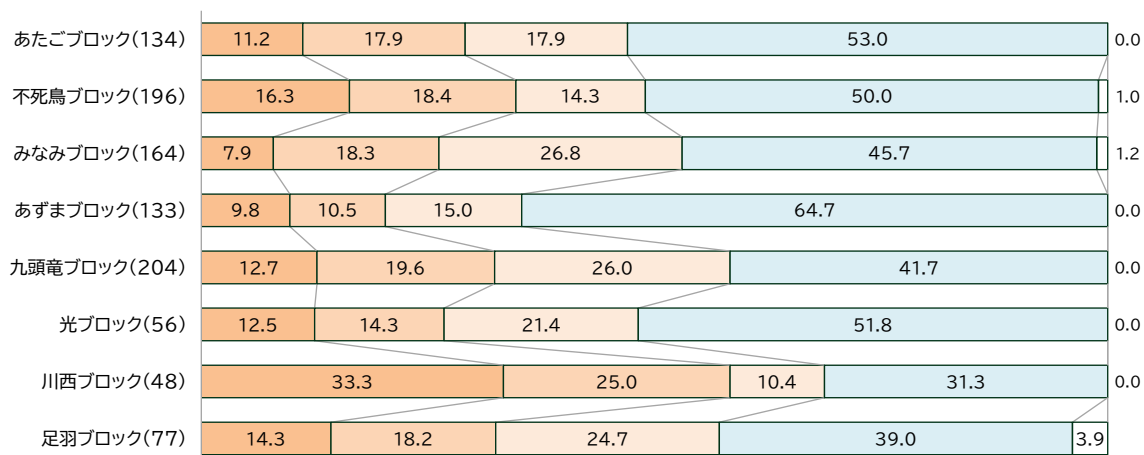
「見かける」が約5割

「見かける」(「毎日見かける」(13.3%)、「週1~2回見かける」(17.7%)及び「月1~2回見かける」(20.1%)の合計)が51.1%、「ほとんど見かけない」が47.8%となっている。

地区別では、「見かける」は、川西ブロック(68.7%)が最も高く、あずまブロック(35.3%)が最も低い。



【地区別】

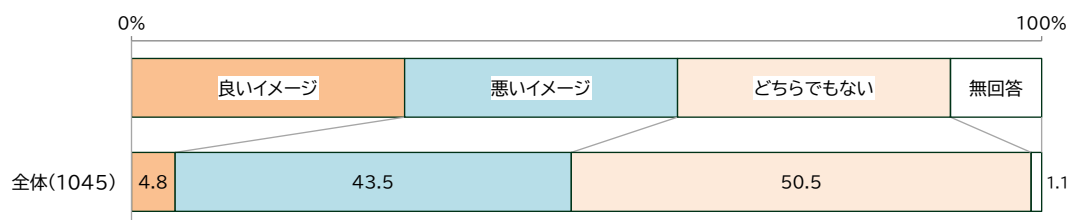


問4 あなたは、野良猫に対してどのようなイメージを持っていますか。(1つ)

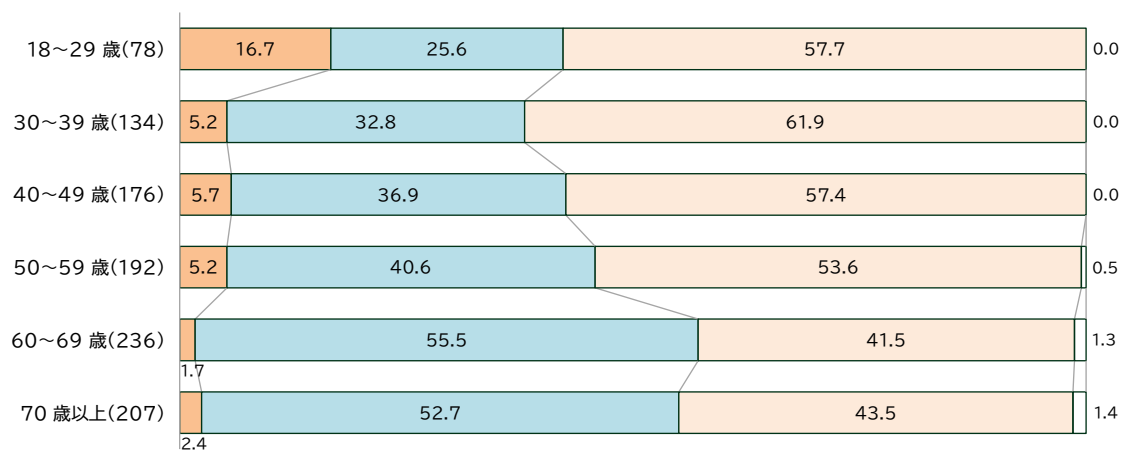
「悪いイメージ」が4割以上

「どちらでもない」(50.5%)が最も高く、「悪いイメージ」(43.5%)が「良いイメージ」(4.8%)より38.7ポイント高くなっている。

年齢別に見ると、「悪いイメージ」は、60～69歳(55.5%)と70歳以上(52.7%)が高い。



【年齢別】



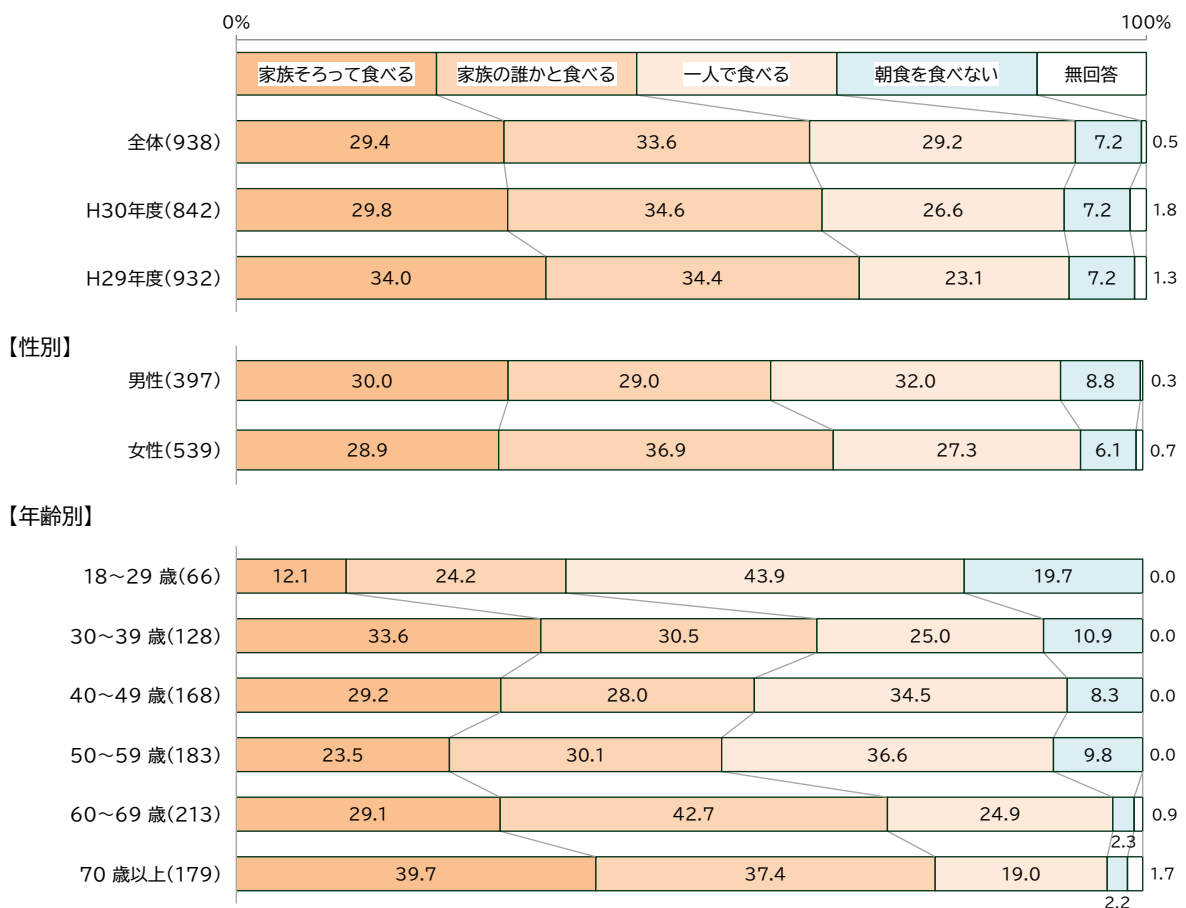
◆食育について

問1 あなたは、朝食を誰と食べていますか（1つ）

「家族と食べる」が約6割

「家族と食べる」（「家族そろって食べる」（29.4%）及び「家族の誰かと食べる」（33.6%）の合計）が63.0%、「一人で食べる」が29.2%となっている。「家族と食べる」は、平成30年度の調査（64.4%）と比べて、1.4ポイント低くなっている。

性別では、「家族と食べる」は、女性（65.8%）が男性（59.0%）より6.8ポイント高い。年齢別に見ると、「家族と食べる」は、70歳以上（77.1%）と60～69歳（71.8%）が高く、18～29歳（36.3%）は最も低くなっている。



※問1と次の問2について

全回答者（1,045）から調査票内（F5）の家族構成で「一人暮らし」及び「無回答」と回答した数等（107）を除いて集計している。

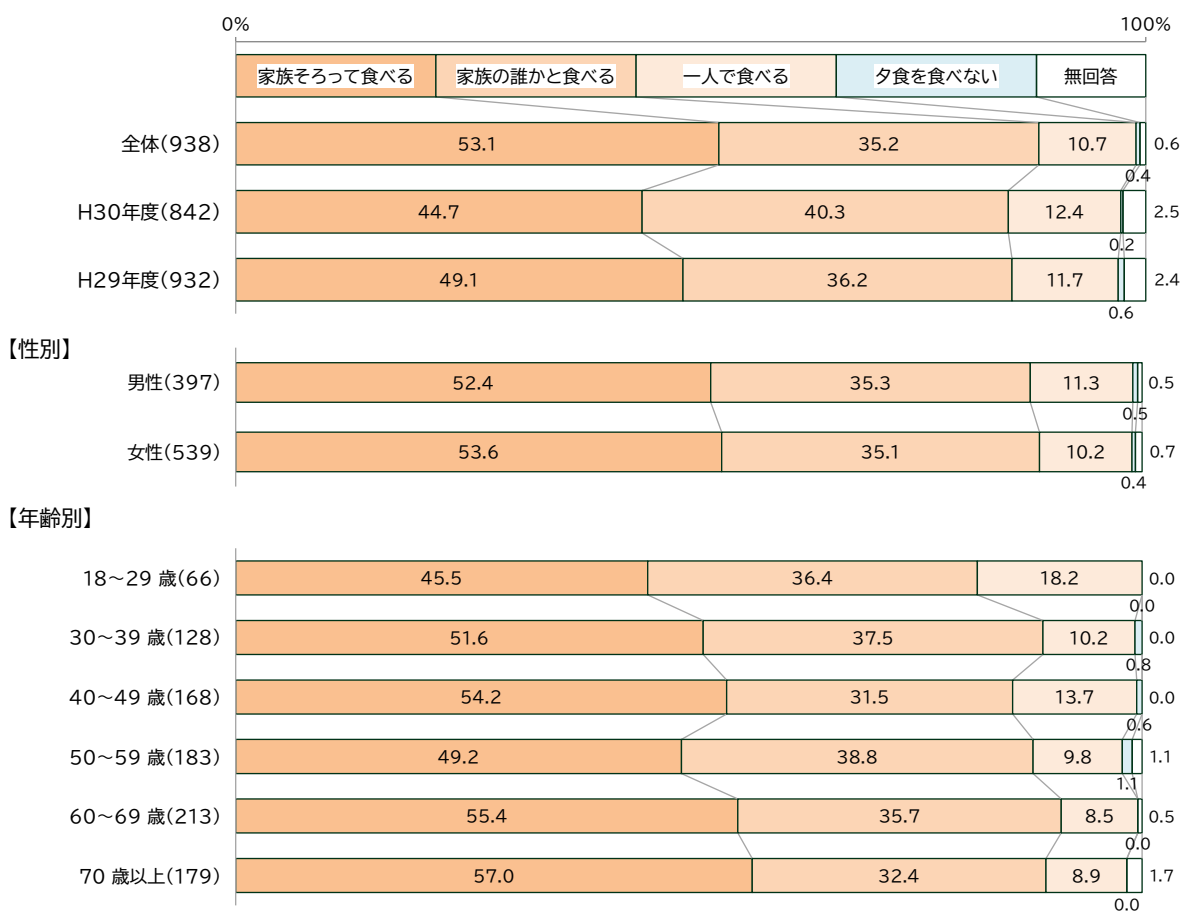
また、平成30年度調査及び平成29年度調査の「無回答」の中には、「その他」と回答した数が含まれている。

問2 あなたは、夕食を誰と食べていますか（1つ）

「家族と食べる」が約9割

「家族と食べる」（「家族そろって食べる」（53.1%）と「家族の誰かと食べる」（35.2%）の合計）が88.3%、「一人で食べる」が10.7%となっている。「家族と食べる」は、平成30年度の調査（85.0%）と比べて、3.3ポイント高くなっている。

年齢別に見ると、「一人で食べる」は、18～29歳（18.2%）が最も高い。

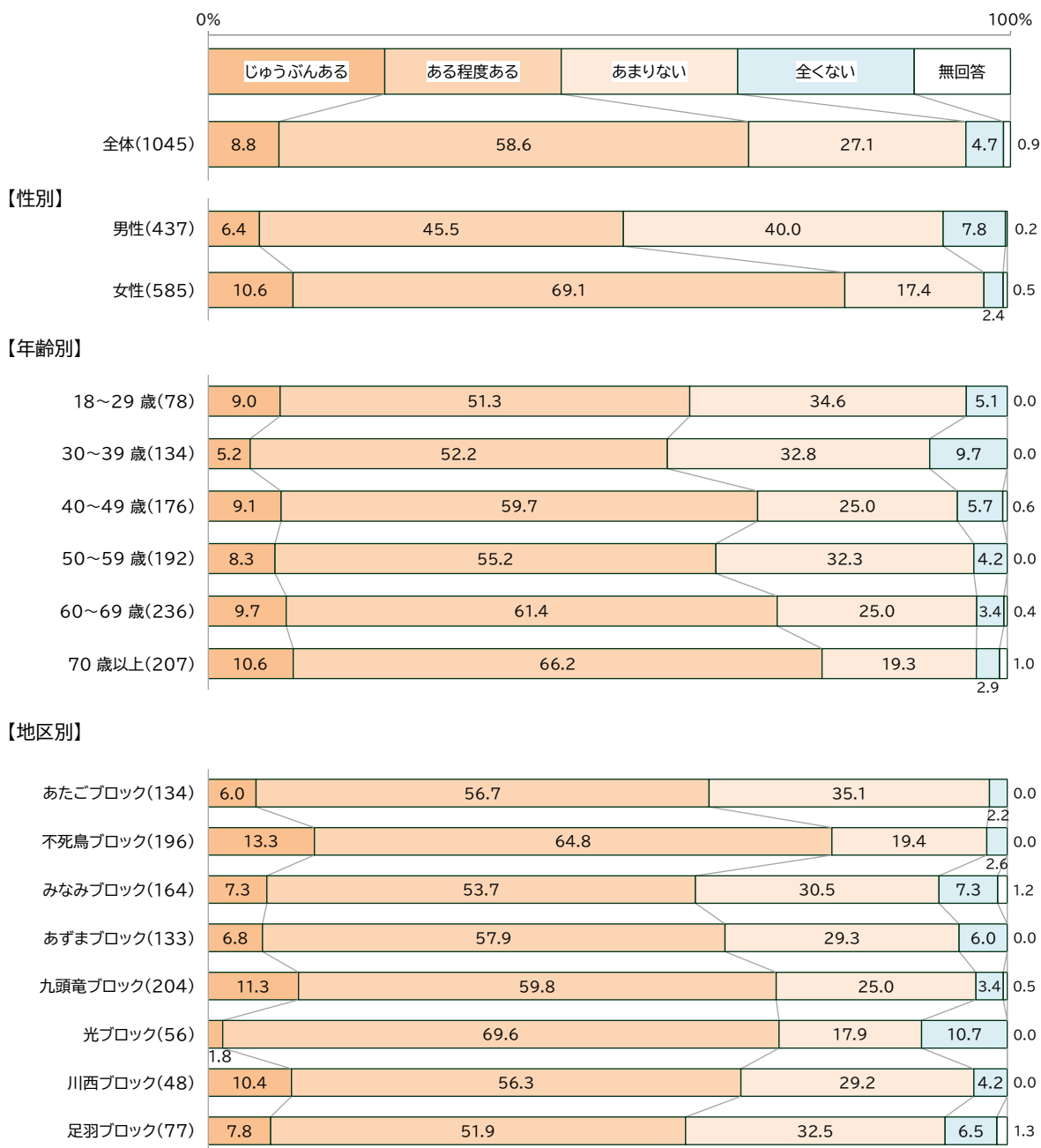


問3 あなたは、健康に関する食品や調理の知識がありますか。(1つ)

「知識がある」が約7割

「知識がある」「じゅうぶんある」(8.8%)及び「ある程度ある」(58.6%)の合計は、67.4%となっている。

性別では、「知識がある」は、女性(79.7%)が男性(51.9%)より27.8ポイント高い。年齢別に見ると、「知識がある」は、70歳以上(76.8%)が最も高くなっている。地区別では、「知識がある」は、不死鳥ブロック(78.1%)が最も高い。

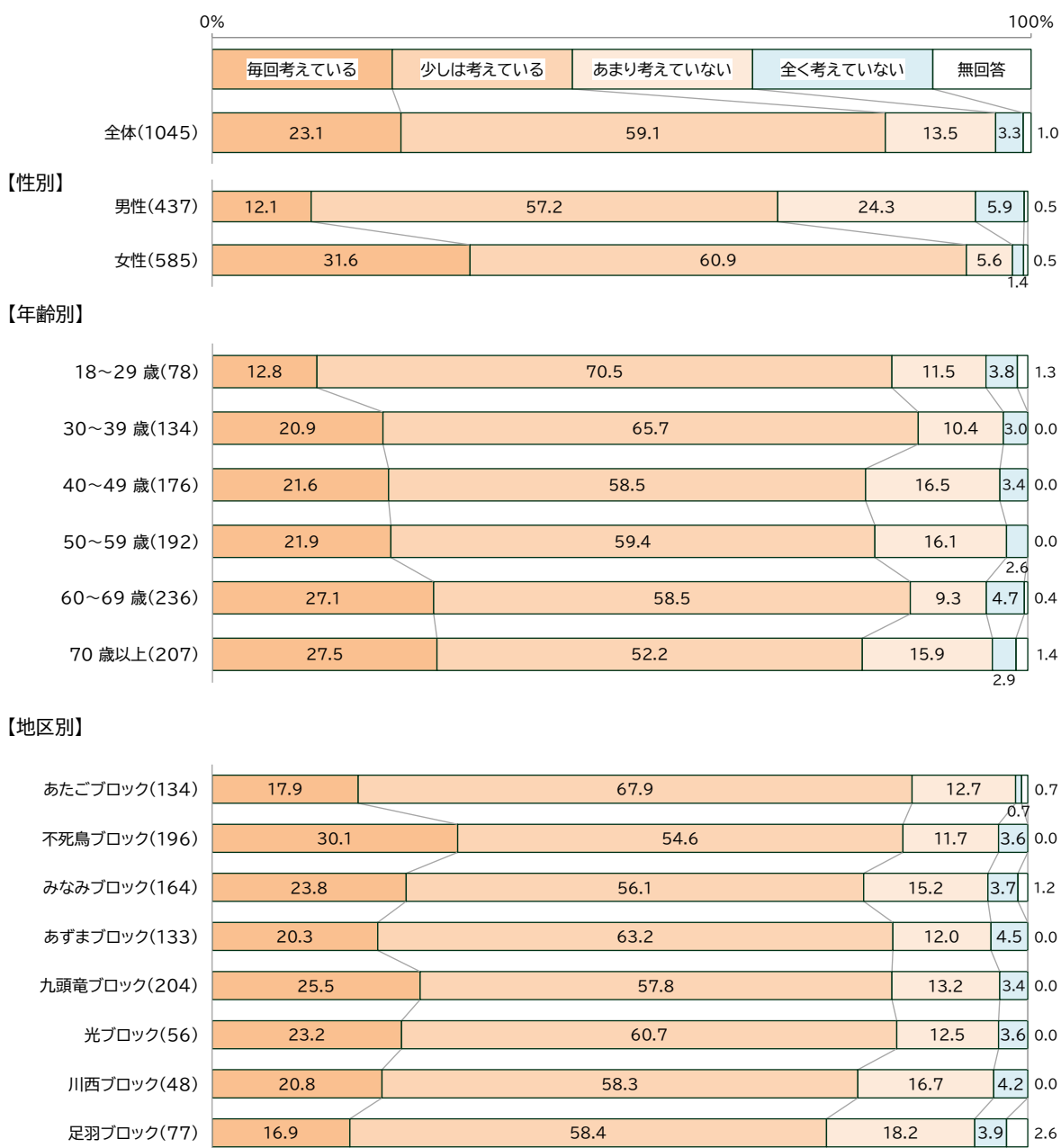


問4 あなたは、栄養のバランスを考えて食事をとっていますか。(1つ)

「考えている」が約8割

「考えている」(「毎回考えている」(23.1%) 及び「少しは考えている」(59.1%) の合計) は、82.2%となっている。

性別では、「考えている」は、女性(92.5%)が男性(69.3%)より23.2ポイント高い。年齢別に見ると、「毎回考えている」は、年齢の高い世代ほどその割合が高くなる傾向が見られる。地区別では、「毎回考えている」は、不死鳥ブロック(30.1%)が最も高くなっている。

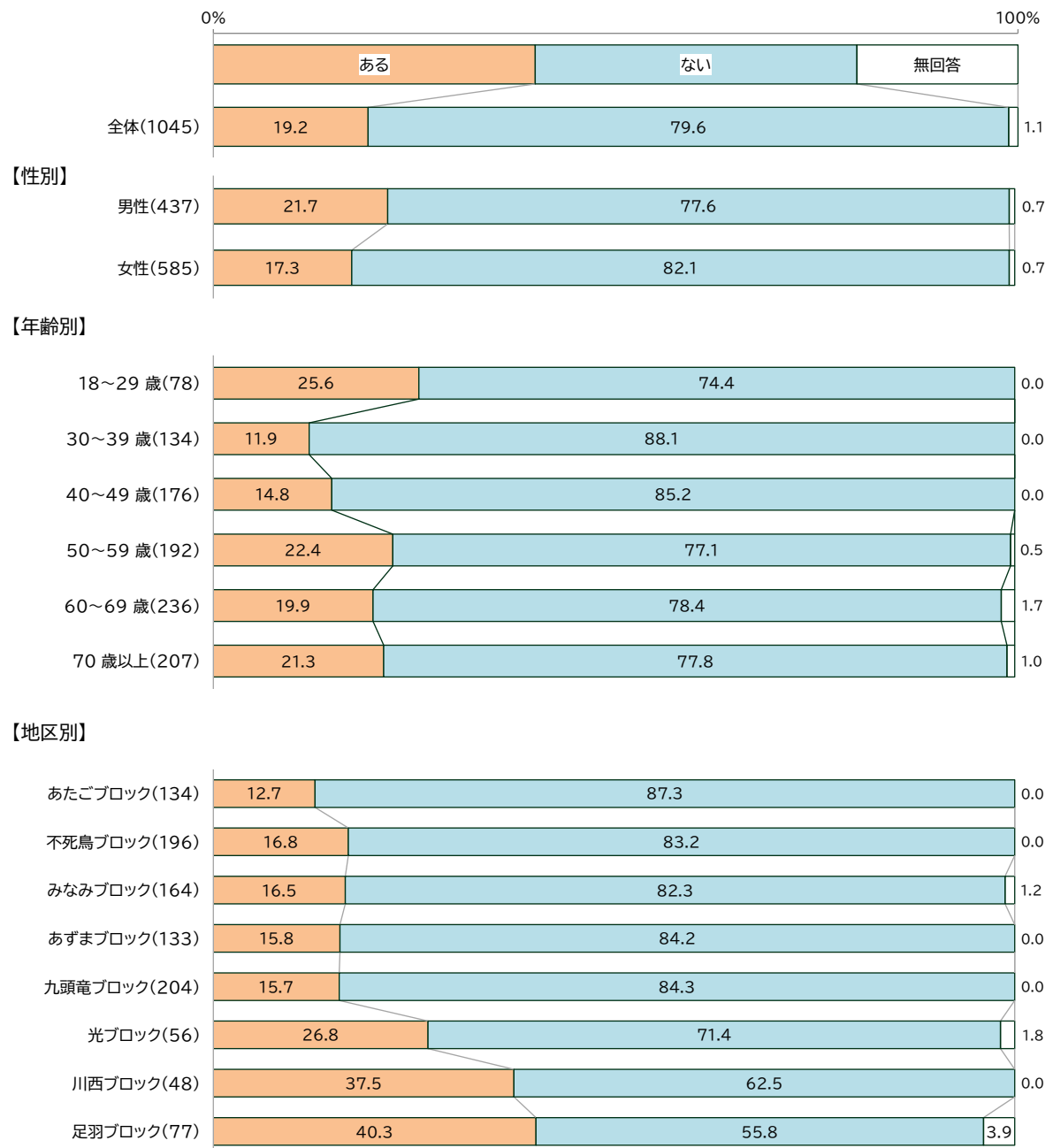


問5 あなたは、農林漁業体験に参加したことがありますか。(1つ)

「ある」が約2割

「ある」が19.2%、「ない」が79.6%となっている。

年齢別に見ると、「ある」は、30～39歳(11.9%)が最も低い。地区別では、「ある」は、足羽ブロック(40.3%)と川西ブロック(37.5%)が高くなっている。

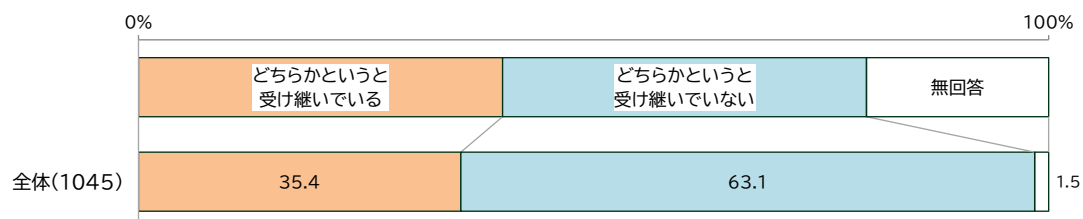


問6 あなたは、郷土料理や伝統料理などの家庭の味を受け継いでいますか。(1つ)

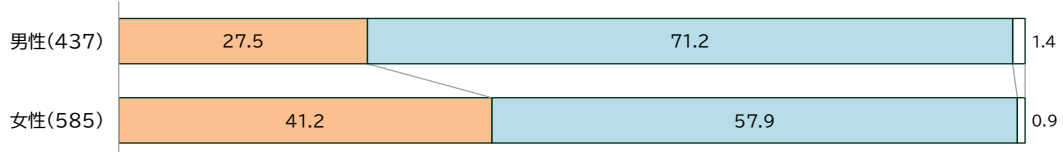
「どちらかというと受け継いでいない」が6割以上

「どちらかというと受け継いでいない」が63.1%、「どちらかというと受け継いでいる」が35.4%となっている。

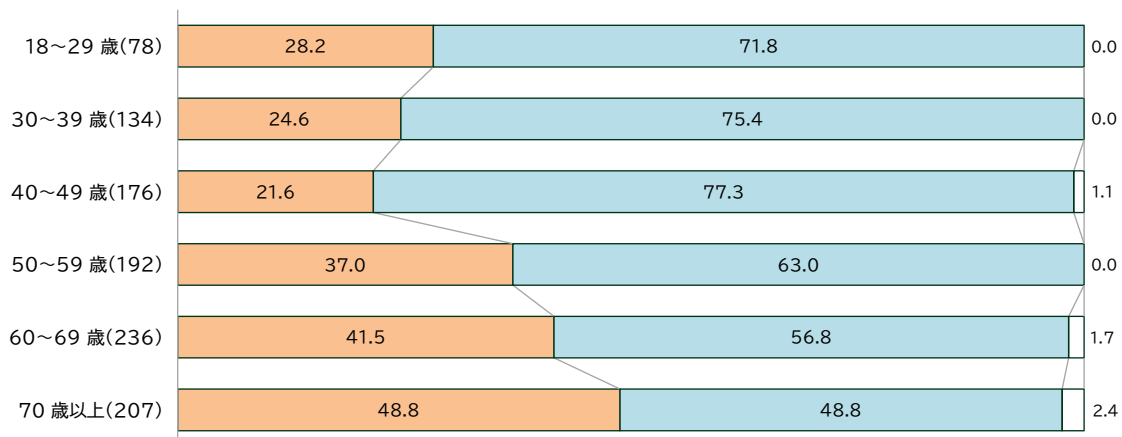
性別では、「どちらかというと受け継いでいない」は、男性(71.2%)が女性(57.9%)より13.3ポイント高い。年齢別に見ると、「どちらかというと受け継いでいない」は、40～49歳(77.3%)と30～39歳(75.4%)が高くなっている。



【性別】



【年齢別】



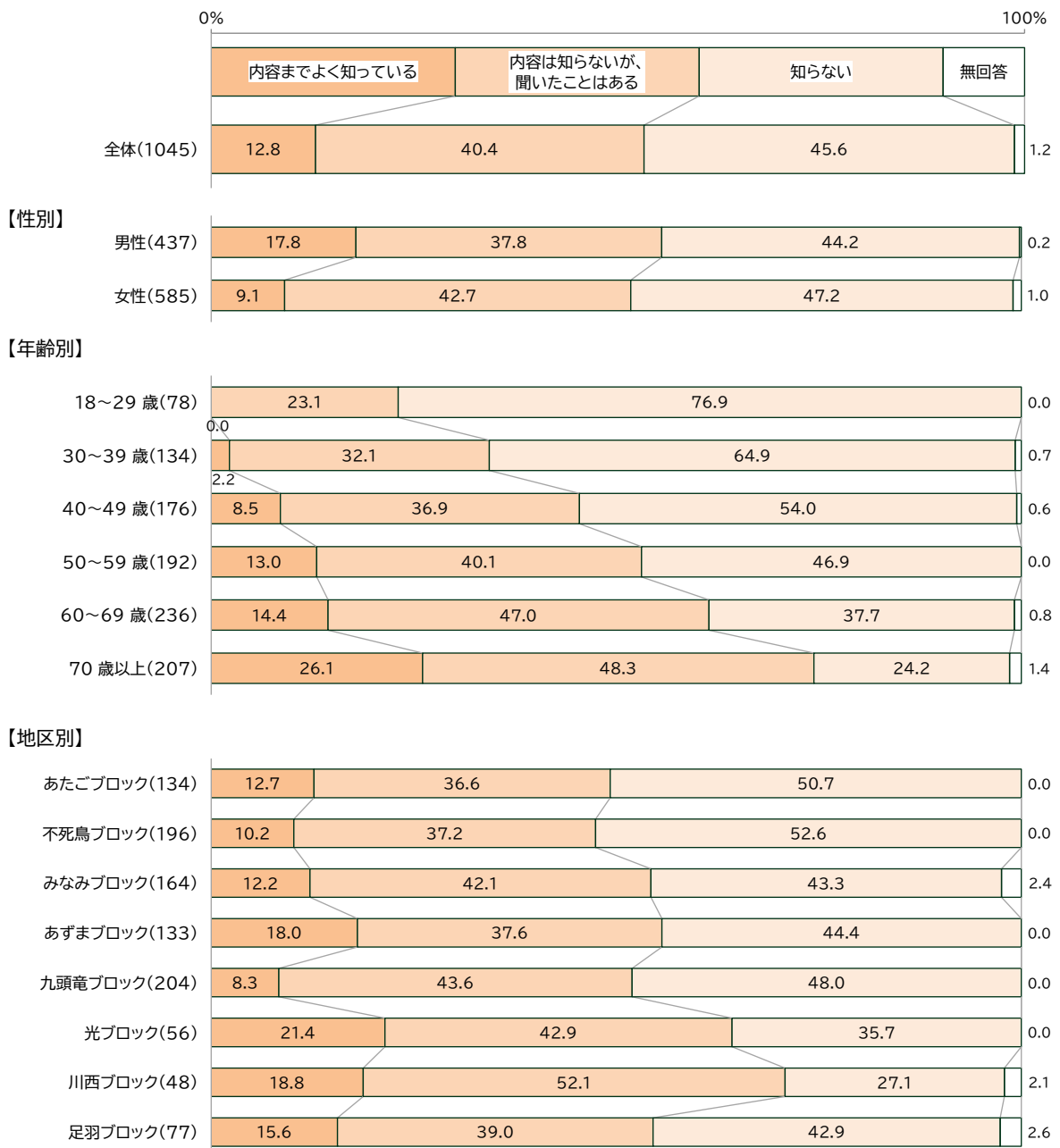
◆市民憲章について

問1 あなたは、市民憲章に実践目標があることを知っていますか。(1つ)

「知っている」が5割以上

「知っている」(「内容までよく知っている」(12.8%) 及び「内容は知らないが、聞いたことはある」(40.4%) の合計) が53.2%、「知らない」が45.6%となっている。

性別では、「内容までよく知っている」は、男性(17.8%)が女性(9.1%)より8.7ポイント高い。年齢別に見ると、「知っている」は、年齢の高い世代ほどその割合が高くなっている。地区別では、「知っている」は、川西ブロック(70.9%)が最も高い。

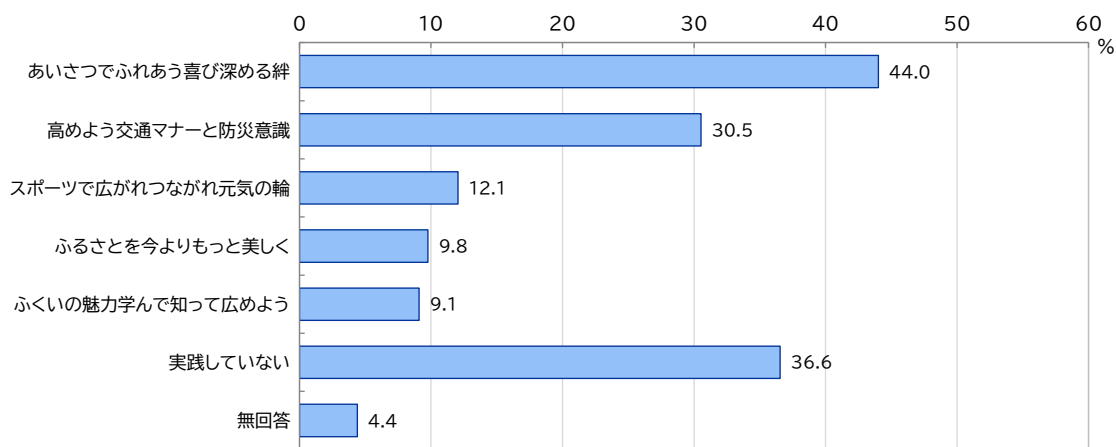


問2 実践目標のうち、あなたが実践しているものをお答えください。(すべて)

「あいさつでふれあう喜び深める絆」が4割以上

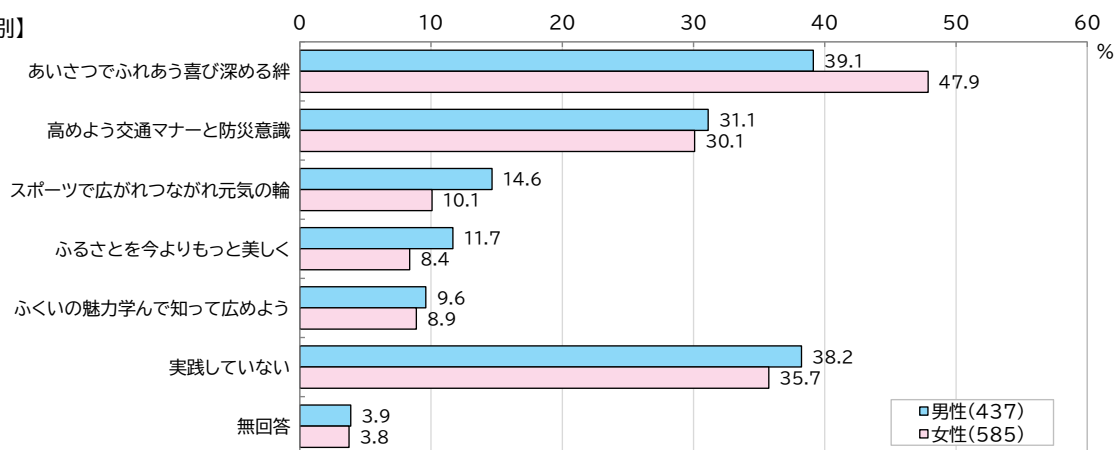
「実践していない」(36.6%)を除く項目のうち、「あいさつでふれあう喜び深める絆」(44.0%)が最も高く、次いで「高めよう交通マナーと防災意識」(30.5%)が高くなっている。

性別では、「あいさつでふれあう喜び深める絆」は、女性(47.9%)が男性(39.1%)より8.8ポイント高い。年齢別に見ると、「あいさつでふれあう喜び深める絆」は、年齢の高い世代ほどその割合が高くなる傾向が見られる。



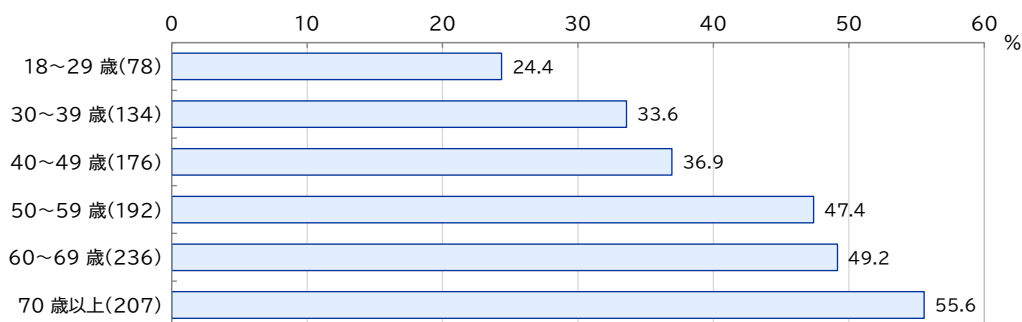
MA(N=1045)

【性別】



【年齢別】

あいさつでふれあう喜び深める絆



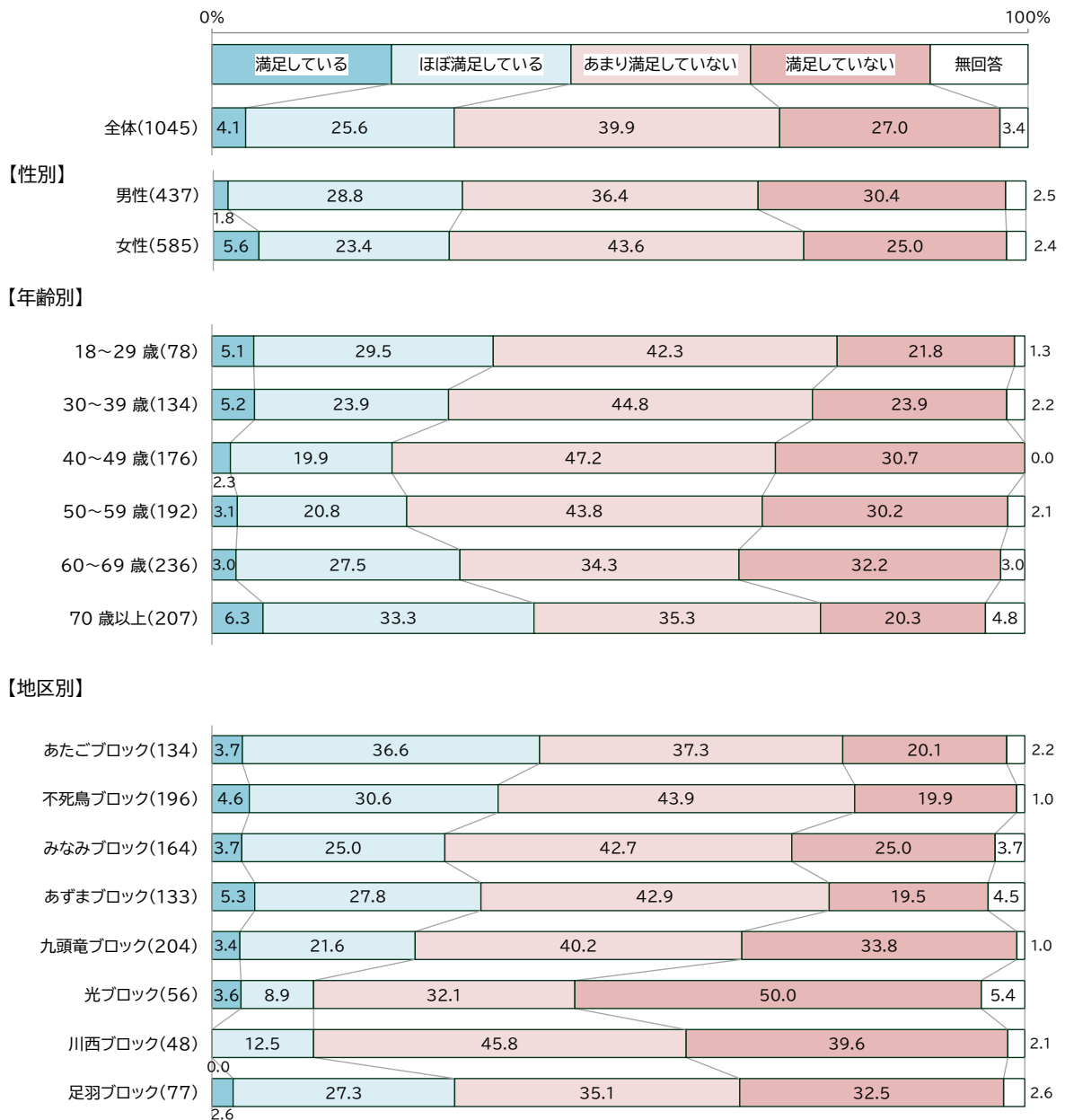
◆福井市の都市づくりについて

問1 あなたは、福井市の公共交通機関に満足していますか。(1つ)

「満足」が約3割

「満足」(「満足している」(4.1%) 及び「ほぼ満足している」(25.6%) の合計) が29.7%、
「不満」(「あまり満足していない」(39.9%) 及び「満足していない」(27.0%) の合計) が66.9%
と、「満足」が「不満」より37.2ポイント低くなっている。

年齢別に見ると、「満足」は、70歳以上(39.6%)と18～29歳(34.6%)が高くなっている。
地区別では、「満足」は、あたごブロック(40.3%)と不死鳥ブロック(35.2%)が高い。

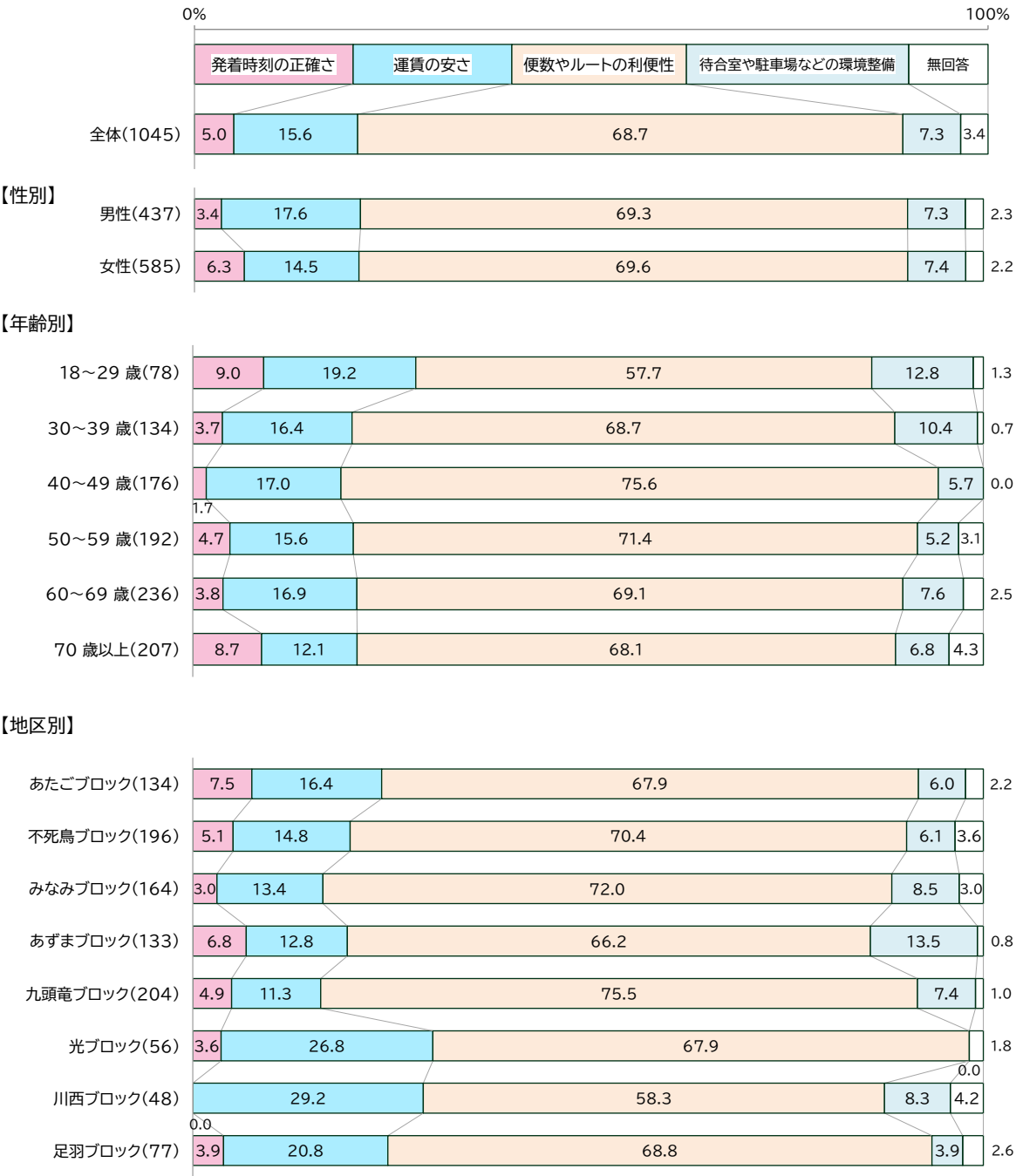


問2 あなたが、福井市の公共交通機関に求めるものは何ですか。（1つ）

「便数やルートの利便性」が約7割

「便数やルートの利便性」（68.7%）最も高く、次いで「運賃の安さ」（15.6%）が高くなっている。

地区別では、「便数やルートの利便性」は、全ての地区で最も高いが、「運賃の安さ」は、川西ブロック（29.2%）と光ブロック（26.8%）が高くなっている。

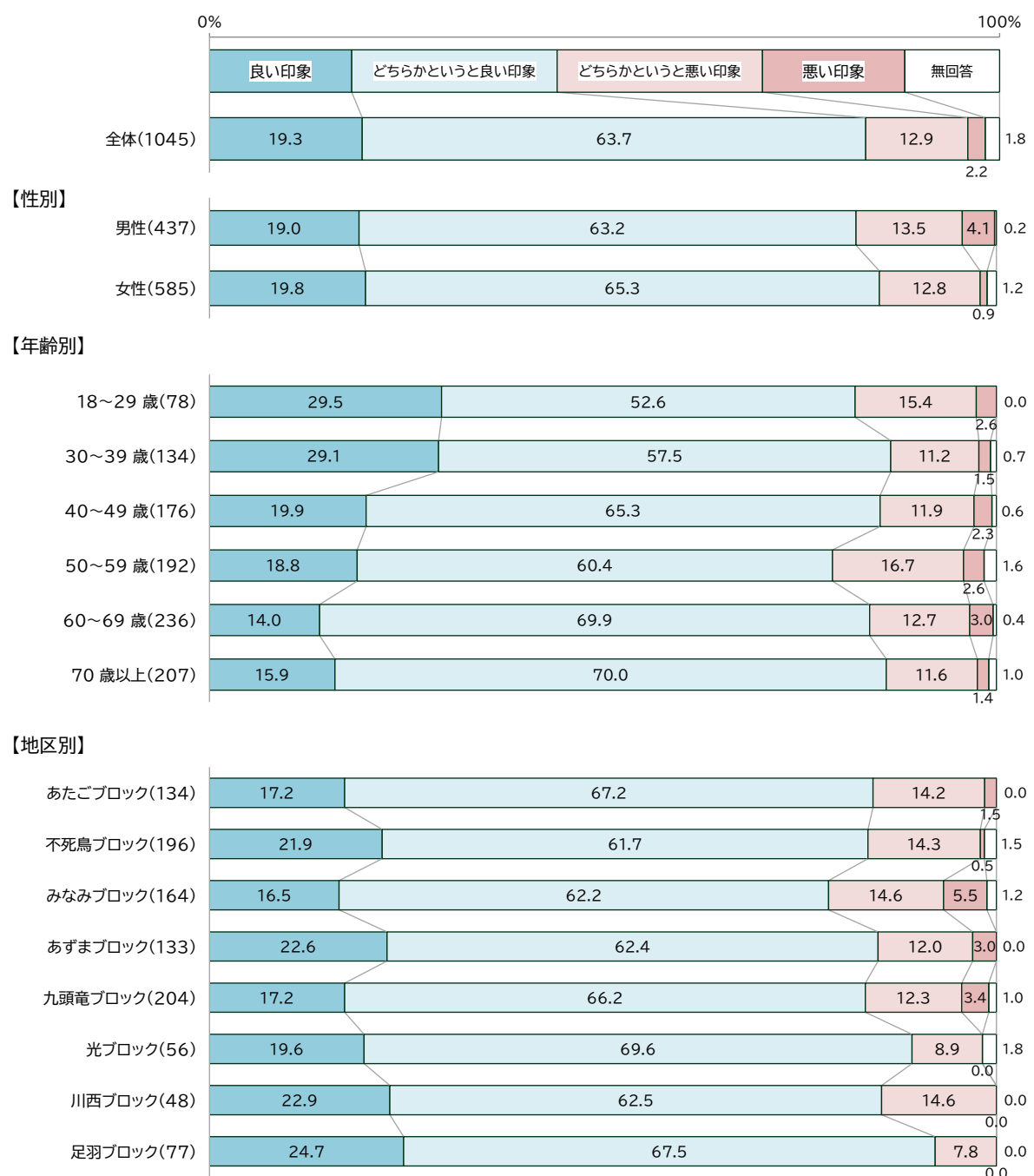


問3 あなたは、福井市の景観（自然やまちなみ）にどのような印象を持っていますか。（1つ）

「良い」が8割以上

「良い」（「良い印象」（19.3%）及び「どちらかというの良い印象」（63.7%）の合計）が83.0%、「悪い」（「どちらかというの悪い印象」（12.9%）及び「悪い印象」（2.2%）の合計）が15.1%と、「良い」が「悪い」より67.9ポイント高くなっている。

年齢別に見ると、「良い印象」は、18～29歳（29.5%）と30～39歳（29.1%）が高い。



IV 自由意見

自由意見は次のとおりである。

本報告書では、市民意識調査に寄せられた意見・提案を第七次福井市総合計画の政策に基づいて、「Ⅰ 快適に暮らすまち」、「Ⅱ 住みよいまち」、「Ⅲ 生き活きと働くまち」、「Ⅳ 学び成長するまち」、「Ⅴ その他」に分類し、それぞれ主な意見・提案内容を掲載している。

※自由意見の取扱い

市民意識調査は無記名で、回答者を特定し個別に回答することができないため、寄せられた自由意見の原文については、今後の行政の取組の参考とするため全庁で共有する。

Ⅰ 快適に暮らすまち
道路の整備をすべき。白線が消えていると、県外から来た自分にとっては、走行することに不安がある。(29 歳以下 女性)
今はコロナの時期という事もあり、人が集まるイベントが少ないですが、最近のイベントにて、中央公園でのコンサート等、人が多く、ボランティア等で参加され、お客様も多かった様で、その様に人が楽しんで参加される様な事、また、福井市が活気あふれる様になることを願っています。(50 代 女性)
都市部からの移住や観光だけを目的とした事業は、景気や災害等自分達の努力以外のファクターの影響を受けやすく、成果が不安定であるように感じます。それよりも、現在住んでいる人の住みやすさを追求していった方が、結果地域の魅力や活気が増し、人口も増加するのではないのでしょうか？ 県外の大学に進学した身としては、Ⅰ ターン等の促進よりも、まず県内にいて学べる学部や取得できる資格がどれくらいあるのか情報発信や就職可能な職種を増やすことが重要なように感じます。(40 代 女性)
川沿いの遊歩道がもっと広がりきれいになり、BBQ や遊んだり、ゆったり過ごせる場所が増えるといいなと思う。(30 代 女性)
福井市の中心に足を運びたくなるような、少し緑と一体化したゆとりのある空間が欲しいです。(60 代 女性)
特に郊外の場合、公共の交通機関が不便なうえ、運賃も高い為利用しづらいので、街中だけじゃなくて郊外に目を向けていただけると助かります。宜しくお願いします。(40 代 女性)
人口を増やす魅力ある県都造り、特に新幹線開業に向けた福井駅周辺の早急な再整備が求められていると思います。(60 代 男性)

Ⅱ 住みよいまち

医療費助成を他の市町村と同様に高校卒業までの検討をお願いします。高校や大学への進学を考える時に子供が1人の家庭と、3人4人の家庭とでは家計にのしかかる費用は大きく変わってくるので、何か対策してほしいです。下の子にいくほど進学が難しくなってしまいます。(40代 女性)

県外に行く度に自分たちの住む福井市の素晴らしさを実感してます。田舎すぎず都会すぎず…とても住みよい街です。個人的には子供なし家庭で賃貸(町内会入会なし)なので、人とのつながりがなく将来とても不安です。子供や老人にいろいろな事を提供していますが、私たちのような地域とのつながりがいない人の為に、イベントや教室や学習会など企画して欲しいです。(50代 女性)

県外から移住してきて思う事は交通マナーが悪すぎる。自動車も自転車も公共交通機関も悪いと思います。(30代 女性)

土砂災害のハザードマップが大雑把すぎてわかりにくい。今迄に発行されたハザードマップの特別区域内の建物はそのまま良いか?(60代 男性)

なぜ燃やせないゴミは2週間に1度なのでしょう。プラスチックよりも燃やせないゴミの方がたくさんゴミが出てるので、プラスチックは2週間に1度でも大丈夫ですが、燃やせないゴミを毎週にしてほしいです。(29歳以下 女性)

市道の側溝のゴミ、砂、土等の除去、また歩道等の清掃を市民が自宅前やその近くを率先して行うこと。このことを市民運動として行うべきと考える。(70歳以上 男性)

今の若い人達が生活に追われるだけでなくもっと楽しみをもってアクティブに市政に参加できる場所を作って頂きたい。(70歳以上 女性)

Ⅲ 生き活きと働くまち

新幹線開業までに他の自治体(少なくとも金沢市、富山市)にない魅力を発信できるようにした方がよい。また、若者が戻って来たがるような斬新なアイデアを持った人がリードした方がよい。(50代 男性)

福井はとても住みやすく良い環境に恵まれているが、若者が転職したくなる企業が少なく感じる。(70歳以上 女性)

Ⅳ 学び成長するまち

福井でフルマラソンを!!と思うが、実現が難しいのなら福井マラソンだけでも続けていってほしいです!! (40代 女性)

小中学校の冷暖房の設備を充実させていただきたいです。(40代 女性)

特殊な古墳や、いわれの深い神社などがあり、古くから人間が住みついている地域です。古代の歴史ストーリーを郷土愛につなげることはできないか。(30代 男性)

オンライン授業の充実。教育現場での生活環境の充実 (60代 男性)

芸術文化への取り組みが薄いと感じます。ハピリンの能舞台も半分しか創設しないという中途半端なものです。舞台を作るのであれば、舞台人に意見を募り、金沢市みたいに交通の便もよく、使い勝手のいいものをつくって欲しいです。美術館にしても、もっといろんな作品を呼んだり、力を入れて欲しいです。子供たちに勉強だけではなく、芸術にもっと触れて、いい刺激を与えられるようにしたいです。(30代 女性)

Ⅴ その他

新型コロナウイルスに対する支援としての子育て世帯応援給付金、大変ありがたく思っています。ただ、困っているのは皆同じなので、子育て世帯だけでなく、全市民に平等に支援が行き届くといいなと思いました。(30代 女性)

福井市内にある会社に勤めているのですが、東京の方が来られたときに、眺めが素晴らしいですね!と感激されました。ごくごく普通の福井の街並みなのですが。都会の方から見れば、高いビルがないのがそれはとても新鮮だったとのこと。どこの町にもあるありきたりなビルを作るよりも、田舎は田舎をアピールしたほうが喜ばれることがあるのかもしれない。(40代 女性)

V 調査票

調査にあたってのお願い

- ◆ あて名の~~ご本人様~~がご回答ください。（代筆でもかまいません。）
- ◆ あてはまる番号に○をつけてください。
- ◆ 回答が難しい場合は、次の質問にお進みください。
- ◆ 回答後は、同封の返信用封筒に入れて、郵便ポストにご投函ください。切手は不要です。
- ◆ 便利なインターネット回答も可能です。同封のチラシをご確認ください。

<お問合せ>



福井市 市民生活部 市民サービス推進課
TEL 0776-20-5303
FAX 0776-20-5753
E-mail shiservice@city.fukui.lg.jp

以下の設問について、あなたのお考えに最も近いものをお答えください。

◆ 福井市について

問1 あなたは、福井市にこれからも住み続けたいと思いますか。（1つ）

- 1. 住み続けたい
- 2. 事情が許せば住み続けたい
- 3. 市外（大都市圏）に住みたい
- 4. 市外（大都市圏以外）に住みたい

問2 あなたは、都市部からの移住（UIターン）を促進する福井市の施策を知っていますか。（1つ）

- 1. 内容までよく知っている
- 2. 内容は知らないが、聞いたことはある
- 3. 知らない

問3 都市部からの移住促進に重要だと思うものは何ですか。（1つ）

- 1. 移住相談体制の充実
- 2. 福井市の魅力の情報発信
- 3. 仕事（就職、起業）に関する支援
- 4. 住宅の確保に関する支援
- 5. 親や友人などからの働きかけ
- 6. その他（ ）

問4 都市部からの移住促進にあたり、福井市の強みは何だと思いますか。（1つ）

- 1. 自然環境
- 2. 生活環境（交通、買い物の利便性）
- 3. 子育て、教育環境
- 4. 雇用、労働環境
- 5. 住まいの環境（家の広さ、コスト）
- 6. その他（ ）

◆ 市のまちづくりについて

問1 福井市が取り組んでいる施策について、あなたの満足度と重要度をお聞きます。表中の「施策のポイント」を参考にしてください、施策全体としての満足度と重要度について、あなたのお考えに最も近い番号に○を付けてください。（それぞれ1つ）

	No	施策のポイント (主な事業内容)	満足度				重要度			
			1 満足	2 やや満足	3 やや不満	4 不満	1 重要	2 やや重要	3 あまり重要でない	4 重要でない
	1	県都の顔にふさわしい都市空間形成 ・足羽山公園遊園地のリニューアル、園路やサイン、眺望スポットの整備 ・中央公園と周辺の再整備による、福井城址との一体性の向上 ・えちぜん鉄道の高架化にあわせた福井駅周辺の道路整備	1	2	3	4	1	2	3	4
	2	中心市街地の活性化 ・ハビリンを拠点とした賑わい創出や、まちなかのイベント実施 ・まちなかのリノベーションと、出店や開業、創業支援 ・電動アシスト自転車「ふくチャリ」のレンタルなど、回遊性の向上	1	2	3	4	1	2	3	4
	3	北陸新幹線の福井開業準備 ・北陸新幹線福井開業に向けた整備 ・並行在来線の開業準備	1	2	3	4	1	2	3	4
	4	移住定住の促進 ・本市の魅力をPRすることによる、都市圏からのUIターンの促進 ・空き家の購入や、住宅リフォームへの補助 ・多世帯同居や近居、若年夫婦世帯への住宅支援	1	2	3	4	1	2	3	4
	5	公共交通機関の利便性向上 ・公共交通空白地域におけるバス運行支援 ・新たなバス利用者の裾り起こし ・えちぜん鉄道、福井鉄道の運営支援	1	2	3	4	1	2	3	4
	6	公園の整備・維持管理 ・市内公園の広場や遊具、トイレ等のリニューアル ・団体が行う草花や樹木の育成活動への支援	1	2	3	4	1	2	3	4

No	施策のポイント (主な事業内容)	満足度				重要度			
		1	2	3	4	1	2	3	4
7	市道の整備・維持管理 ・市道の整備と維持管理 ・橋りょうの補修や耐震補強	1	2	3	4	1	2	3	4
8	建築物の安全性向上と住環境の整備 ・木造住宅の耐震診断及び工事に要する費用の支援 ・森田北東部における土地区画整理事業 ・市営住宅東安居団地の建替え	1	2	3	4	1	2	3	4
9	治水環境の整備 ・河川や水路の整備と維持管理	1	2	3	4	1	2	3	4
10	生活排水の適切な処理 ・公共下水道の普及 ・浄化槽維持管理への補助 ・下水管路施設の点検及び改築、汚水処理場設備の更新	1	2	3	4	1	2	3	4
11	おいしい水の安定供給 ・安全でおいしい水の安定供給 ・水道事業の健全経営	1	2	3	4	1	2	3	4
12	女性が活躍できる環境づくり ・幅広い年代の市民や企業への意識啓発による、女性が働く環境整備 ・地域における男女共同参画意識の啓発	1	2	3	4	1	2	3	4
13	多文化共生と国際交流の推進 ・在住外国人への分かりやすい行政サービスの提供 ・姉妹友好都市との相互交流	1	2	3	4	1	2	3	4
14	協働のまちづくり ・市民のボランティアへの関心や意欲を高める啓発や情報提供 ・市民と行政の協働に向けた取組の推進	1	2	3	4	1	2	3	4

No	施策のポイント (主な事業内容)	満足度				重要度			
		1	2	3	4	1	2	3	4
15	地域コミュニティの活性化 ・自治会及び地区自治会連合会等が行う地域活動への支援 ・中山間地域の活性化を図る地域おこし協力隊の活動への支援 ・地域が取り組む地域課題の解決や能力発性事業への支援	1	2	3	4	1	2	3	4
16	健康づくり支援 ・認知症初期段階での支援チーム（医療や福祉の専門職）による集中支援 ・健康診査の実施 ・運動や食を通じた健康づくりの普及啓発	1	2	3	4	1	2	3	4
17	子育て環境の充実 ・子どもの医療費助成や、一時保育及び家事代行などの生活支援 ・老朽化した保育園の改修、認定こども園への移行のための増改築 ・放課後児童会及び放課後児童クラブの運営	1	2	3	4	1	2	3	4
18	高齢者の活躍支援 ・ひとり暮らし高齢者への必要なサービスの提供や見守り支援 ・地域包括支援センターの運営 ・地区が実施する敬老会や生きがい事業への支援	1	2	3	4	1	2	3	4
19	障がい者の活躍支援 ・障がい福祉サービスの実施 ・障がい者への就労支援	1	2	3	4	1	2	3	4
20	環境保全の推進 ・地域住民や市民団体等が行う自然保護及び再生事業への支援 ・環境汚染や水質汚濁等に係る環境監視や調査指導 ・環境問題に関心と理解を深めるための講座やイベントによる啓発	1	2	3	4	1	2	3	4
21	ごみの適正な処理 ・市民団体が実施する雑がみの分別、古紙回収への支援 ・ごみ収集、資源ごみの有効利用の推進	1	2	3	4	1	2	3	4
22	地域の防災力・防犯力を高める ・備蓄倉庫の非常食の入れ替えや災害時マンホールトイレの整備 ・自主防災組織の活動支援や災害時に支援が必要な人への支援体制づくり	1	2	3	4	1	2	3	4
23	消防・救急体制の強化 ・女性消防団員の養成 ・防火水槽の整備 ・自治会等を対象とした防火教室の実施	1	2	3	4	1	2	3	4

No	施策のポイント (主な事業内容)	満足度				重要度			
		1 満足	2 ほぼ満足	3 やや不満	4 不満	1 重要	2 やや重要	3 あまり重要でない	4 重要でない
24	消費者保護の推進 ・消費者相談や消費生活に関する情報提供	1	2	3	4	1	2	3	4
25	交通安全の推進 ・交通安全の指導及び啓発、運転免許証の自主返納の推進	1	2	3	4	1	2	3	4
26	農林水産業の推進 ・農地集積、集落営農の組織化や法人化の促進 ・農業生産基盤の整備や人材確保、大都市圏への販路開拓 ・ＵＩターナーの農林水産業への就業支援と定住の促進	1	2	3	4	1	2	3	4
27	農産物の需要拡大 ・金福すいか、きやふく（サラダ人参）に続く農産物のブランド化 ・農林漁業者による加工及び販売の取組への支援 ・地産地消の拡大による食育の推進	1	2	3	4	1	2	3	4
28	農山漁村の生活環境を守る ・地域が行う農地の維持活動や土地改良事業への支援 ・集落排水施設の整備 ・イノシシやシカ等の有害鳥獣による農作物被害の防止	1	2	3	4	1	2	3	4
29	商工業の振興 ・企業の新技術や新製品開発等への支援と繊維産業の活性化 ・企業立地や雇用に対する支援 ・起業家の育成や事業承継の支援	1	2	3	4	1	2	3	4
30	福井で働くことを応援する ・学生や社会人へのＵＩターナー就職や正規雇用促進への支援 ・ワークライフバランスの推進に取り組む企業への支援	1	2	3	4	1	2	3	4
31	観光の振興とおもてなしの充実 ・一乗谷朝倉氏遺跡、まちなか、越前海岸への誘客 ・ふくい桜まつりや福井フェニックス祭りの開催 ・市民総ぐるみの「観光おもてなし市民運動」の推進	1	2	3	4	1	2	3	4

No	施策のポイント (主な事業内容)	満足度				重要度			
		1 満足	2 ほぼ満足	3 やや不満	4 不満	1 重要	2 やや重要	3 あまり重要でない	4 重要でない
32	文化芸術の振興 ・市美展や魅力ある企画展の開催	1	2	3	4	1	2	3	4
33	歴史・文化遺産の保存・活用 ・一乗谷朝倉氏遺跡や墓塔館座敷など、郷土の文化財の保存と活用 ・郷土歴史博物館の企画展の開催	1	2	3	4	1	2	3	4
34	自然科学教育の充実 ・自然史博物館の企画展の開催 ・自然史博物館分館（セーレンプラネット）の管理運営	1	2	3	4	1	2	3	4
35	学校教育の充実 ・ＡＬＴ等を活用した小学校の英語活動の推進 ・学校と地域や企業をつなぐキャリアネットワークの配置	1	2	3	4	1	2	3	4
36	子どもの健全育成 ・指導者の部活動への派遣やトップアスリートの実技講習会の実施 ・国内の姉妹友好都市との交流体験の実施 ・少年自然の家での様々な体験活動の実施	1	2	3	4	1	2	3	4
37	学校環境の整備 ・小学校体育館の窓ガラス飛散防止対策や学校トイレの洋式化 ・通学路の点検や安全対策の実施	1	2	3	4	1	2	3	4
38	生涯学習の支援 ・公民館の建設及び改修と活動支援 ・市立図書館の大規模改修	1	2	3	4	1	2	3	4
39	生涯スポーツの支援 ・各種スポーツ事業への助成	1	2	3	4	1	2	3	4

◆ お住まいの耐震について

問1 あなたのお住まいは、どのような建築構造の住宅ですか。(1つ)

1. 木造住宅 2. 木造以外の住宅

問2 あなたのお住まいは、いつごろ建てられた住宅ですか。(1つ)

1. 昭和56年5月以前 2. 昭和56年6月以降
3. 建築時期はわからない

問3 あなたのお住まいの耐震性が低いと判断されたら、耐震改修を行いますか。(1つ)

1. 耐震改修工事を行う 2. 耐震改修にかかる費用による
3. 耐震改修工事を行うのは難しい 4. 建替え又は解体を検討する
5. わからない

問4 あなたが耐震改修工事を行うのは難しい理由をお答えください。(1つ)

1. 費用負担が大きい 2. 次の世代へ引き継ぐ予定がない
3. 地震による倒壊を心配していない 4. 工事中の住まいが不安
5. その他 ()

◆ 骨髄バンクについて

問1 あなたは骨髄バンク事業についてご存じですか。(1つ)

1. 内容までよく知っている 2. 内容は知らないが、聞いたことはある
3. 知らない

問2 あなたは、福井市内にある常設のドナー登録窓口をご存じですか。(1つ)
※ドナー・・・白血病等の血液疾患の患者に骨髄を提供する人

1. 知っている 2. 知らない

問3 あなたは、献血の際に希望すればドナー登録ができることをご存じですか。(1つ)

1. 知っている 2. 知らない

問4 あなたはドナー登録をしていますか。(1つ)

1. 登録している 2. 登録していない

◆ 自転車の利用について

問1 あなたは、自転車を日常（通勤、通学、買い物など）どの程度利用しますか。(1つ)

1. 毎日 2. 週に1～2日
3. 月に数日 4. ほとんど利用しない

問2 あなたは、サイクリング（趣味、レジャーなど）をしますか。(1つ)

1. 週に1～2日 2. 月に数日
3. 過去はしていたが、現在はしていない 4. したことはないが興味はある
5. したことも興味もない

問3 あなたは、自転車利用を促進するためにどのような取り組みが重要だと思いますか。(1つ)

1. 自転車通行帯の整備 2. 自転車駐車場の整備
3. 自転車や車の交通安全意識の向上 4. レンタサイクルの推進
5. 自転車は利用しないのでわからない 6. その他 ()

◆ 健康とスポーツについて

問1 あなたは、日常生活で運動（徒歩、自転車移動を含む）をしていますか。(1つ)

1. ほとんど毎日運動している 2. 週に1～2回程度運動している
3. 月に1～2回程度運動している 4. ほとんど運動していない

問2 あなたは、運動やスポーツを行いたいと思いますか。(1つ)

1. 既に行っており、満足している 2. もっと行いたい
3. 行いたいけど、できない 4. 運動やスポーツに関心がない

問3 あなたは、どのような条件が整えば運動やスポーツを行うことができますか。(1つ)

1. 施設の条件（場所、時間、費用など） 2. 個人の条件（体調、友人、時間など）
3. 機会の条件（教室、指導者、情報など） 4. その他 ()

問4 福井でフルマラソンの開催が検討されていますが、あなたは参加したいですか。(1つ)

1. ランナーとして参加したい 2. ボランティアとして参加したい
3. 沿道で応援したい 4. 物産や商品を販売したい
5. 参加したくない 6. その他 ()

◆ 福井市の広報について

問1 あなたは、福井市のホームページをどのくらいご利用になりますか。(1つ)

1. 毎日利用する
2. 週に数回利用する
3. 月に数回利用する
4. ほとんど利用しない

問2 あなたは、福井市のホームページから主にどのような情報を得ていますか。(1つ)

1. 教育や福祉に関すること
2. 観光やイベントに関すること
3. 災害や防災に関すること
4. ほとんど利用しない

問3 あなたは、福井市のホームページで改善してほしい点はありますか。(1つ)

1. やさしい文章で分かりやすく
2. たくさん情報を詳しく
3. レイアウトやデザインを見やすく
4. 改善してほしい点はない

問4 あなたは、「広報ふくい」をどれくらいの頻度で読みますか。(1つ)

1. 毎月(月2回)読む
2. ととき読む
3. あまり読まない
4. 読まない

問5 あなたは、「広報ふくい」を読みやすいと思いますか。(1つ)

1. 読みやすい
2. 読みにくい
3. どちらでもない
4. 読まない

問6 あなたが「広報ふくい」でよく見るページはどれですか。(1つ)

1. 特集記事
2. イベントなどのお知らせ記事
3. 市民や本を紹介するコーナー
4. 読まない

問7 あなたは、「広報ふくい」にどのような情報を求めますか。(1つ)

1. 生活情報(ごみや各種制度)
2. 健康福祉情報(検診など)
3. 子育て・教育情報
4. 観光・施設情報(美術館など)
5. 防災防犯情報
6. その他()

問8 あなたが、「広報ふくい」の発行頻度で適切だと思うのはどれですか。(1つ)

1. 毎月2回(現状のまま)
2. 月1回
3. 2カ月に1回
4. その他()

◆ 自殺対策について

問1 あなたは、これまでに自殺またはそれに近いことを考えたことがありますか。(1つ)

1. 考えたことがある
2. 考えたことはない

問2 あなたは、悩みごとにどのように対処しますか。(1つ)

1. 誰かに相談する
2. 趣味など他のことで気を紛らわせる
3. 周りの環境を変える(転職など)
4. できるだけ休養をとる
5. 特に何もしない

問3 あなたは、悩みごとを誰に相談しますか。(1つ)

1. 家族、親族
2. 友人、先生、職場の仲間
3. 医師、カウンセラー
4. 誰にも相談しない

問4 あなたは、ゲートキーパー(悩みを聞き支援につなぐ人)を知っていますか。(1つ)

1. 内容までよく知っている
2. 内容は知らないが、聞いたことはある
3. 知らない

◆ 環境対策について

問1 あなたは、地球温暖化対策の国民運動「クールチョイス」を知っていますか。(1つ)

1. よく知っており、既に取り組んでいる
2. 内容までよく知っている
3. 言葉は聞いたことがある
4. 知らない

問2 あなたのご家庭にある、環境に配慮した製品は何ですか。(1つ)

1. LED照明
2. 省エネ家電(テレビ、エアコン等)
3. 省エネ型給湯器
4. 太陽光発電設備
5. 太陽熱温水器
6. 電気自動車、ハイブリット、プラグインEV車
7. HEMS(住宅エネルギー管理システム)
8. ZEH(ゼロ・エネルギー・ハウス)
9. 家庭用燃料電池
10. その他()

問3 あなたは、自然保護活動(清掃は除く)にどのくらい取り組んでいますか。(1つ)

1. 週1回程度
2. 月1回程度
3. 半年に1回程度
4. 年に1回程度
5. 取り組んでいない

◆ 地域の公共交通機関について

問1 あなたは、お住まいの地域の公共交通機関を知っていますか。(1つ)

1. 内容までよく知っている
2. 内容は知らないが、聞いたことはある
3. 知らない (公共交通機関がない)

問2 あなたは、お住まいの地域の公共交通機関のお得な制度を知っていますか。(すべて)

1. 定期券や回数券がある
2. フリー切符などの乗り放題制度がある
3. パークアンドライド駐車場がある
4. 高齢者向けの制度がある
5. 知らない

問3 あなたは、お住まいの地域の公共交通機関を利用したことがありますか。(1つ)

1. 毎日、通勤通学で利用する
2. 定期的に、買い物や通院で利用する
3. 天気が悪い時だけ利用する
4. ほとんど利用しない

◆ 健康づくりについて

問1 あなたは、日常生活で積極的に野菜(1日350g)を食べていますか。(1つ)

1. 毎日食べている
2. 週1～2回食べている
3. 月1～2回食べている
4. ほとんど食べない

問2 あなたは、ベジ・ファースト(野菜から食べる)を実践していますか。(1つ)

1. 毎食実践している
2. ときどき実践している
3. 実践していない

◆ 男女共同参画について

問1 地域活動や社会活動のうち、あなたが参加しているものをお答えください。(すべて)

1. 自治会、防災防犯
2. 子供会、PTA
3. 老人会、婦人会
4. 社会奉仕、福祉
5. 消費生活、環境保護
6. 地域のまちづくり
7. その他
8. 参加していない

問2 あなたは、現在の学校教育の場において、男女平等になっていると思いますか。(1つ)

1. 男女平等になっていると思う
2. まだ男女平等とはいえない
3. わからない

問3 あなたは、平日に1日平均すると、どのくらい家事育児をしていますか。(記入)

_____分

◆ 犬や猫の飼い方について

問1 あなたは、犬や猫をペットとして飼っていますか。(1つ)

1. 犬を飼っている
2. 猫を飼っている
3. 犬猫両方飼っている
4. 飼っていない

問2 あなたは、犬や猫を飼うためには何が最も大切だと思いますか。(1つ)

1. しつけ
2. 避妊・去勢
3. 束縛せず自由にさせること
4. 最後まで飼うこと

問3 あなたは、近所で野良猫を見かけたことがありますか。(1つ)

1. 毎日見かける
2. 週1～2回見かける
3. 月1～2回見かける
4. ほとんど見かけない

問4 あなたは、野良猫に対してどのようなイメージを持っていますか。(1つ)

1. 良いイメージ
2. 悪いイメージ
3. どちらでもない

◆ 食育について

問1 あなたは、朝食を誰と食べていますか。(1つ)

- 1. 家族そろって食べる
- 2. 家族の誰かと食べる
- 3. 一人で食べる
- 4. 朝食を食べない

問2 あなたは、夕食を誰と食べていますか。(1つ)

- 1. 家族そろって食べる
- 2. 家族の誰かと食べる
- 3. 一人で食べる
- 4. 夕食を食べない

問3 あなたは、健康に関する食品や調理の知識がありますか。(1つ)

- 1. じゅうぶんある
- 2. ある程度ある
- 3. あまりない
- 4. 全くない

問4 あなたは、栄養のバランスを考えて食事をとっていますか。(1つ)

- 1. 毎回考えている
- 2. 少しは考えている
- 3. あまり考えていない
- 4. 全く考えていない

問5 あなたは、農林漁業体験に参加したことがありますか。(1つ)

- 1. ある
- 2. ない

問6 あなたは、郷土料理や伝統料理などの家庭の味を受け継いでいますか。(1つ)

- 1. どちらかというを受け継いでいる
- 2. どちらかというを受け継いでいない

◆ 市民憲章について

問1 あなたは、市民憲章に実践目標があることを知っていますか。(1つ)

- 1. 内容までよく知っている
- 2. 内容は知らないが、聞いたことはある
- 3. 知らない

問2 実践目標のうち、あなたが実践しているものをお答えください。(すべて)

- 1. あいさつでふれあう喜び深める絆
- 2. スポーツで広がれつながれ元気の輪
- 3. ふるさとを今よりもっと美しく
- 4. 高めよう交通マナーと防災意識
- 5. ふくいの魅力学んで知って広めよう
- 6. 実践していない

◆ 福井市の都市づくりについて

問1 あなたは、福井市の公共交通機関に満足していますか。(1つ)

- 1. 満足している
- 2. ほぼ満足している
- 3. あまり満足していない
- 4. 満足していない

問2 あなたは、福井市の公共交通機関に求めるものは何ですか。(1つ)

- 1. 発着時刻の正確さ
- 2. 運賃の安さ
- 3. 便数やルートの実便性
- 4. 待合室や駐車場などの環境整備

問3 あなたは、福井市の景観（自然やまちなみ）にどのような印象を持っていますか。(1つ)

- 1. 良い印象
- 2. どちらかというの良い印象
- 3. どちらかというの悪い印象
- 4. 悪い印象

◆ 自由意見

福井市に対するご意見やご提案などありましたら、お聞かせください。

◆ あなた自身のことについて

F 1 あなたの性別をお答えください。(1つ)

1. 男性 2. 女性

F 2 あなたの年齢をお答えください。(1つ)

1. 18～29 歳 2. 30～39 歳 3. 40～49 歳
4. 50～59 歳 5. 60～69 歳 6. 70 歳以上

F 3 あなたのお仕事をお答えください。(1つ)

1. 自営業 2. 会社員・公務員 3. アルバイト・パート
4. 主婦・主夫 5. 学生 6. 無職

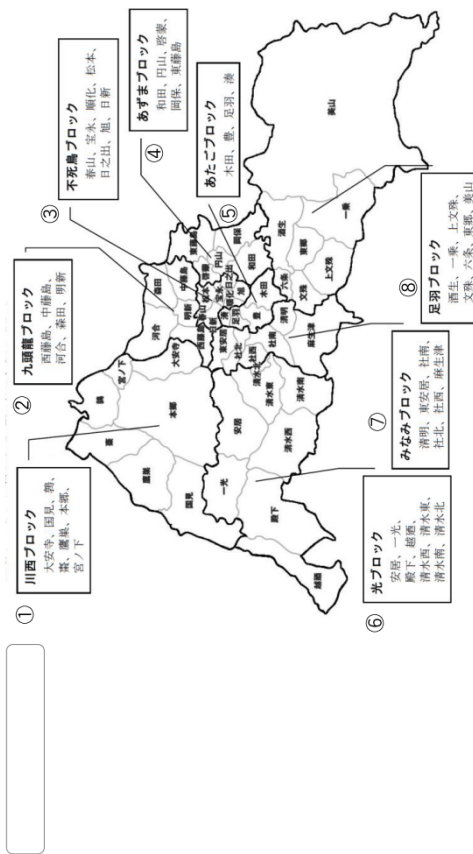
F 4 あなたは、福井市にお住まいになって何年になりますか。(1つ)

1. 2 年未満 2. 2 年以上 5 年未満
3. 5 年以上 10 年未満 4. 10 年以上 20 年未満
5. 20 年以上 30 年未満 6. 30 年以上

F 5 同居している家族構成はどれにあたりますか。(1つ)

1. 一人暮らし 2. 1 世代 (夫婦だけ 等)
3. 2 世代 (親子 等) 4. 3 世代 (親と子と孫 等)

F 6 あなたのお住まいの地域を、地図から1つ選び、番号でお答えください。



アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

調査結果は9月末に福井市ホームページ等で公表いたします。
過去に実施した調査についても併せてご覧ください。

福井市 市民意識調査

検 索



朝倉ゆめきる

※記入済みの調査票は、同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずに
6月26日(金)までに、郵便ポストに投函してください。



令和2年度

福井市民意識調査報告書

令和2年9月発行

福井市市民生活部
市民サービス推進課

〒910-8511 福井市大手3丁目10番1号
TEL (0776)20-5303
